

Cayenne



WKD 9Y0.00.D.70.22



**Cayenne**

Good to know - 取扱説明書

WKD 9Y0 00 D **70 22**

06/2021

## 車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡してください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

## 装備品

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストおよび記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

「Porsche」、「Porsche Crest」、「911」、  
「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、  
「PTM」、「Tequipment」およびその他の名称は Dr.  
Ing. h.c. F. Porsche AG の登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、Dr. Ing. h.c. F.  
Porsche AG の文書による許可が必要です。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

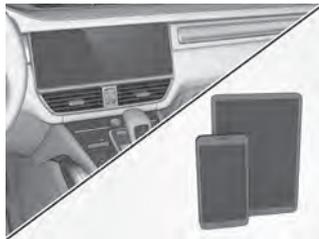
Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

# 取扱説明書のレイアウト

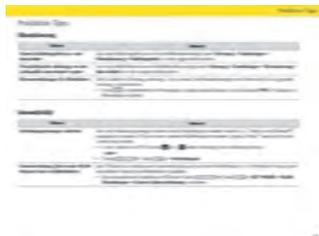
## この取扱説明書について



この取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ 3 ページ

## 実用的なヒント



新しい機能に関する補足情報を記載しています。

## 目次



概要を把握し、確認したいトピックを探することができます。

## テーマA-Z



部品やコントロールの仕組み、およびそれら进行操作する方法をご覧ください。

▷ 30 ページ

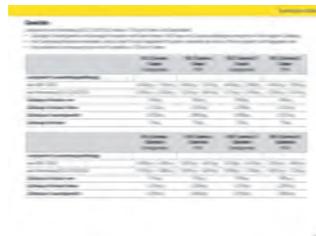
## 安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 6 ページ

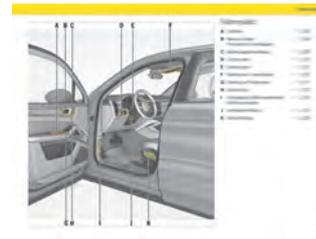
## テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ 310 ページ

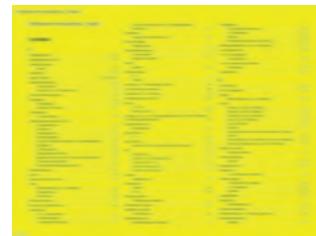
## 概要



部品やコントロールについて十分に理解してください。

▷ 22 ページ

## 索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。



## この取扱説明書について

### 警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。

#### ⚠ 危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。

#### ⚠ 警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。

#### ⚠ 注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

#### 知識

車両が損傷する可能性

「通知」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。

#### i インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。
- ▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。
2. 従う必要のある手順がセントラルディスプレイに表示されます。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

### 詳細情報

車両、コネクタ サービス、および充電機器の詳細情報については、車両に関する車載の取扱説明書およびデジタルポルシェチャンネルをご覧ください。デジタルチャンネルの詳細については、Porsche Partner にご連絡ください。

### 車載



取扱説明書は下記のポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) で確認できます。

▶ 🏠 ▶ 手順

### Apple 免責事項

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。iOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple によりライセンスに基づいて使用されています。Android、Android Auto、Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。

# 目次

安全性とドライビングプレジャー.....	6	リヤクロストラフィックアラート.....	100	操作および使用	
概要図		降車警告.....	101	Android Auto.....	209
エンジンコンパートメントフィラーキャップ.....	23	オートスタート/ストップ機能.....	102	Apple CarPlay.....	210
運転席.....	24	ボルシェヒルコントロール(PHC).....	104	通知.....	213
ボルシェアドバンスドコックピット.....	25	ブレーキ.....	105	車両設定.....	214
コントロールパネル.....	26	車両の始動、走行、駐車.....	107	デバイスマネージャー.....	216
オーバーヘッドコンソール.....	27	オフロード走行.....	108	ホーム画面および個人画面.....	218
リヤ.....	28	オフロード走行プログラム.....	112	メディア.....	219
リヤのエアコンコントロールパネル.....	29	オンロードドライビングプログラム.....	113	メッセージ.....	222
トピック.....	30	スピードリミッター.....	116	ナビゲーション.....	223
開閉操作とロック		トランスミッション.....	118	オンラインソフトウェアアップデート.....	227
警報システム.....	31	HOLD機能：停止制御.....	123	ボルシェコネクト.....	228
キー.....	32	ハイブリッド車両.....	124	スマートメンテ.....	232
ウィンドウ.....	34	インターセクションアシスト.....	127	スポーツクロノストップウォッチ.....	233
リヤリッド.....	36	ライト.....	129	電話.....	236
ボンネット.....	38	ナイトビューアシスト.....	134	荷物および運搬	
ルーフシステム.....	40	緊急停止機能.....	136	収納スペース.....	240
セントラルロック.....	42	パークアシスト.....	138	電動格納式トレーラーヒッチの使用.....	240
エアコンおよび人間工学		ボルシェアクティブサスペンションマネージメント(PASM).....	142	トレーラーの連結と切り離し.....	242
エアバッグ.....	48	ボルシェスタビリティマネージメント(PSM).....	145	トレーラーヒッチの準備.....	242
インテリアライト.....	49	フロントウィンドウワイパー.....	148	トレーラーアシスト.....	243
チャイルドシート.....	51	リヤスポイラー.....	152	アタッチメントおよびアクセサリを使用.....	245
エアコンシステム(2-/4-ゾーンエアコン).....	60	ルーフスポイラー.....	153	ルーフトランスポートシステム.....	246
ステアリングホイール.....	68	レーンキープアシスト.....	154	ドリンクホルダー.....	250
パーソナル設定.....	69	レーンチェンジアシスト(LCA).....	157	ラゲッジコンパートメント.....	251
シートベルト.....	70	クルーズコントロール.....	162	スモーカーズパッケージ.....	259
シート.....	73	警告およびブレーキアシスト.....	164	電気ソケット.....	260
サンバイザー.....	80	表示および入力		モビリティおよび軽修理	
ミラー.....	81	ヘッドアップディスプレイ.....	167	12Vバッテリー.....	262
プレヒーター.....	82	インストルメントパネル.....	168	けん引.....	265
運転/ドライバーアシスタンス		ボルシェコミュニケーションマネジメントシステム(PCM).....	177	ブレーキフルード.....	269
アダプティブクルーズコントロール(ACC).....	83	ボイスコントロール.....	183	クーラント.....	270
アクティブパーキングサポート.....	89	警告および情報メッセージ.....	187	エンジンオイル.....	272
アクティブレーンキープ.....	96			充電.....	275
				緊急電話システム.....	280
				車両のお手入れ.....	281
				テストスタンドでの測定.....	286

タイヤおよびホイール.....	287
パンク.....	296
ヒューズ.....	299
補給.....	304
ジャッキおよびリフティングプラットフォーム... ..	307
ウォッシャー液.....	309
<b>テクニカルデータ</b>	
テクニカルデータ.....	310
2014/53/EU に準拠した無線装置.....	324
無線機器 (EU 地域外).....	329
<b>索引.....</b>	<b>338</b>

## 安全性とドライビングプレジャー

### あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

### 完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は、不適正な動作によって事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し(少なくとも1か月に1度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
  - エアロパーツに損傷がない
  - ワイパー ブレードに損傷がない
  - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
  - ドアミラーおよびルームミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
  - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
  - クーリングエアダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない(フィルム、ストーンガードまたはライセンスプレートホルダーなど)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト(破裂)する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▷ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。
  - ▷ 287 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。
  - ▷ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ インstrument パネルに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したまま運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤ シーラントで応急処置を行ってください。
  - ▷ 296 ページの「パンク」の章を参照してください。

## ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気付くのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リパースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

## エアロ パーツの点検



エアロ パーツ (スポイラーまたはアンダーボディ パネル) が損傷または紛失していると、ハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

## ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー ブレードの凍結を溶かし、フロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントガラスに筋が残るようなら交換します。
  - ▷ 151 ページの「ワイパー ブレードの交換」の章を参照してください。

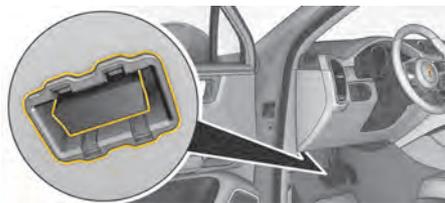
## メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずボルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ボルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置 (ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど) を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、イグニッションを OFF にしたときにバッテリーを消耗させたり損傷 (完全放電) させたりする恐れがあります。外部機

器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

## ボルシェのスペアパーツ



- ▶ ボルシェ純正スペアパーツ、またはボルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペアパーツのみを車両にご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ボルシェ正規販売店から入手できます。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ボルシェ テクニップメント シリーズのアクセサリ、またはボルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ボルシェ テクニップメントに関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ① インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ボルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ボルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ボルシェ ドライバーへの注意事項

ボルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

## あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合にのみ、乗員を怪我から守ります。

## **i** インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服(例：冬物コート)は脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください(例：メガネやボールペン)。
- ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
  - ▶ 70ページの「シートベルト」の章を参照してください。

## エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

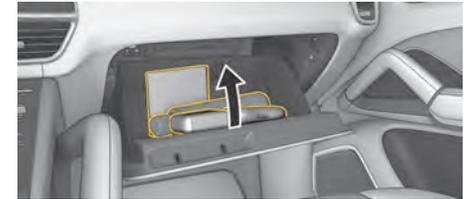
- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください(例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り)。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。

▶ 48ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

## 車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

## **i** インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大50倍の力で前方に投げ出される可能性があります。たとえば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75 kgの力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントやルーフトランスポートシステムなどに安全に収納してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、すべて確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードまたはラゲッジコンパートメントカバーの上に荷物を置かないでください。
- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください(引き裂き強度は最低700 kg)。

- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 240 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 251 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。

### 挟み込み防止



以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式シート
- ドア
- ウィンドウ
- トレーラー ヒッチ
- フラップ、リッド、ルーフ、スポイラー
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいないことを確認してください。

### 子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定（座席調整など）を作動させて怪我する可能性があります。子供は緊急時（車内の過熱状態など）に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命にかかわります。

- ▶ 高温部品（排気タールパイプなど）や作動中の部品に子供が近づかないようにしてください。
- ▶ 有毒物質（タイヤシーラントやエンジンオイルなど）は子供の手の届かない所に置いてください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

### チャイルドシートの安全な使用



チャイルドシートは、正しく装備された場合にのみ効果を発揮します。

- ▶ ポルシェで承認されたチャイルドシートのみを使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルドシートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
  - ▶ 51 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

### 安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ポルシェはオールラウンダーな車です。パフォーマンススタート機能から緊急ブレーキ機能まで – この車で走り出せば、すべてが可能になります。しかしながら、その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

### 注意力の低下を防ぐ



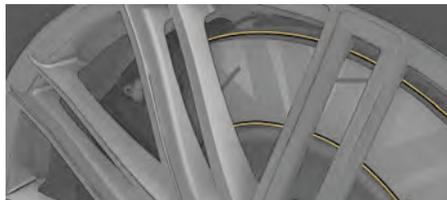
運転中に PCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリングホイールの調整は行わないでください。シートやステアリングホイールが思った以上に動く場合があります。

す。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、ステアリングホイールの位置調整は運転前に行ってください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転席からリアのタッチディスプレイの操作を行わないでください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

### 雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

### 適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

#### 走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

### 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

### ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの最高許容速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。各国の法律を遵守してください。
- ▶ インストルメントパネルで最高許容速度を制限速度として設定する：
  - ▶ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

### サマータイヤでの走行

外気温度が 15°C 未満のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温度が 7°C を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

## スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ(ウルトラハイパフォーマンスタイヤ)がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット(安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント)での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤは、 $-7^{\circ}\text{C}$ を下回る非常に低い温度下では硬化します。このような状態は、タイヤのひび割れや摩耗につながります。

- ▶ 外気温度が約 $-7^{\circ}\text{C}$ を下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります。

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗限界に早く達する場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロブレーキング現象が発生しやすい状況(冠水路、水たまり、轍など)に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性の増大を招くため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロブレーキング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗限界に早く達する場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

## アシスタンスシステムおよびその制限



ポルシェには、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

## 緊急ブレーキ機能



通常のフットブレーキが故障している場合などは、電動パーキングブレーキを使用してフルブレーキをかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時のみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、スイッチ(P)を引き続けてください。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。
  - ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

## 荷物積載時の運転



ポルシェのハンドリング特性は積載荷重によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェテイクアップメントの積載器具の場合、速度情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書を遵守してください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着する前、または装着して走行する前に、本書の以下のセクションをお読みください。  
▶ 246 ページの「ルーフトランスポートシステム」の章を参照してください。

### トレーラーを連結した運転



連結しているトレーラーや着脱可能アクセサリ（自転車ラックなど）は、車両のハンドリング特性に大きな影響を与えます。ドライバーアシスタンスシステムが OFF になったり、異なる挙動を示したりする場合があります。

- ▶ 事故を防ぐため、状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ トレーラーを連結する前またはトレーラーを連結して運転する前には、下記をご覧ください。  
▶ 240 ページの「電動格納式トレーラーヒッチの使用」の章を参照してください。

### オフロード走行



ポルシェでオフロードを走行する場合、事故や怪我、車両の破損を防止するため、慎重に運転してください。

- ▶ 凹凸、盛土、斜面、坂などで転覆しないように注意してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、流れの速さ、底の状態、水の深さを確認してください。
- ▶ 障害物を越えるとき、車両の地上高を必ず点検してください。

▶ 112 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

### パフォーマンススタートを使用した発進



パフォーマンススタート機能が作動している状態で発進すると、車両は急加速します。特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両のコントロールが失われたり、他の道路利用者に危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限りパフォーマンススタートを使用してください。
- ▶ 他の通行者を危険にさらす状況ではパフォーマンススタートを使用しないでください。  
▶ 118 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。
- ▶ スポーツエキゾーストシステムを排気音最適化モードに切り替え、非常にスポーティなドライビングスタイルをすると、騒音レベルが大幅に増加します。そのため、社会的な責任を考慮に入れ、近隣住民に配慮してください（特に夜間）。

### 警告音への適切な反応



センサーが故障した部品または不良部品を検知すると、警告灯の点灯またはメッセージでドライバーに警告します。車両の警告信号を無視すると、事故および怪我の恐れが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるように、出発前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要であれば走行を中止してください。  
▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

▶ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

## 給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

事故の際、燃料キャップが損傷すると、燃料漏れが発生し、発火または爆発につながる恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。
  - ▶ 給油の前にプレヒーターを OFF にしてください。
  - ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
  - ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
  - ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▶ 304 ページの「補給」の章を参照してください。

## 有害なフルード



燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、AdBlue®、バッテリー液、クーラントおよびブレーキフルードも人体には有害です。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お客様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従って環境に影響が少ない方法で行ってください。
- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

## 有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車時はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

## 安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出して人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
  - ▶ セレクター レバーの P ボタンを使用して、トランスミッション パーキング ロックを作動させます。インストルメント パネルで作動モード **P** が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。セレクター レバーでもう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。
- イグニッションが OFF になると、トランスミッション パーキング ロックが自動的にかかります。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至ったりする恐れがあります。

- ▶ 可燃物 (乾燥した草や枯れ葉など) が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様はテールパイプの熱で火傷をしないように注意してください。

## 万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

安全のため、故障時には以下の情報に注意してください。

### 緊急時はボイス コントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。

### 車両への作業に関する注意事項



エンジンの作動中は、エンジン コンパートメント内のエンジンおよび周辺部品が非常に高温になります。クーラント リザーバー タンクには圧力がかかっています。

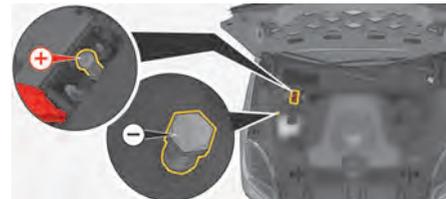
ファンはいつでも自動で作動する可能性があります。

- ▶ エンジンを OFF にして、可能であれば冷やしてください。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンやドライブ ベルトなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。
- ▶ 水平な場所に停車し、エンジンが冷えているときのみクーラントを補充してください。エンジンが熱いときにクーラント リザーバー タンクを開けないでください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備 (切り傷防止用の手袋など) を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊富なスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。

さらに、自動的に始動する部品 (ラジエーター ファンなど) により、エンジン コンパートメント内で負傷するリスクがあります。

ジャンプ スタートを提供または受ける前に：

- ▶ 264 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

### けん引



けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与えるリスクがあります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は行わないでください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：

▶ 265 ページの「けん引」の章を参照してください。

## パンクしたとき

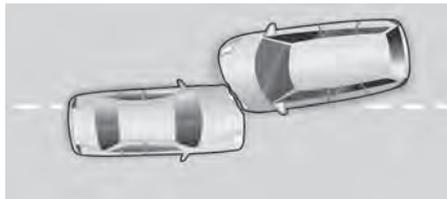


損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで**走行しない**でください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。

▶ 296 ページの「パンク」の章を参照してください。

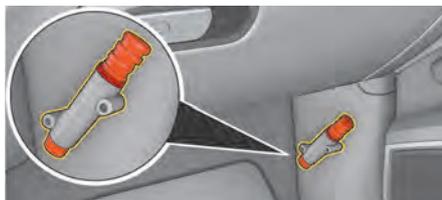
## 衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルト プリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

- ▶ 安全装置が作動していなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

### ⚠ 警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けたり、顔や体の近くに持ったりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

### ⚠ 注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

## 発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒をゆるめます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。



### インフォメーション

発煙筒は約5分間燃えます。

発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限前に、発煙筒を交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。

## お出かけの前に：ポルシェ車両に関する重要な情報

### 車両の慣らし運転

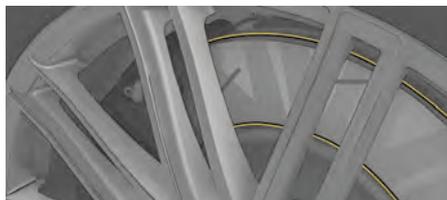


新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

- ▶ なるべく長距離走行をする。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避ける。
- ▶ モーター スポーツ イベント、スポーツドライビングスクールなどに参加しない。
- ▶ エンジンを高回転域(4,000 rpmを越える)まで回さない。エンジン冷間時は低回転域で運転する。

### 新しいブレーキパッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

ブレーキの効きが多少弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

### Eハイブリッド車の特徴について



#### 電気システム

高電圧車両電気システムの高電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。損傷のある電気システム構成部品(高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、電動モーター、パワーエレクトロニクス、エアコンコンプレッサーなど)に触れると、致命的な感電を引き起こす恐れがあります。

高電圧電気システムの高電圧ケーブルおよび他の構成部品はオレンジ色です。電気システムのすべての構成部品は、警告ステッカーでマーキングされています。



図 1 高電圧部品の警告サイン



図 2 高電圧バッテリーの警告サイン

- 1 高電圧によって重傷または死亡に至る可能性があります。指、工具、装飾品やその他の金属製の物体でバッテリー端子に触れないでください。
- 2 高電圧バッテリーには危険な液体および固体が含まれています。ガスが放出された場合、重度の火傷および失明を招く可能性があります。高電圧バッテリーの作業時は、バッテリー液が皮膚や目に触れないように、必ず適切な保護メガネと保護服を着用して

ください。バッテリー液が皮膚と目に付着した場合、該当箇所をきれいな流水で 15 分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。

- 3 高電圧バッテリーは可燃性です。高電圧バッテリーを火気、スパーク、裸火にさらさないでください。損傷やフルード漏れを防ぐため、高電圧バッテリーは必ず慎重に取り扱ってください。
- 4 お子様を高電圧バッテリーに近づけないでください。
- 5 詳細については、取扱説明書およびワークショップの資料を参照してください。
- 6 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのカバーを取り外したり、高電圧バッテリーを取り外したりしないでください。
- 7 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのメンテナンスは、適切な資格を持ちトレーニングを受けた専門のスタッフのみが行ってください。高電圧バッテリーを改造しないでください。開いている高電圧バッテリーが水や他の液体に決して触れないようにしてください。液体によって、短絡、感電、火傷を招く恐れがあります。

## イラストの説明



正しい使用方法を守らなかった場合、感電する恐れがあります。



危険な電圧の警告。



危険!



ハイブリッドシステムの構成部品に関する指示に従ってください。

- ▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクス、モーター / ジェネレーター、エアコンコンプレッサー、その他の電気システム構成部品には作業を実施しないでください。
- ▶ オレンジ色の高電圧ケーブルを損傷することや、高電圧車両電気システムから取り外すこと、切り離すことは行わないでください。
- ▶ 事故の後などに、損傷した電気システムの部品に触れないでください。損傷の疑いがある場合：感電や火傷などの致命傷を負う危険があるため、オレンジ色のケーブルや高電圧システム (400 V) の他の構成部品に触れないでください。
- ▶ 高電圧システムの損傷や作動不良に関して表示される警告メッセージには常に注意を払い、指示に従ってください。損傷や作動不良の疑いがある場合：車両を直ちに安全な場所に停車し、車両から離れてください。
  - ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 高電圧バッテリーを取り外さないでください。
- ▶ 警告ラベルまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ 警告ステッカーが貼り付けられている高電圧システム構成部品のカバーを取り外さないでください。
- ▶ 損傷したバッテリーは発火する恐れがあります。直ちに安全かつ適切な場所で停車してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
  - ▶ 175 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。

## 聞こえやすさの低下

電動走行時は、内燃エンジン作動時より車両の走行音が大幅に減少します。交通静音化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者に車両の音が聞こえないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。

## 電磁互換性

物理法則により、あらゆる電気機器の周辺には電磁場が生成されます。これは、車両の電装品にも当てはまります。ポルシェは、製品の開発初期段階でさえ、製品が乗員や行人の健康に影響を及ぼすことを重視してきました。ポルシェは、国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の時変電界、磁界、電磁場の暴露限度のガイドラインを厳守し、従っています。ICNIRP は、国際連合世界保健機関 (WHO) などの国内および国際健康機関と緊密に連携する非営利科学機関であり、どの業界からも独立しています。上記の基準に準拠し、隣接するデバイスやインプラントの機能はポルシェ社の製品の影響を受けません。しかし、市場にはさまざまなインプラントが多数あるため、個別のケースごとに具体的な説明をすることはできません。医療に関する質問がさらにある場合は、医師に相談することをお勧めします。

## ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF

### ① インフォメーション

事故後の迅速で安全なレスキュー措置または復旧を確実にするため、「e-hybrid」ロゴを取り外さないでください。

ハイブリッドシステムを危険な高電圧状態から保護するため、次のような状況では自動的にスイッチが OFF になります。

- シートベルトプリテンショナーまたはエアバッグが作動するような事故。
- ハイブリッドシステムに短絡が検出された場合。
- ハイブリッドシステムのコネクターが切り離された場合。

ハイブリッドシステムの緊急スイッチ OFF が作動すると車両を始動できません。

- ▶ ご自身では絶対にハイブリッドシステムを再起動しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## レースサーキット走行の前に



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご確認ください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

## タイヤ

レースサーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェはレース用タイヤを承認していません。

## エンジンオイル

- ▶ レースサーキット走行の前にエンジンオイルを最大のマーク位置まで補充します。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを確認します。

▶ 168ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

▶ 272ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。

## 海外での走行の前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 燃料のオクタン価レートは十分ですか？
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▶ 214ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能 (ドライバーアシスタンスシステム) を提供します。さらに、

車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

## 車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例: 給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例: ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータスメッセージ
- 重要なシステム構成部品の故障 (例: ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例: エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因 (例: 温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コントロール

ユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

## テクニカルデータの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのボルシェに義務付けられる場合があります (例: 犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービスネットワーク業者 (例: ワークショップ、ロードサービス、メーカー) は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービスプロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービスネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためボルシェに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベントメモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

## 車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス (例: 携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー) に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディアシステムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは、装備品のタイプに応じ、たとえば一般的な車両情報または位置データを含みます。これにより、たとえばナビゲーションシステムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの有効なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティングシステムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

## オンラインサービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器 (携帯電話など) により、ワイヤレス ネットワークに接続可能です。このワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション / アプリが含まれます。

ポルシェ オンライン サービスでは、さまざまな機能が適切な場所 (例: ポルシェ コネクト ウェブサイト) にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。オンラインサービスの提供のために個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます (例: この目的のためのポルシェ IT システム設定)。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

通常、(料金ベース) サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンライン サービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの使用の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービス プロバイダーから入手してください。

## 概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

## エンジンコンパートメント フィラー キャップ

- A ウォッシャー液▶ 309 ページ
- B ブレーキフルード▶ 269 ページ
- C クーラント▶ 270 ページ
- D エンジンオイル▶ 272 ページ



図. 3 エンジンコンパートメント フィラーキャップ



図.4 運転席

## 運転席

- A パワーウィンドウおよびリヤリッド▶ 34 ページ,  
▶ 36 ページ
- B インナー ドア ハンドル▶ 42 ページ
- C パーソナル設定用メモリー ボタン▶ 69 ページ
- D ライトコントロールパネル▶ 129 ページ
- E イグニッションロック、ステアリングロック▶ 107  
ページ
- F オーバーヘッドコンソール▶ 27 ページ
- G ドアミラーの調節▶ 81 ページ
- H セントラルロック▶ 42 ページ
- I ボンネット解除▶ 38 ページ
- J ステアリングホイール調節▶ 68 ページ
- K シート調節▶ 73 ページ

## ポルシェアドバンスドコックピット

- A** 方向指示灯およびハイビームヘッドライト▶ 129 ページ
- B** ティプトロニックSシフトパドル▶ 118 ページ
- C** インstrument パネル▶ 168 ページ
- D** フロントウィンドウワイパー▶ 148 ページ
- E** スポーツクロノストップウォッチ▶ 233 ページ
- F** ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM)▶ 177 ページ
- G** エアベント▶ 63 ページ
- H** グローブボックス▶ 240 ページ
- I** クルーズコントロール▶ 162 ページ  
スピードリミッター▶ 116 ページ  
アダプティブクルーズコントロール (ACC)▶ 83 ページ  
レーンキープアシスト▶ 154 ページ  
ポルシェヒルコントロール (PHC)▶ 104 ページ
- J** 電話コントロール、速度 & アシスト機能表示▶ 169 ページ
- K** 電話コントロール、車両 & 情報表示▶ 169 ページ
- L** モードスイッチ▶ 114 ページ
- M** コントロールパネル▶ 26 ページ
- N** 灰皿、シガーライター▶ 259 ページ
- O** アームレスト、小物入れ▶ 240 ページ
- P** カップホルダー▶ 250 ページ

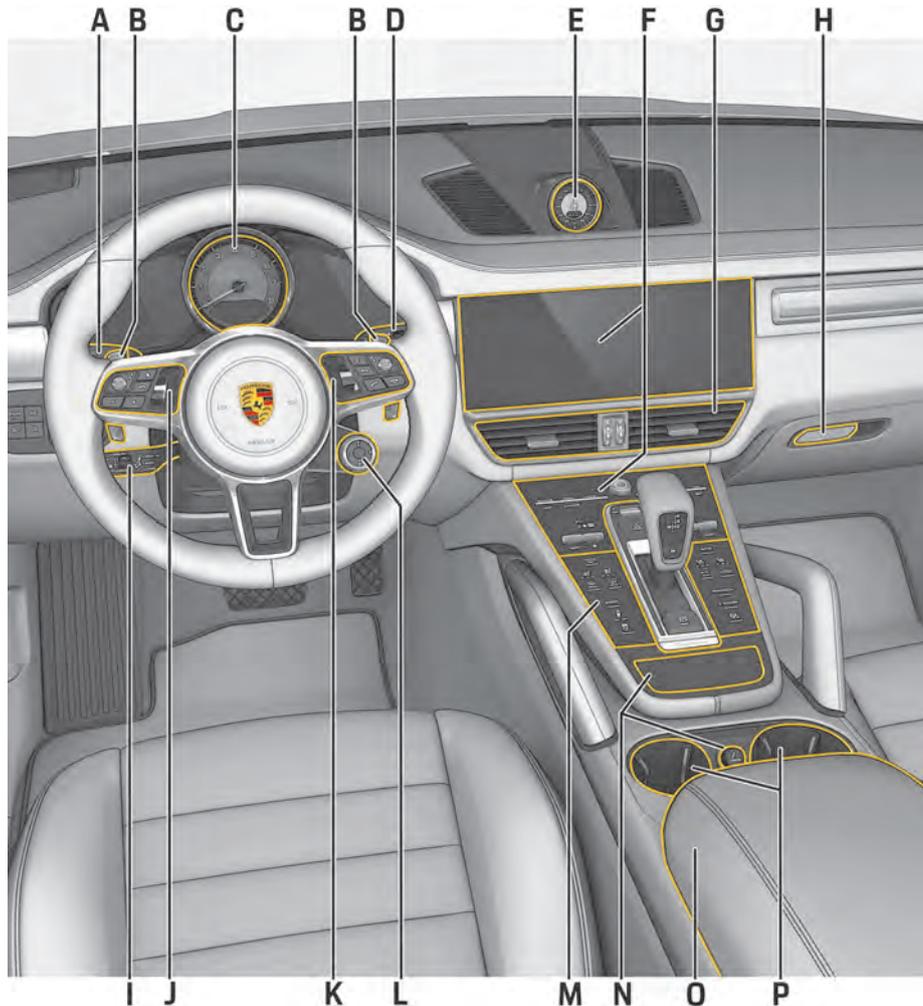
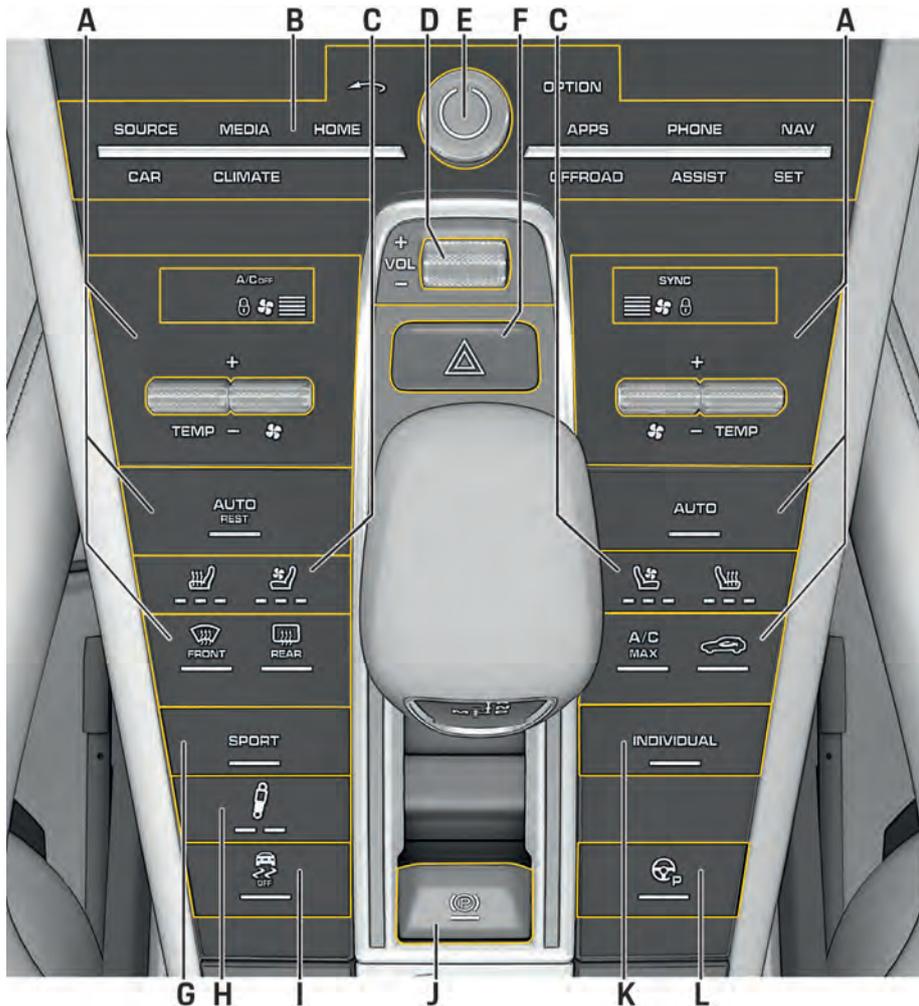


図. 5 ポルシェアドバンスドコックピット



## コントロールパネル

- A エアコンシステム▶ 60 ページ
- B ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) ▶ 177 ページ
- C シートヒーター、シートベンチレーター▶ 78 ページ
- D ボリュームスイッチ、ミュート▶ 177 ページ
- E ロータリー プッシュ ボタン (PCM の操作)▶ 177 ページ
- F ハザード ライト スイッチ▶ 133 ページ
- G スポーツモード▶ 113 ページ
- H ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)▶ 142 ページ
- I ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)▶ 145 ページ
- J エレクトリック パーキング ブレーキ▶ 106 ページ
- K パーソナルモード▶ 113 ページ
- L アクティブ パーキング サポート▶ 89 ページ

図.6 コントロールパネル

## オーバーヘッドコンソール

- A インテリアライト▶ 49 ページ
- B ハンズフリーマイク
- C 室内モニタリングシステム センサー
- D サン ブラインド▶ 40 ページ
- E 読書灯▶ 49 ページ
- F 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯▶ 48 ページ
- G オリエンテーションライト
- H パノラミック ルーフ システム▶ 40 ページ
- I パーキング アシスタント OFF ボタン▶ 138 ページ
- J サラウンド ビュー 作動▶ 140 ページ

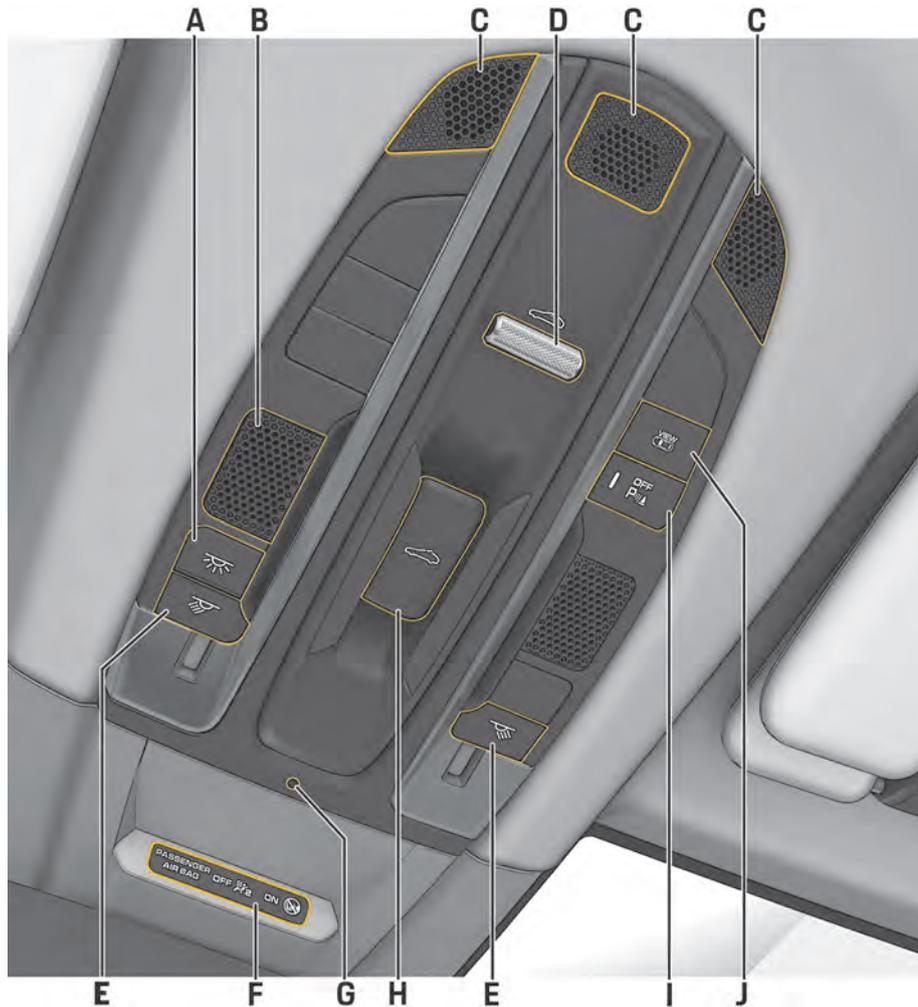


図. 7 オーバーヘッドコンソール



## リヤ

- A エアベント▶ 60 ページ
- B セントラルロック▶ 42 ページ
- C インナー ドアハンドル▶ 42 ページ
- D パワー ウィンドウ▶ 34 ページ
- E マップ ポケット
- F エアコン システム▶ 60 ページ
- G 灰皿 / 小物入れ▶ 259 ページ
- H USB 充電ポート (タイプ C)
- I シート調節▶ 73 ページ

図.8 リヤ

## リヤのエアコンコントロールパネル

- A シートヒーター▷ 78 ページ
- B シートベンチレーター▷ 78 ページ
- C 送風口▷ 60 ページ
- D 温度およびエアフロー▷ 60 ページ
- E オートモードを ON にする▷ 60 ページ

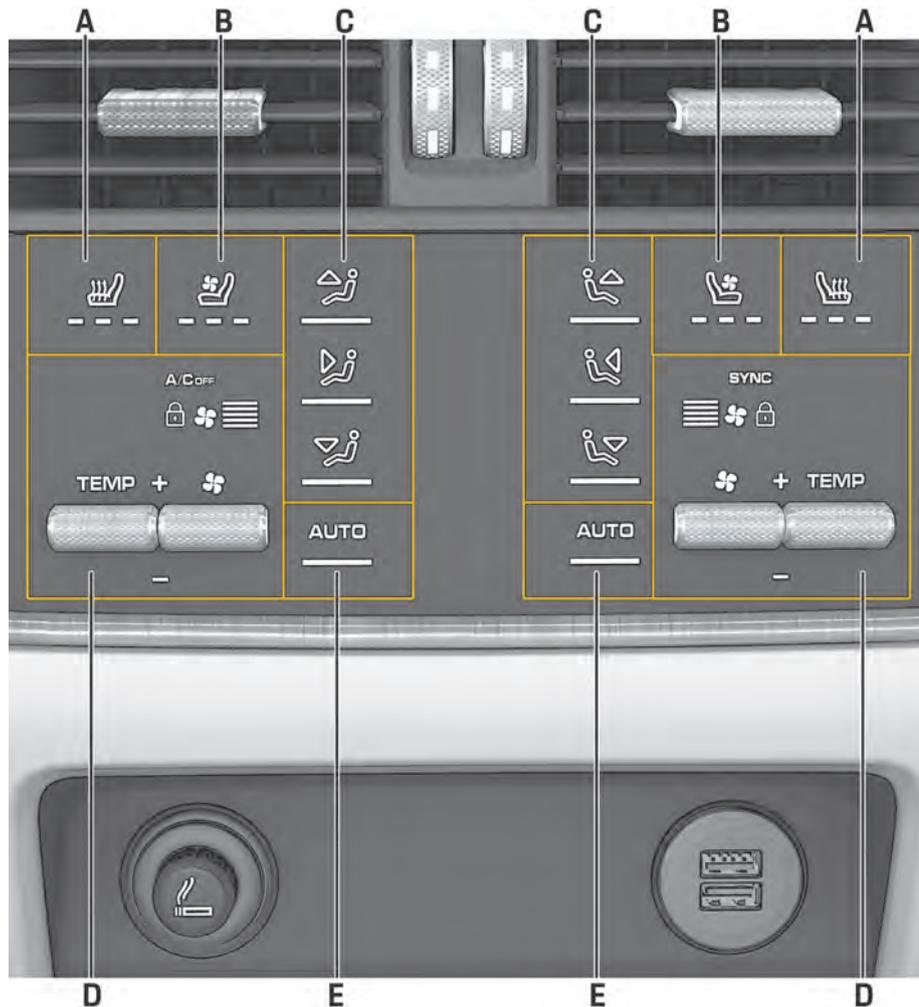


図. 9 リヤコントロールパネル

## トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する  
内容を見つけることができます。

## 開閉操作とロック

### 警報システム

#### 作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、フロント リッド、エンジンコンパートメントリッド、コンバーチブルトップの警報接点。
- 室内モニタリングシステム：車両がロックされているときの車内への侵入（例：ウィンドウを壊して窃盗を行おうとしたとき）。
- 傾斜センサー：車両の傾き（例：車両をけん引して盗難しようとしたとき）。
- 故障診断用ソケット。
- トレーラーヒッチソケット

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラームホーンが約25秒間鳴り、ハザードライトが約300秒間点滅します。

5秒間警告が中断した後、再度音による警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

#### 警報システム機能表示

フロントドアのインジケータライトの点滅速度によりロック状態が示されます。

#### 警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケータライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

#### 警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチOFF

車両をロックするときにインジケータライトが素早く点滅した後、28秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

#### セントラルロックシステムおよび警報システムの故障

車両をロックするときに、インジケータライトは素早く点滅し、28秒間点灯し続けて、その後はノーマルモードで点滅します。

#### 警報システムのON/OFFを切り替える

1. 車両をロックすると、約30秒後に警報システムが有効になります。
2. 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

#### **i** インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

#### 作動した警報システムをOFFにする

- ▶ 車両をロック解除します。
- または -
- イグニッションをONにします。

#### 室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止する

人や動物が車両に残っている場合、車両をロックする際に室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止することができます。

▶ 42ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

#### 盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウ、パノラミックルーフシステムおよびコンバーチブルトップを閉じます。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶ パーキングロックPとエレクトリックパーキングブレーキを作動します。
- ▶ イグニッションをOFFにしてください。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドアとリアリッドを閉じます。
- ▶ ボンネットを閉じます。
- ▶ 車両をロックします。

#### イモビライザー

すべてのキーに、コードが保存されたトランスポンダー（電装部品）が内蔵されています。イモビライザーを停止してエンジンを始動するには、認定されたキーが必要です。

#### ステアリングコラムのロック解除およびロック（国別仕様による）

##### ステアリングコラムの自動ロック解除

- ▶ 車両に乗って、運転席ドアを閉めます（キーは車内になければなりません）。
- または -
- イグニッションをONにします。

## ステアリングコラムの自動ロック

- ▶ 運転席ドアを開けます (イグニッションはOFF)。  
- または -  
車両をロックします。

## キー キーの使用

### ① インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

ボタンを押すと、キーのポルシェクレストが点灯します。また走行中には、キーが作動してなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため走行中には、キーが作動してなくてもキーのポルシェクレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモートコントロールが機能しない場合があります。

- データ伝送中 (キーと車両間の無線通信など) に電磁波が干渉している場合。
- 故障のためにリモートコントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。
- ▶ キーが、作動中の電子機器 (携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど) と一緒に保管されている場合。必要に応じて、キーを別の場所に保管してください。

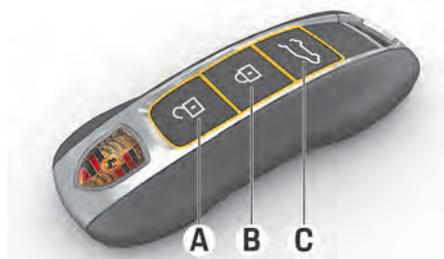


図. 10 キー

**A** 車両のロック解除

**B** 車両のロック

**C** テールゲートを開き、車両をロック解除する

すべてのキーにエマージェンシーキーが内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

## キーのバッテリー交換

### ▲ 警告

リチウム ボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウム ボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2 時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

### ① インフォメーション

- ▶ バッテリーの廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要があると、メッセージがインストルメント パネルに表示されます。キーが作動しても、キーのボルシエクレストが点灯しなくなります。

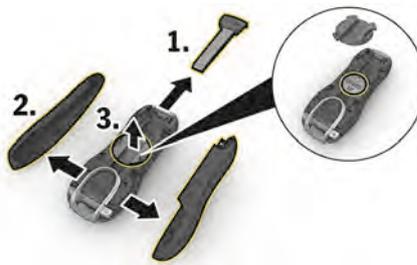


図. 11 バッテリーの交換

### バッテリーの交換 (CR 2032, 3 V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キー ハウジングの左右 2 箇所のクリップを外します。
3. バッテリー カバーを反時計回りにゆるめて取り外します。
4. バッテリーを交換します (極性を確認してください)。
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。  
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー キーを挿入します。

キーのバッテリーが切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動。



図. 12 ドリンクホルダー内のキー

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーの電池が切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この状況で車両を始動する場合は、以下を遵守してください。

1. キーを左側のフロントドリンクホルダー内に置きます。キーの背面をリヤ方向に向けた状態で、キーをドリンクホルダーの壁面に立てかけます。
2. コントロールユニットをイグニッションロック位置 2 まで回し、その後位置 0 に戻します。
3. コントロールユニットを再度イグニッションロック位置 2 まで回します。  
▶ 108 ページの「エンジンの始動」の章を参照してください。

## エマーゼンシーキーの使用 エマーゼンシーキーの取り出し



図. 13 エマーゼンシーキーの取り出し

- ▶ エマーゼンシーキーを押し上げ、キーから取り出してください。

## エマーゼンシーキーの挿入

- ▶ しっかりと合まるまで、エマーゼンシーキーをキーに挿入します。

## スペアキーの注文と登録

キーの注文は、ボルシェ正規販売店からのみ行えます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペアキーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペアキーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

### ① インフォメーション

合計 8 個のキーを登録することができます。

### ① インフォメーション

- ▶ キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ボルシェ正規販売店に依頼し、車両のキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ キーの紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用のキーを作成したことを知らせます。

## ウィンドウ

### ウィンドウの開閉

#### ▲ 警告 ウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するとき、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションをOFFにしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

#### ▲ 警告 サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイドウィンドウを手動で閉じると、このウィンドウは最大力で閉じられます。そのため、動くサイドウィンドウと車両の固定部品の間で身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

## ① インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動開操作で一度完全に閉じてください。

## ウィンドウの開閉

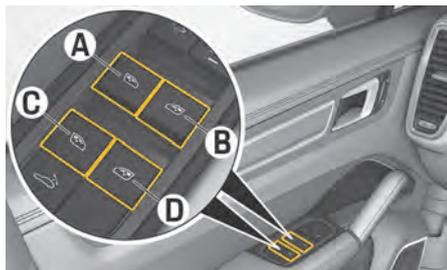


図. 14 運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A パワーウィンドウ、フロント運転席側
- B パワーウィンドウ、フロント助手席側
- C パワーウィンドウ、リヤ運転席側
- D パワーウィンドウ、リヤ助手席側

✓ 作動待機がONになっている。

—または—

イグニッションをOFFにしてから10分以内。

✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。

ロッカースイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

## 第1段階 – 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。
  - ➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

## 2段階目 – ワンタッチ操作

1. ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。
  - ➡ ウィンドウは停止位置まで自動的に開閉します。
2. ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

## サイドウィンドウの停止位置の保存

バッテリーを切り離して再接続すると、ウィンドウの停止位置は消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

## すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください。

1. ロッカースイッチを2段階目まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く2段階目まで引いてください。
3. ロッカースイッチを押して、一度ウィンドウを完全に開いてください。

## リヤでの操作を無効にする – チャイルドプロテクション



図. 15 キーによるウィンドウの開閉

運転席ドアのコントロールパネルのセーフティボタンを押すと、リヤドアのパワーウィンドウボタンとリヤセンターコンソールのコントロールパネルの機能が無効になります。

## チャイルドプロテクションのON/OFFを切り替える

- ▶ セーフティボタンを押します。
  - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。

リヤドアのリヤパワーウィンドウボタンとリヤディスプレイが無効になります。

リヤコントロールパネルで入力されたシート設定は保持されます。

リヤコントロールパネルの機能が停止します。

## リヤリッド

### リヤリッドの開閉

#### ⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸引

リヤリッドが開いているか正しく閉じられておらず、エンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。

#### ⚠ 警告

オートマチック リヤリッドの不用意な開閉

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、怪我をする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は停車中のみに行ってください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、作動範囲内に人や動物がないことを確認してから行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。

#### 知識

オートマチック リヤリッドが不用意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

開閉時、リヤリッドがガレージの天井や突き出た荷物に衝突することがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

### キーでリヤリッドを開く

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
  - ▶ キーの  ボタンを押してください。
    - ➡ 設定によっては、車両のロックが解除されます。
- リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

### 足動作でリヤリッドを開く

#### ⚠ 注意

リヤリッドの不用意な作動

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開くため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの不用意な作動を防ぐには：

- ▶ PCMで機能を無効にします。  
-または-
- ▶ ポルシェコンフォートアクセスを無効にします。



図. 16 足動作コントロール

適用対象：コンフォートアクセス装備車

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ✓ キーを携帯している。

1. 車両の後方中央に立ってください。
2. 足を車両後方に向けて前後に1回の動作で動かします。
  - ➡ リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

PCMでこの機能の有効/無効を切り替えることができます。

#### ▶ 設定 ロックする

#### インフォメーション

次のような状況では、足動作機能は利用できないかもしれません。

- 悪天候(雨、雪または凍結)。
- パンパーが汚れている場合。
- 車両キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

### 運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを開く



図. 17 運転席ドアのリヤリッドボタン

- ▶ 運転席ドアのボタンA(図. 17)を押してください。
  - ➡ リヤリッドは、設定した高さまで開きます。

## リヤリッドを開く高さの設定

リヤリッドを開く高さは個別に設定できます。

レベリングシステム装備車の場合、必ず車両が最も高い状態にあるときにリヤリッドの高さを調整してください。

▶ 142 ページの「ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。

1. 車両の後方に立ってリヤリッドを開いてください。
2. 開作動を中断するには、リヤリッドのトリムパネル内またはキーのボタン  を押します。
3. リヤリッドを設定したい高さまで動かします。
4. リヤリッドのトリムパネルのボタン A (図. 18) を約 3 秒間押し続けてください。
  - ➔ 設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

## リヤリッドが不意に作動した場合の自動停止

リヤリッドが降り積もった雪の重みなどで開いた後すぐに不意に下がると、パワーメカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤリッドの動きが止まってから約 1 秒が経過すると、
  - ➔ 自動停止が無効になります。

## リヤリッドの開操作

### 運転席ドアのボタンを操作してリヤリッドを閉じる

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ▶ リヤリッドが完全に閉じるまで運転席ドアのボタン A (図. 17) を押し続けてください。
  - ➔ 警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

## リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作してリヤリッドを閉じる



図. 18 リヤリッドのトリムパネルのボタン

### A リヤリッドの開操作

B リヤリッドを閉じて車両をロックする (ポルシェ コンフォート アクセス)

- ▶ リヤリッドのトリムパネルのボタン A (図. 18) を押し続けてください。
  - ➔ リヤリッドが閉じます。

## リヤリッドのトリムパネルのボタンを操作し、リヤリッドを閉じてロックする

### インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は 4 回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約 45 秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされません。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

適用対象：ポルシェ コンフォート アクセス装備車両。

- ✓ キーを携帯している。
- ▶ リヤリッドのトリムパネルのボタン B (図. 18) を押し続けてください。
  - ➔ リヤリッドが閉じて、車両がロックされます。

## 閉作動中の障害物の検出

リヤリッドの開操作が障害物によって妨げられると、作動は自動的に中断されます。警告音が鳴り、リヤリッドが作動を停止します。

1. 障害物を取り除いてください。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じてください。

## 緊急時の開閉作動の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉作動を中断します。

- ▶ キーの  ボタン。
  - または -
  - 運転席ドアの  ボタン。
  - または -
  - リヤリッドトリムパネルのボタン A または B (図. 18)。
  - または -
  - リヤリッドのリリースボタン。
  - または -
  - 足で動作をします。
- ▶ ワンタッチ操作を再作動するには、該当するボタンを押します。

## リヤリッドの緊急解除

### リヤリッドドライブの不具合

車両バッテリー電圧が低すぎる場合、自動機能が作動しません。リヤリッドを開くボタンが押されている場合、リヤリッドロックが解除され、警告音が短く3回鳴ります。ここで、リヤリッドを手動で開けることができます。

故障により自動開閉機能が作動しない場合：

1. 車両バッテリーを充電します。
2. リヤリッドを手でゆっくり開閉します。

### 過剰負荷保護

リヤリッドドライブの過剰負荷が検出された場合、短い警告音が鳴ります。リヤリッドの自動操作は約30秒間利用できません。

### リヤリッドの緊急ロック解除の実行

(キーのバッテリー切れなどにより) キーでリヤリッドを解除することができない場合：

1. エマージェンシーキーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開けてください。
2. 警報システムが作動しないよう、15秒以内(国によって異なる)にイグニッションをONにします。
3. イグニッションをONにして、リヤリッドが完全に開くまで運転席ドアの  ボタンを押し続けてください。  
➡ リヤリッドのロックが解除されます。

4. イグニッションをONにして、リヤリッドが完全に開くまで運転席ドアの  ボタンを押し続けてください。

–または–

キーの  ボタンを押し続けてください。

–または–

リヤリッドのリリースボタンを押します。

–または–

リヤリッドの下端を掴み、手で開けます。

## ボンネット

### ボンネットの開閉

#### ボンネットを開く

##### 知識

ボンネットを開くときにワイパーが起きていると、ボンネットやワイパーが損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ エンジンコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントウィンドウワイパーをOFF [ワイパーレバーを0の位置] にしてください。衝突の危険があります。ワイパーアームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的にONにしてからOFFに切り替えてください。

▶ 148ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

1. 運転席ドアを開いてください。



図. 19 ボンネットのロック解除

2. リリースレバーを引いてください。



図. 20 ボンネットを開く

3. ボンネットを少し持ち上げ、リリースレバーを押します。
4. ボンネットを完全に開きます。

### ボンネットを閉じる



**注意**

重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用して2箇所のロック部をロックできません。

- ▶ 可動部品 (ヒンジ) やボンネット下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。
1. エンジンコンパートメントリッドを半分開いた状態で引き下げ、その後2箇所のロック部にはまるようにエンジンコンパートメントリッドを降ろしてください。必要に応じて、2箇所のロック部を手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。
  2. ボンネットが両方のロック部に確実にハマっており、リリースレバー (図. 20) が初期位置にあるか確認します。

- ▶ ボンネットが正しく閉じられていない場合、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。ボンネットを再び開き、リッドを勢いよく落としてロックしてください。必要に応じて、ロックエリアを手のひらで押し、ボンネットを確実に閉じてください。

### 歩行者保護

フロントバンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。次に、ボンネットが開き、衝撃を低減します。



**注意**

歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメントパネルに表示されます。

作動した後に、ボンネットを再度押しして閉じることはできません。歩行者保護部品を取り替える必要があります。

1. 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
2. 歩行者保護システムをすぐに取り替えてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメントパネルに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ルーフ システム

### ルーフ システムの開閉

#### ▲ 警告

ルーフ システムの開閉

ルーフ システムを開閉するときは、車両の可動部品と固定部品の間には身体の一部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ操作の場合に十分に注意してください。

- ▶ 車両の可動部品と固定部品の間には身体の一部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずイグニッションを OFF にしてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ずキーを携帯してください。危険を十分理解していない人(お子様など)がルーフ システムを操作すると、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が生じたときは、ルーフ システム ボタンを反対方向に押ししてください。

#### 知識

ルーフ エLEMENTが正しく取り付けられていないと、ルーフ システムを操作するときに怪我をする恐れがあります。

- ▶ 運転を開始する前に、ルーフ アタッチメントが正しく取り付けられていることを確認してください。
- ▶ ルーフ システムと取り付けられたルーフ エLEMENTの間に十分な空間があることを確認してください。

#### 知識

雨の中でルーフ システムを操作した場合、損傷する恐れがあります。

- ▶ 雨の際は、ルーフ システムを直ちに閉じてください。

#### ① インフォメーション

ルーフ システムは、挟み込み防止機能を備えています。閉操作中にルーフに障害物があると、すぐにまた開きます。

ルーフ システムは、極端に走行速度が速い場合や気温が極端に低い場合には作動しません。

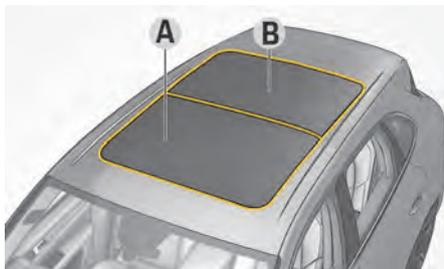


図. 21 パノラミック ルーフ

**A** スライディング / チルトリング ルーフ エLEMENT

**B** 固定ガラス エLEMENT

ルーフ エLEMENT **A**(図. 21) は車両の前後方向に動かすことができます。また、持ち上げることもできます。

ルーフ エLEMENT **B**(図. 21) は固定ガラス エLEMENT です。

#### ▲ 警告

ルーフ システムを緊急に閉じる

ルーフ システムを緊急に閉じる場合、閉じる力が必要に応じて徐々に増加します。

- ▶ 誰も怪我をしたり、挟まれたり、押しつぶされたりしないように注意してください。

#### ① インフォメーション

チルト位置でルーフ システムを開ける際、サン ブラインドは自動的に約 10 cm 開き、手動で全閉できません。

- ✓ 作動待機が ON になっている。  
-または-  
イグニッションを OFF にしてから 10 分以内。
- ✓ 運転席 / 助手席ドアをまだ開いていない。



図. 22 ルーフ システムの開閉

ボタンには **-2 段階**の作動位置があります。この 2 段階の作動位置は、ボタンを操作する際にはっきりと感じ取れます。

走行速度によっては、風の音がすることがあります。

#### 第 1 段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、スイッチを 1 段階目の位置まで該当する方向へ押すか、または引いてください。  
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

## 2段階目－ワンタッチ操作

- 2段階目まで該当する方向へボタンを完全に押し下り引いたりしてください。
  - ➡ ルーフシステムが自動的に風切り音を最小限に抑える位置まで開閉します。
- ルーフシステムを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度作動させます。

## ルーフシステムを完全に開く

ワンタッチ操作で、ルーフシステムは風切り音を最小限に抑える位置まで開きます〔コンフォートポジション〕。ルーフシステムを完全に開くために：

- ボタンを開く方向にもう一度押してください。
  - ➡ ルーフシステムがいっぱいまで開きます。
- 走行速度によっては、風の音がすることがあります。

## 挟み込み防止機能が繰り返し介入した後に閉じる

閉作動が障害物に妨げられた場合、ルーフシステムは力を入れれば閉じることができます。

- 障害物を取り除いてください。
- ルーフシステムが閉位置で止まるまで、ボタンを閉じる方向に押し続けてください。

## サンブラインドの開閉

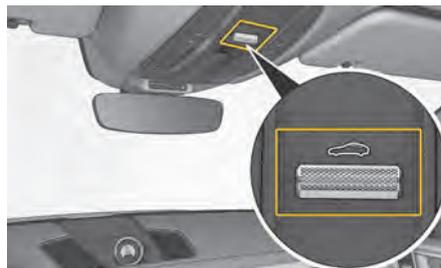


図. 23 サンブラインドの開閉

ボタンには-2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、ボタンを操作する際にははっきりと感じ取れます。

### 第1段階－手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ボタンを1段階目の位置まで押すか、または引いてください。
  - ➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

### 2段階目－ワンタッチ操作

- 2段階目までボタンを押し下り引いたりしてください。
  - ➡ サンブラインドが自動的にいっぱいまで開閉します。
- サンブラインドを希望の位置で停止させるため、スイッチを再度操作します。

## ルーフシステムおよびサンブラインドを閉じる

- ルーフシステムを閉じているときにサンブラインドを閉じると〔ワンタッチ操作〕、ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。
- サンブラインドを閉じているときにルーフシステムを閉じると〔ワンタッチ操作〕、サンブラインドの閉動作は中断されます。ルーフシステムがルーフシステム停止位置に達した後、サンブラインドがサンブラインド停止位置まで閉じます。

## ルーフドライブメカニズムが故障している場合のルーフシステムの閉操作

ルーフシステムを修理するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ルーフシステムの停止位置およびサンブラインドの停止位置の保存



警告

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品の間には身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品の間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

## ルーフシステムの停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している。
  - ✓ 作動待機が ON になっている。
  - ✓ ルーフシステムを閉じてください。
  - ▶ オーバーヘッドコンソールの(図. 22) ボタンを下向きに長押しします。
    - ➔ 約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
- この閉作動と保存のプロセスは最大 45 秒で完了します。

## サンブラインドの停止位置の保存

- ✓ 車両が停止している。
  - ✓ 作動待機が ON になっている。
  - ✓ サンブラインドが閉じている。
  - ▶ ボタン(図. 23) を押し続けてください。
    - ➔ 約 10 秒後に停止位置を保存するプロセスが開始されます。
- この閉作動と保存のプロセスは最大 45 秒で完了します。

## サンブラインドの清掃



**警告**

挟み込み防止保護無効

ルーフシステムおよびサンブラインドは、システムの最大力で閉じます。そのため、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ 閉じるときは、車両の可動部品と固定車両部品間に身体の一部が挟まれないように十分注意してください。

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ 作動待機が ON になっている。

1. ルーフシステムを全開にします。
2. 可能な限りサンブラインドを閉じます。
3. サンブラインドスイッチ(図. 23) を押ししてください。
  - ➔ サンブラインドが 10 秒後に閉じ始めます。
4. サンブラインドが完全に閉じるまで、そのままスイッチを押し続けてください。
5. 汚れを取り除きます。

## 清掃機能の終了

- ▶ 発進します。
  - または -
- ルーフシステムを操作します。
- または -
- サンブラインドを操作します。

## セントラルロック

### 概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラルロック」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 24 キー

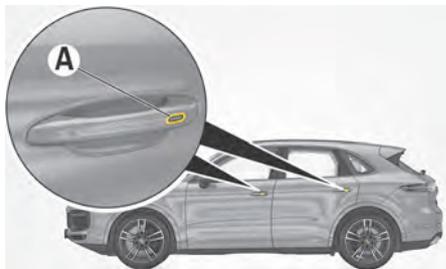


図. 25 コンフォートアクセス

希望する操作	操作方法	結果	操作場所
ロック解除	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ コンフォート アクセス装備車： ▶ ドアハンドルをしっかり握ってください。	ハザード ライトが1 回点滅します。 ドアおよびリヤ リッドを開くことができます。	▶ 44 ページ
ロック	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを押してください。 ポルシェ コンフォート アクセス装備車： ▶ ドアハンドルの近接センサー A(図. 25) に触れてください。	ハザード ライトが2 回点滅します。 ドアとリヤ リッドがロックされ、車内から ドアハンドルを引いてもドアを <b>開く</b> ことは <b>できません</b> (セーフロック)。	▶ 44 ページ
人 / 動物を車両に残してロックする ▶ セーフロックおよび室内モニタリングシステムを OFF にします。	キーを使用する： ▶ キーの  ボタンを2 回押してください (約2 秒以内)。 ポルシェ コンフォート アクセス装備車： ▶ ドアハンドルにある近接センサー A(図. 25) に2 回触れてください (約2 秒以内)。	ハザード ライトがゆっくり 1 回点滅します。 ドアおよびリヤ リッドはロックされますが、 ドアハンドルを引くことにより、車内 からドアを開けることができます。	▶ 44 ページ
警告システムの警告音を OFF にする	▶ キーの  ボタンを押してください。 - イグニッションを ON にします。	警告音が OFF になります。	▶ 31 ページ

## セントラル ロッキング システムの使用

### インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っていると  
きだけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにコンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアとフィラー フラップのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを指定できます。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

選択した設定にかかわらず、両側のドアをロック解除できます。

- ▶ キーの  ボタンを5 秒以内に2 回押してください。

### インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されていません。

## ドアのロック解除とロック

### ① インフォメーション

車両のロックを解除し、ドアまたはリヤリッドを45秒以内に開けなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。

### ① インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

### キーによるドアのロック解除

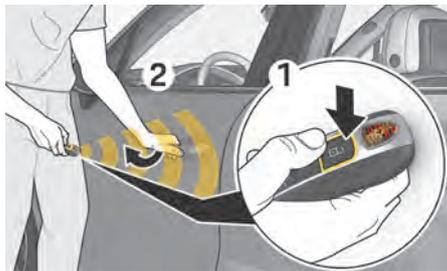


図. 26 キーによるドアのロック解除

1. ㊦ ボタンを押してください。  
➡ ハザードライトが1回点滅します。  
設定によっては、車両のロックが解除されません。
2. ドアハンドルを引いてください。

### 車内からのドアのロック解除

- ▶ ドアパネルの ㊦ ボタンを押してください。  
-または-  
インナー ドアハンドルを引いてください。
- ➡ すべてのドアとリヤリッドのロックが解除されず。  
インジケーター ライト A が消灯します。

### ① インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

### 車両の自動ロック解除

ドアを開けると車両のロックが自動解除されます。

## ドアのロック

### セーフロックの使用

**⚠ 警告** 車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック(国により異なる)は、室内モニタリングシステムのコンポーネントで、ロックされた車両のドアハンドルとセントラル ロッキング ボタンを無効にして、車内への不正侵入を難しくします。

セーフロックが作動: インナー ドアハンドルを引いても車内からドアおよびリヤリッドを開けることはできません。

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

### キーでドアをロックする

- ✓ 作動モード P を選択している。
- ✓ すべてのドアが閉じられている。
- ▶ ㊦ ボタンを1回押します。  
➡ ハザードライトが2回点滅します。

### 車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ㊦ ボタンを2秒以内に2回押してください。  
➡ ハザードライトがゆっくり1回点滅します。

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

2. ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### ① インフォメーション

ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザード ライトは点滅しません。

### ① インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は4回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スペア キーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

### 車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ドアハンドルの近接センサー A(図. 27)に2秒以内に2回触れてください。  
 ▶ ハザードライトがゆっくり1回点滅します。  
 ドアハンドルが格納します。  
 ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### ① インフォメーション

- ドア、ボンネット、またはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされます。スベアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

### 車内からドアをロックする

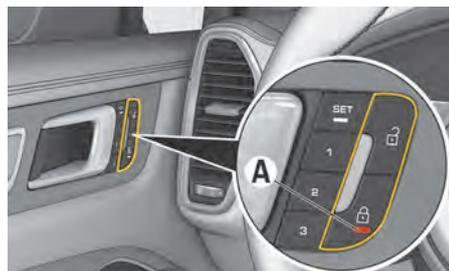


図. 27 ドアパネルのセントラルロックボタン

- ✓ ドアが閉じられている。

- ▶ ドアパネルの ボタンを押してください。  
 ▶ すべてのドアとリヤリッドがロックされます。フィラーフラップはロックされません。インジケーターライト A(図. 27) が点灯します。  
 インナー ドアハンドルを引くことによるみ、車内からドアを開くことができます。

### 自動ロック(オートロック)

- ✓ 機能が作動している。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

- ▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### ドアを閉じる(ソフトクローズ装備車)

ソフトクローズ装備車には、4つのドアすべてに電動クロー징ングメカニズムが備えられています。

#### ▲ 注意

パワークロー징ングメカニズム

ドアが押されるかまたはロックに少し引かれる場合、ドアは自動的にロックされるまで完全に引かれず。

- ▶ ドアと車両固定部間に指を挟まないように注意してください。
- ▶ パワークロー징ングメカニズムの可動部品(ロックのロータリーラッチ)の近くに物を置いたり、手足を近づけたりしないでください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ ドアがロックする方向に静かに押し込むか引っ張ります。  
 ▶ ドアが自動的に引かれて閉まります。

### 緊急時の閉作動の中断

- ▶ 内側のドアオープナーを引きます。  
 -または-  
 外側のドアハンドルを引きます。

### チャイルドロックの作動/解除

リヤドアは、車内から開けられないようにロックできます。

チャイルドロックは、リヤドアのロック部分に設置されています。

### ソフトクローズ非装備車のチャイルドロック機能の作動/解除



図. 28 右リヤドアのチャイルドロック

### 作動

- ▶ エマージェンシーキーを使用して、右リヤドアのチャイルドロックは反時計回りに約45°、左リヤドアのチャイルドロックは時計回りに約45°回してください。  
 ▶ チャイルドロックが作動すると、スロットが縦位置になります。  
 リヤドアを内側から開くことはできません。

## 停止

- ▶ エマージェンシーキーを使用して、右リヤドアのチャイルドロックは時計回りに約45°、左リヤドアのチャイルドロックは反時計回りに約45°回してください。
- ▶ 32ページの「キー」の章を参照してください。
- ▶ リヤドアを内側から開くことができます。

## ソフトクローズ装備車のチャイルドロック機能の作動 / 解除

- チャイルドロックはチャイルドプロテクションと連動して作動します。
- ▶ 35ページの「リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション」の章を参照してください。

## ドアの緊急ロック解除および緊急ロック



図. 29 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

## 緊急ドアロック解除の実行

- ▶ リヤウィンドウの右上にキーを置き、同時に  ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. エマージェンシーキーを車両キーから取り外してください。
- ▶ 32ページの「キー」の章を参照してください。
2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシーキーを挿入してください。
4. エマージェンシーキーを、最初に抵抗を感じる所まで反時計回りに回してから、回る所までさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 警報システムの作動を回避するため、15秒以内にイグニッションをONにしてください。

### ① インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

## 緊急ドアロックの実行

### ① インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

1. エマージェンシーキーを車両キーから取り外してください。

▶ 32ページの「キー」の章を参照してください。

2. ドアハンドルを引いたままにしてください。
3. ワイドハンドルの端部がドアロックの方向に向くようにして、エマージェンシーキーを挿入してください。
4. ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じる所まで時計回りに回してから、回る所までさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドアを閉じてください。
7. 車両がロックされていることを確認してください。

### ① インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムすべてのファンクションロックは運転席のドアロックからロックすることができます。

## セントラルロックシステムが故障した場合のドアの緊急ロックの実行

- ✓ 助手席ドアおよびリヤドアに対して、この手順を行ってください。



図. 30 助手席ドアの緊急ロックの実行

1. ドアを開けます。
2. エマージェンシー キーを車両キーから取り外してください。
3. 保護プラグを取り外します。
4. エマージェンシー キーを使用して、キー スイッチを車両の外側方向に回してください。
5. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
6. ドアを開けた状態で、エマージェンシー キーを最初に抵抗を感じる所まで時計回りに回してから、回る所までさらにしっかり回します。
7. エマージェンシー キーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
8. 保護プラグを再度挿入します。
9. ドアを閉じてください。

10. すべてのドアがロックされていることを確認してください。
  - ➔ ドアはインナー ドア ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

### ラジオ アンテナの取り付け位置

#### ⚠ 警告

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。

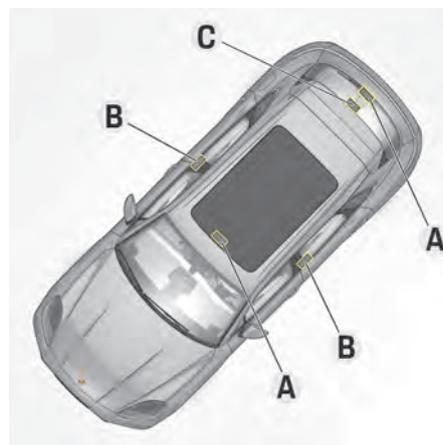


図. 31 ラジオ アンテナの取り付け位置

## エアコンおよび人間工学

### エアバッグ

#### 一般的な安全に関する指示



**危険**

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動します。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

### エアバッグシステムの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、ドライバーや乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を保護します。

**フロントエアバッグ**は、運転席側のステアリングホイールパッドの下、助手席側のダッシュボード、運転席側と助手席側の膝の高さに取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**は、バックレストの側面に取り付けられています。リヤシートのサイドエアバッグ(車両装備による)は、シートバックレストの側面に取り付けられています。

**ヘッドエアバッグ**は、サイドルーフフレームに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



**危険**

作動済みのエアバッグを作動させることはできません

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに取り替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



**危険**

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

### 故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントパネルの赤いエアバッグ警告灯によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない。
- または - イグニッションがONのときに警告灯が消灯しない。
- または - 走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 助手席エアバッグを OFF にする



助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



助手席エアバッグの故障と作動不良

作動待機が確立されていて助手席エアバッグが OFF のときに PASSENGER AIR BAG OFF ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 51 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

## 故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯  によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- 車両を ON にしたときに警告灯が点灯しない。
- または -  
作動準備が整っても、警告灯が消えない。
- または -  
走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## インテリアライト

### インテリアライトの ON/OFF の切り替え

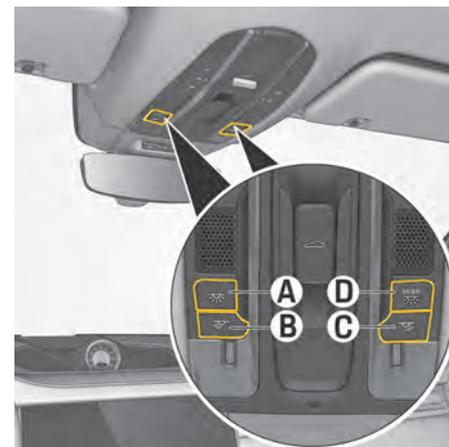


図. 32 インテリアライトの操作

- A フロントインテリアライト用ボタン
- B 左フロント読書灯用ボタン
- C 右フロント読書灯用ボタン
- D リヤインテリアライト用ボタン (装備によって異なる)

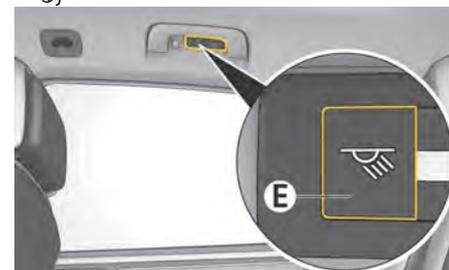


図. 33 読書灯の操作

## インテリアライトのON/OFFの切り替え

### インテリアライト

- ▶ ボタンA(図. 32)またはD(図. 32)を押してください。

## 読書灯のON/OFFの切り替え

### フロント読書灯

- ▶ ボタンB(図. 32)またはC(図. 32)を押します。

### リヤ読書灯

- ▶ 該当するドアの上のボタンE(図. 33)を押します。

## 明るさの調節

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

## インテリアライトのON/OFFの自動切り替え

- ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **ライトと視界** ▶ **インテリアライト** ▶ **ドアを開いている間に作動させる。**

暗い場合、インテリアライトは以下の状況でONになります。

- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合
- イグニッションをOFFにした後で、運転席シートベルトが着用されていない場合

インテリアライトは、以下の状況では再びOFFになります。

- すべてのドアを閉じた後
- イグニッションをONにした直後
- 車両をロックした直後
- ONにしてから約10分後(自動)

インテリアライトの遅延消灯が設定できます。

- ▶ 214ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 明るさの調節

- ▶ **設定** ▶ **車両** ▶ **ライトと視界** ▶ **インテリアライト** ▶ **明るさ。**

## アンビエントライトのON/OFFの切り替え

### アンビエントライトのON/OFFの切り替え

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**
2. **[ライトをONにする]**を選択します。

## アンビエントライトの色の設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **[色]**を選択します。
3. 希望のライトの色を設定してください。

## アンビエントライトの明るさ調節

### 車室内全体の明るさ設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **[全体の明るさ]**を選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

## 車内の各エリアの明るさの設定

1. **車両** ▶ **コンフォート** ▶ **アンビエントライト**。
2. **[ルーフ]**、**[ドア]**、**[センターコンソール]**または**[フットウェル]**を選択します。
3. 明るさを希望の値に設定してください。

## チャイルドシート

### 一般的な安全に関する指示

#### ⚠ 危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェでは、ポルシェテクニク製品チャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ [www.porsche.com/tequipment](http://www.porsche.com/tequipment)
- ▶ 53ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

#### ⚠ 危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは**使用しないでください**。フロントエアバッグが作動した場合、お子様が**致命傷**または**重傷**を負う危険があります。
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 53ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 49ページの「助手席エアバッグをOFFにする」の章を参照してください。

- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。
- ▶ 前向きに着座するチャイルドシートを取り付ける前には、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▶ 76ページの「ヘッドレストの調節」の章を参照してください。



図. 34 エアバッグ警告ラベル

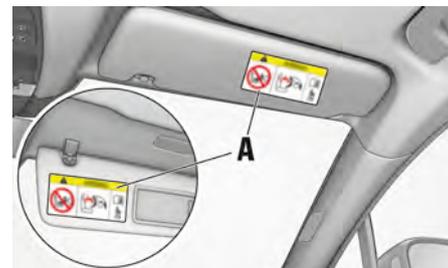


図. 35 サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベルA(図. 35)を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

### チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1つずつ遵守していただく必要のある3つの項目に分けられています。

- ▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の3つの項目すべてを注意深くお読みください。

- 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。
  - ▶ 52 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。
  - ▶ 53 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。
  - ▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

### 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

- ▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▶ 53 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
  - ▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。



図. 36 チャイルドシートのECEラベルの例

- A** サイズグループ
  - B** 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
  - C** 体重グループ
- ▶ 準汎用(セミユニバーサル)認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

### チャイルドシートの体重グループによる分類

**体重グループ0、0+のお子様：13kg まで (i-Size システム、ISOFIX システム、およびシートベルトによる固定)**

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

**体重グループIのお子様：9～18kg (i-Size システム、ISOFIX システム、またはシートベルトによる固定)**

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

**体重グループIIのお子様：15～25kg (シートベルトによる固定)**

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

**体重グループIIIのお子様：22～36kg (シートベルトによる固定)**

このグループのお子様は、必ず**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

### チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B2** ISO/B2：バックレスト付き前向き i-Size プースターシート
- C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1** ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート

- E ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート
- F ISO/L1：左向きチャイルドシート（ベビー キャリア）
- G ISO/L2：右向きチャイルドシート（ベビー キャリア）

**バックレスト装備または非装備のブースターシート**

ISO/B2：前向きチャイルドシート（バックレスト装備または非装備のブースターシート）、減少幅 440 mm

ISO/B3：前向きチャイルドシート（バックレスト装備または非装備のブースターシート）、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

**体重およびサイズグループの概要**

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ /ISOFIX グループ
グループ0 0~10 kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1
グループ0+ 0~13 kg	後ろ向き	C/R3
		D/R2
		E/R1
グループ1	前向き	A/F3

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ /ISOFIX グループ
9~18 kg		B/F2
		B1/F2X
	後ろ向き	C/R3
		D/R2
グループII 15~25 kg	前向き	—
グループIII 22~36 kg	前向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	-/R2X
	前向き	-/B2, F2X
ブースターシート	前向き	-/B2, B3

**チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底**

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
  - ▷ 52 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
  - ▷ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

下表は、ECE-R 16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

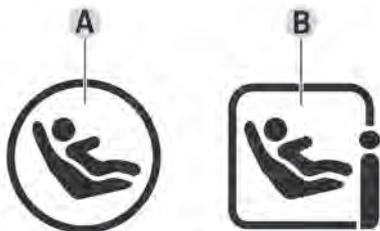


図. 37 ISOFIX および i-Size のシンボル

A ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

B i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

- a 左ハンドル車
- b 右ハンドル車

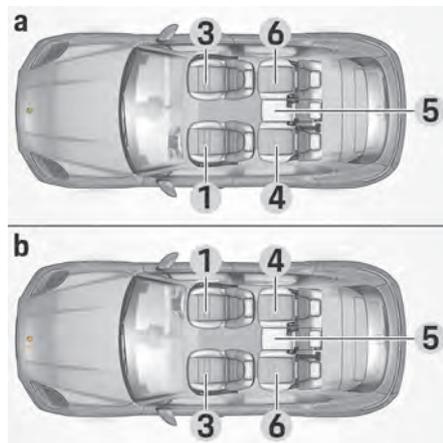


図. 38 チャイルドシート取り付けのためのシート番号

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置	4 および 6	3、4、5 および 6	4 および 6

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 <sup>1</sup>	4 <sup>2</sup>	5 <sup>3</sup>	6 <sup>2</sup>
シートベルトによる固定	不可	可	可	可	可
ISOFIXの取り付け位置	不可	可 <sup>4</sup>	可	不可	可
i-Sizeの取り付け位置	不可	不可	可	不可	可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R3	R2X/R3	R2 <sup>5</sup>	R2X/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F3	F2X/F3	F2X <sup>5</sup>	F2X/F3
適切なチャイルドシートで最大のもの(バックレスト装備または非装備のブースターシート)(B2/B3)	不可	B3	B3	B3	B3

不可：シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

### 助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用(U)または「準汎用」(L)認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

**X:** シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

**U/L:** 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席エアバッグON	助手席エアバッグOFF
グループ0: 0~10 kg	X	U/L

グループ	助手席エアバッグON	助手席エアバッグOFF
グループ0+: 0~13 kg	X	U/L
グループ1: 9~18 kg 後ろ向き	X	U/L

1. 助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
2. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適しています。
3. この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
4. 一部の国で利用可能です
5. シートベルトによる固定

グループ	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループⅠ： 9～18 kg 前向き	U/L	U/L
グループⅡ： 15～25 kg	U/L	U/L
グループⅢ： 22～36 kg	U/L	U/L

## チャイルドシートの取り付け

- ▶ チャイルドシートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
  - ▷ 52 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
  - ▷ 53 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。
- ▶ 前向きに着座するチャイルドシートを取り付ける前には、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。

リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後は、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▷ 77 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

## ベビーキャリア

サイズ分類 F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート（ベビーキャリアなど）は、いかなるシートにも使用できません。

ポルシェ社では、ポルシェテイクアップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします（例：Porsche Babyseat ISOFIX GO+）。

## 助手席エアバッグの ON/OFF



助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。

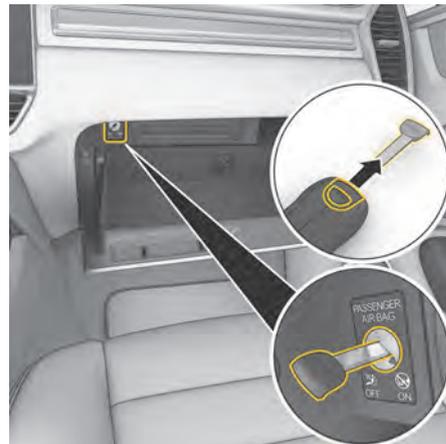


図. 39 助手席エアバッグを OFF にする

✓ イグニッションが OFF になっている。

1. グローブボックスを開いてください。
2. **知識**

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ず、キースイッチにいっぱいまで押し込んでから回してください。キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションが OFF のときのみ、ON または OFF に切り替えてください。

エマージェンシーキーを車両キーから取り外してください。

▷ 32 ページの「キー」の章を参照してください。

3. エマージェンシーキーをキースイッチにいったいまで押し込んでください。

4. **⚠ 危険** 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーを回し、助手席エアバッグをOFF(スイッチ位置OFF)またはON(スイッチ位置ON)にしてください。

5. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。

6. グローブボックスを閉じます。

## PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータ

—



図. 40 助手席エアバッグ OFF/ON インジケータ

助手席エアバッグ OFF/ON インジケータは、オーバーヘッドコンソールにあります。

OFF ライト作動点検

イグニッションをONにすると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータが約5秒点灯します。

OFF

### 助手席エアバッグOFF

助手席側のエアバッグをOFFにすると、イグニッションスイッチがONのときやエンジンが作動しているときは PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが継続的に点灯します。

ON

### 助手席エアバッグON

助手席エアバッグをONにすると、イグニッションスイッチがONのときは PASSENGER AIR BAG ON インジケータが点灯し、約1分後に消灯します

**⚠ 危険**

助手席エアバッグの故障と作動不良

作動準備が確立されて助手席エアバッグをOFFにしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯しない場合は、システムに不具合が生じている可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 車両シートベルトを使用したチャイルドシートの取り付け

### 車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

1. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。  
▶ ページの「適切なシート位置の選択」の章を参照してください。
3. チャイルドシートバックレストのベルトガイドを、車両Bピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
4. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

### 車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

1. リヤシートのバックレストの角度を調整し、リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。
2. シートベルトで固定するチャイルドシートすべておよびGroup II/III チャイルドシートの場合は、リヤシートベンチを中央位置に調整します。
3. チャイルドシートをセンターリヤシートに固定するとき、リヤシートベンチの前後位置を選択してフロントシートとセンターコンソールの間が快適な距離になるようにします。必要であればリヤシートユニットの前後位置を調整します。  
▶ ブースターシートにバックレストがない場合は、ブースターシートとリヤシートバックレストが接触していることを確認します。

## I サイズまたは ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け

▷ 52 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

### 助手席へのチャイルドシートの取り付け

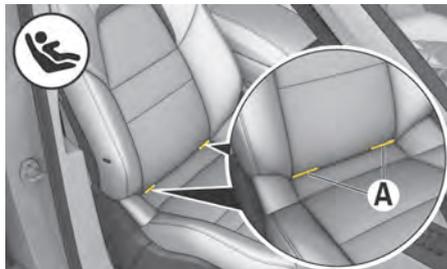


図. 41 助手席の ISOFIX アンカー システム (国によって異なります)

ISOFIX チャイルドシートアンカーポイントのリテーニングラグ A(図. 41) は助手席のバックレストとシート表面の間にあります (国によって異なります)。

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグを **OFF** にしてください。  
 ▶ オーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグ OFF** 警告灯が点灯します。
2. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。
3. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。

▷ 73 ページの「適切なシート位置の選択」の章を参照してください。

4. チャイルドシートバックレストのベルトガイドを、車両 B ピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
5. チャイルドシートを付属の取扱説明書に従ってリテーニングラグ A(図. 41) に固定してください。
6. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。
7. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

### チャイルドシートのリヤシートへの取り付け



図. 42 リヤシートの I サイズまたは ISOFIX アンカーシステム (国によって異なります)

チャイルドシートの I サイズまたは ISOFIX アンカーシステムのリテーニングラグ A(図. 42) はシートクッションのマーキング部分にあります。

1. リヤシートを最後部位置に調整します。
2. リヤシートのバックレストの角度を調整し、リヤシートとチャイルドシートをしっかりと接触させるようにします。

リヤシートバックレスト(カーゴポジション)のバックレスト傾斜の勾配が最大の位置は、チャイルドシートの使用には適していません。

▷ 73 ページの「適切なシート位置の選択」の章を参照してください。

3. チャイルドシートを付属の取扱説明書に従ってリテーニングラグ A(図. 42) に固定してください。

▷ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

4. チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

回転しないように、チャイルドシートをサポートレッグまたはトップテザーでさらに固定します。

### サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け



図. 43 サポートレッグ付きチャイルドシートの取り付け

1. ISOFIX または I サイズ アンカー付きチャイルドシートをリテーニングラグ A(図. 43) で正しく取り付けます。  
 ▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。
2. チャイルドシートメーカーの指示に従って、サポートレッグを位置決めします。
3. チャイルドシートがリヤシートに対して面一に取り付けられているようにします。

### トップテザー付きチャイルドシートの取り付け



図. 44 トップテザーのアンカーポイント

- ▶ トップテザー付きチャイルドシートを使用する際は、トップテザーはリヤシートバックレストの後ろのアンカーポイントに取り付けてください。

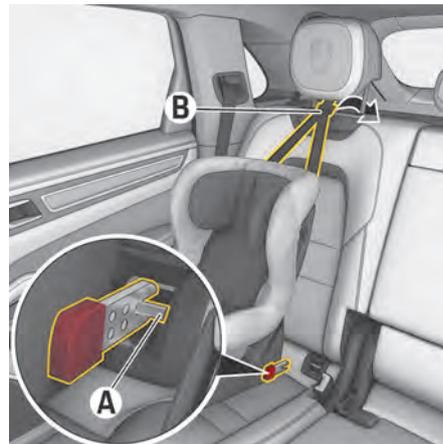


図. 45 トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

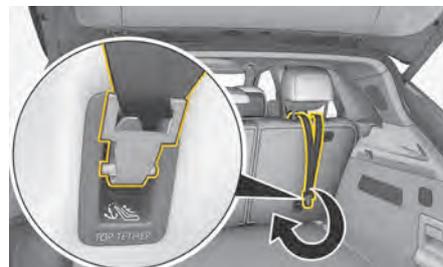


図. 46 I サイズまたは ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの固定

1. ISOFIX または I サイズ アンカー付きチャイルドシートをリテーニングラグ A(図. 46) で正しく取り付けます。

▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

2. トップテザー B(図. 46) をヘッドレストに通します。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。

▶ 77 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

3. トップテザー B(図. 46) をバックレスト後部のアンカーポイントに固定し、トップテザーを締め付けます。

## エアコンシステム (2-/4- ゾーンエアコン)

### 概要説明 – エアコン

#### フロントコントロールパネル

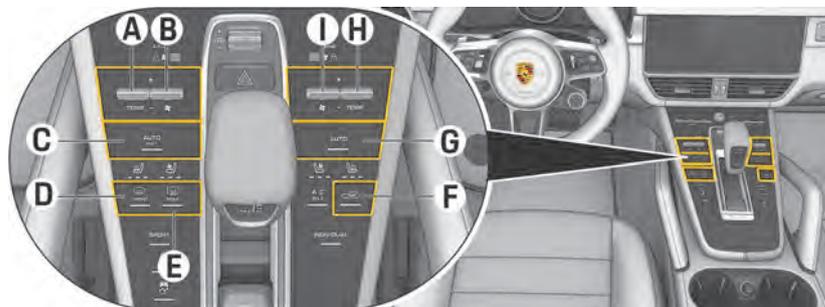


図. 47 概要 – フロント エアコン

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

希望する操作	操作方法	操作場所
ボイスコントロールを使用してエアコンを動作させる	ボイスコントロールを開き、エアコンシステムのグローバルボイスコマンドを使用します。	▶ 183 ページ
オートモードをONにする	左側はボタンC(図. 47)、右側はボタンG(図. 47)を押してください。	▶ 62 ページ
温度の設定	左側はボタンA(図. 47)、右側はボタンH(図. 47)を押してください。	▶ 63 ページ
オートモードで風量を設定する	🏠 ▶ エアコン 📏 ▶ 🌬️	▶ 63 ページ
フットウェル温度の設定 60 ページ	🏠 ▶ エアコン 📏 ▶ 🦶	▶ 63 ページ
風量を設定する	左側はボタンB(図. 47)、右側はボタンI(図. 47)を押してください。	▶ 63 ページ
送風口を調節する	🏠 ▶ エアコン 📏 ▶ 🌬️ または 🌬️	▶ 63 ページ

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント ウィンドウ デフロスター	ボタン D(図. 47) を押してください。	▶ 63 ページ
リヤ ウィンドウ ヒーター および ドア ミラー ヒーター を ON にする	ボタン E(図. 47) を押してください。	▶ 63 ページ
手動で内気循環モードを ON にする	ボタン F(図. 47) を押してください。	▶ 62 ページ

## リヤコントロールパネル(4ゾーンエアコン)



図. 48 概要 – リヤ エアコン

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

希望する操作	操作方法	操作場所
オート モードを ON にする	左側はボタン C(図. 48)、右側はボタン D(図. 48) を押してください。	▶ 62 ページ
温度の設定	左側はボタン A(図. 48)、右側はボタン E(図. 48) を押してください。	▶ 63 ページ
風量を設定する	左側はボタン B(図. 48)、右側はボタン F(図. 48) を押してください。	▶ 63 ページ

希望する操作	操作方法	操作場所
送風口を調節する	左右の頭の高さへの送風：  ボタンを押してください。 中央および左右のエアベントからの送風：  ボタンを押す、または。 足元への送風：  ボタンを押してください。	▷ 63 ページ

## 作動原理

オートモードでは、車内温度、日射量、空気の状態など、様々な環境条件に応じて、エアコンシステムが送風口や送風量を完全に全自動で制御します。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。

エアコンシステムは、リヤおよびセンターコンソールのボタン、またはダッシュボードのタッチディスプレイを使用して操作することができます。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

バッテリー電圧が低すぎると、最初エアコン機能が制限され、その後OFFになります。

## 2ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、左および右の空調エリアに対して個別に設定できます。

## 4ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは左前、右前、左後、および右後の空調エリアに対して個別に設定できます。

## エアコンのON/OFFの切り替え

### 車両全体のエアコンのON/OFFの切り替え

ダッシュボードのPCM：

- ▶  ▶ エアコン  ▶ OFF
  - ➔ センターコンソールのエアコンディスプレイにA/C OFFと表示され、外気導入による送風が停止して、エアコンシステムがOFFになります。

リヤゾーンへの風量を少なくしたり、リヤエアコンシステムをOFFにしたりしても、フロントゾーンの快適性は向上しません。

### オートモードをONにする

フロントおよびリヤの空調エリアは、個別にオートモードに切り替えることができます。

- ▶ フロントまたはリヤのコントロールパネルにある、該当する空調エリアのボタン **AUTO** を押してください。
  - ➔ ボタン **AUTO** のインジケーターライトが点灯します。風速および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、自動システムを手動で制御できます。手動設定は、適切な機能ボタンを再度押すまで、またはエアコンのON/OFF切り替え用ボタン **AUTO** を押すまで保持されます。

## 冷房機能のON/OFFの切り替え

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房の出力は自動制御されます。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ A/C
  - ➔ 冷房機能はONまたはOFFに切り替えることができます。

## 最大冷房出力のON/OFFの切り替え – A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、最大出力で車内が冷却されます。



図. 49 A/C MAXモードの起動と解除

一部の地域では、A/C MAX モードの ON/OFF をセンターコンソールのボタンおよび PCM タッチディスプレイを使用して切り替えることができます。

### 最大冷房出力を ON にする

- ▶ A/C MAX ボタンを押してください。
    - ➔ ボタンのインジケーターライトが点灯するか、消灯します。
- A/C MAX モードが ON または OFF です。  
- または -

- ▶ ▶ エアコン ▶ A/C MAX
  - ➔ A/C MAX モードが ON または OFF です。

## エアコンシステムの操作

### 温度の設定

温度は 16 °C ~ 29.5 °C の範囲に設定できます。推奨：22 °C。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内に設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

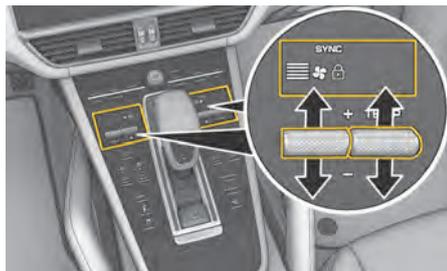


図. 50 フロントの温度および風量の設定

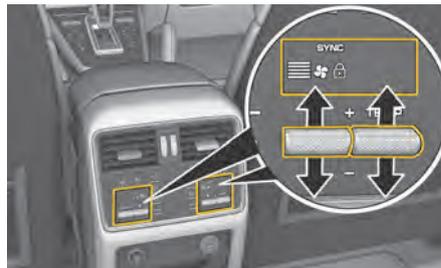


図. 51 リヤの温度および風量の設定 (4 ゾーン エアコン)

### 温度を上げる、下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン **TEMP** を上方向または下方向に押してください。
  - ➔ 選択した温度は、該当エアコンゾーン用ボタンの上にあるディスプレイに表示されます。

ディスプレイに LO または HI が表示された場合、エアコンは冷房 (LO) または暖房 (HI) の最大出力で作動しています。このときオートモードは OFF になります。

### 風量を設定する

#### 送風量を上げる / 下げる

- ▶ 該当する空調エリアのボタン を上方向または下方向に押してください。
  - ➔ 設定した風量はボタン の上のバーディスプレイに表示されます。バーの数が多くなるほど、車室内の風量が多いことを示します。

ボタン **AUTO** を押すと、オートモードに戻ります。エアコンディスプレイに **OFF** と表示されるところまですべての空調エリアの風量を小さくすると、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。

リヤでの **OFF** モードをフロントから無効にする

4 ゾーンエアコンの場合、**OFF** モードは、ダッシュボードのタッチディスプレイを使って無効にできません。

▶ 63 ページの「エアコンシステムの操作」の章を参照してください。

リヤでの **OFF** モードは、**SYNC** 機能では無効にできません。



**警告**

風量 OFF による視界の低下

風量設定を OFF にすると、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、 ボタンを上方向に押すか、オートモードに戻してください。

### イベントの調整

イベントは手動で開閉することができ、ダッシュボード、フロントおよびリヤセンターコンソール、およびドアピラーにあります。送風方向も調節可能です。

#### 知識

イベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話クレードルやプラグイン式のエアフレッシュャーなど、イベントには何も挟まないください。

### イベントの開閉

- ▶ イベントの刻み付きホイールを回してください。

### 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

## 外気の取り入れを可能にする

- ▶ フロントウィンドウとボンネットの間の外気導入口を雪、氷、木の葉などが塞がないようにしてください。

## 送風口を調節する

### フロントの送風口の調節

1.  ▶ エアコン 
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください：

-  フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
-  中央および左右エアベントからの送風を開始します。
-  フットウェルへの送風を開始します。

### リヤ送風口を手動で調整する

- ▶ 該当する空調エリアの送風口を選択してください：
-  フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
-  中央および左右エアベントからの送風を開始します。
-  フットウェルへの送風を開始します。

## アッパーベンチレーションパネルの調節



図.52 アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルでも車内へ換気ができます。ベンチレーションパネルは、個別に ON/OFF を切り替えることができます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

### 送風の ON/OFF の切り替え

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 
- ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

### エアコンのタイプの設定

オートモードでは各空調エリアのための3段階で送風の強さを調節できます。

1.  ▶ エアコン  ▶ 
2. 適切な空調エリアに、希望するタイプのエアコンを選んでください。

## Eco モードの ON/OFF の切り替え

Eco モードが ON の場合、エアコンシステムは最大燃料効率で作動します。燃料消費を低減させるために、車両の快適性を低下させる場合があります (たとえば、車室内が暖まるまで、または冷えるまで時間がかかるなど)。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ A/C ECO

## フットウェル温度の設定

フロントの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、フットウェル温度を個別に設定できます。

1.  ▶ エアコン  ▶ 
2. 該当する空調エリアでの希望するフットウェル温度を選択してください。

## イオナイザーの ON/OFF の切り替え

- ✓ イオナイザー装備車。
- イオン発生機は、空気の状態が悪い地域 - 大都市などにおいて車室内の空気の状態を向上させることができます。
- イオン発生機は無臭です。

1. センターベントを開けます。
2.  ▶ エアコン  ▶ 空気質 
  - ➔ 機能が ON になると、アイコンが赤色に変わります。

## 自動内気循環のON/OFFの切り替え

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5°Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気質 
- ➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

## 内気循環モードのON/OFFの手動切り替え



**警告**

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間ONにすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないでください。



図. 53 内気循環モードのON/OFFの切り替え

## 手動で内気循環モードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。
- ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。
- または-

-  ▶ エアコン  ▶ 空気質 
- ➔ 機能がONになると、アイコンが赤色に変わります。

## インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約5分後に内気循環モードが停止します。

## 手動で内気循環モードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
- ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。
- または-
- AUTO** ボタンを押してください。
- または-

-  ▶ エアコン  ▶ 空気質 

## 車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード

ダッシュボードのタッチディスプレイで SYNC モードのON/OFFを切り替える

- ▶  ▶ エアコン  SYNC
- ➔ SYNC モードをONまたはOFFにします。SYNC モードが作動すると、他の空調エリアの表示値が運転席の値に変わります。

## ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、PCMで SYNC モードをONにしてください。

**4ゾーンエアコン**：リヤゾーンへの風量を少なくしたり、リヤエアコンシステムをOFFにしたりしても、フロントゾーンの快適性は向上しません。

## リヤの空調エリアをフロントから設定する

4ゾーンオートエアコンでは、ダッシュボードのタッチディスプレイを使用してリヤの空調エリアを調整できます。

1.  ▶ エアコン 
2. 必要に応じて設定を調整します。

## フロントウィンドウ、リヤウィンドウ、ミラーヒーターの操作

### フロントウィンドウデフロスター



図. 54 フロントウィンドウデフロスター

## デフロストモードをONにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

フロントウィンドウおよびフロントサイドウィンドウへの送風を開始します。

なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

デフロスターモードでは、リヤへのエアの供給が状態に応じて制御されており、曇りを取り除く効果を最大にします。

**4-ゾーンエアコン:** リヤのエアコンコントロールパネルが無効です。

### ✓ フロントウィンドウヒーター装備車

フロントウィンドウヒーター装備車には、フロントウィンドウに金属フィルムのストリップ、およびフロントウィンドウワイパーの接触面にヒーターのワイヤーも装備されています。霜や曇りを防ぐために、フロントウィンドウを温めることができます。なるべく早く凍結したフロントウィンドウワイパーを解かします。

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

フロントウィンドウは温められました。

なるべく早くフロントウィンドウの曇りまたは霜を取ります。

フロントウィンドウヒーターは最長 10 分後に自動停止し、それ以降はフロントウィンドウが温められなくなります。デフロスターモードは作動し続け、ボタン  上のインジケーター ライトが点灯したままになります。

## デフロストモードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

## リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFを切り替える



図. 55 リヤウィンドウヒーター / ドアミラーヒーターボタン

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

- ✓ エンジンを作動状態にする。
- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

外気温度によって、約 5~20 分後にリヤウィンドウヒーター / ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

## リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用

### エンジンの余熱を利用して暖房する - REST モード



図. 56 REST モードの作動および停止

イグニッションをOFFにしてから最大 20 分間は、作動温度に達しているエンジンの余熱を利用して車室内を暖めることができます。

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ▶ フロントコントロールパネルの **AUTO REST** ボタンを押してください。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。REST モードではエアコンシステムの設定を変更できません。
- ▶ 機能を停止するには、フロントコントロールパネルのボタン **AUTO REST** をもう一度押します。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

## プレクール/ヒートタイマーおよびプレクーリング/ヒーティングの使用 (E-Hybrid)

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている (10%以上)。
- ✓ 燃料タンクの残量が少なくない。

プレクーリング/ヒーティングにより、風量、送風および温度が制御されます。個別に調節できます。さらに、車両では外気温度に従ってプレクーリング/ヒーティングが高度に制御され、最大限の快適さが提供されます。プレクーリング/ヒーティングを、**エアコンタイマー**、キー、またはPCM機能の**[リモートエアコンの開始]**を選択して作動した場合も、同じ機能を利用できます。

リモートエアコン機能では、以下の装備に対するオートエアコンが可能です (車両の装備により異なります)：

- 車内
- シート
- ステアリングホイール
- ドアミラー
- リヤウィンドウ
- およびフロントウィンドウ

内燃エンジンが作動していない状態。また、これは車両プラグが接続されているかどうかに関わりなく発生します。

▶ 275 ページの「充電」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

気温が低いとドアミラー、リヤウィンドウおよびフロントウィンドウ (装備により異なる) のヒーターは自動的に ON になり、ウィンドウおよびドアミラーを解凍します。

### ① インフォメーション

気温が低い場合には、プレクーリング/ヒーティングはバッテリーを暖めるために使用されます。バッテリーが低温の場合、ファンを使用して車内が換気されない間に、車両はプレクーリング/ヒーティングを開始します。これにより電動による発進が向上します。

#### プレクーリング/ヒーティングを ON にする

1. **▲▶ エアコン▶▶ プレクール/ヒート**
2. **[リモートエアコン]** をタップします。

プレクーリング/ヒーティングを ON にすると、電動走行可能距離が減少します。

車両が走行可能状態で、停車している場合、プレクーリング/ヒーティングは 30 分後までに OFF になります。

#### プレクーリング/ヒーティングを OFF にする

1. **▲▶ エアコン▶▶ プレクール/ヒート**
2. **[リモートエアコン]** をタップします。

▶ リモートエアコンタイマーによって開始されたプレクーリング/ヒーティングも停止されます。

#### リモートエアコンタイマーによるプレクーリング/ヒーティング機能のプログラミングおよび作動

リモートエアコンタイマーを使用して、車内を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます (プレクーリング/ヒーティング)。

タイマーは 1 回 (シングルタイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

1. **▲▶ エアコン▶▶ プレクール/ヒート**
2. エアコンの範囲、温度、シートヒーターの設定を個別に設定します。  
▶ 設定された内容は、すべてのタイマーに適用されます。
3. **[タイマーを管理]** をタップします。
4. **タイマー設定** で **✍** をタップし、リモートエアコンを有効にします。
5. **[日付/出発時間]** をタップし、希望する出発時間の曜日あるいは日付と時刻を設定します。
6. **[日付/出発時間]** をタップし、次に **[タイマー設定]** をタップして閉じます。
7. **[タイマー]** で希望するタイマー入力を有効にします。
8. 温度およびシートの作動を個別に設定します。

選択されたエアコン設定は、プログラムされた時間の最大 10 分後まで維持されます。イグニッションが ON の場合、風量、送風方向および温度を手動で調節することができます。

#### プレクール/ヒートタイマーの停止

1. **▲▶ エアコン▶▶ プレクール/ヒート**
2. **[タイマーを管理]** をタップします。
3. 希望のタイマーを無効にします。  
- または -  
**✍** をタップし、リモートエアコンを無効にします。

この操作を行っても、すでに開始されているプレクーリング/ヒーティングが停止されることはありません。

## ブレーキング/ヒーティングを個別に設定する

### エアコンゾーンの設定

1. **エアコン** ▶ ブレーク/ヒート
2. **エアコンの範囲**
3. 希望のエアコン設定を有効にします。

車両のシートは温められるか、換気されます (装備により異なる)。車両のシート設定は、外気温度により車両が自動的に制御します。

### 希望温度の設定

1. **エアコン** ▶ ブレーク/ヒート
2. **[温度]** をタップします。
3. スライダーを使用して、希望する温度を設定します。
  - ▶ ブレーキング/ヒーティングプロセス中、車両では車内温度が設定した希望通りの温度になるように制御されます。

### クイック ブレーキング/ヒーティングの設定

1. **エアコン** ▶ ブレーク/ヒート
2. **[リモートドア解除時のエアコン]** を有効にします。
  - ▶ 車両をリモートドア解除すると、5分間のブレーキング/ヒーティングが開始されます。

## ステアリングホイール

### ステアリングホイールの調節



**警告**

運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

### ステアリングホイールの手動調節



図. 57 ステアリングホイール調節用ロックレバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。
3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

## ステアリングホイールの電動調節



**注意**

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

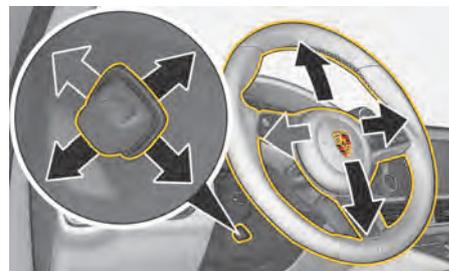


図. 58 ステアリングホイール調節用スイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているコントロールスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

### ステアリングホイール設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、ステアリングホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

インストルメントクラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

▶ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え

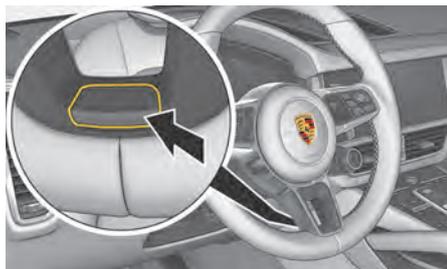


図.59 ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 中央のステアリングホイールのボタン(図.59)をステアリングホイールヒーターONまたはステアリングホイールヒーターOFFのメッセージがインストルメントクラスターに短時間表示されるまで押します。

## パーソナル設定

### パーソナル設定の保存と呼び出し

イグニッションをOFFにすると、事前にした設定はPCMにより自動的にドライバープロフィールに保存され、使用したキーと関連付けられます。ドアのロックを解除すると、設定がキーにより自動的に呼び出されません。複数の人が車両を使用する際、各自で別個にドライバープロフィールとキーを使用すると便利です。必要であれば、ドライバープロフィールは手動で変更できます。

さらに、運転席ドアのメモリーボタンにより、人間工学に基づいた設定を3件まで手動で保存して呼び出せます。

人間工学に基づいた設定の機能: シート、ドアミラーおよびステアリングホイールの設定。

コンフォート設定の機能: 人間工学、エアコン、ライト、視界、アシスタンスシステム、インストルメントクラスターおよびインフォテインメントの設定。

#### ▲ 注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないください。
- ▶ メモリーボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。

## コンフォート設定の保存と呼び出し

### コンフォート設定の保存

- ▶ イグニッションをOFFにすると、事前にした設定は自動的にPCMのドライバープロフィールに保存されます。

### コンフォート設定の呼び出し

- ✓ 車両が停止している。
- ▶ PCMを使用してドライバープロフィールを変更します。
  - または-
  - ドアをロック解除します。
  - ➔ ドライバープロフィール設定が呼び出されません。

設定のロードが中断された場合:

- ▶ PCMで[ドライバーを有効にする]を選択します。

## ドライバープロフィールの管理

PCMで最大6つのドライバープロフィールと1つのゲストプロフィールを作成、管理できます。

PCMの初回起動時にはセットアップアシスタントが表示され、PCM設定のための重要なステップが案内されます。最初のドライバープロフィールを正しく作成するために、セットアップアシスタントを完全に実行することを推奨します。

イグニッションがONにしてすぐ後のみインストルメントクラスターを経由して、またイグニッションがONのときはいつでもPCM経由で、作成したドライバープロフィールを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは常にアクティブなプロフィールに自動的に割り当てられます。

## ドライバー プロファイルの管理

### 設定 ▶ ドライバー

- ドライバーを変更する
- ドライバーを追加する
- ドライバーを編集する
- ドライバーを削除する ([ドライバー編集]のメニュー項目から)
- ドライバーを有効にする
- 個人設定を有効にする
- 自動保存を無効にする

## 人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し



図. 60 運転席ドアメモリー ボタン

### メモリー ボタンへの人間工学に基づいた設定の保存

1. 設定ボタンを押してください。  
➡ ボタンの表記が点灯します。
  2. 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を 10 秒以内に押してください。  
➡ 設定が保存されます。
- 保存されると確認音が鳴り (運転席ドアのみ)、設定ボタンのライトが消灯します。

### メモリー ボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまで該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を押し続けてください。

-または-

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- ✓ 運転席ドアが開いています。
- ▶ 該当するメモリー ボタン **1**、**2** または **3** を短く押してください。  
➡ 設定が自動的に適用されます。

### 人間工学に基づいた設定の呼び出しの中止

- ▶ ドアのいずれかのメモリー ボタンを押します。  
-または-  
シートのいずれかのコントロールを操作します。  
-または-  
PCMのシート調整をキャンセルをタップします (リバースカメラなどの他の有効な機能によって異なり、常に使用できるとは限りません)。

## シートベルト

### シートベルトの正しい使用方法

**危険**

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1**本のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服 (ジャケットなど) は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 堅い物や壊れやすい物 (眼鏡、ボールペン、携帯電話など) の上にシートベルトがかからないようにしてください。衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがぬじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのお子様適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と腰から膝までが前方にスライドしないように、シートベルトを身体の上の正しい位置に着用する必要があります。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の後ろや腕の下にくるように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るために、腰ベルトは腰の低い位置に当てて着用します。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。

**危険**

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルト プリテンショナー システムは 1 回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルト プリテンショナー システムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

▶ 284 ページの「車内の清掃とお手入れ」の章を参照してください。

### シートベルト プリテンショナー

シートベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト プリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が横転した場合

### **i** インフォメーション

シートベルト プリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

## シートベルトの着用と取り外し

### シートベルトを着用する

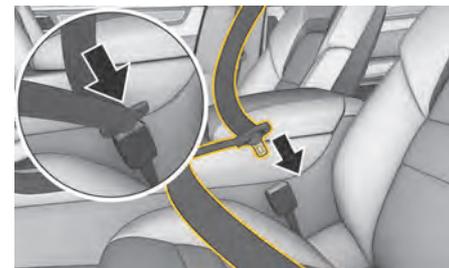


図. 61 シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
- ▶ 73 ページの「シート」の章を参照してください。
2. シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。
3. シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸とひざに回します。
4. シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。

6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引っ張ってください。

**妊娠中の方：**腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。

7. 走行中は肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

### **i** インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 車両が傾いている。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

### シートベルトを外す

1. シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
2. シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シートベルトのバックルプレートをベルトアウトレットまでガイドします。

### シートベルトの調節

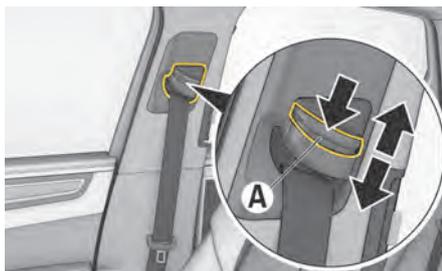


図. 62 ベルトの高さ調節

フロントシートのベルトアウトレットは、高さ調節が可能です。

- ▶ ベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルトアウトレットの高さを調節します。
  - 上げる - ベルトアウトレットを上方向に押しします。
  - 下げる - ロックボタン **A** を押し、ベルトアウトレットを動かします。

### シートベルト警告灯および警告メッセージの確認

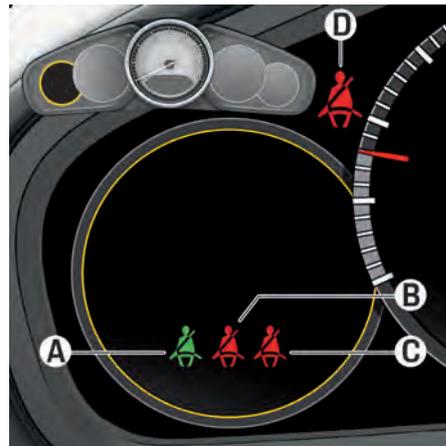


図. 63 マルチファンクションディスプレイのシートベルトステータス表示

- A** 左リヤシート用のシートベルトステータス表示
- B** 中央リヤシートのシートベルトステータス表示
- C** 右リヤシート用のシートベルトステータス表示
- D** 警告シンボル：運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

### フロントシート

イグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターに赤色の警告シンボル **D** が点灯し、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメントクラスターに警告シンボルが表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、運転席側および助手席側 (乗員が座っている場合) のシートベルトが着用されていない場合、インストルメント クラスタに赤色の警告シンボル **A** が点滅し、警告音が鳴ります。

## リヤシート

イグニッションを ON にすると、リヤシートのシートベルトステータス表示がインストルメント クラスタに約 60 秒間表示されます。

緑色のシンボル **A** は、該当するシートに座った乗員がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボル **B** または **C** は、該当するシートに座った乗員がシートベルトを着用していないか、シートに人がいないことを示します。走行中にリヤシートのシートベルトが外された場合は、警告音が鳴り、該当するシンボルマークが赤色に変わって約 60 秒間点滅します **A**。

## シート

### 適切なシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。

運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください：

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっばいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調節してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

### 警告

#### 走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

事故が起きた場合、首に怪我を負うリスクを最小限に抑えるため、ドライバーを含むすべての乗員のシートバックレストが正しい位置に調節されてから運転するようにしてください。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。
- ▶ シートバックレストの角度を調節し、ヘッドレストが垂直になるようにします。
- ▶ ドライバーおよび他の乗員は背筋を伸ばしてシートの中央に座るようにします。

電動シートの調節機能は走行中は制限されます。

### 注意

#### シート調節

シート位置を調節するとき、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。
- ▶ 動く範囲に物があつたり人がいる場合はメモリーボタンを作動しないでください。
- ▶ シート調節ボタンを押して、自動設定プロセスを終了します。

### 知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

## ヘッドレスト

車両には、フロントとリヤシートのバックレストに合計 5 個のヘッドレストが装備されています。フロントシートのヘッドレストは、高さと同後位置の調節が可能です (シートの種類に応じる)。リヤシートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

## フロントシートの調節

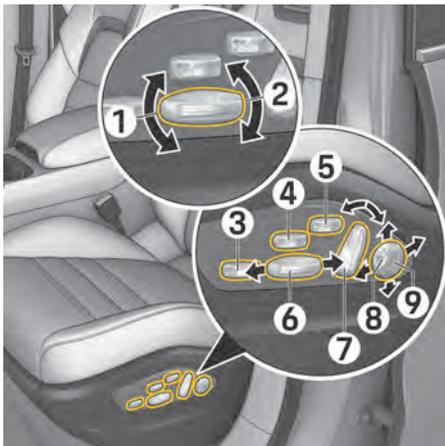


図. 64 フロントシートの電動調節

- 1 シートの角度調節
  - 2 シートの高さ調節
  - 3 サイサポートの調節
  - 4 シートクッションのサイドボルスターの調節
  - 5 シートバックレストのサイドボルスターの調節
  - 6 シートの前後調節
  - 7 バックレストの角度調節
  - 8 ランバーサポートの調節
  - 9 マッサージ機能のON/OFF
- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

## シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関する情報：

- ▶ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## 運転席からの助手席シート調整

ダッシュボードのタッチディスプレイ：

1. 車両 ▶ コンFORT ▶ 助手席シートを調整
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します (図. 64)。

調整を終えるには：

- ▶ [シート調整を停止] を選択します。

## リヤシートの前後調節

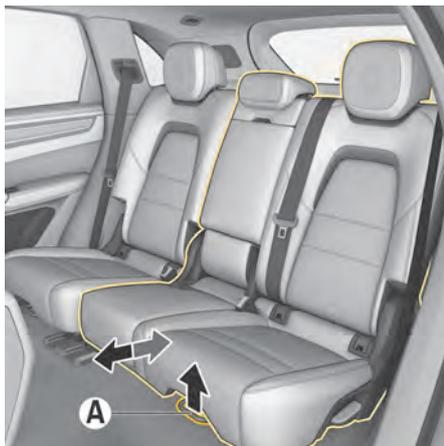


図. 65 リヤシートの前後調節

- ▶ レバー A (図. 65) を引き上げながらシートを前後にスライドさせてください。

## リヤシートバックレストの角度調節



図. 66 リヤシートバックレストの角度調節

1. リヤシートに座ってください。
2. レバー B (図. 66) を引き上げ、解除されたバックレストを前後に倒して調節してください。バックレストはレバーを放した位置で固定されます。バックレストの角度はいくつかの段階から選べます。

リヤシートバックレスト (カーゴポジション) のバックレスト傾斜の勾配が最大の位置は、チャイルドシートの使用には適していません。

- ▶ 56 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

## リヤシートバックレストを前方に倒して垂直位置に戻す

リヤシートバックレストは、ラゲッジコンパートメントをより広く使用するため、個別に前方に倒すことができます。

知識

リヤシートに置いた物によりリヤシートが損傷する恐れがあります。

- ▶ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

**i** インフォメーション

左側と中央のリヤシートバックレストはつながっています。このため左側のバックレストを倒すと、中央のバックレストも一緒に前に倒れます。

中央のバックレストは個別に倒すことができます。

リヤシートバックレストを前方に倒す



図. 67 外側のリヤシートバックレストを前方に倒す

✓ リヤシートは前後にスライドします。

1. ヘッドレストを押し下げてください。

▶ 76 ページの「ヘッドレストの調節」の章を参照してください。

2. 解除レバー **B**(図. 67) を引き上げながらバックレストを前方に倒してください。バックレストを接続音がする位置まで下げてください。このとき必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

外側のシートバックレストを垂直位置に調節する

**▲ 警告**

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

1. 解除レバー **B**(図. 67) を引き上げながらバックレストを後方に倒してください。
2. シートベルトを挟まないように注意してください。
3. バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。

中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

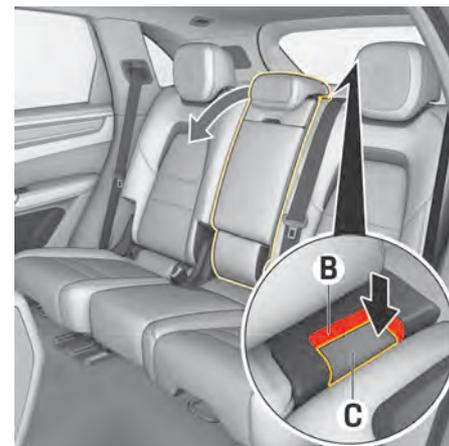


図. 68 中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

- ▶ 解除ボタン **C**(図. 68) を矢印の方向に押ししながらバックレストを前方に倒してください。

## 中央のリヤシートバックレストを垂直位置にする



**警告**

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しく固定されていないと、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク **B** がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク **B** が見えなくなったことを確認してください。
  - ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してから、もう一度起こしてください。
- 
- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こしてください。  
シートベルトを挟まないように注意してください。

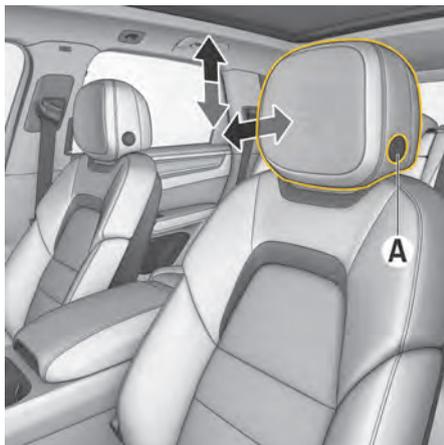


図. 69 フロントシートのヘッドレストの高さと前後位置の調節

- ▶ 各乗員のヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

### 上昇

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを押し上げてください。

### ヘッドレストを下げる

- ▶ ボタン **A** を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

### 前方向

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを前方向に引いてください。

### 後ろ方向

- ▶ ボタン **A** (図. 69) を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを後ろに押ししてください。

## リヤシートのヘッドレストの調節

リヤシートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

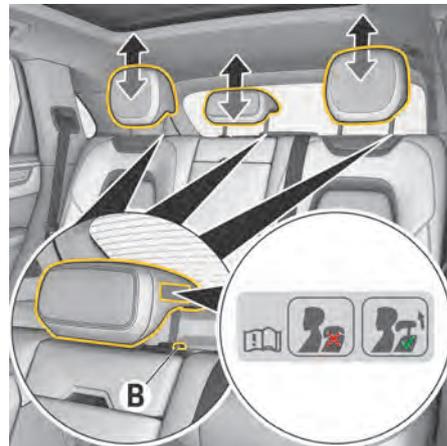


図. 70 リヤシートのヘッドレストの高さ調節

- ▶ 各乗員のヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ 安全表示に従って、ヘッドレストが常に正しく固定されていることを確認してください。

### 上昇

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを押し上げてください。

### ヘッドレストを下げる

- ▶ ボタン **B** (図. 70) を押しながら希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げてください。

後方の視界を確保するために、リヤシート中央のヘッドレストは最も低い設定より下の格納位置まで動かすことができます。

**▲ 警告**

リヤシート中央のヘッドレスト格納位置

ヘッドレストが正しく調節されていないと、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から動かし、所定の位置にロックできる上部の位置に調節してください。

### リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルドシートを正しく取り付けるために、リヤシートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。

**▲ 警告**

リヤシートのヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない

ヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ リヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ 各乗員のヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

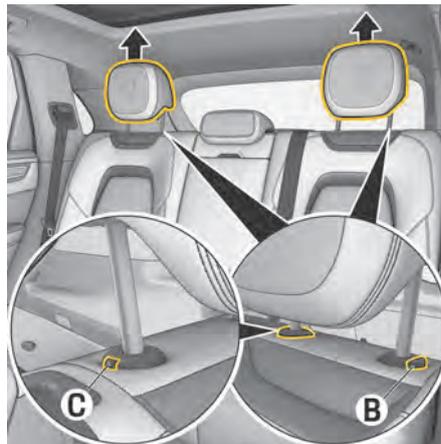


図. 71 外側リヤシートのヘッドレストを取り外す

#### 外側リヤシートのヘッドレストを取り外す

1. ヘッドレストをいっぱい押し上げてください。
2. 適切な道具 (エマージェンシーキーなど) を開口部 C(図. 71) に差し込みます。
3. ボタン B(図. 71) を押しながら、ボタン B に噛み合うまでヘッドレストを持ち上げてください。
4. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分折りたたんでください。
5. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。
6. 必要に応じてリヤシートのバックレストを起こして固定してください。



図. 72 中央リヤシートのヘッドレストの取り外し

#### 中央リヤシートのヘッドレストの取り外し

1. ボタン B(図. 72) を押しながら、ヘッドレストを完全に取り外してください。
2. ヘッドレストを車内の安全な場所に収納してください。

**▲ 警告**

ヘッドレストの取り違い

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストが再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ ヘッドレストが誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

### ヘッドレストの取り付け

1. リヤシート バックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、カチッと音がするまで押し下げてください。
3. ボタンB(図.72)を押しながら、ヘッドレストを完全に押し下げてください。  
この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。
4. リヤシートのバックレストを起こして固定してください。

### シートヒーター/シートベンチレーター のON/OFFの切り替え

#### シートヒーター/シートベンチレーターの ON/OFFの切り替え



図.73 フロントシートヒーター/フロントシートベンチレーターのON/OFFの切り替え

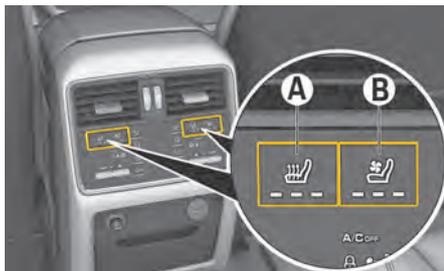


図.74 リヤシートヒーター/リヤシートベンチレーターのON/OFFの切り替え

#### シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンを作動状態にする。
- ▶ 必要に応じてボタンA(シートヒーター)またはボタンB(シートベンチレーター)を繰り返し押しします。  
 ◆ 選択した設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

#### シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ インジケータライトがすべて消灯するまで、必要に応じてボタンA(シートヒーター)またはボタンB(シートベンチレーター)を繰り返し押しします。

### ① インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が低いときはシートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、まずシートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

### シートヒーター/シートベンチレーターの設定

シートヒーターとシートベンチレーターに対し、シートクッションとバックレストのバランスを設定することができます。

1. ▶ ▶ **コンフォート** ▶ **運転席/助手席**  
▶ **ヒートバランス/換気バランス**
2. バランスを設定します。

### イージーエントリー機能およびマッサージ機能の使用

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

**▲ 注意** 運転席シートの自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調整された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージーエントリー機能をOFFにしてください。

### 知識

リヤシートを前方に倒した状態で設定を呼び出すと、車両を損傷する恐れがあります。

シートが後退して破損する可能性があります。

- ▶ リヤシートが折りたたまれている場合は、イージーエントリー機能をOFFにしてください。

### 降車するとき

ダッシュボードのタッチディスプレイ：  
機能を作動させる

▶ **車両** ▶ コンフォート ▶ コンフォート エントリー

- 機能が ON になっています。
- 機能が OFF になっています。
- ✓ 機能は作動しています
- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席ドアを開いてください。
- ➔ ステアリングホイールが上方に移動します。運転席が後方に移動します。

**乗車するとき**

**ダッシュボードのタッチディスプレイ：**

**機能を作動させる**

▶ **車両** ▶ コンフォート ▶ コンフォート エントリー

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ 運転席とステアリングホイールは、イージーエントリーで設定した位置にあります。
- ▶ 運転席のドアを閉じて、イグニッションを ON にします。
  - ➔ 運転席シートとステアリングホイールが保存した位置まで戻ります。

**i** **インフォメーション**

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

**i** **インフォメーション**

シート設定を手動で変更すると、イージーエントリー機能はキャンセルされます。

- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

**フロントシートマッサージ機能の使用 (装備により異なる)**

**マッサージ機能を ON にする**

- ✓ 車両の作動準備が整っています
- ▶ 該当するシートのボタン 9(図. 64)を押します。
  - ➔ マッサージ機能が ON に切り替わります。マッサージプログラムを選択することができるメニューがセントラルディスプレイに短時間表示されます。
- ▶ マッサージ強度を選択するには、 アイコンをタップします。
- ▶ マッサージ機能の ON/OFF を切り替えるには、 アイコンをタップします。

マッサージ機能は 10 分後に自動的に OFF になります。

**セントラルディスプレイでのマッサージプログラムの設定**

- ✓ 車両の作動準備が整っています

1. **車両** ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席 ▶ マッサージプログラム

2. 希望のマッサージプログラムを選択してください。

**リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション**



図. 75 リヤでの操作を無効にする

運転席ドア、コントロールパネルのセーフティ ボタンを押すと、リヤドアのパワー ウィンドウ ボタンとリヤセンター コンソールのコントロールパネルの機能が無効になります。

**チャイルドプロテクションの ON/OFF の切り替え**

- ▶ セーフティ ボタンを押します。
  - ➔ ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

リヤコントロールパネルで入力されたシート設定は保持されます。

リヤコントロールパネルの機能が停止します。

## サンバイザー サンバイザー



図. 76 サンバイザーの調整

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

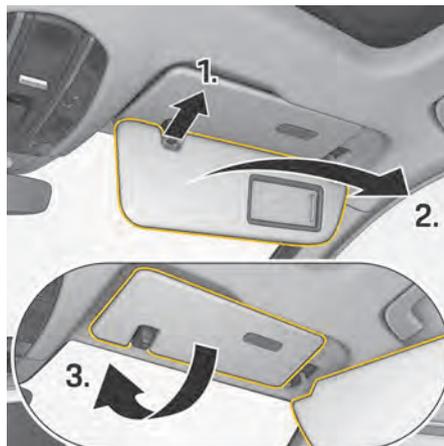


図. 77 左右方向からの眩しい光を防ぐ

横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください：

1. 内側のブラケットからサンバイザーを外します。
2. サンバイザーを回転させ、ドアウィンドウ側にセットします。
3. 2枚目のサンバイザーも回転させて下げることができます。

### **i** インフォメーション

サンバイザーを元の位置に戻すときは、先に2枚目のサンバイザーを戻す必要があります。2枚目のサンバイザーを戻さなかった場合、サンバイザーは収納位置に戻りません。

## バニティー ミラーを開く



バニティー ミラーのスライド式のカバーを開く

スライド式のカバーが開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はスライド カバーを閉じてください。



図. 78 バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのスライド カバーを開きます。バニティー ミラーのライトが点灯します。

## ミラー

### ドアミラーの使用

#### ▲ 警告

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

#### ▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性がありますこの液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

#### 知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

#### 知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。
- ▶ 電動格納式ドアミラーを手動で格納/復帰しないでください。

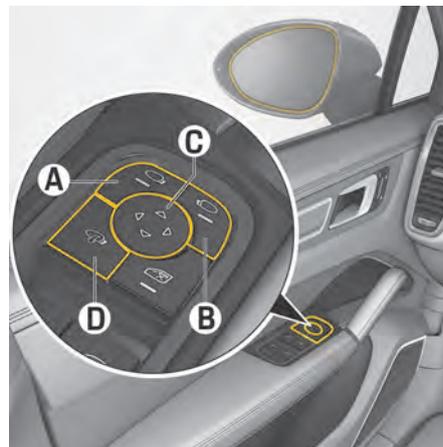


図. 79 ドアミラーコントロールパネル

- A 運転席側ドアミラーの選択
- B 助手席側ドアミラーの選択
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰

### ドアミラーの調節



図. 80 ドアミラーの調節

- ✓ 作動待機が確立されました。
  - ✓ 車両を OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分)。
1. ボタン A(図. 80) または B(図. 80) を押して、操作するドアミラーを選択します。
    - ➡ 選択したボタンのインジケーターライトが点灯します。
  2. 調節ボタン C(図. 80) を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

#### 電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

### ドアミラーの格納および復帰

#### 車内からのドアミラーの格納および復帰

- ✓ 約 50 km/h の最高速度。

- ▶ ボタン **D** (図. 79) を押します。
  - ➡ ドアミラーが格納または復帰します。
- ▶ 手でドアミラーの格納や復帰をしないでください。

## ドアミラーの自動格納および復帰

### ロック時のドアミラーの格納

- ▶ キーのボタンを少なくとも 2 秒間押し続けるか、運転席ドアハンドルの近接センサー (装備による) に少なくとも 2 秒間触れ続けてください。
  - ➡ ドアミラーが格納します。

### ドアミラーの自動格納

- ✓ 機能が作動しています。
  - ▷ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ 車両をロックします。
  - ➡ ドアミラーが格納します。

### ドアミラーの自動復帰

- ▶ ドアをロック解除します。
  - ➡ ドアミラーが復帰します。

### **i** インフォメーション

手でドアミラーを格納した場合はドアロックを解除した後、自動的に元の位置には復帰しません。

## ドアミラー設定の保存

ドアミラー設定の保存と呼出しに関するインフォメーション:

- ▷ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## 自動防眩機能の使用

明るい光がルームミラーに当たるとすぐに、ルームミラーおよびドアミラーはそれぞれ自動的に防眩機能が作動します。

リバースギヤに入れた場合またはインテリアライトが点灯している場合は、ミラーの自動防眩機能は作動しません。

ルームミラーの、またはフロントウィンドウを通してフロントライトセンサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

- ▶ ルームミラーの前のフロントガラス、またはリアウィンドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーの上に物を置いたまま運搬しないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントに荷物を安全に格納して、ラゲッジコンパートメントリッドを閉じてください。

## パーキングエイドとしてのミラーガラスの 下向き切り替え

メモリーパッケージ装備車両においては、ギヤをリバース (後退) に入れると助手席側のミラーが少し下向きになり、縁石を視認しやすくなります。

## ドアミラーを自動で下向きにする

- ✓ 作動待機が ON になっています。
- ✓ 機能が作動しています。

- ▷ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## ドアミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
  - ➡ 運転席ドアミラーを調節するためのボタン **A** のインジケーターライトが点灯します。
2. 助手席側ドアミラーを調節するにはボタン **B** を押してください。
  - ➡ 助手席のドアミラーが下向きになります。

## ドアミラーの下向き角度の個別調整

- ▶ ボタン **C** を押して、ドアミラーの角度を希望の位置に調整してください。

## ドアミラーを通常位置に戻す

車両速度が 15 km/h 以上に達すると、ドアミラーが通常的位置に戻ります。

## 助手席のミラーガラスを手動で通常位置に戻す

- ▶ 運転席ドアミラーのボタン **A** を押してください。

## プレヒーター

## 運転 / ドライバーアシスタンス アダプティブクルーズコントロール (ACC)

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

#### ▲ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事中のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できません。

- ▶ 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- ▶ 右左折専用レーン、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的にOFFにしてください。

#### ▲ 警告 覆われたレーダーセンサー

レーダーセンサーが覆われると、システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- ▶ レーダーセンサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。



図. 81 レーダーセンサーの取り付け位置

#### ▲ 警告 レーダーセンサーへの損傷

駐車場の段差などで、バンパー、ホイールアーチ、アンダーボディに衝撃や損傷が発生すると、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### ▲ 警告 アクセルペダルに足が置かれている

アクセルペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。足をアクセルペダルに置くと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- ▶ システムが作動している場合は、アクセルペダルから足を離してください。

#### ▲ 警告 システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

### システム制限

#### ▲ 警告 路面状態や天候が悪い状況

雨、雪、氷、霧、緩い砂利、水しぶきなどでレーダーセンサーの視界が妨げられる場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

氷、豪雨、ガードレール、トンネルの入り口などの反射物は、レーダーセンサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメントパネルに、システムが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

- ▶ このような状況ではシステムを使用しないでください。

**▲ 警告**

検出されない車両または物体

レーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域をカバーします。そのため、場合によっては、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- ▶ レーダーセンサーは、自車両正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視することに注意してください。その結果、以下の状況では、車両または物体が時間内に検出されないか、検出できない場合があります：
  - 車線変更または割り込みをする車両
  - 投影面積が小さな車両または幅の狭い車両
  - カーブの入口 / 出口
  - 停車中の車両
  - オーバーハングの長い車両
  - 歩行者、自転車、動物
  - 路上の障害物
  - 対向車および交差車両
- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

ティプクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に再度加速します。それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセルペダルを放すと復元されます。車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。これにより、システムは停止状態に切り替わります。

ACC の作動状態に関するインフォメーション：

▶ 85 ページの「各操作部」の章を参照してください。

## ディスプレイ

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージ、および警告は、インストルメントパネルの速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC メインメニューに表示されます。

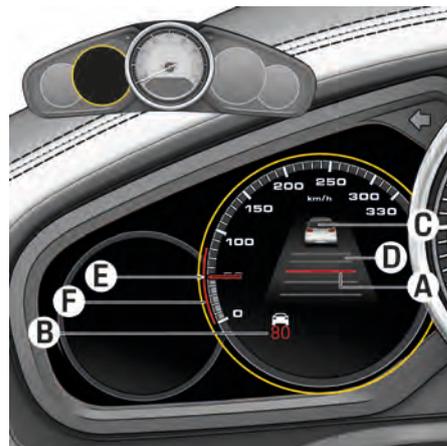


図. 82 速度 & アシスト機能ディスプレイの ACC

- A 前走車との設定車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 設定目標速度の表示

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を ON にすると、インストルメントパネルの速度 & アシスト機能ディスプレイにステータスディスプレイ **B** (図. 82) が表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイ **B** が赤色になります。

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイ **B** が灰色になります。

## 作動原理

1 アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルペダルを踏まなくても、約 30~210 km/h の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。アダプ

1. 一部の国で利用可能です



アダプティブクルーズコントロールが ON で目標速度が保存されていません。



目標速度が保存されており、前方の車両は検出されていません。



目標速度が保存されており、前方に車両が検出されています。

## 各操作部

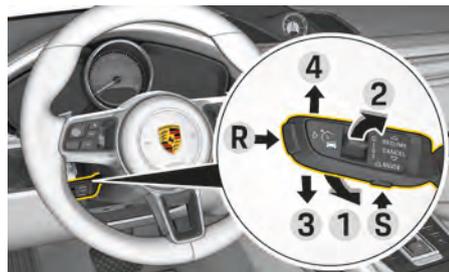


図. 83 コントロールレバー

- R システムの ON/OFF を切り替え、オプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)
- 1 速度制限を設定する / 上げる
- 2 速度制限を下げる
- 3 中断：制御のキャンセル
- 4 再開：制御を再開し、速度を適用する

## アダプティブクルーズコントロール(ACC)の ON/OFF の切り替え

常に、前回選択されたドライバーアシスタンスシステムが ON になります。ON になった時点では、ドライバーアシスタンスシステムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

### ACC を ON にする

✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだ ON になっていません。

1. コントロールレバーの R ボタンを押してください。
  - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ACC をまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して ACC を選択し、ボタンを押して確定します。
  - ➡ ACC が ON になっていて、**停止中**。

### 既に作動中のドライバーアシスタンスシステムから ACC への切り替え

1. コントロールレバーの S ボタンを押します。
  - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して ACC を選択し、ボタンを押して確定します。
  - ➡ ACC が ON になっていて、**停止中**。

### **i** インフォメーション

作動したドライバーアシスタンスシステムは、イグニッションを OFF にして再度 ON にした後でも、作動待機が復元された後でも、再び作動します。

## アダプティブクルーズコントロール(ACC)を OFF にする

- ▶ コントロールレバーの R ボタンを押してください。
  - ➡ インストルメントクラスターに ACC が OFF であることを示すメッセージが表示されます。
    - 目標速度設定は削除されました。
    - 目標車間距離が保存されています。

## アダプティブクルーズコントロール(ACC)の ON 時の作動モード

アダプティブクルーズコントロール ON 時には、3 種類の作動モードがあります：

- **アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動**  
アダプティブクルーズコントロールが自動的に速度および前走車との車間距離を制御します。ステータスディスプレイ B(図. 83) は赤色です。
- **アダプティブクルーズコントロール(ACC)スタンバイ**  
ブレーキペダルを踏んだときや、コントロールレバーを下方(3)の位置、**キャンセル**)に押し中断したときは、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。ステータスディスプレイ B が灰色になります。
  - ▶ 86 ページの「速度の設定 / 設定速度の変更」の章を参照してください。
- **アダプティブクルーズコントロール(ACC)は停止中**  
アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。

インストルメントクラスターに ACC が停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータス ディスプレイ **B** が灰色になります。

アクセルペダルを放した後、アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御) は再開されます。

## 速度の設定 / 設定速度の変更

### 速度の設定 / 設定速度の変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールが ON になっている。
- ✓ 静止した物体が前方に検出されていない。

例外：静止物が車両として検出されています。

### 目標速度の設定

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングホイールのレバーを前方に押ししてください。
  - ➔ 現在の速度が目標速度として保存され、自動的に維持されます(制御範囲内)。ステータスディスプレイ **B** に赤色で表示されます。
  - 赤色のバー **F** は車両の速度を示します。
3. アクセルペダルから足を放してください。
  - ➔ ACC が作動しました。

### ① インフォメーション

前方に静止物が検出されていて、レバーを前方(1の位置)に押しすと、インストルメントクラスターに ACC 作動不可のメッセージが表示されます。

### 設定速度を上げる

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを前方(1の位置)に軽く押すか(1 km/h 単位)、押し続けてください(10 km/h 単位)。
  - ➔ ステータスディスプレイ **B** が新しく設定した速度を表示します。
  - 赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

### 減速

- ▶ ステアリングホイールのレバーをステアリングホイール方向(2の位置)に短く引く(1 km/h 単位)か、引き続けます(10 km/h 単位)。
  - ➔ ステータスディスプレイ **B** が新しく設定した速度を表示します。
  - 赤色のバー **F** は車両の速度を示します。

### 設定車間距離の設定

前走車との目標車間距離は 5 段階に設定できます。段階 **3** をお勧めします。実際の車間距離は速度に応じて変化します。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。

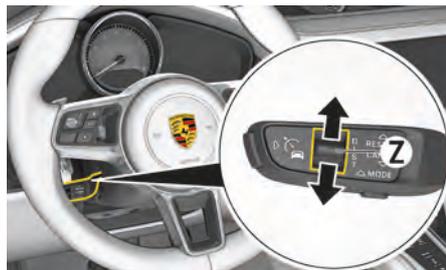


図. 84 設定車間距離の設定

### ① インフォメーション

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカースイッチ **Z**(図. 84) を押しすと、目標距離が変更されず、ドライバーアシスタンスシステムのメインメニューが表示されます。

### 目標車間距離を長くする

- ▶ ロッカースイッチ **Z** を上方向に押します。
  - ➔ 前走車 **C** までの目標車間距離表示 **A** のより長い距離セグメントが表示されます。

### 目標車間距離を短くする

- ▶ ロッカースイッチ **Z** を下方向に押します。
  - ➔ 前走車 **C** までの目標車間距離表示 **A** のより短い距離セグメントが表示されます。

### 前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、インストルメントクラスターに **C** またはステータスディスプレイに **B**(図. 83) の車両のシンボルマークが表示されます。

灰色のゾーン **D**(図. 83) が、前走車との現在の車間距離を示します。

前走車 **C** までの距離が短ければ短いほど、ディスプレイに車両は大きく表示されます。前走車 **C** までの距離が長ければ長いほど、ディスプレイに車両は小さく表示されます。

記号	適している走行状態	120 km/h での車間距離
■	走行車線での高速走行	約 33 m (± 1 秒)
■	少し余裕のあるドライビング	約 43 m (± 約 1.4 秒)

記号	適している走行状態	120 km/h での車間距離
	「前走車との間に2秒分の距離」に相当	約60 m(△ 約1.8秒)
	郊外道路の走行	約77 m(△ 約2.2秒)
	交通量が少ない道路での走行	約87 m(△ 約2.6秒)



**警告**

車間距離が近すぎる

前走車との車間距離が近すぎると、衝突する恐れがあります。

- ▶ 常に各国で規定されている距離を維持してください。

### 自動ブレーキで停車するまで

アダプティブクルーズコントロールが作動している場合、前走車が停止すると、車両はシステムの制御範囲内で減速して停車します。

インストルメントクラスターのインジケータライト **HOLD** が点灯します。

車両は停止状態を維持します。HOLD 機能に関するインフォメーション: 123 ページの「HOLD 機能の作動」の章を参照してください。



### インフォメーション

周囲の交通状況によっては(たとえば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。



### インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

### 再発進

アダプティブクルーズコントロールシステムの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

### アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押してください。

–または–

アクセルペダルを短く踏んでください。

- ➔ 車両が自動的に走行を再開します。

渋滞走行時に、数秒以内に自動的に再発進します。



### インフォメーション

状況に応じて、アダプティブクルーズコントロールは渋滞走行時の再自動発進をサポートします。これは、低速走行する交通状況での快適な制御を可能にします。

車両の走行準備が完了していることをドライバーに知らせるメッセージ「ACC準備が整っています」がインストルメントクラスターに表示されます。



**警告**

障害物がある場合の発進

渋滞走行時に、自分自身の車両と前走車との間に障害物がある場合でも、車両が再発進する可能性があります。その結果、衝突するおそれがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。



### インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

### アダプティブクルーズコントロール(ACC)のスタンバイ

自動クルーズコントロールおよび車間距離制御は車両が停止中または発進後、前方に静止した物体を検出していないとき再開できます。

- ▶ ステアリングホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押してください。

–または–

目標速度を設定してください。

### クルーズコントロールおよび車間距離制御の中断と再開

### クルーズコントロールおよび車間距離制御の中断–キャンセル

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。

–または–

ステアリングホイールのレバーを下方に押しします(3の位置、キャンセル)。

- ➔ アダプティブクルーズコントロールは停止中です。

保存されている目標速度と目標車間距離が保持されます。

ステータスディスプレイ B(図. 83) が赤色から灰色に変わります。



### インフォメーション

停車時は、速度および車間距離制御はコントロールレバーを使用してのみキャンセルできます。これによって、停止時に ACC も有効になる場合があります。

### 自動車速制御と自動車間距離制御の再開 - 再開

- ▶ ステアリング ホイールのコントロールレバーを上方(4の位置、再開)に押ししてください。
    - ➔ 前走車が目標速度よりも遅く走行していることが検出される場合、および先行車両との車間距離があらかじめ設定した車間距離未満である場合を除き、車両は保存されている目標速度になるまで加速します。
- ステータスディスプレイ B(図. 83) が灰色から赤色に変わります。

### ① インフォメーション

コントロールレバーを位置 3(キャンセル)にして速度および車間距離制御を中断していた場合、前方に静止した物体を検出していない状態でのみ制御を再開できます。

### ACC 警告メッセージ

#### アダプティブクルーズコントロール作動時のドライバー引き継ぎリクエスト(ACC 作動中)

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の警告メッセージに関する情報(ACC)：

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。



**警告**

システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

この場合、アダプティブクルーズコントロールシステムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに不十分です。

- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

### アダプティブクルーズコントロール(ACC)の例外

アダプティブクルーズコントロール(ACC)が使用できないか、OFF になっています。

- イグニッションがOFF になっている場合。
- ボルシェスタビリティマネージメントがOFF になっている場合。
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していない場合。
- エレクトリックパーキングブレーキが作動している場合。
- セレクトレーバーがN、R またはP の位置にある場合。
- 急な上り坂または下り坂。

### レーダーセンサーが前走車を正常に検出できない状況

レーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域をカバーします。その結果、以下の状況では、車両または物体が時間内に検出されないか、検出できない場合があります：

- 車線変更または割り込みをする車両
- 投影面積が小さな車両または幅の狭い車両
- カーブの入口 / 出口
- 停車中の車両
- オーバーハングの長い車両
- 歩行者、自転車、動物の場合
- 路上の障害物
- 対向車および交差車両

- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

- ▶ 対処し、必要に応じてブレーキをかけます。

### 車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

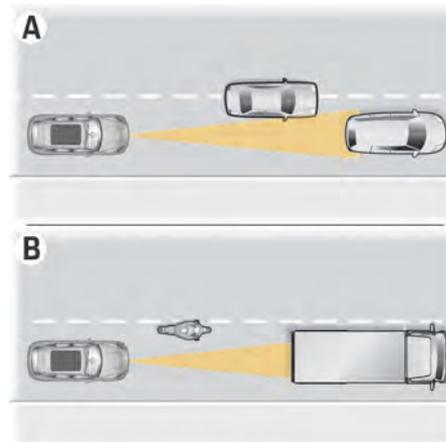


図. 85 車線変更や割り込みをする車両(A) および幅の狭い車両(B)

車線変更をする車両は、完全に同一走行車線に入りセンサーの検出範囲内に収まるまで検出されません。

### コーナリングおよび停止中の車両

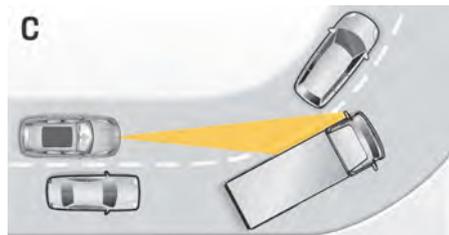


図. 86 コーナリング中の車両 (C) および停止中の車両 (D)

カーブに入るときやカーブから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングがかなり遅くなったりする場合があります。また、システムが隣の手線を走行する車両に反応する場合があります。

前走車が車線変更した後や渋滞の終わりなど、レーダーセンサーの監視範囲に突然現れる停止中の車両や障害物を、アダプティブクルーズコントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。



**警告**

停止車両の検出の制限

アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーは、停止中の車両を限定的にしか検出できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

#### オーバーハングの長い車両



図. 87 オーバーハングの長い車両

オーバーハングの長い車両 (木材運搬トラックなど) が前方にいる場合、レーダーセンサーはその車両の後部を検出できないか、正しく検出することができません。

#### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## アクティブパーキングサポート 一般的な安全に関する指示



**警告**

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

詳細については以下をご覧ください：

- ▶ 138 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。



**警告**

センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

**▲ 注意**

不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

**知識**

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、車両のタイヤとリムが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

**① インフォメーション**

パーキングアシスタンスシステムの使用に関する各国の法律を遵守してください。

駐車操作中に反対側の車線が使用される場合があります。

**システム制限**

下記の場合、システムは使用できません：

- トレーラーをけん引している場合。
- 「オフロード」走行プログラム実行中の場合。
- シャシー設定が「ハイレベル」の場合。
- 上り勾配が10%超の場合。
- 急カーブの場合。

システムの利用可能性には制限があります：

- 悪天候時（雨、雪、氷）、またはスノーチェーンが取り付けられている場合。
- オフロード、舗装されていない道路、緩い砂利、傾斜した路面、またはわだちなどの通常と異なる路面の場合。
- 悪い照明条件（夕暮れ、暗闇、強い日光など）。
- 車線の境界（縁石の前など）に、大きい草木や蓄積された落ち葉がある場合。
- 外部超音波を発する機器（他車のエアブレーキ、掃除機、削岩機など）が障害物の検出に干渉する場合があります。
- ステアリングホイールにアクセサリーが取り付けられている場合。

**知識**

- ▶ システムは次の物体および状況を検出できないことに注意してください。
  - 低い物体、細い物体、および突き出ている物体（トレーラーヒッチ、駐車しているトレーラーのドローバー、チェーンバリア、ポール、フェンスなど）。
  - 検出領域より上にある物体（駐車車両のバンパー、半開きのガレージドア、地面に接していない物体など）。
  - 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体（布、好ましくない状況における立体駐車場のポールや支柱など）。
  - 検出領域にすばやく移動してくる物体（他の通行者など）。
  - 駐車場の盛り上がったスピードリミッター（スピードバンパーなど）が障害物として検出される場合があります。
  - 崖および堤防。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

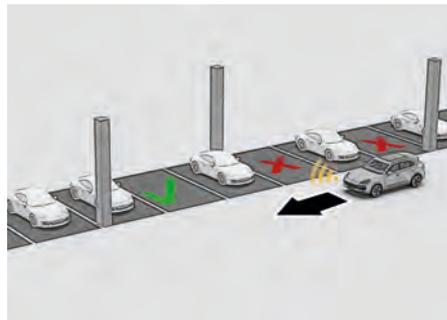


図. 88 立体駐車場の支柱や柱

- ▶ 立体駐車場で支柱や柱がある駐車エリアは選択しないでください。

**機能**

このシステムは、適切な駐車スペースの検索をサポートし、駐車と発進を引き継ぎます。ドライバーは、駐車スペースが駐車に適しているかどうかを個別に確認する必要があります。システムは、センサーを使用して車両の周囲を監視します。障害物が検出されると、システムはブレーキ介入を実行します。

**駐車スペース検索**

駐車スペース検索の作動条件：

- 前進している場合。
- 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
- 速度が 40 km/h 以下の道路に並行する駐車スペースの場合。
- 速度が 20 km/h 以下の道路に直角な駐車スペースの場合。
- 駐車している 2 台の車両の間の駐車スペース。

## 駐車

駐車機能の作動条件：

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角的な駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角的な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。

## 発進

発進機能は、車両よりも約 50 cm 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

## 駐車スペース検索

### 駐車スペース検索の開始



図. 89 アクティブパーキングサポート、駐車スペース検索

- A 駐車または発進する側を選択する
- B 駐車方向を選択する
- C 駐車操作の開始

駐車スペース検索はバックグラウンドで実行されます。駐車スペース検索を開始したのが駐車スペースを通過した後でも、その駐車スペースを選択できます。

1. PCM の  をタップします。
2. 駐車している車両をゆっくり通過します。

3. PCM の指示に従います。
4. 駐車スペース検索は、最初は助手席側で作動します。  
駐車する側を変更するには、対応する方向指示灯(左 / 右)を作動させます。  
- または -

PCM で関連する記号 A(図. 89) をタップします。

5. 目的の駐車スペースを確認したら、車両を停止します。  
見つかった駐車スペースが PCM にオレンジ色の領域として表示されます。駐車する方向が複数ある場合、それらも表示されます。
6. ディスプレイ上の車両の前に矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。  
駐車操作は、駐車スペースへのルートが表示されないと開始できません。

### 7. 駐車スペースの選択：

- レーンに沿って駐車することができる場合は、右側の希望するオレンジ色のエリア(図. 89) をタップして PCM に切り替えます。
- PCM の希望する駐車方向の駐車スペースシンボル B(図. 89) をタップします。

### 駐車スペース検索の中止

- ▶ PCM の  をタップします。

## 駐車操作

### 駐車操作の開始

- ✓ 車両が停止している。
  - ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
  - ✓ 駐車スペースが PCM で選択されている。
1. ステアリングホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
  2. PCM のボタン C(図. 89) をタップします。
  3. ブレーキペダルを放します。  
➔ 駐車操作が開始されます。
  4. 交通状況と車両の周囲を確認します。
  5. 障害物が現れたり、表示されたルートに障害物がある場合はすぐにブレーキペダルを踏みます。  
➔ 駐車操作が中断されます。  
▷ 92 ページの「駐車操作を中断する：」の章を参照してください。
  6. 車両が目的位置に達したら車両のコントロールを行ってください。
    - 通知が表示されます。
    - 坂道では、ホイールが縁石に向かって操縦されます。
    - トランスミッションパーキングロックが作動し、パーキングブレーキがかけられます。  
➔ ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンが OFF になります。

### 発進手順の開始

- ✓ エンジンを作動状態にする。
- ✓ 車両がまだ動いていない。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. PCMのをタップします。
3. 発進する方向を変更するには、対応する方向指示灯(左 / 右)を作動させます。  
- または -

PCMで関連する記号A(図. 89)をタップします。

4. PCM内で、ボタンC(図. 89)を押します。
5. ブレーキペダルを放します。  
➔ 発進手順が開始します。
6. 交通状況と車両の周囲を確認します。
7. 障害物が現れたらすぐにブレーキペダルを踏みます。  
➔ 駐車操作が中断されます。  
▷ 92 ページの「駐車操作を中断する：」の章を参照してください。
8. 車両が目的位置に達したら車両のコントロールを行ってください。  
- 衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は、駐車スペースから十分離れた場所まで走行し、通知が表示されます。  
➔ ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、エンジンがOFFになります。

#### 駐車操作を中断する：

- ▶ ブレーキペダルを踏み、車両を停止させます。その後、駐車操作を続行できます。

1. PCMの[駐車プロセスを続行]をタップします。
2. 必要に応じてブレーキペダルを放します。

#### 駐車操作の終了：

- ▶ ステアリングを操作します。  
- または -  
作動モードを変更する。  
- または -  
パーキングブレーキをかけます。  
- または -  
アクセルペダルを踏み込んでください。

駐車操作を再度開始する必要があります。そのため、エンジンをOFFにしてから再びONにして、駐車スペースから操作して出ます。

## リモート パーキング

### 一般的な安全に関する指示



危険

有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 閉鎖された空間では、エンジンを作動したままの状態にしないでください。
- ▶ 駐車後、エンジンが停止していることを確認してください。



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。携帯電話でアクティブパーキングサポートを操作する人は、車両の運転者と見なされ、有効な運転免許証を持っていないければなりません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 車両までの適切な距離を確保してください。
- ▶ 駐車操作中に人や動物を車に乗せてはなりません。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

- ▷ 138 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▷ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。
- ▷ 89 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。



#### インフォメーション

パーキングアシスタンスシステムの使用に関する各国固有の法律を遵守してください。

### システム制限

アクティブパーキングサポートのシステム制限が適用されます。

▷ 90 ページの「システム制限」の章を参照してください。

さらに、次の条件が適用されます：

**下記の場合、システムは使用できません：**

携帯電話と車両間の Bluetooth® 接続が他のデバイスからの干渉の影響を受けた場合。

**システムは下記の物を検出できません：**

- ガレージ内の検出領域より上にある物体 (ガレージドアリンクージ、地面に接していない他の物体など)。
- 背が非常に低いか、地面に横たわっている物体。
- 非常に狭い、または突き出た障害物 (駐輪している自転車など)。
- ダブル ガレージ。

**機能**

リモートパーキングでは、アクティブパーキングサポートの機能を車外にあるリモートコントロール機能を備えたアプリを介して制御できます。

▷ 89 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。

**駐車場**

駐車機能の作動条件：

- 駐車スペースに道路に並行して後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。

- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前面が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。
- 車両がシングルガレージの前でできるだけまっすぐの位置にあるとき、シングルガレージ内 (最も狭いポイントでの最小幅 2.60 m) に前進する場合。

**発進**

発進機能：

- 車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進で発進する場合。
- 道路へ直角に左折または右折で前進する場合。
- 道路に直角にまっすぐバックで発進する場合。
- シングルガレージ (最も狭いポイントでの最小幅 2.60 m) からバックで発進する場合。

**携帯電話を準備する**

- ✓ ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup>が携帯電話にインストールされています。

リモートパーキングに携帯電話を使用するには、アクティブパーキングサポートとペアリングする必要があります。

1. アカウントマネージメントをPCMで開きます。
2. 新しいアカウントを作成します。
3. ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup>を携帯電話で開きます。
4. ユーザーアカウントを使用してアプリにログインします。
5. アプリで [リモートパーキング] を選択します。
6. アプリの指示に従います。

▷ 車載の取扱説明書で「アプリ」の章を参照してください。

**① インフォメーション**

Porsche Connect に関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、Porsche Connect 取扱説明書およびヘルプ) は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で入手できます。

**駐車スペース検索**



図 90 リモートパーキング、駐車スペース検索

- A 駐車または発進する側を選択する
- B 駐車方向を選択する
- C リモートパーキングを開始

アクティブパーキングサポートで説明されている駐車スペース検索機能：

▷ 91 ページの「駐車スペース検索」の章を参照してください。

**リモートパーキング操作の開始**

**① インフォメーション**

キーと携帯電話は車から約 3 m 離れていなければなりません。そうしないと、駐車操作が中断されます。

1. 名前と機能は変更される可能性があります。

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ PCMで駐車スペースまたはシングルガレージが選択されている。

1. PCMのボタン **C**(図. 90) をタップして指示に従ってください。
2. セレクターレバーの **P** ボタンを使用して、トランスミッションパーキングロックを作動させます。
3. メッセージを確認して、リモートパーキングを有効にします。
4. キーと携帯電話を持って、車両から離れます。
5. ドアおよびラゲッジコンパートメントリッドを開じます。
6. ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup> を起動し、 を選択して取扱説明書に従ってください。
7. 携帯電話で駐車操作を開始します。
8. 障害物が現れたらすぐに、携帯電話のボタン  を放します。
  - ➔ 駐車操作が中断されます。
    - ▷ 94 ページの「駐車操作の中断」の章を参照してください。
9. 携帯電話の取扱説明書に従ってください。
  - ➔ 車両が駐車位置に達すると、メッセージが表示されます。
 

到達した駐車位置は、携帯電話を使用して前後に修正できます。

駐車操作を正常に完了した後：

- 作動モード **P** を選択します。
- パーキングブレーキをかけます。

- エンジンを OFF にします。
- 車両をロックします。

## リモート発進操作の開始

- ✓ 停車している。
  - ✓ 最大勾配：10%
  - ✓ エンジンが停止している
  - ✓ 車内にキーはありません。
  - ✓ キーと携帯電話が車両から約3m離れている。
1. ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup> を起動し、 を選択して取扱説明書に従ってください。
  2. 携帯電話を使用してエンジンを始動します。
  3. 発進方向と発進側を選択し、発進操作を開始します。
  4. 障害物が現れたらすぐに、携帯電話のボタン  を放します。
    - ➔ 駐車操作が中断されます。
      - ▷ 94 ページの「駐車操作の中断」の章を参照してください。
  5. 車両が目的の位置に到達したら、携帯電話のボタン  を放して車両に近づきます。
  6. ドアをロック解除します。
    - ▷ 42 ページの「概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック」の章を参照してください。
  7. ステアリングホイールを動かさずに車両に乗り込み、ブレーキペダルを踏んで、イグニッションロックのコントロールユニットをイグニッションロックの位置 **2** まで回します。

▷ 107 ページの「イグニッションロック」の章を参照してください。

## インフォメーション

ドライバーが引き継いだ後、エンジンはオートスタート/ストップ機能を使用して OFF にすることができます。

## 駐車操作の中断

- ▶ 携帯電話のボタン  を放します。
 

駐車操作が中断されます。

以下の場合に駐車操作は自動的に中断されます：

- 車両の経路に障害物が検出された場合。
- キーまたは携帯電話が駐車操作の範囲外の場合。
- ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドが開いている場合。
- ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup> が着信や他のアプリによってバックグラウンドにプッシュされた場合。

原因が解消された後、駐車操作を続行できます：

- ▶ 携帯電話のボタン  を押します。

以下の場合に駐車操作はキャンセルされます：

- キーのボタンが押された場合。
- 車室内で相互作用が検出された場合。
- 駐車操作の制限時間を超過した場合。
- 駐車操作の最大許容距離に達した場合。

車両は停止し、エレクトリックパーキングブレーキが作動し、作動モードが **P** になり、駐車操作は終了します。

1. 名前と機能は変更される可能性があります。

## ① インフォメーション

駐車操作が終了した場合、車両の制御を引き継ぐ必要があります。駐車スペース検索を再開して、車両を駐車してください。

## 操作アシスト



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

- ▶ 138 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。
- ▶ 89 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。

## システム制限

- アクティブパーキングサポートを使用している間、システムは利用できません。
- トレーラーけん引時、システムは利用できません。

- リヤリッドが開いている場合、システムは利用できません。
- 10 km/h 以上の車速でシステムは使用できません。
- システムは、運転経路にある高さが約 10 cm 以下の障害物および動いている障害物を検出できません。

## 機能

操作アシストは、センサーを使用して車両の後方および側面のエリアを監視します。静止した障害物があると、断続的な警告音と PCM 上の視覚的な表示によって通知します。衝突が差し迫っている場合、システムは自動的にブレーキをかけ、車両を停止させます。

システムは使用できません：

- ✓ 作動モード **R** を選択している。
- ✓ シンボル  が PCM で有効です (シンボルが白色に点灯する)。

## 操作アシストによる自動ブレーキ操作後：

- ▶ ブレーキペダルまたはアクセルペダルを踏んで、車両のコントロールを行います。
  - ➡ 操作アシストは一時的に無効になりますが (シンボルはグレー)、ON の状態が保持されます。

## 操作アシストの ON/OFF の切り替え

- ▶  ▶ **アシスタンス** 
  - ➡ 操作アシストが ON または OFF になります。

## 操作アシストを一時的に OFF にする

- ▶ リバースカメラタッチディスプレイの  ボタンをタップします。
  - ➡ リバースカメラタッチディスプレイの  シンボルが赤色に点灯します。システムは、現在の操作状況に対して OFF になります。

10 km/h の走行速度を超えるか、走行方向を変更すると、一時的なスイッチ OFF が終了します。システムは次の操作状況で再度 ON になります。

## アクティブレーンキープ

### 一般的な安全に関する指示

アクティブレーンキープは一部の国で利用可能です。

#### ▲ 警告 集中力の低下

アクティブレーンキープは、高速道路やよく整備された主要道路でのみ使用することを想定して設計されています。アクティブレーンキープを使うとより快適に運転できますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることもおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリングホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作(ステアリング操作、加速または減速)を引き継げる状態でいてください。インストルメントクラスターに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

次の状況が発生する可能性があります：

- 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
- ドライバーの積極的なハンドル操作中には、ステアリング介入による補助が制限されたり、まったく作動しなかったりする場合があります。
- システムは周辺状況を完全には検出できません。この場合、ステアリング介入が作動しないことがあります。

- システムは周辺状況を正確に解釈することができません。不必要なステアリング介入が生じる可能性があります。
- わだち、カーブの多い道、坂道または横風などがあると、ステアリング介入だけでは、車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。これらの状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。
- 右左折専用レーン、高速道路の出口、道路工事または市街地といった不確実な道路状況においては、システムが想定通りに作動しない可能性があります。ステアリング介入が行われなかったり、意味をなさなかったりすることがあります。
- システムは、不必要なまたは予期せぬ状況で作動したままとったり、突然停止モードに切り替わったりする可能性があります。

#### ▲ 警告 車両周辺の検出の制限

センサー(カメラ、レーダーなど)が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素(降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など)により制限される場合があります。この場合、ステアリング介入が作動しなくなったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ フロントカメラレンズおよびフロントレーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- ▶ センサーの視野を覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

#### ▲ 警告 予期しないシステムの挙動

ある状況では、ステアリング介入機能による補正だけでは車両を車線内に維持できません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

#### ▲ 警告 警告メッセージを伴うシステムの誤作動

システムエラーが発生した場合、アクティブレーンガイダンスは自動的にOFFになることがあります。ステータス表示が消えて、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作(ステアリング操作、加速または減速)を引き継げる状態でいてください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

#### ▲ 警告 物理的な限界とシステム制限

ある状況では、ステアリング介入機能による補正では車線を守るのに十分ではありません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

## ① インフォメーション

ドライバーのステアリング操作は、アクティブレーンキープが作動している場合に監視されます。ステアリングが操作されない場合(ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストールメントクラスターに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じず操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。緊急停止機能装備車では、車両が減速し停止する場合があります。

▶ 136 ページの「緊急停止機能」の章を参照してください。

▶ 83 ページの「アダプティブクルーズコントロール (ACC)」の章を参照してください。

▶ 154 ページの「レーンキープアシスト」の章を参照してください。

▶ 157 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。

## システム制限

### ▲ 警告

事故につながる危険がある  
運転状況

システムがアクティブレーン ガイダンスを保証できない運転状況がいくつかあります。従って、システムを使用する際に事故が起きる危険があります!

これらには、以下の運転状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- 路面状態が悪い状況 (車線表示が消えているか不明瞭な道路を含む)
- 道路工事の近く
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- ワインディングおよび細い道での走行
- 分岐点や料金所などの不安定な交通状況
- オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合

システムは、常に、車両を車線の中央部分または前走車の後ろの中央位置に保持できるわけではありません。

アクティブレーン ガイダンスは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

- ▶ 上記の状況では、絶対にアクティブレーン ガイダンスを使用しないでください。
- ▶ アクティブレーン ガイダンスは、路上にある障害物を回避するよう車両を誘導する目的で使用しないでください。

## ① インフォメーション

システムに不具合がある場合、またはアクティブレーン ガイダンスがこの章に記載のとおりには作動しない場合には、アシスト機能を使用しないでください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

アクティブレーン キープで周辺をモニタリングするための主要コンポーネントには、フロントカメラ、フロントおよびリヤレーダーならびに超音波センサーが含まれています。記録されたセンサー データは照合されて評価されます。

アクティブレーンキープは、連続的なステアリング介入により、ドライバーが車両を車線の中央に保持できるように支援します。

システムが作動している場合、ドライバーは車線内での希望する位置を設定できます。ドライバーが希望する位置に車両を数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、車線内のオフセット位置での走行を開始します。システムが停止するまたは無効化される場合 (例: 方向指示器を作動、車線変更、ブレーキ作動)、位置の変更は再度リセットされます。

アクティブレーンキープは、アダプティブクルーズコントロール (ACC) と連動しており、約 0 km/h - 210 km/h (0 mph - 130 mph) の速度範囲で作動します。このシステムは、高速道路やよく整備された郊外道路での運転向けに設計されています。

アクティブレーンキープを使うと、渋滞中でもより容易に運転できます。システムは、他の物体 (車両など) よりも車線区分線を常に優先します。このため状況によっては、システムを作動させるのに、ドライバーが車両を車線の中央位置にしなければならない場合があります。ドライバーが、システム作動直後にステアリングホイールを介して強いステアリングトルクを感じることをのまないよう、車線中央以外の場所ではシステムが作動しないようになっています。

ドライバーには、路肩に移動して緊急車両のために車線を空ける責任が常にあります。この状況では、ドライバーは、システムを OFF にするか、単にステアリングホイールを使ってシステムを無効にすることができます。

### 方向指示器が作動したときの挙動

システムは、方向指示器の信号も考慮します。ドライバーが方向指示器を作動させると、選択された方向でのステアリング介入が制限されます。ステータスアイコンは (有効を示す) 緑色のままとなります。

✓ 適用対象：レーンチェンジアシスト装備車。

レーンチェンジアシスト装備車両でこの機能が有効な場合、深刻な事故につながる可能性のある状況でドライバーが車線変更を試みると、補正的なステアリング介入によりその旨をドライバーに警告します [インフォメーションステージ、警告ステージ]。これは、該当する方向への方向指示器が作動している場合でも同様です。ドライバーがステアリング介入を無効にすると、(PCM 内のレーンキープアシストと警告シグナル音量が有効な場合) 警告音により追加の警告が行われます。

1. 一部の国で利用可能です。

### ステアリングが操作されない場合の挙動

ドライバーのステアリング操作は、アクティブレーンキープが作動している場合に監視されます。ステアリングが操作されない場合 (ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されません。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わりません。警告とブレーキ機能が作動している車両の場合

1、ブレーキがかかり車両が停止する可能性があります。  
 ▶ 164 ページの「警告およびブレーキアシスト」の章を参照してください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### ディスプレイ



図. 91 速度 & アシスト機能ディスプレイのアクティブレーンキープ

- A アクティブレーンキープステータスディスプレイ
- B ACC 希望速度と先行車両が表示されたステータスディスプレイ

### システムステータスの読み方

表はアクティブレーンキープのシステムステータスおよびインストルメントパネルにおけるその表示を示します。

ステータス表示	意味
表示なし	アクティブレーンキープが OFF になっています。

ステータス表示	意味
	アクティブレーンキープはONになっていますが、停止しています。
	アクティブレーンキープはONになっており、作動しています。
	アクティブレーンキープおよびレーンキープアシストはONになっていますが、両方も停止しています。
	アクティブレーンキープおよびレーンキープアシストはONになっており、両方も作動しています。
	アクティブレーンキープは作動しており、レーンキープアシストは停止しています (例: 車速が60 km/h 以下の場合)。
	アクティブレーンキープは停止しており、レーンキープアシストは作動しています (例: ACC ステータスが「走行可能」の場合)。

### ① インフォメーション

アクティブレーンキープとレーンキープアシストが同時に作動している場合、アクティブレーンキープは車両を車線内に維持し続けます。また、車線を逸脱すると、レーンキープアシストが視覚的および音響的にドライバーに警告します。

▶ 154 ページの「レーンキープアシスト」の章を参照してください。

▶ 157 ページの「警告音の設定」の章を参照してください。

## アクティブレーンキープのON/OFFを切り替える

アクティブレーンキープは、アダプティブクルーズコントロール (ACC) または ポルシェ イノドライブ (PID) が有効化されている場合にのみ利用できます。アクティブレーンキープは、ACC または PID が有効化されているときに ON/OFF を切り替えることができます。コントロールレバーを使用して、インストールメントパネルおよび PCM で選択または選択解除できます。

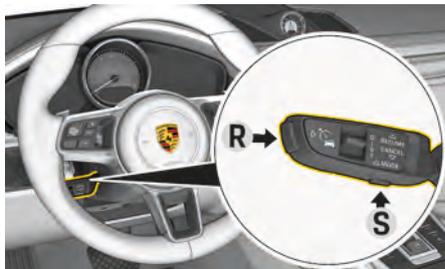


図. 92 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

- R システムの ON/OFF を切り替え、オプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

1. コントロールレバーの S (図. 92) ボタンを押します。
  - ▶ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストールメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールの左ロータリーノブを使用して [アクティブレーンキープ] を選択し、ノブを押して確定します。
  - または -

▶ アシスタンス ▶ アクティブレーンキープ

### ① インフォメーション

ブレーキを踏みかステアリングを操作して無効にすることで、いつでもレーンキープ ON の作動を停止できます。

## アクティブレーンキープ ON を ON にしても停止モードになる場合

アクティブレーンキープ ON を ON にしても停止モードになる場合、下記のような原因が考えられます：

- 車両速度が、停止モード閾値である約 210 km/h を超えている
- 環境モニタリングに必要な要素が不明瞭である。これには、(降雪、土砂、濡れた路面、対向車両のヘッドライトなどにより) 現在走行中の車線の表示を検出できないといった状況があります。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎます。
- 車線が広すぎるか狭すぎる。
- 激しい運転を伴う一時的な状況である。
- ドライバーがステアリングホイールを握っていません。
- ACC が「スタンバイ」モードである。

## 追加情報

### レーンキープアシストとアクティブレーン ガイダンスの比較

ポジション	レーンキープアシスト	アクティブレーンキープ	レーンキープアシスト+アクティブレーンガイダンス
ステータスアイコン			
車線中央維持機能	不可	可	可
車線逸脱警告	可	不可	可
ステアリング介入により車線逸脱を防止 (車道外側線ガイダンス)	可	不可	不可
速度範囲	約 65~250 km/h	約 0~210 km/h	詳しくは各機能の説明を参照
ACCによる	不可	ACC が作動している場合のみ	詳しくは各機能の説明を参照

## リヤクロストラフィックアラート

### 一般的な安全に関する指示



警告

不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物または車両が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

▶ 138 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

▶ 89 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。



警告

検知されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

### システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります：

- 車両が後方に突き出ている車両の隣に駐車している。
- 交差車両が非常に速い速度で接近してくる。
- リヤバンパーが汚れている。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください：
  - 138 ページの「システム制限」の章を参照してください。
  - 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

### 作動原理

リヤクロストラフィックアラートは、車両の後方を監視し、車両の発進中に車両の後ろを横切る通行者(乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など)についてドライバーに警告します。



図. 93 リヤクロストラフィックアラート表示

このシステムは以下の条件で利用できます。

- ✓ リヤクロストラフィックアラートがONになっている。
- ✓ ポルシェスタビリティマネジメント (PSM) がONになっている。
- ✓ 作動モード R を選択している。
- ✓ 車両速度が約 15 km/h 未満。

作動モード R が選択されている場合、PCM に矢印が表示され、車両の経路を横切る他の道路利用者が近づいていることをドライバーに知らせます。危険な状況が発生する可能性があることを視覚と音により警告します。ドライバーが警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するために、システムがブレーキ振動による警告を実行します。

## リヤクロストラフィックアラートの ON/OFF の切り替え

リヤクロストラフィックアラートは、PCM で ON/OFF を切り替えることができます。

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ リヤクロストラフィックアラート

車両を OFF にした後、システムステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▶ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

## 降車警告

### 一般的な安全に関する指示

- ▲ 警告 降車の際の不注意

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。車両の乗員は、降車の際に障害物に十分な注意を払う責任があります。このシステムは、車両の乗員の注意力に代わるものではありません。

- ▶ 常に車両の周囲に気を配ってください。
- ▶ 降車の際には、後ろから他の道路利用者が近づいていないことを確認してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

▶ 89 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。

▶ 138 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

## システム制限

次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。

- 車両が非常にゆっくりまたは非常に速く接近する場合。
- 近くに駐車している車両によってセンサーが制限されている場合。
- センサーの視界がリヤバンパーの汚れによって制限されている場合。

## 作動原理

降車警告は、車両が停止しているときに後方から近づいてくる他の道路利用者 (自動車、バイク、自転車など) に対する注意を乗員に喚起します。

## 表示



図. 94 降車警告インジケータ

A ドアミラーの警告インジケータ

B ドアパネルのインジケータ

ドアを開くとき、またはドアが既に開いているときは、各ドアのドアミラーとドアパネルにあるインジケータが点灯し、道路利用者が近づいていることを示します。

他の道路利用者が近づき、危険が検出されたときに車両の乗員がドアを開こうとすると、ドアは一時的に開かなくなります。ドアミラーのインジケータ A (図. 94) とドアパネルのインジケータ B が短時間点灯します。

ドアが既に開いているときに他の道路利用者が近づき、危険が検出された場合、インジケータ A と B は危険がなくなるまで点灯します。

## 降車警告の作動および停止

### ▶ 車 ▶ アシスタンス ▶ 降車警告

車両を OFF にした後、システム ステータスが選択したアカウトに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▶ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

システムの電源は、車両が OFF になった後、約 3 分でシャットダウンします。ドアパネルのインジケーター **B** (図. 94) が短時間点灯します。他の警告は出ません。

## オートスタート/ストップ機能

### オートスタート/ストップ機能

たとえば、信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。こうしてオートスタート/ストップ機能により燃料消費が節減されます。エンジンが自動停止しているときもイグニッションは ON の状態のままです。すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

#### エンジンを自動停止するための条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能が ON になっている。
- ✓ ボンネットが閉まっている。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている
- ✓ ティプトロニック S 作動モード **D**、**M**、**N**、または **P** が選択されている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または運転席ドアを閉じている。

## エンジンの自動停止および自動始動

### エンジンの停止

1. ブレーキペダルを踏んで車両にブレーキをかけてください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。  
-または-  
停車中にセレクター レバーのボタン **P** を押してください。

### **i** インフォメーション

停車中にブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、HOLD 機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。エンジンはアクセルペダルを踏み、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

### **i** インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が ON の場合、前走車が停車したら車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両は HOLD 機能によって停止状態に維持されます。

### エンジンの始動

- ✓ 作動モード **D**、**M**、**N** または **P** を選択している。
- ▶ フットブレーキを放してください (作動モード **P** 以外)。  
-または-  
アクセルペダルを踏み込んでください。  
-または-  
ステアリングホイールを動かしてください。  
-または-  
作動モード **R** を選択してください。
- ▶ 通常の運転操作で発進できます。

### **i** インフォメーション

エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。シフトレバーはニュートラル位置になっている必要があります。場合により、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

## ① インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

### 降車後の反応

エンジンが自動停止した後に降車する(運転席シートベルトを着用しておらず、運転席ドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合)と、エンジンは**自動的に始動しません**。作動モードが**D**、**R**または**M**の場合:

- エレクトリックパーキングブレーキがかかりません。
  - ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- トランスミッションはパーキングロック**P**に入っている。
  - ▶ 118 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を動かすことができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

作動モード**D**、**R**または**M**でパーキングブレーキが解除された場合、またはブレーキを踏んだ状態で作動モード**D**、**R**または**M**に切り替えた場合、エンジンは再始動します。

降車後 30 秒以内に以下の条件のうちの 1 つが検出された場合、オートスタート/ストップ機能が再開します。

- ブレーキペダルを踏み、さらに運転席ドアを閉じるか、運転席シートベルトを着用した場合。
  - または -
  - 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
  - または -
  - 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用したうえで、アクセルペダルを踏んだ場合。

車両を離れてから 30 秒以内にオートスタート/ストップ機能を OFF にした場合、運転席ドアを閉めてシートベルトを着用してからでなければ、エンジンが始動しません。上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを**手動で始動**する必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 107 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。
- ▶ 70 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

## オートスタート/ストップ機能の ON/OFF の切り替え

### OFF にする

- ▶  ▶  ▶ Start/Stop OFF ▶
  - ➔ エンジンの自動停止が無効になります。

### ON にする

- ▶  ▶  ▶ Start/Stop OFF ▶
  - ➔ 停車すると、エンジンが自動的に停止します。

### オートスタート/ストップ機能の例外

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツプラスモードが作動している場合。
- オフロード走行プログラムが ON の場合。
- PSM が OFF またはスポーツモードの場合。
- 操作中。
- ボルシェヒルコントロール(PHC) が作動している場合。
- エアコン機能の「最大冷房出力」が有効になっている場合
- 「フロントウィンドウデフロスター」機能が有効になっている場合。
- 高地の場合。
- 車高を調整しているとき
- トレーラーが検出されている場合(バイクラックまたはトレーラーコネクターが差し込まれている)。他のメーカーのトレーラーヒッチが車両に取り付けられている場合は、オートスタート/ストップ機能を手動で停止する必要があります。

次のような状況では、オートスタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターが高負荷で作動している場合
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂または下り坂。

- オートエンジン診断機能など車両が内部点検を実行している場合
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いときまたは高いとき

### ① インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

## オートスタート/ストップ機能の表示



### 自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止し、エンジンの自動始動が利用できる場合、インストルメントクラスターのインジケーターライトが緑色に点灯します。



### 自動停止または再始動の準備ができていない

エンジンの自動停止が利用できない、またはエンジンが自動停止した後、再始動できない場合は、停車中にインストルメントクラスターのインジケーターライトが黄色に点灯します。

オートスタート/ストップシステムは、次の状態を検出します：

- エンジン自動停止の前提条件が1つ以上満たされていない。
  - または - オートスタート/ストップ機能の例外条件が、1つ以上満たされている。
- ▷ 102 ページの「オートスタート/ストップ機能」の章を参照してください。
- ▷ 103 ページの「オートスタート/ストップ機能のON/OFFの切り替え」の章を参照してください。

## 警告メッセージに対応する

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が停止していることがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ポルシェヒルコントロール(PHC)

ポルシェヒルコントロール(PHC)は、急な坂道、冬場の山道などで下り坂を前進または後退でゆっくり走行する際にドライバーを支援するアシスタンスシステムです。システムは4つのホイールすべてにブレーキをかけて、速度を制限します。ABSは作動を継続し、ホイールのロックを防ぎます。

### ▲ 警告 制動力の低下

通常のブレーキと同様にブレーキ性能はすべりやすい路面状況(凍結路やぬかるみなど)では制限され、事故につながる可能性があります。

- ▶ 常に走行状況に応じた適切な運転を心がけてください。

## ポルシェヒルコントロール(PHC)を使用する

### PHCの選択と準備の確立

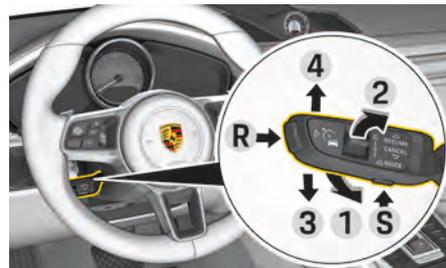


図. 95 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

- R システムのON/OFFを切り替え、オプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く(システムがONの場合)
- 1 速度制限を設定する / 上げる
- 2 速度制限を下げる
- 3 キャンセル：PHC操作の中断
- 4 再開：PHC操作の再開 / 準備の復元

✓ ドライバーアシスタンスシステムのレバーがONになります(ボタンR)。

1. ボタンSを押します。
  - ➡ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールの左側のロータリープッシュボタンを使用してPHCを選択し、押し当てて確定します。
  - ➡ ポルシェヒルコントロール(PHC)が選択されます。



### PHCを選択している

インストルメントクラスターのグレーのシンボルマークはPHCが選択されていることを示します。

- ▶ レバーを前方 1(図. 95) に押してください。
  - ➔ ポルシェヒルコントロール(PHC)が準備状態になっている。



#### PHC 準備状態

インストルメント クラスターの白色のアイコンは準備状態を示します。PHC を作動させるための要件は満たされています。速度は保存されていません。

### PHC 操作の作動

- ✓ ポルシェヒルコントロール(PHC)が準備状態になっている。
- ✓ 車両が約 0 km/h を超え、約 30 km/h 未満の速度で走行している。
- ✓ 坂道の勾配率が約 7% 以上。



#### PHC コントロール作動

インストルメント クラスターの赤色のアイコンは、コントロールが作動していることを示します。速度が保存されています。

### ① インフォメーション

坂道の勾配率が約 7% 未満の場合、作動しているシステムが再び作動準備状態になります。

### 速度の変更

- ✓ PHC が作動している。
- ▶ ブレーキまたはアクセルペダルを踏んでください。
  - または -
  - レバーを前方 1(図. 95) (加速) に押すか、後方 2(図. 95) に引いてください (減速)。

### PHC を OFF にする

- ▶ コントロールレバーの R ボタンを押してください。

## ブレーキ

### 一般的な安全に関する指示



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたりブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けるようにしてください。



警告

ブレーキブースターの停止

ブレーキブースターは、ドライブの作動中のみ作動可能です。このため、ドライブが OFF のとき、またはブレーキブースターに不具合がある場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。



警告

ブレーキディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 前方車両からの距離を保ちながら、間隔をあけてブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。



警告

制動力の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。車両を長期にわたって駐車した場合、ブレーキディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 急な斜面においてブレーキシステムの負担を軽減するために、適切なタイミングで 1 段低いギヤにシフトしてください (エンジンブレーキ効果)。急な下り坂においてエンジンブレーキの効果のみでは不十分な場合、断続的にブレーキペダルを踏んでください。継続的にブレーキをかけると、ブレーキが過熱する恐れがあり、ブレーキ効果が損なわれます。

ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関するインフォメーション:

▷ 269 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

## フットブレーキ

### ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度など）によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ボルシェが使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づきます。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在適用可能なガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### ボルシェサーフェスコートッドブレーキディスク (PSCB)

PSCB ブレーキのブレーキディスク摩擦面の外見は特徴的で、標準的なブレーキディスクとはまったく異なります。交通状況に合わせて普通に運転している場合、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。このように車両を運転すると、摩耗、亀裂、光沢のある銀色の摩擦面の黒ずみが増加します。これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後は部分的に減少します。

PSCB はブレーキディスクがハードコーティングされているため、慣らし期間をより長く見積もる必要があります。その間、技術的には問題のない摩擦音が発生する可能性があります。

## エレクトリックパーキングブレーキ

エレクトリックパーキングブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。

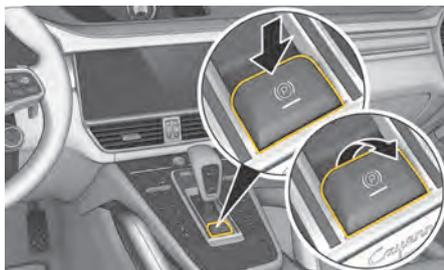


図. 96 エレクトリックパーキングブレーキを 작동させる

### パーキングブレーキを 작동させる

- ▶ ボタン P を引いてください。
  - ◆ P ボタンのインジケーターライトとブレーキ警告灯が点灯します。

警告灯およびインジケーターライトに関する情報：

▷ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

### パーキングブレーキを手動で解除する

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- 1. ブレーキペダルを踏んでください。
- 2. P ボタンを押してください。
  - ◆ ブレーキ警告灯が消灯します。

## パーキングブレーキの自動解除

- ✓ エンジン始動状態 / 車両作動準備状態 (E ハイブリッド車両)。
- ✓ 運転席ドアを閉じている。
- ✓ 運転席シートベルトを着用している、または作動モード **D**、**R** または **M** を選択している。

パーキングブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。エレクトリックパーキングブレーキはドライバーの意図的な発進を検出し、自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリックパーキングブレーキが自動解除されません。

インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯および P ボタンのインジケーターライトが点滅します。

▷ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## パーキングブレーキの自動ロック

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** を選択している。
- ✓ 運転席ドアが開いている。
- ✓ 運転席シートベルトが外れている。

電動パーキングブレーキが自動的に入ります。

P ボタンのインジケーターライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯します。

警告灯およびインジケーターライトに関する情報：

▷ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

エレクトリックパーキングブレーキの自動ロックが手動解除によって中断された場合、この機能はドアを再度開いた後、または運転席シートベルトが再び外された後にもみ利用できません。

## 緊急ブレーキ機能を作動させる

### ▲ 警告 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。後続の交通に危険な状態になったり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にもみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ P ボタンを引いたままにします。
  - ▶ ブレーキ警告灯およびP ボタンのインジケータライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

- ▶ P ボタンを放してください。

## 警告メッセージへの対応

車両を ON にすると、ブレーキ機能の状態が自動的に確認されます。警告灯とインジケータライトが短時間点灯した後、再び消灯します。ブレーキ警告灯が点灯し続ける場合は、故障があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達した場合、インストルメントクラスターに警告マークが表示されます。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリックパーキングブレーキを完全に作動させることができない場合、P ボタンのインジケータライトおよびブレーキ警告灯が点滅します。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 車両の始動、走行、駐車 イグニッションロック

キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに置き換えられます。必要なのはキーを携行していることだけです。



図 97 イグニッションロック / コントロールユニット

- 0 初期位置**
- 1 イグニッション ON**
- 2 エンジン始動 / 作動準備の確立 [E ハイブリッド車両]**
- 0 - イグニッション OFF (初期位置)**

イグニッションロックが位置 0 のとき、エンジンとイグニッションは OFF になっています。

### 1 - イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントクラスターの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

## ① インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。初めにコントロールユニットをイグニッションロック位置 0 (初期位置) に回します。

### 2 - エンジン始動

エンジンを始動したとき、または車両の走行準備が整ったときに、コントロールユニットは位置 2 から位置 1 に自動的にリセットされます。

## ステアリング ホイールのロックおよびロック解除

▶ 31 ページの「警報システム」の章を参照してください。

## エンジンの始動

E ハイブリッド車両の始動に関するインフォメーション:

▶ 124 ページの「ハイブリッド車両」の章を参照してください。

1. ブレーキペダルを踏み込んでください。
2. セレクターレバーの **P** ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
3. アクセルペダルは踏まないでください。
4. コントロールユニットをイグニッションロック位置 2 に一時的に回してください。
  - ➔ イグニッションロックを位置 2 (エンジン始動) にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。
5. エンジンが始動しない場合は、10 秒程度待ってから再度始動させてください。まずコントロールユニットをイグニッションロック位置 0 (初期位置) に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意してください。

車両が始動しない場合:

▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。

## エンジンの停止



警告

車両が動き出す危険

車両を適切に駐車しなかった場合、車両が不意に動き出して人や物に危害を与える恐れがあります。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキをかけ、セレクターレバーの **P** ボタンを押してください。



警告

パワーステアリングおよびブレーキブースターの作動が停止します。

パワーステアリングとブレーキブースターは、車両が作動準備状態になっている場合にのみ作動します。車両が作動準備状態になっていない場合、ステアリングやブレーキングに大きな力が必要です。

- ▶ 車両を OFF にするのは、車両が完全に停車してからにしてください。

1. 停車してください。
2. コントロールユニットをイグニッションロック位置 0 に回してください。
  - ▶ 車両から離れるときは、セレクターレバーの **P** ボタンを押して、エレクトリックパーキングブレーキをかけてください。



### インフォメーション

コントロールユニットは取り外せません。

## オフロード走行

### 一般的な安全に関する指示



警告

車両のコンポーネントにかかる高い応力

オフロード走行中には、砂粒、ほこりの粒子など研磨作用のある物質がブレーキなどのコンポーネント内に入り込むことがあります。これにより、過度の摩耗または予測不能なブレーキ作動を引き起こし、事故や車両の損傷につながる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で定期的な点検や保守、修理を行ってください。

### 知識

損傷する恐れがあります。スポーツデザインパッケージ装備車には、フロント、リア、サイドスカートに塗装が施されています。

- ▶ オフロード走行時にこれらの部品が損傷しないよう注意してください。
- ▶ 障害物と車両下面の間に十分な空間があることを確認してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬の走行は避けてください。
- ▶ サイドスクートを足かけとして使用しないでください。

**▲ 警告**

車両の損傷

車両の損傷は後に乗員や通行者に事故を引き起こす原因になる恐れがあります。

- ▶ 故障の疑いがある場合はポルシェ正規販売店で点検してください。
- ▶ タイヤの異常 (亀裂、損傷、空気圧過多、異物の挟まり) がないか確認してください。必要な場合は、タイヤを交換してください。
- ▶ 車両に損傷がある場合は早めに修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**オフロード走行の準備**

このセクションでは、オフロード走行のときに発揮される特別な性能について説明します。この車両でオフロード走行する前に：

- ▶ このセクションを注意してお読みください。

まず、適度なオフロードで練習されることをお勧めします。

**ホイールおよびタイヤの点検**

- ▶ タイヤトレッドの深さおよびタイヤ空気圧を点検します。
- ▶ 損傷がないか点検し、トレッドに異物 (石など) がある場合は取り除いてください。
- ▶ バルブキャップが紛失している場合は新しいものを取り付けてください。
- ▶ ホイールにへこみや損傷がある場合はオフロード走行前に交換してください。

**オフロード走行で注意すべき点**

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、適切なオフロード走行プログラムを有効にしてください。
  - ▷ 112 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。
- ▶ オフロード走行を開始する前に、必要に応じてオフロードレベルまたはスペシャルオフロードレベルを作動させます。車高レベルを調整している間はブレーキを踏まないでください。
- ▶ 車高レベルは必ず平坦な場所で調整してください。
- ▶ 荷物をしっかり固定してください。
  - ▷ 251 ページの「荷物の積載」の章を参照してください。
- ▶ 路面状況が運転席から確認しづらい場合、障害物を早期に発見できるよう、一度車外に出て歩いて状況を確認した上で慎重に運転してください。
- ▶ 必ずエンジンを作動させて走行してください。パークステアリングはエンジン作動時にしか機能しません。
- ▶ ゆっくりと一定の速度で運転してください。
- ▶ 常に全ホイールが接地した状態で運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、底の状態、流速を確認してください。
- ▶ 岩、穴、切り株、溝などの障害物に注意してください。
- ▶ 走行中には、ルーフシステムおよびサイドウィンドウを必ず閉じます。
- ▶ 路肩に目印がある場合は、そこから外れないようにしてください。
- ▶ 自然を大切にしてください。
- ▶ 進入禁止標識を必ず遵守してください。

**さまざまな路面状態での走行**

**上り坂でのオフロード走行**

**▲ 危険**

危険な上り勾配

危険な急勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 上り坂走行時には、方向転換しないでください。
- ▶ 勾配がきつくて登れない場合は、必ずリバースギヤに入れてバックしてください。
- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 上り坂走行時にニュートラル状態やクラッチを離している状態で車両を後退させないでください。このような状態でフットブレーキのみを使用するのは非常に危険です。

急勾配を上る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 急坂路を上り下りする場合は、その前に適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。

**上り坂でのトラクション増加**

坂でトラクションを増加させる際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 上り坂走行時にはアクセルペダルの踏み込みを加減して、ホイールが十分なトラクションを得られる (スピンしない) ようにしてください。
- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。

- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

## 下り坂でのオフロード走行



危険

危険な下り勾配

危険な下り勾配では、車両が転覆することがあります。

- ▶ 土手や上れそうにない急坂路には進入しないでください。
- ▶ 下り坂はフロント ホイールを直進位置に保ち、スピードを落として走行してください。
- ▶ 車両が傾きはじめた場合、すぐに傾いた側にステアリングを切ってください。
- ▶ 下り坂をニュートラル状態で下りないでください。
- ▶ エンジン ブレーキを使用してください。  
エンジン ブレーキでは十分な制動効果が得られない場合は、フット ブレーキを軽く踏んでください。
- ▶ ポルシェ ヒルコントロール (PHC) を作動させてください。

急勾配を下る際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。  
オフロード ABS が自動的に作動します。  
E ハイブリッド車の場合、内燃エンジンはマニュアルシフト モードで ON になります。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。

- ▶ 坂道で車高レベルを調整しないでください。
- ▶ 舗装されていない急坂路を下る場合は、ブレーキ操作を慎重に行い、滑らないように注意してください。



インフォメーション

オフロード ABS の特別制御機構により、フロントホイールが意図的に短時間ロックアップされ、ゆるんだ路面に効果的に食い込みます。

ロックされたホイールはスリップし、ステアリング操作ができなくなります。

## 頂点を越える走行

頂点を越えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを作動させてください。
- ▶ 頂点部分にさしかかる前にアクセルペダルをゆるめて、慣性運動を利用して頂点を越えてください。頂点を越える際に車両がジャンプせず、下り部分への激しい着地を防ぐことができます。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。

## 水たまりや浅瀬の走行



危険

車内への水の浸入

車内への浸水により生命の危機につながる危険な状態となることがあります。また車両の損傷にもつながります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を走行する場合は、水の深さ、流速、水面下の状態を確認してください。  
水の深さがテクニカル データに記載されている渡河能力を超えないようにしてください。
- ▶ 運転前にドア シルおよびラバー シールを清掃してください。
- ▶ 深く流れの速い場所には進入しないでください。  
山間部の小川など、深く流れの速い場所では、意図したコースから外れてしまう場合があります。
- ▶ 波をかぶらないように適切な速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行中は絶対にドアを開かないでください。



警告

ブレーキ ディスクの水膜または汚れの膜

濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行すると、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ ブレーキが汚れていないか点検し、必要に応じて清掃してください。

知識

電気系統が故障する恐れがあります。

- ▶ 塩水の中を走行するのは避けてください。

水たまりや浅瀬を走行する場合には、以下の点に注意してください。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを起動させてください。
- ▶ エアコンコンプレッサーをOFFにしてください。
- ▶ ヘッドライトをOFFにしてください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ 可能であれば、走行中はマニュアルによるギヤチェンジは行わないでください。また、停車もしないでください。

水たまりや浅瀬では、抵抗が大きく地面がぬかるんでいるため、発進が困難になる場合があります。

- ▶ 水たまりや浅瀬を渡る場合は浅い場所から歩行速度程度で進入してください。
- ▶ 水の状態を確認した後、最短距離で渡ってください。
- ▶ 高速で水たまりや浅瀬に進入しないでください。波をかぶりエンジンやアクセサリーが損傷する恐れがあります。
- ▶ 状況の変化に対処できるよう慎重に運転してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬はゆっくり一定の速度で走行してください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行するときは絶対に向きを変えないでください。
- ▶ 渡り切れない場合はリバースギヤに入れ、車両をバックさせて水から出てください。

### **i** インフォメーション

長時間水たまりや浅瀬を走行すると、パワーステアリングポンプやオルタネーターが故障する恐れがあります。

### 水上走行後の車両点検

水たまりや浅瀬を走行した後は特別な点検が必要になります。

- ▶ タイヤトレッドから泥を落としてください。
- ▶ 水たまりや浅瀬を走行した後は「ブレーキ」を軽くかけて、ブレーキパッドを乾かしてください。

### 障害物の乗り越え

#### 知識

障害物を乗り越える際に運転を誤ると、アンダーボディやシャーシを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 切り株や岩などの障害物を乗り越える場合は、一方のフロントホイールが障害物の中央を通るようにゆっくり走行してください。
- ▶ リヤホイールも同様にして障害物を乗り越えてください。

障害物を越えて走行する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを起動させてください。
- ▶ 必要に応じて同乗者の指示を受けてください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

### 砂上走行

柔らかい砂道はオフロード走行の中でも特に難しい路面です。運転を誤ると、すぐに立ち往生することになります。

砂上を走行する際は、以下の点をご確認ください：

- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを起動させてください。
- ▶ すみやかに通過し、決して途中で停車しないでください。そうしないと、車両の動きが取れなくなります。
- ▶ 飛砂で覆われておらず深すぎない場合、かつ地上高に余裕がある場合は、わだちに沿って走行してください。
- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 砂道の傾斜に停車する必要がある場合は、容易に発進できるようにできるだけ下り坂を選択してください。

### 柔らかい砂道の傾斜を走行する場合：

- ▶ 高いエンジン回転数を得るため、必要に応じてオフロード走行プログラムを起動させ、マニュアルティプトロニックSモード**M**を使用してください。

車両を動かせなくなった場合：

- ▶ ホイールを空転させることは避けてください。木の枝やマットなどを使用して、適切な摩擦力を確保し、脱出してください。

### わだちでのオフロード走行

#### 知識

深いわだちを走行する場合は、車両の下周りを損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 深すぎるわだちは走行しないでください。

オフロードや砂利道の多くにはわだちができています。

- ▶ 車両の地上高を常に念頭においてください。
- ▶ 適切なオフロード走行プログラムを自動させてください。
- ▶ 必要であれば、車両の片方が脇の草の上を通過するように走行してください。
- ▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。
- ▶ スピードを落として運転してください。

## オフロード走行後の車両点検

オフロード走行では通常のオンロード走行時より車両に大きな負担がかかります。オフロード走行後には車両点検を行うことをお勧めします。見えない損傷でも事故の危険があり、走行快適性も損なわれます。車両点検を行うことにより、損傷の拡大を防ぐことができます。

車両を点検する際は、以下の点をご確認ください。

- ▶ オフロード走行プログラムを解除してください。
- ▶ ヘッドライトおよびテールライトを清掃し、損傷していないか点検してください。
- ▶ フロントおよびリヤのライセンス プレートを清掃してください。
- ▶ ウォーター ジェットでタイヤトレッドを洗浄して異物を取り除いてください。
- ▶ ウォーター ジェットで、ホイール、ホイールハウジング、車両下周りを洗浄してください。
- ▶ 車両に木の葉や枝などが挟まっていないか点検してください。

これらは車両火災の原因となる恐れがあります。また、フューエルライン、ブレーキ ホース、アクスル ジョイントブーツ、ドライブシャフトなどが損傷する原因になる場合があります。

- ▶ オフロード走行後に、フロアパンの部品全体、タイヤ、ボディ構造、ステアリング、シャーシ、エキゾースト システムが損傷していないか、必ず点検してください。
- ▶ むかるんだ道、砂道、水たまりや浅瀬などを長時間走行した場合は、ブレーキ ディスク、ブレーキパッド、ホイール、アクスル ジョイントを点検し、洗浄してください。
- ▶ オフロード走行後に振動が激しくなった場合は、ホイールに異物がないか点検してください。異物があるとホイール バランスが損なわれ、振動の原因になる恐れがあります。異物を取り除くと、振動が解消する場合があります。

## オフロード走行プログラム

### 作動原理

車両には未舗装の道の走行用の走行プログラムがさまざま装備されています。装備仕様に応じて、以下のドライブおよびシャーシ システムが選択した走行プログラムに合わせて調整されます。エンジン、トランスミッション、PTM、PTV プラス、PASM、シャーシ高、PSM、PDCC。これによって、該当する走行シナリオに最適な運転が可能になります。

以下のオフロード走行プログラムが利用できます。

砂利	砂利道や濡れたエリアなどでの走行に適しています。
泥	泥道やわだちなどでの走行に適しています。
砂	砂が深い場所などでの走行に適しています。
岩	岩場などの悪路での走行に適しています。

## 走行プログラムの選択

1. 車両  ▶ オフロードを選択  します。
2. タッチ ディスプレイで希望の走行プログラムを選択してください。
  - ▶ タッチ ディスプレイに選択した走行プログラムが表示されます。
  - ▶ インストルメント クラスタにオフロードと表示されます。

### ① インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、選択された走行プログラムは自動的に NORMAL オンロード走行プログラムに戻ります。

### ① インフォメーション

いったん起動した走行プログラムは、走行状況の変化 (その後、車両が路面を走行した、より高速で走行したなど) が生じた場合でも起動されたままとなります。駆動力およびシャーシコントロールシステムは、変化した走行状況および速度に応じて調整されます。

### 警告メッセージに対応する

ギヤシフトシステムに故障がある場合、インストルメントクラスターに警告が表示されます。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### チルティングインジケーター

✓ 適用対象：オフロードパッケージ装着車

水平位置に対する現在の車両の角度を PCM のオフロードメニューに表示できます。車両装備により、ヘッドアップディスプレイにも表示できます。角度は、縦チルティング角度と横チルティング角度に分かれています。ステアリング角度も表示されます。

### ① インフォメーション

特定の速度を超えると、チルティングインジケーター表示が解除され、値(---)が表示されます。

### ▲ 注意 表示の不一致

チルティングインジケーターの正確さは現在の走行状況に左右され、実際の車両の角度とは異なったり、時間に遅延が生じたりする場合があります。

- ▶ 常に車両周囲の状況に十分注意を払ってください。

### ▲ 警告 集中力の低下

走行状況や路面により、わずかなチルティング角度でも車両が横転したりスリップしたりすることがあります。

- ▶ 走行状況および障害物を識別することは、最終的にドライバーの責任です。
- ▶ 十分注意して運転してください。

## オンロードドライビングプログラム 作動原理

装備によっては、舗装された道路の走行時に、全体的によりスポーティーに設定された多様な走行プログラムが提供されます。オフロード走行プログラムに関する情報：

▶ 112 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスおよび INDIVIDUAL 走行プログラムの車両設定に関するインフォメーション：

▶ 116 ページの「選択した走行プログラムの車両設定の概要」の章を参照してください。

**E ハイブリッド車両**の走行モードの選択および E パワー、ハイブリッドオート、E チャージ、E ホールドモードの車両設定に関するインフォメーション：

▶ 125 ページの「モードスイッチによる走行プログラムの選択」の章を参照してください。

以下の走行プログラムが利用できます：

ノーマル	日常での走行中、コントロールシステムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。
スポーツ	日常での走行中、コントロールシステムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

**スポーツ プラス** レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

**INDIVIDUAL** ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスの走行プログラムの一部の設定を個別に組み合わせることができます。

## 走行プログラムの選択

### ① インフォメーション

作動待機が確立されると、ノーマル走行モードが自動的に有効になります。

### ダッシュボードのタッチディスプレイで走行プログラムを選択する

1.  ▶ 走行 ▶ 走行モードを選択します。
2. タッチディスプレイで希望の走行プログラムを選択してください。

### センター コンソールでの走行プログラムの選択

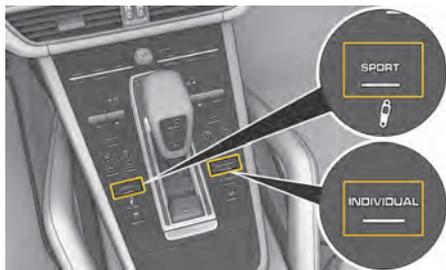


図. 98 センター コンソールの走行プログラム ボタン

- ✓ 適用対象：スポーツクロノパッケージ非装備車

- ▶ ボタン **SPORT** またはボタン **INDIVIDUAL** を押してください。
- ➡ 走行プログラムが作動している場合、ボタンのインジケーター ライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

### モード スイッチによる走行プログラムの選択



図. 99 ステアリング ホイールのモード スイッチ

- 0 ノーマル
  - S スポーツ
  - S+ スポーツ プラス
  - I INDIVIDUAL
- スイッチ中央 スポーツ レスポンス ボタン
- ✓ 適用対象：スポーツクロノパッケージ装備車
- ▶ モード スイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。
- ➡ 選択した走行プログラムのインジケーター ライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

## INDIVIDUAL 走行モードの設定

INDIVIDUAL 走行プログラムでは、シャーシ、車高、スポーツ エキゾースト システム、オート スタート / ストップ機能 (E ハイブリッド車両以外) を、ノーマル、スポーツ、スポーツ プラスの各走行プログラムに基づい

て個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モード スイッチを 1 位置に戻すか **INDIVIDUAL** ボタンを使うか、タッチディスプレイの該当するボタンにより再び呼び出すことができます。

### INDIVIDUAL 設定の保存

- ▶  ▶ 走行 ▶ ... ▶ 走行モード Individual の設定を選択します。

## スポーツ レスポンス モードの使用

- ✓ 適用対象：スポーツクロノパッケージ装備車



図. 100 スポーツ レスポンス タイマー ディスプレイ

スポーツ レスポンス モードでは、エンジンおよびトランスミッションが最大レスポンスに設定されるとともにタイマー制御されます。

### スポーツレスポンスモードの作動

- ▶ モードスイッチのスポーツレスポンス ボタンを押してください。
  - ◆ 「車両&情報」ディスプレイ内のタイマーは、この機能が有効な残り時間を示します。次に、約 20 秒後、車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

### スポーツレスポンスモードの作動停止

- ✓ スポーツレスポンスモードが作動
- ▶ モードスイッチのスポーツレスポンス ボタンを再度押してください。
  - ◆ 車両は以前に選択していた走行プログラムに戻ります。

## 選択した走行プログラムの車両設定の概要

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

走行プログラム	ノーマル / ハイブリッド	スポーツ	スポーツ プラス
シフトダウン用インターミディエイト スロットルアプリケーション	無効	作動	作動
車内のエンジン サウンド最適化	無効	作動	作動
バックファイアー	無効	作動	作動
パフォーマンス スタート	使用不可	使用不可	使用可能
オート スタート / ストップ	作動	無効	無効
スポーツ エキゾースト システム	アウト	ON	ON

**ノーマル** 日常での走行中、コントロールシステムは快適さと燃費のバランスを取りながら機能します。

**スポーツ** 日常での走行中、コントロールシステムは情動性およびダイナミズムを重視して調整されます。

**スポーツ プラス** レース サーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

## スポーツ エキゾースト システムの ON/OFF の切り替え

スポーツ エキゾースト システムはPCM で排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶  ▶ 走行 ▶ スポーツ エキゾースト システム

## スピードリミッター

### 作動原理

スピードリミッターは、保存された個別の速度を上回らない速度を維持するのに役立ちます。

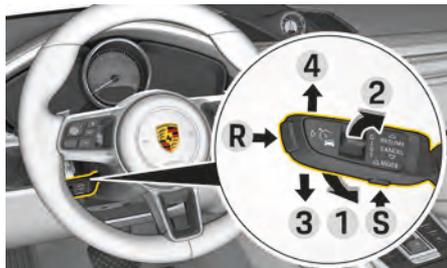


図. 101 コントロールレバー

**R** システムの ON/OFF を切り替え、オプションメニューを開く

**S** オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

**1** 速度制限を設定する / 上げる

**2** 速度制限を下げる

**3** キャンセル：速度制限のキャンセル

**4** 再開：速度制限の再開

## スピードリミッタースタンバイを ON にする

- ✓ スピードリミッターを ON にします (ボタン R)。
- 1.** コントロールレバーの **S** ボタンを押します。
  - ➔ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- 2.** ステアリングホイールの左ロータリーノブを使用してスピードリミッターを選択し、ノブを押して確定します。
  - ➔ スピードリミッターがスタンバイ状態になりました。
  - ▷ 169 ページの「インストルメントクラスターの操作」の章を参照してください。

## スピードリミッターの操作

### 最高速度を設定する、保存する、上げる

#### 方法 1

- 1.** アクセルペダルを操作し、目標速度まで加速または減速します。
- 2.** ステアリングホイールのレバーを前方 **1**(図. 101) に押してください。
  - ➔ そのときの走行速度が最高速度として保存され、自動的に維持されます。

#### 方法 2

- ▶ ステアリングホイールのレバーを前方 **1**(図. 101) に押してください。短く押す = 1 km/h 単位、長く押す = 10 km/h 単位。
  - ➔ 新しい最高速度がインストルメントクラスターに表示されます。

### **i** インフォメーション

最高速度は、作動モード「作動準備」から、ステアリングホイールのコントロールレバーを使用して設定することもできます。

- ▶ ステアリングホイールのレバーを 1 回前方 **1**(図. 101) に押してください。プリセットされた最高速度 (30 km/h) がインストルメントクラスターに表示されます。

### 保存された最高速度を下げる

- ▶ ステアリングホイールのレバーを、ステアリングホイール **2**(図. 101) に向かって引いてください。短く引く = 1 km/h 単位、引き続ける = 10 km/h 単位。
  - ➔ 新しい最高速度がインストルメントクラスターに表示されます。

## スピードリミッターの中断 - キャンセル

- ▶ ステアリングホイールのレバーを下方 **3**(図. 101) に押してください。
  - または -
  - コントロールレバーの **S** ボタンを押します。
- ➔ 中断前に保存された最高速度はメモリーに保存され、コントロールレバーを押して呼び出すことができます。

▷ 117 ページの「保存された最高速度の再開 - 再開」の章を参照してください。

### キックダウンの開始によるスピードリミッターの一時的な解除

設定された最高速度をキックダウンの開始によって超えた場合 (追い越し中など)、警告音が鳴り、保存された最高速度とスピードリミッターのシンボルマークがインストルメントクラスターで赤色に点滅します。スピードリミッターは一時的に解除されます。車両の速度が保存された最高速度を下回ると、スピードリミッターが再度作動します。

### 下り坂の走行

スピードリミッターは下り坂走行中にブレーキ操作を開始します。トランスミッションは車両を減速させるためにシフトダウンを開始します。

### 保存された最高速度の再開 - 再開

- ▶ ステアリングホイールのレバーを上方 **4**(図. 101) に押してください。
  - ➔ スピードリミッターが保存された最高速度に設定されます。

### **i** インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみ、保存された最高速度を呼び出してください。

## スピードリミッターをOFFにする

- ▶ コントロールレバーの**R**ボタンを押してください。
- ➔ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

### 自動

次のような状況では、スピードリミッターは自動的にOFFになります。

- スピードリミッターの機能が損なわれるシステム故障が発生した場合。
- エアバッグが作動した場合。

### **i** インフォメーション

システムエラーによりスピードリミッターが自動でOFFになった場合、アクセルペダルを離すか、**R**ボタンを押してシステムをOFFにするかした場合にはのみ完全にOFFになります。

## トランスミッション

### ポルシェティプトロニックSの使用

ティプトロニックSはオートマチックモードとマニュアルシフトモードを備えた8段変速オートマチックトランスミッションです。

**オートマチックシフトモード (作動モードD)**では、ギヤは自動的にシフトされます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックシフトモードからマニュアルシフトモードに切り替えることができます。

**マニュアルシフトモード (作動モードM)**では、セレクトレバーまたはステアリングホイール上にあるシフトパドルの操作でギヤを変更できます。

**D**と**M**の作動モードは、走行中も必要に応じて切り替えられます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでも、ステアリングホイールのギヤシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。思わぬタイミングでギヤシフトが発生します。

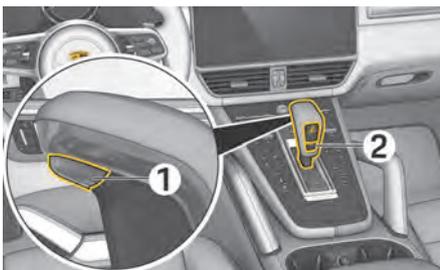


図. 102 作動モードの変更

- 1 リリースボタン
- 2 トランスミッションパーキングロック (Pボタン)

## 作動モードの変更

イグニッションがOFFの場合、作動モード**P**が有効となり、セレクトレバーはシフトゲート内で自由に動かせます。

作動モードはセレクトレバーのリリースボタン**(1)**を押した場合にはのみ変更できます。作動モードを**P**または**N**から切り替える場合には、リリースボタンに加え、ブレーキペダルを踏む必要があります。作動モード**M**は、作動モード**D**から入ることしかできません。作動モード**P**に切り替えるには、セレクトレバーの**P**-ボタン**(2)**を押すか、イグニッションをOFFにします。

各操作の後、セレクトレバーは元の中央位置に戻り、選択されている作動モードがインストルメントパネルに表示されます。

### リリースボタン

セレクトレバーのリリースボタン**(1)**は、シフトの誤操作を防止します。作動モードを変更するたびにリリースボタンを押す必要があります。

### Pボタン

セレクトレバーの**P**ボタン**(2)**は、トランスミッションパーキングロックを作動させます。イグニッションをOFFにすると、作動モードが**D**、**M**または**R**のときはトランスミッションパーキングロックが自動的にかかります。

## ① インフォメーション

車両から離れる (運転席シートベルトが着用されていない、運転席ドアが開いている、ブレーキペダルを踏んでいない) ときは、作動モードが **D**、**M** または **R** でもトランスミッションパーキングロックがかかります。

運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない状態でも、電動リックパーキングブレーキを手動で解除し、必要に応じて任意の作動モード **D**、**M** または **R** に切り替えると、車両を動かし続けることができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、任意の作動モード **D**、**M** または **R** が選択された状態のままになり、トランスミッションパーキングロックは自動的に作動しません。

▶ 107 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

## エンジンの始動

作動モードが **P** または **N** で、ブレーキペダルを踏んだ状態でないとエンジンは始動できません。

E ハイブリッド車両の始動に関するインフォメーション:

▶ 124 ページの「ハイブリッド車両」の章を参照してください。

## 車両の発進

- ▶ 発進するための作動モードの選択 (**D**、**M** または **R**) はエンジンのアイドリング中に行い、その間はブレーキペダルを踏み続けてください。
- ▶ ギアが入ると車両はゆっくりと動き出そうとするので、発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

## 坂道での発進

▶ 123 ページの「HOLD 機能：停止制御」の章を参照してください。

## 車両の停止

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを作動モード **D** または **M** のままにし、ブレーキペダルを踏んで車両を制止してください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、電動リックパーキングブレーキを作動させてください。
- ▶ 車両から離れるときは、必ず電動リックパーキングブレーキを作動させ、作動モードを **P** にしてください。

## 駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 狭い場所での駐車や取り回しでは、ブレーキペダルを慎重に使用して走行速度を調整してください。

## 作動モードとギヤポジションのインジケーターを読み取る

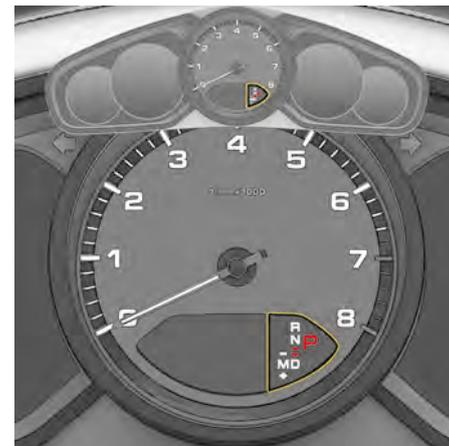


図. 103 インstrument クラスタ内のモードおよび締結ギヤインジケータ

エンジン作動中に、作動モードと締結ギヤが表示されます。

ブレーキをかけていない状態で不意にセレクターレバーが **P** または **N** 位置から別の作動モードに動いてしまった場合、このモードは点滅し、駆動力は伝達されません。

- ▶ 発進するには、ブレーキをかけた状態で、セレクターレバーを再び **P** または **N** から希望の作動モードに動かしてください。

instrument クラスタ内で作動モード **R** または **D** が点滅

駆動力が伝達されない。

原因：

- フット ブレーキを踏まずにセレクター レバーを切り替えた。
- 最高許容速度以上で、または進行方向と反対方向にセレクター レバーを **R** または **D** にシフトした。

対策：

- ▶ ブレーキペダルを踏んでから、再び作動モードを **N** から希望するモードに切り替える。

## 作動モード

### P-パーキングロック

- ▶ 必ず車両が停止してから、P ボタンを使ってパーキング ロックをかけてください。作動モード **P** が点滅している場合、パーキング ロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。もう一度 P ボタンを押すか、イグニッションを OFF にしてください。

### R-リバースギヤ

- ▶ セレクター レバーの選択は、必ず車両が停止しブレーキをかけてからにしてください。

### N-ニュートラル

たとえば、洗車機を使用するときなどは、作動モード **N** を必ず選択してください。

- ▶ 発進するための作動モードの選択 (**D**、**M** または **R**) はエンジンのアイドル中に行い、その間はブレーキペダルを踏み続けてください。

### D-オートマチックシフトモード

- ▶ 「通常」の走行時には、作動モード **D** を使用してください。アクセルペダルの踏み込み方と車速により、ギヤが自動的に選択されます。

## ① インフォメーション

ステアリング ホイールのギヤシフト操作により、一時的にオートマチック シフト モード **D** からマニュアル シフト モード **M** に切り替えることができます。

E ハイブリッド車両がフル電動モーター走行モードで走行している場合、内燃エンジンはマニュアルシフトモードで ON になります。

例：

- カーブや市街地に入る前にシフト ダウンしたいとき。
- 下り坂でエンジン ブレーキをかけるためにシフト ダウンしたいとき。
- 急加速のためにシフト ダウンしたいとき。

## ① インフォメーション

以下の場合、マニュアルモードが維持されます：

- オーバーランモードのとき
- 車両が交差点などで停車した場合

## ① インフォメーション

以下の場合、マニュアルシフトモードが再び終了します：

- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後

## M-マニュアルシフトモード

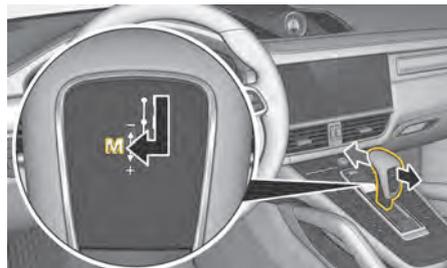


図. 104 セレクターレバーのマニュアルモード

ステアリング ホイールのギヤシフトパドルまたはセレクターレバーの操作により、ドライバーは8速前進ギヤを快適かつ安全に選択することができます。

- ▶ セレクターレバーを **D** の位置から **M** の位置に押し込んでください。

現在のギヤは、**D** から **M** にシフトしてもそのまま維持されます。

**M** から **D** にシフトするとき、現在の走行スタイルに適したギヤシフトマップが選択され、対応するギヤに入ります。



図. 105 シフトパドル付きステアリングホイール

### セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

### セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ✓ ACC またはクルーズコントロールが有効になっていない。
- ▶ セレクターレバーを前方に押してください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

### 低燃費走行のためのシフトアップインジケータ

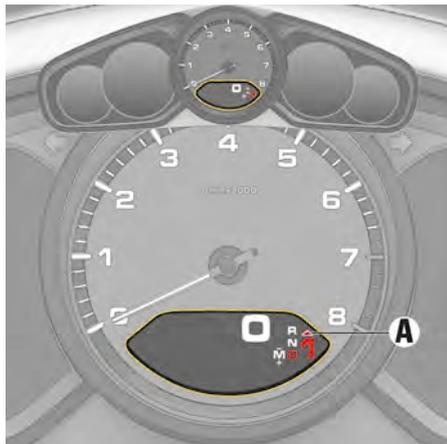


図. 106 シフトアップインジケータ A

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータ A (図. 106) は、走行スタイルが低燃費になるよう支援します。選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル

ペダルの踏み込み方に応じて、シフトアップインジケータが点灯し、1 段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1 段高いギヤにシフトアップしてください。

### キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能は、作動モードを **D** および **M** にすると有効になります。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセルペダルを素早くいっぱい踏み込んでください (キックダウン)。

走行速度とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

### 惰性走行モードで走行する

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne GTS、Cayenne GTS Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé。

惰性走行モードでは、締結ギヤが自動的に切り離され、エンジンブレーキによる減速を防止します。車両はニュートラルで惰性走行します。

ドライバーは、手動の惰性走行モードを開始できます。ドライバーは自動惰性走行モードを要求することができ、このモードはシステムによって自動的に開始されず。

### 自動惰性走行モードの要求<sup>1</sup>

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé。
- ✓ オートスタート / ストップ機能が ON になっている。
- ✓ ノーマル走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード **D** が選択されている。
- ✓ ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが作動していない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が有効になっていない。
- ✓ 車両が作動温度に達している。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
- ✓ 市街地外での走行。
- ✓ 他のアシスタンスシステムからのデータにより、惰性走行モードが可能です (国によって異なる。例: 前方の車両までの距離、マップデータに基づく今後の道路ルート)。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。
  - ➔ システムは走行データを評価し、適切な走行状況で自動的に惰性走行モードを開始します。

### 手動の惰性走行モードの開始

- ✓ Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne GTS、Cayenne GTS Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupé。
- ✓ ノーマル走行モードが選択されている。
- ✓ 作動モード **D** が選択されている。

1. 一部の国で利用可能です。

- ✓ ボルシエスタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
  - ✓ クルーズコントロールが作動していない。
  - ✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) が有効になっていない。
  - ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配。
  - ✓ オートスタート / ストップ機能がONになっている。  
(Cayenne、Cayenne Coupé、Cayenne S、Cayenne S Coupé、Cayenne Turbo、Cayenne Turbo Coupéのみ)。
1. アクセルペダルから足を完全に離してください。
  2. シフトパドルを使用して、可能な最も高いギヤより上にシフトアップします。  
➔ 惰性走行モードが開始されます。

#### 惰性走行モードの終了

- ▶ アクセルペダルを踏みます。  
- または -  
シフトパドルまたはセレクターレバーを使用してギヤを切り替えます。
- ➔ エンジンが締結され、惰性走行モードが終了します。

#### パフォーマンススタートを使用した発進

パフォーマンススタート機能は、停車状態から最大加速を達成します。



#### 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況 (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど) では、車両の制御が失われることや、他の道路利用者に危険が及ぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチコントロールの使用は、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合のみにしてください。
- ▶ ローンチコントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

#### 📘 インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
  - ✓ スポーツプラスモードがONになっている。
1. 左足でブレーキペダルを確実に踏んでください。
  2. 素早くアクセルペダルをいっぱい踏み込んで、そのまま保持してください。  
➔ エンジン回転数が自動的に安定します。インストルメントパネルに表示されるメッセージは、パフォーマンススタート機能が作動していることを示します。
  3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

#### e ローンチを使用した発進

- ✓ Eハイブリッド車両
- e ローンチ機能で、停車状態から電気のみを使用して最大加速で発進することができます。
- ✓ 高電圧バッテリーが可能な限り完全に充電されている必要があります。

1. Eパワーモードを起動します。
2. 左足でブレーキペダルを踏んでください。
3. 有効なEローンチ機能に関するメッセージがインストルメントクラスターに表示されるまでアクセルペダルを踏み込み、そのポイントで停止します。
4. 数秒以内にブレーキを解除してください。

#### 📘 インフォメーション

Eパワー走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

## HOLD 機能：停止制御

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告 車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。  
HOLD 機能が作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。
- ▶ フットブレーキをかけて車両位置を保持してください。

#### ▲ 警告 上り坂での僅かな後退

フットブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、フットブレーキを踏むことにより後退を抑制することができます。

- ▶ 停止をサポートするために、フットブレーキですらに制動力を上げます。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

ブレーキペダルを踏まなくても、停止位置が保持され、進行方向に対して後退しないように制御されます。

HOLD 機能が作動すると、インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車位置に保持します。

HOLD 機能の作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動します。HOLD 機能作動時に、通常操作で発進することもできます。

#### ① インフォメーション

傾斜があるところで車両が動かないようにエレクトリックパーキングブレーキを使用する場合でも、通常操作で発進することができます。

エレクトリックパーキングブレーキは始動要求を検出し、自動的に解除されます。

- ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

#### ① インフォメーション

HOLD 機能は無効。

- 作動モードが **P** および **N** のとき：HOLD 機能が作動中にティプトロニック S 作動モードを変更すると、HOLD 機能は解除されます。
- 車両が停止していない場合。
- エンジンが手動で OFF にされた場合。
- 坂道の勾配率が 5 % 未満の場合。
- 運転席ドアが開いていて、運転席シートベルトを着用していない場合。
- ブレーキペダルを踏む力が不十分な場合。

## HOLD 機能の作動

- ✓ 作動モード **D**、**R**、または **M** を選択している。

- ▶ 車両が停止するまでブレーキペダルを踏みます。
  - ➔ HOLD 機能が作動しています。ブレーキペダルを踏まなくても、車両は停止状態を保ちます。

#### ① インフォメーション

車両が停止している間にブレーキペダルをいっぱい踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。これにより、ブレーキペダルを踏み続けなくても車両の停止状態を維持することができます。この場合、セレクターレバーの位置を素早く変更しても、HOLD 機能は解除されません。

#### ① インフォメーション

HOLD 機能作動時に、ドライバーはブレーキペダルで違いを感じることがあり、油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

## ハイブリッド車両

### ハイブリッド作動モード

パラレルプラグインハイブリッドドライブにより、以下のハイブリッド作動モードが可能になります：

- モーター / ジェネレーターによる走行。
- 内燃エンジンの駆動により走行します (内燃エンジンはモーター / ジェネレーターを介して並行して高電圧バッテリーを充電する)。
- モーター / ジェネレーターおよび内燃エンジンの駆動による走行。モーター / ジェネレーターは車両を駆動させるために内燃エンジンもアシストします (ブースト)。
- 回生を伴う走行 (エネルギー回収)：モーター / ジェネレーターは、たとえばブレーキ作動中に内燃エンジンが作動しているとき、あるいは下り坂走行中、自動的に高電圧バッテリーを充電します。

### 電力による走行の作動条件

#### ① インフォメーション

エンジンオイル内に燃料が溜まるのを防ぐため、時には、内燃エンジンを作動させた状態でより長い距離を走行してください。

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている。
- ✓ エンジン油温が約 0°C 以上。
- ✓ 高電圧バッテリーが適温 (低すぎも高すぎもしない)。
- ✓ モーター / ジェネレーターの温度が高すぎない。
- ✓ ボンネットが閉じている。

これらの条件が満たされていない場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

### 車両の始動

- ✓ 車両プラグが車両充電ポートに挿入されていない。
- 1. ブレーキペダルを踏み込んでください。
- 2. セレクターレバーの **P** ボタンを押すか、作動モードの **N** を選択してください。
- 3. アクセルペダルは踏まないでください。
- 4. コントロールユニットをイグニッションロック位置 **2** に一時的に回してください。
  - ▶ インストルメントクラスターに **READY** と表示されます。
 通常の運転操作で発進できます。

#### ① インフォメーション

車両プラグが車両充電ポートに挿入されている状態で車両を始動すると、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。

### 降車後の反応

エンジンが自動停止した後に降車する (運転席シートベルトを着用しておらず、運転席ドアが開いており、ブレーキペダルを踏んでいない場合) と、エンジンは**自動的には始動しません**。さらに、作動モード **D**、**R**、または **M** になっている場合：

- エレクトリックパーキングブレーキがかかりません。
- トランスミッションはパーキングロック **P** に入っている。

運転席ドアが開き、運転席シートベルトが外れた状態でも、エレクトリックパーキングブレーキを手動で解除すると車両を動かすことができます。この場合、パーキングブレーキは解除され、トランスミッションレンジは選択された位置のままになります。

降車後 30 秒以内に下記のいずれかに該当すると、自動エンジン始動が再び可能になります。

- ブレーキペダルを踏み、運転席ドアを開めるか、運転席シートベルトを着用した場合。
  - または -
  - 運転席ドアを閉じ、運転席シートベルトを着用した場合。
  - または -
  - パーキングブレーキを手動解除し、車両の作動モードが **D**、**R** または **M** である場合。
  - または -
  - ブレーキペダルが踏まれており、走行プログラムが変更されている場合。
  - または -
  - 車両が 2 km/h を超える速度で動いていて、ブレーキを踏んだ場合。

上記の条件のいずれも満たされなかった場合、車両から離れて 30 秒後にエンジンを**手動で始動する**必要があります。エンジンを手動で始動することを促すメッセージが、インストルメントクラスターに表示されます。

▶ 107 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

降車後の車両の反応は、運転席シートベルトが適切に使用されているかどうかに応じて変わります。

▶ 70 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

状況により、内燃エンジンを自動始動することができるように、ブレーキペダルを踏み込むことを促すメッセージがインストルメントクラスターに表示される場合があります。

## エネルギー フローの表示

ハイブリッドエネルギーフロー表示は、内燃エンジン、高電圧バッテリー、ホイール間のエネルギーの流れを示します。

## ダッシュボードのタッチディスプレイ：

▶ ▶ ハイブリッド ▶ E フロー

## インストルメントクラスター：

▶ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

## インストルメントクラスターのパワーメーター

パワーメーターの6時の位置の左側に現在の電気駆動力が表示され、右側に現在の回生容量が表示されます。  
▶ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

## ゼロエミッションをPCMに表示する

ハイブリッドゼロエミッション表示は、内燃エンジンなしで車両が走行した時間をパーセントで示します。

▶ ▶ ハイブリッド ▶ 統計値

## Eドライブアシストをインストルメントクラスターに表示する

Eドライブアシストは電気駆動力を計測する補助として使用されます。

緑色部分はアクセルペダルの可動域を表します。アクセルペダルを強く踏み込むほど、より多くの電力が利用可能になります。内燃エンジンはパワー限界値 **E max** で ON になります。利用可能なパワー限界値は選択された走行プログラムによって異なります。

スケール中央の情報は、おおよその電動走行可能距離を表します。上下の矢印は、現在の走行スタイルおよび現在選択された負荷で表示された走行可能距離に達することができるかどうかを表します。

## 電費をインストルメントクラスターに表示する

電費は、車両が始動した以降の平均電力消費量を瞬間値または累計値として表示します。さらに、リングは車両走行およびコンフォート機能の配分率(エアコンなど)の面で電気消費の値がどのように構成されているかを表示します。

## ブーストアシストをインストルメントクラスターに表示する

ブーストアシストは加速のために使用される車両電気駆動力のパーセンテージを示します。利用可能なブーストが不十分な場合、スケールは灰色です。ブースト充電が最大に達するまで、スケールは白色で表示されます。

## モードスイッチによる走行プログラムの選択

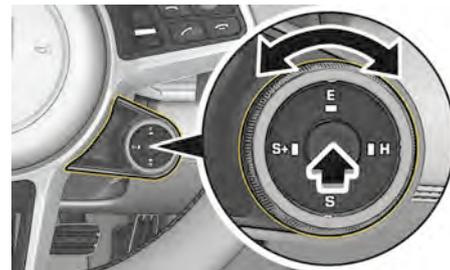


図. 107 ステアリングホイールのモードスイッチ

- E E パワー
  - H ハイブリッド (HYBRID AUTO、E-HOLD、E チャージ)
  - S スポーツ
  - S+ スポーツ プラス
- スイッチ中央** スポーツ レスポンス ボタン
- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望する走行プログラムを選択します。

➔ 選択した走行プログラムのインジケーターライトが点灯し、デジタルスピードメーターに走行プログラムが表示されます。

## ① インフォメーション

該当する走行プログラムも PCM で選択することができます。

▶ ▶ ハイブリッド ▶ モード

## ① インフォメーション

ハイブリッド車両の場合、INDIVIDUAL 走行プログラムは通常センターコンソールの

**INDIVIDUAL** ボタンを使用して選択されます。

## E パワー走行プログラム

E パワー走行プログラムが**作動するようデフォルトで設定されており**、電動モーターだけの走行を可能にします。イグニッションを OFF にした後に、選択された走行プログラムは、この走行プログラムの条件が満たされる場合に自動的に E パワーに戻ります。

電動走行可能距離は走行スタイル、気象、およびエネルギー多消費型の負荷によって異なります。

慎重な走行スタイルおよびエネルギー多消費型の負荷の使用を抑制することが、有効な電動走行可能距離にプラスの影響を与えます。

### インフォメーション

E パワー走行プログラムでは、アクセルペダルにハイブリッド特有のエンドポイントがあります。このエンドポイントを超えると、内燃エンジンが始動します。

E パワー走行プログラムの前提条件が満たされない場合(高電圧バッテリーの充電不足など)、E パワー走行プログラムの作動後、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

### E パワー走行プログラムのステータスディスプレイ

利用可能な電力のみがインストルメントパネルの出力&駆動ゲージに表示されます。

 E パワー走行プログラムが利用可能です。

## ハイブリッドドライブプログラム

ハイブリッド走行プログラムでは、3 つの異なる作動モードが利用可能です。HYBRID AUTO、E-HOLD、E チャージ。

### HYBRID AUTO モード

HYBRID AUTO モードは、スイッチが **H** の位置で**作動するようデフォルトで設定されています**。ナビゲーションシステムおよび現在の速度から得たルート固有デー

タを考慮に入れて、最も効率的な車両の走行を予測します。高電圧バッテリーの充電が E パワー走行プログラムで走行するには低すぎる場合、HYBRID AUTO モードが自動的に作動します。

### E-HOLD モード

E-HOLD モードは、例えば、現在使用可能な高電圧バッテリーの充電が意図的に維持されるようにして、後で車両が電動モーターのみで走行できるようにします。ブースティングおよび制限された電動モーター走行は、この走行プログラムでも可能ですが、充電状態が変動することがあります。

### E-HOLD モードの作動

▶  ハイブリッド  E-HOLD

### Eチャージモード

Eチャージモードでは、走行しながら高電圧バッテリーを充電できます。このモードは内燃エンジンの駆動走行時に電動モーターによる走行可能距離を延ばす目的に特に役に立ちます。高電圧バッテリーは、例えば高速道路を走行しているときに充電でき、そうすることにより、市街地ではバッテリーの電力だけを使用して走行できます。

### Eチャージモードの作動

✓ 高電圧バッテリーが完全に充電されていません。

▶  ハイブリッド  Eチャージ

## オンロード / オフロードドライビングプログラム

オンロード / オフロードドライビングプログラムの車両設定に関する追加情報：

▶ 113 ページの「オンロードドライビングプログラム」の章を参照してください。

▶ 112 ページの「オフロード走行プログラム」の章を参照してください。

### スポーツ走行プログラム

スポーツ走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションがスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

### スポーツ プラス走行プログラム

スポーツ プラス走行プログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。エンジンとトランスミッションが最もスポーティーな設定になります。高電圧バッテリーは、より頻繁に長い時間ブーストできるように、なるべく早く完全に充電されます。

### オフロードドライビングプログラム

オフロードドライビングプログラムでは、内燃エンジンは常に作動しています。高電圧バッテリーの充電は、ブースト機能を使用するために最少レベルになります。

## インターセクションアシスト

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告

車両周辺の検出の制限

センサー(カメラ、レーダーなど)が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素(降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など)により制限される場合があります。その結果、警告が発せられないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ フロントカメラレンズおよびフロントレーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- ▶ センサーの視野を覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

#### ▲ 警告

ブレーキ振動がない

PSMがOFFになっている場合、衝突の危険に先立ってブレーキ振動が発せられることはありません。この場合、システムから表示と警告音のみにより、ドライバーに警告します。

- ▶ 道路状況に応じた適切な運転と走行スタイルを心がけてください。

## システム制限

#### ▲ 警告

システムの使用には制限があります

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

歩行者や動物は検出されません。

自転車は検出されない場合があります。

高速で接近してくる車両、またはゆっくり接近してくる車両もタイミングよく検出できない場合があります。

周囲の反射物(鉄橋、鉄製の手すりなど)により、誤警告を発したり、警告が全く発信されなかったりする恐れがあります。

横断する物体により加速や走行スタイルの変更(急な方向転換など)が求められた場合には、誤った警告が発せられたり、警告が全く発せられないことがあります。

脇道に入るときなど、車両が走行車線の方向を向いていない(走行車線に対して斜め、直角になっている、あるいは鋭角に上方向または下方向を向いている)場合は、接近する車両を検出できないか、タイミングよく検出できない可能性があります。

車両が停車位置から発車するときに、場合によっては、脇道に入ろうとしていることが検出されないか、遅れて検出される場合があります。システムが直進走行を想定していたことにより、誤った衝突警告が発せられる可能性があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理

インターセクションアシストにより、交差点やスリップロードで車両の前方と左右の状況を監視します。この監視機能は、車両に組み込まれたカメラとレーダーセンサーが担います。

衝突の可能性がある場合、インストールメントパネルとセントラルディスプレイに警告を表示し、警告音を鳴らすことでドライバーに警告します。状況によっては短いブレーキ振動で警告を行います。

## ディスプレイ



図. 108 インストールメントパネルの衝突警告

システムは衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストールメントパネルおよびヘッドアップディスプレイに警告を表示してドライバーに警告します。

- パーキング アシスタントが作動している場合に限り、PCM のディスプレイに表示されます。
- **ACC** メイン メニューが起動している場合に限り、インストルメント パネルのディスプレイに表示されます。

### インターセクションアシストの ON/OFF の切り替え

インターセクションアシストの ON/OFF は PCM で切り替えることができます。

- ✓ トランスミッションレンジ **D** が選択されていません。
- ✓ 約 30 km/h 以下の速度で走行しています。
- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になっています。

▶  ▶ アシスタンス ▶ インターセクションアシスト

#### インフォメーション

この機能は、作動待機が確立されると自動的に有効になります。

---

## ライト

### 概要説明 – ライト

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 109 ライト コントロールパネル

希望する操作	操作方法	操作場所
オートマチックヘッドライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <b>AUTO</b> ボタンを押してください。 <b>AUTO</b> ボタンが赤色に点灯します。 オートマチックヘッドライトとポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) が ON になります。</li> </ul>	130 ページ
パーキングライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ボタンを押してください。 ライセンスプレートライト、インストルメント照明、および車幅灯が ON になります。</li> </ul>	-
ロービームを手動で ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ イグニッションを ON にする</li> <li>▶  ボタンを押してください。 ロービームが ON になります。オートマチックヘッドライト、デイトタイムドライビングライト、およびポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) が OFF になります。</li> </ul>	-
リヤフォグライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ボタンを押してください。</li> </ul>	-
エクステリアライトを完全に OFF にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ボタンを約 2 秒間押してください。 <b>AUTO</b> ボタンが消灯します。すべてのエクステリアライトは、速度が 10 km/h または距離が 100 m を超えるまでは消灯したままです。</li> </ul>	130 ページ

## 一般的な安全に関する指示

### ⚠ 警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

### ⚠ 警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを使用して走行するときの注意の欠如

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時はたとえば周囲の明るさ、視界、交通状況などに応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、ライトが暗い道路利用者がいる場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道

1. 一部の国で利用可能です

- 明かりが少ない市街地
- 道路標識などの強い反射がある場合
- カメラ部分のフロントウインドウが曇っている、汚れている、凍結している、あるいはステッカーで塞がれている場合

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## オートマチックヘッドライト / エクステリアライトのON/OFFの切り替え

### オートマチックヘッドライトをONにする

- ▶  ボタンを押してください。  
 ▶ オートマチックヘッドライトがONになります。

次のような状況では、ロービームは自動的にONになります：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時

ロービームがONになると、インストルメントパネルのインジケータライト  が点灯します。

### インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧の場合には、前照灯と後部フォグライトのスイッチを手動で入れてください。

## エクステリアライトを完全にOFFにする

- ▶  ボタンを約2秒間押してください。  
 ▶ ボタン  のインジケータライトが消灯します。

次のような状況では、自動ライトは再度ONになります<sup>1</sup>：

- 10 km/h 以上の速度
- エクステリアライトをOFFにした後 100 m 以上走行した場合

## 雨機能

ワイパーの連続作動が検出されると、ロービームが自動的にONになります。ワイパーが一時停止すると、ロービームがOFFに戻ります。

### インフォメーション

気温と湿度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。この霧は十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

## ライト機能の使用

### オートマチックカミングホームライトの調整

- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっています。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らします：

- デイタイムドライビングライト
- 開いた状態の格納式ドアミラーのドアカーテシーライト
- フロントおよびリヤの車幅灯
- ライセンスプレートライト

### ウェルカムホーム機能 (遅延消灯)

車両をロックすると、設定した遅延消灯時間の間ライトが点灯したままになります。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

#### エントリー機能 / イグジット機能

車両をロック解除すると、設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションが ON になっている
- オートマチックヘッドライトが OFF になっている

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

#### ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)

- ✓ PDLS を含む LED ヘッドライト
- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっています。

#### スタティック コーナリング ライト

最大 130 km/h の速度で、ステアリングホイールを回すと、スタティック コーナリング ライトのスイッチが ON になります。

#### ダイナミック コーナリング ライト

速度が約 5 km/h を超えている場合、一車両速度とステアリングホイールの角度に応じて、コーナーに向けてロービームまたはハイビームヘッドライトの向きが変わります。

#### 状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (一部の国で利用可能) により、ロービームおよびハイビームヘッドライトの配光は、市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適応します。

#### 悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でリヤフォグライトが点灯している場合、ロービームの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

#### ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)

- ✓ PDLS Plus を含む LED マトリックスヘッドライト
- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっています。

PDLS Plus には PDLS 機能も含まれます。

▶ 131 ページの「ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)」の章を参照してください。

#### ジャンクション ライト

ナビゲーションデータが交差点と合流点を検出して、ライト配光を修正し、これらを照らします。

#### ダイナミック ハイビーム



図. 110 フロント ウィンドウ カメラ

ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A (図. 110) により光源や他の通行者を検出することができます。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントを点灯または消灯させることができます。車両前方の該当する領域は減光され、それ以外の領域は照射されたままになります。

これにより他の道路利用者を眩惑させることなく、確実に最も効果的な方法で環境を照らすことができます。

ダイナミックハイビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間でナビゲーションデータに応じて ON または OFF にされます。カメラが街灯を検出した場合も、ハイビームからロービームに切り替わります。

#### **i** インフォメーション

検出挙動を妨害しないために：

- ▶ ルームミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

### パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
- ✓ 前走車。
- ▶ 運転中に追い越し場合、方向指示灯を作動させてください。
  - ➔ 前走車の隣の領域が明るく照らされます。
 方向指示灯が解除された場合、または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動で消灯します。

### 検知ライト

- ✓ 前走車なし。
  - ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。
- 走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようになります。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

### 標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミックハイビームがONになっています。
- 反射式の交通標識や他の標識の眩しさによって（特にハイビームを使用して運転する際）ドライバーが眩惑する場合があります。
- 標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイビームヘッドライトの各LEDセグメントを適切に調整します。反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

### オートマチックヘッドライト較正

- ✓ 車両の直ぐ近くに障害物はありません。
- ✓ 壁など照射対象表面の前方に、可能な限り真っ直ぐな位置に車両を置きます（距離 > 5m）。
- ✓ 基準ラップ中の停止時に郊外道路ライトは作動しています。

自動ヘッドライト較正は、適切な条件が揃えば（アンビエントライト、良好な照射面）自動的に開始されます。較正中、ヘッドライトのLEDセグメントは右から左の順に自動的に点灯と消灯を繰り返し、その状態をカメラA(図.110)が検出します。

較正はヘッドライトアライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

### 方向指示灯 / ハイビームレバーの操作

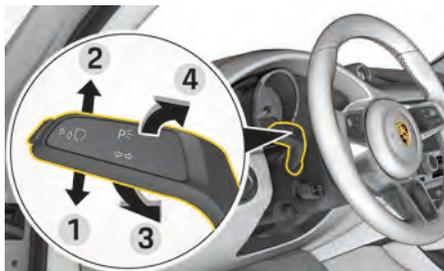


図.111 方向指示灯、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示灯 / 左側パーキングライト
- 2 方向指示灯 / 右側パーキングライト
- 3 ハイビーム / ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトパッシング

### 方向指示灯の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置1または2(図.111)を超えるまでレバーを押してください。方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

### コンフォート方向指示の有効化

1. 抵抗を感じる位置1または2(図.111)までレバーを1度押してください。
  - ➔ 方向指示灯が3回点滅します。
2. コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。

### ハイビームのON/OFFの切り替え

- ✓ PDLs Plus 非装備車。
  - または-
 LEDマトリックスハイビームアシスタント調整が停止しています。

### ONにする

- ▶ 操作レバーを3(図.111)の位置に1度押します。
  - ➔ インジケータライト  が点灯します。

### OFFにする

- ▶ 操作レバーを4(図.111)の位置に1度引きます。
  - ➔ インジケータライト  が消灯します。

### ダイナミックハイビームのON/OFFの切り替え

- ✓ PDLs Plus 装備車。
- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっていません。
- ✓ LEDマトリックスハイビームアシスタント調整が作動しています。
  - ▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 作動

- ▶ 抵抗を感じる位置 3(図. 111) までレバーを 1 度押ししてください。
  - ➡ インジケーター ライト  が点灯します。
 他の車両の位置、スピードなどのさまざまな要因に応じて、ハイビームヘッドライトの各 LED セグメントが点灯したり消灯したりします。ハイビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター ライト  が点灯します。

## 停止

- ▶ 抵抗を感じる位置 4(図. 111) までレバーを 1 度押ししてください。
  - ➡ ダイナミック ハイビームは、インジケーター ライト  点灯中に限り停止できます。
 ダイナミック ハイビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

## 手動で ON にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 3(図. 111) までレバーを 2 度押ししてください。
  - ➡ インジケーター ライト  が点灯します。

## 手動で OFF にする

- ▶ 抵抗を感じる位置 4(図. 111) までレバーを 1 度押ししてください。
  - ➡ インジケーター ライト  が消灯します。

## ヘッドライト パッシングの操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 4(図. 111) までレバーを短く 1 度押ししてください。
  - ➡ インジケーター ライト  が短時間点灯します。

## パーキングライトの ON/OFF の切り替え

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- ▶ 抵抗を感じる位置 2 または 1(図. 111) を超えるまで操作レバーを押すと、右または左のパーキング ライトが点灯します。
  - ➡ パーキング ライト点灯中にドアを開けると、インストルメント パネルにメッセージが表示されます。

## ハザード ライトの ON/OFF

 危険 衝突の危険

危険な場所で停止すると衝突の危険があります。

- ▶ 安全かつ適切な場所で停車してください。
- ▶ 車両から離れてください。
- ▶ ハザード ライトをオンにして、停止表示板を設置します。



図. 112 ハザード ライトの ON/OFF

## ハザード ライトの ON/OFF

- ▶ センター コンソールのボタンを押してください。
  - ➡ すべての方向指示器とボタンが点滅します。

## 緊急ブレーキ後のハザード ライトの解除

- 約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザード ライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキ ライトが点滅します。
- ▶ センター コンソールのボタンを押して、ハザード ライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザード ライトが自動的に停止します。

## 事故後のハザード ライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザード ライトが自動的に作動します。

## トラベル モード作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの眩惑を防ぐことができます。配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。変更後は、イグニッションを ON にするたびにインストルメント パネルにメッセージが表示されます。

自動的に変更が行われない場合：

- ▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。
- ▶ 帰国したときは、ヘッドライトを元の設定に戻すことを忘れないでください。

## バルブの交換

車両のエクステリア ライトおよびインテリア ライトには LED が取り付けられています。LED は個別に交換できません。

ライトの取り外しおよび取り付けには、大きな労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとライトの交換または修理は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### 知識

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライトにカバー(ストーンガードやフィルムなど)を装着しないでください。

### ① インフォメーション

LED マトリックス ヘッドライトを備えた車両では、ロービームの設定を確認するにはボンネットを開ける必要があります。

- ▶ ヘッドライト調整は、必ず専用の調整装置を使用しているポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ナイトビューアシスト 一般的な安全に関する指示

### ▲ 警告

集中力の低下、およびナイトビューアシストにより障害物が検出されない

ナイトビューアシストはサポートシステムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っていることを警告するものではありません。事故を起こす恐れがあります。適時ブレーキをかけること、および状況に適した車両ライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

### ▲ 注意

ナイトビューアシストの制限または使用不可

パーキング分路などによるバンパーへの衝撃や損傷により、センサー位置がずれる場合があります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

### ▲ 警告

システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

人物や動物をいつも検出できるわけではありません。

外気温が28°Cを超える場合、システムは自動的に無効になります。外気温が25°Cよりも下がると、再び自動的に有効になります。

豪雨、降雪、凍結など、悪天候によって、カメラの動作に支障をきたし、結果として衝突リスクの検出能力が低下する場合があります。

システムの内部制限により、複雑な走行状況では、人物および動物警告が不意に作動することがあります。

- ▶ 進行方向と周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理



図. 113 ナイトビューアシストサーマルイメージ

ボルシェナイトビューアシストには、次の機能が搭載されています。

- サーマルイメージの表示
- 歩行者および動物警告

車両フロントのナイトビューアシストのサーマルイメージングカメラは周囲のサーマルイメージを提供し、インストルメントパネルの車両&情報ディスプレイに表示することができます。システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

サーマルイメージングカメラは、熱放射の帯域のみを感知します。そのため、このカメラの画像は人間の目に知覚できる映像とはかなり異なる場合があります。ナイトビューアシストは、周囲がかなり暗く、温度が28℃未満の場合に人と動物を検出します。

衝突が起こりそうになる場合、または歩行人に近づく危険な運転をする場合、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。カメラ画像は人を赤色で表示します。ボルシェダイナミックライトシステムプラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。

市街地の外で野生動物と衝突が起こりそうになる前にも、システムの限界内で警告が発せられます。この場合、システムはドライバーに、視覚と音により警告します。動物を赤色で示したカメラ画像も、危険位置を察知できるようにドライバーをサポートするために表示されます。

## 歩行者警告



図. 114 インストルメントパネルの歩行者警告。

歩行者と衝突する危険性をシステムが検出した場合、車両の速度が最大 250 km/h の範囲内であれば、警告音、インストルメントパネルでの表示によりドライバーに警告が行われます。歩行者警告は、歩行者が走行

車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってきた場合に行われます。ボルシェダイナミックライトシステムプラス装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

## 動物警告



図. 115 インストルメントパネルの動物警告

動物警告は、野生動物による危険を警告します(例：市街地から離れた場所のシカなど)。動物警告は予測される走行車線に動物がいるか、危険なほど接近している場合に作動します。市街地では、つながれた犬などによる警告の誤報を防ぐため、動物警告が自動的に停止します。

## ナイト ビュー アシストの ON/OFF の切り替え

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ 基本アシスタンス ▶ ナイトビューアシスト

## 衝突警告および画像調整の設定

衝突警告のタイミングおよびナイト ビュー アシストのイメージパラメーターは PCM で設定できます。

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンス システム設定 ▶ ナイトビューアシスト

## ナイトビューアシストステータスディスプレイ

記号	インストールメントパネル	意味
	速度 & アシスト機能ディスプレイ	ナイト ビュー アシストはバックグラウンドで作動します。
[  ]	車両 & 情報ディスプレイ	カメラ画像が表示されている場合、車外の状況(外気温度や明るさ)が原因で、システムが人物や動物を確実に検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。

## ① インフォメーション

- ▶ 車両の前側のナイト ビュー アシストのサーマルイメージングカメラは、定期的に清掃してください。

## ナイトビューアシストカメラの清掃

フロントウィンドウウォッシャーシステムを繰り返し操作すると、ナイト ビュー アシスト カメラが自動的に清掃されます。

- ▶ 149 ページの「フロントウィンドウワイパーの操作」の章を参照してください。

## 緊急停止機能

### 一般的な安全に関する指示



警告 集中力の低下および障害物が検出されない

このシステムは、システムの制限内でのみドライバーを支援できますが、ドライバーの代わりになるものではありません。システムの支援を過信した無謀な運転は避けてください。

このシステムはすべての状況下で事故を防ぐことはできません。ドライバーは常に適切な対応をする責任を負っています。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

このシステムは以下の状況を検出できません。

- 人、自転車、動物
- 路上の障害物
- 対向車および交差車両

## システム制限

以下のような状況では、機能が制限されたり、応答しなくなったり、自動的に停止したりする場合があります。

- ドライバーがアクセルペダル、ブレーキまたはステアリングを操作した場合。
- レーンキープアシスト、アクティブレーンガイダンス、ACC、PID などの走行システムが制限されている場合。
- レーダーセンサーまたはカメラ前面のフロントウィンドウが損傷しているか、汚れている場合。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理

このシステムはドライバーのステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作をモニターし、0 km/h から約 210 km/h～250 km/h の速度範囲内で操作を支援します<sup>1</sup>。

緊急停止機能が作動すると、視覚、音、または触知での警告が段階的に開始され、車両が停止するまでブレーキがかかります。

緊急停止機能が ON になっているとき、次の条件が満たされた場合に緊急停止が作動します。

**0 km/h ～65 km/h の速度範囲内で、以下の状況であること。**

- アクティブレーン ガイダンスが作動しており、アクティブレーン ガイダンスから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。

**65 km/h ～210 km/h の速度範囲内で、以下の状況であること。**

- アクティブレーン ガイダンスが作動しており、アクティブレーン ガイダンスから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- アクティブレーン ガイダンスが OFF でレーン キープアシストが作動しており、レーン キープアシストから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- アクティブレーン ガイダンスおよびレーン キープアシストが OFF になっており、ステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が一切検出されない。

**210 km/h ～250 km/h の速度範囲内で、以下の状況であること。**

- レーン キープアシストが作動しており、レーン キープアシストから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- レーン キープアシストが OFF になっており、ステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が一切検出されない。

65 km/h 未満の速度でアクティブレーン ガイダンスが無効になっている場合、緊急停止機能は作動しません。

これらの警告は、以下の方法でドライバーに車両を制御するよう促します。

- インストルメント パネルのドライバーへの指示
- 警告シグナル
- PCM ミュート
- ベルトを急に引く動作
- ブレーキ振動およびゆるやかなブレーキ

ドライバーがそれでも反応しない場合、緊急停止機能が以下のように緊急停止を実行します。

- ハザードライトを点灯させます。
- シートベルトに張力がかかります。
- ウィンドウが閉じます。
- シート サイド ボルスターが膨張します (装備仕様により異なる)。
- 車両は走行車線内で停止するまで制動されます。同時にさらにブレーキ振動が加えられます。

車両の停止後、パーキング ロックとパーキング ブレーキが作動し、ドアのロックが解除され、インテリア ライトが作動し、緊急電話<sup>2</sup> も作動します。

- ▶ 再発進するには、トランスミッション レンジ **D** または **R** を選択します。

## 緊急停止機能を無効にする

緊急停止機能は運転中に無効にできません。これにより、システムは一時的に無効化されます。またドライバーが知らずに操作する場合でも無効になります。緊急停止機能は、下記の操作により無効になります。

- ▶ ステアリング ホイールを動かす
  - または-
  - ブレーキペダルを踏む
  - または-
  - アクセルペダルを強く踏む。

## 緊急停止機能の ON/OFF の切り替え

- ▶  アシスタンス ▶ 基本アシスタンス ▶ 緊急停止機能

1. 指定の速度範囲は、駆動力、タイヤ、負荷、路面、上り坂と下り坂の勾配などのさまざまな要因によって変動します。

2. 国別仕様および装備による

## ① インフォメーション

この機能は、作動待機が確立されると自動的に有効になります。

## パークアシスト

### 一般的な安全に関する指示

#### ▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内がないことを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

#### ▲ 警告 センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

#### ▲ 注意 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

## システム制限

システムは以下を検出できません。

- 音波を吸収する障害物 (冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する障害物 (ガラス面やなめらかな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (細い支柱など)。
- その他の超音波を発する機器 (他車のエア ブレーキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

## 機能

ドライバーが駐車操作をしているとき、パークアシストは車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

PCM にパークアシストが視覚的表示が表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

## 距離測定



図. 116 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサー A(図. 116) が、最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、**警告音が断続的に**鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。警告音の音量は PCM で設定できます。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## パーキングアシスタントの作動および停止

### パーキングアシスタントの作動

#### 自動作動

- ✓ 作動待機が ON になっています。
- ✓ 車両速度が約 15 km/h 未満。
- ✓ 作動モード **R** を選択しています。
  - または -
  - 前方の距離が約 80 cm 以下。
  - または -
  - 車両の後退を検出しています。

#### 手動での作動

▶  ▶ アシスタンス ▶ パーキングアシスタント

### ダッシュボードのタッチディスプレイの表示



図. 117 パーキングアシスタントディスプレイ

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
白色	車両の経路にない障害物との距離。	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

記号	意味
	現在の駐車操作に対しパーキングアシスタントを無効にします。15 km/h の速度を超えるか、作動モード <b>R</b> を再度選択した場合、無効化はキャンセルされます。

**P**  オーディオ再生を OFF にします。

#### インフォメーション

パーキングアシスタントがトレーラーを検出した場合、後方の距離情報は表示されません。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関する情報：

▶ 177 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## パーキングアシスタントの停止



図. 118 パーキングアシスタントの停止

- ▶ オーバーヘッドコンソールのボタンA(図. 118)を押してください。
    - ➡ ボタンのインジケータライトが点灯します。
- PCMには何も表示されません。PCMの表示を手動で再度ONにすることはできません。

–または–

PCMで、**X**をタップします。

–または–

作動モード**P**を選択してください。

## パーキングアシスタントの設定

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ パーキングアシスタント

## カメラの使用 リバースカメラ

## 一般的な安全に関する指示



**警告**

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバースカメラ画像には車両の後方全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

## システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、使用範囲が限定されます。

## 機能

リバースカメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。

リバースカメラ画像はPCMに表示されます。

## リバースカメラの作動

### 自動

- ✓ イグニッションがONになっており、作動モード**R**が選択されています。

–または–

車両の後退を検出している。

### 手動

- ▶ ▶ アシスタンス ▶ パーキングアシスタント

## リバースカメラの停止

### 自動

- ✓ 車両速度が15 km/h以上。

### 手動

- ▶ 作動モード**P**を選択してください。

## サラウンドビュー

## 一般的な安全に関する指示



**警告**

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバースカメラ画像には車両の後方全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

## 機能

サラウンドビューは車両を上から見た映像で、車両周辺のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。サラウンドビューが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシーライトのスイッチがONになります。

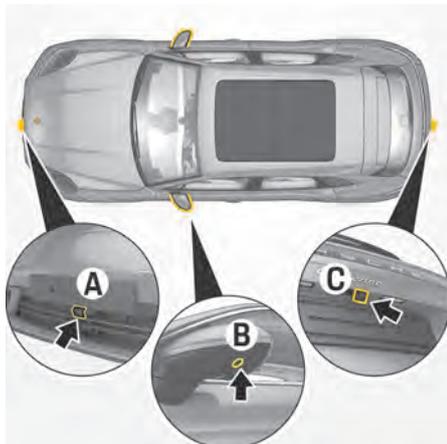


図. 119 サラウンドビューカメラの位置

- A フロントバンパーのセンターにあるカメラ
- B 両方のドアミラーのカメラ
- C ライセンスプレートライト間のカメラ

### サラウンドビューの作動

#### 自動

- ✓ パーキングアシスタントが作動しています。

#### 手動

- ▶ オーバーヘッドコンソールのボタン を押してください。
- または-

▶ アシスタンスパーキングアシスタント

### ビューの変更

- ▶ PCMで任意のビューのシンボルをタップします。
- ➔ 有効になっているビューのシンボルは赤色で強調されます。

記号	ビュー
----	-----



#### 駐車

- ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。



#### パノラマ

- ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。



#### サイド (装備仕様により異なる)

- ▶ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。



#### 3Dビュー (装備仕様により異なる)

- ▶ サイドカメラシンボルのいずれかをタップして、視点を切り替えます。
- ▶ 画面下部にあるカメラシンボルをタップして、オールラウンドビューを選択します。カメラ画像をスワイプして視点を360°回転させることができます。



#### リバースカメラの清掃

- ✓ Cayenne クーペ モデル

記号	ビュー
----	-----

- ▶ シンボルをタップしてカメラを清掃します。

✓ Cayenne モデル

▶ 148 ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。



トレーラー操作サポート (装備仕様により異なる)

▶ 243 ページの「トレーラーアシスト」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

カメラ画像に加え、フロントおよびリアカメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。

これらのガイドラインは、ステアリングホイールが現在位置にあるときに車両が進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置の変更に応じて変わります。

### サラウンドビューの停止

- ▶ PCMで、 をタップします。

-または-

作動モード **P** を選択してください。

## ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

### 一般的な安全に関する指示

#### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

PASM システムはショック アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル ダンパー システムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピング フォースを制御します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で3種類のシャーシモードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

「ノーマル」モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定ではスポーティーなダンパー コントロールになります。「スポーツ プラス」モードでは、ダンパー コントロールは妥協のないスポーティーな走行(サーキットでの走行など)に最適化されます。マニュアル モードを選択することに加えて PASM も、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するためにダンピング フォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

## PASM モードの選択

### シャーシモードの選択

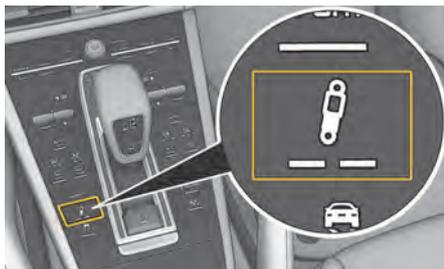


図. 120 センター コンソールの PASM ボタン

1. イグニッションを ON にします。
2. ボタン  を繰り返し押してください。
  - ◆ ボタンのインジケーター：
    - 「ノーマル」(デフォルト設定)を選択した場合、インジケーターライトは点灯しません。
    - 「スポーツ」を選択すると、インジケーターライトが1つ点灯します。
    - 「スポーツ プラス」を選択すると、インジケーターライトが2つ点灯します。

さらに、選択したシャーシモードはインストルメントパネルに短時間表示されます。

### インフォメーション

シャーシモードはPCMでも設定できます：

▶  ▶ 走行 ▶ シャーシ

### インフォメーション

イグニッションを OFF にした後でも、最後に選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

## 警告メッセージへの対応

PASM の故障はインストルメント パネルに表示されません。

▶ 187 ページ

## エア サスペンションおよびレベリング システム付きボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

### PASM エア サスペンション付き

PASM (切り替え可能エア サスペンションおよびレベリング システム付き) は、ショック アブソーバーとサスペンションをアクティブに調整するシステムであり、車高バランス システムでもあります。アジャスタブル サスペンション システムは、走行状態や走行条件に応じて各ホイールに適切なダンピング レベルを選択し、エア サスペンションのスプリング レートを切り替えます。レベリング システムは自動的に負荷変化のバランスを取り、一定の車高を維持します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で3種類のシャーシモードから選択できます。

- 「ノーマル」
- 「スポーツ」
- 「スポーツ プラス」

「ノーマル」モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。「スポーツ」シャーシ設定では、非常にスポーティーなスプリング / ショック アブソーバー調整になります。「スポーツ プラス」モードでは、スプリング コントロールとダンパー コントロールが、妥協のないスポーティーな走行(サーキットでの走行など)向けに最適化されます。車高も標準レベルより約 18 mm 低く設定され、低レベルに切り替わります。

マニュアルモードを選択することに加えてPASMも、スポーツ性能の大幅な向上や快適な走行を実現するために、スプリングレート設定とダンピングフォースの要件を走行状況に合わせて調整します。

### ① インフォメーション

- 車両に荷物が載っている場合、車両の高さは自動的に保持されます。エンジン作動中にのみ個別レベルが設定できます。
- レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

### ① インフォメーション

エアサスペンション装備車が数週間停止したままの場合、車高が低くなる場合があります。エンジンを始動すると自動的に正常な車高に再調整されます。このプロセスは、車両によっては数分かかります。このとき、地上高が減少します。

## シャーシモードの選択

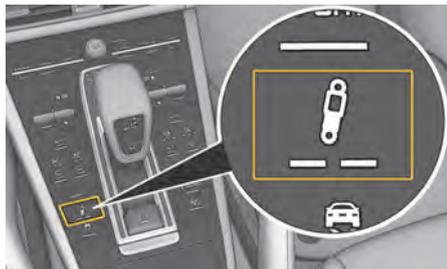


図. 121 センターコンソールのPASMボタン

1. イグニッションをONにします。
2. ボタン  を繰り返し押してください。  
 ▶ ボタンのインジケーター：
  - 「ノーマル」(デフォルト設定)を選択した場合、インジケーターライトは点灯しません。
  - 「スポーツ」を選択すると、インジケーターライトが1つ点灯します。
  - 「スポーツ プラス」を選択すると、インジケーターライトが2つ点灯します。

さらに、選択したシャーシモードはインストルメントパネルに短時間表示されます。

### ① インフォメーション

シャーシモードはPCMでも設定できます：

▶  ▶ 走行 ▶ シャーシ

### ① インフォメーション

イグニッションをOFFにした後でも、最後に選択したシャーシモードは保存された状態のままになります。

### ① インフォメーション

車両が停止している場合、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

## シャーシ高の調節

シャーシレベルはPCMで設定できます。イグニッションをOFFにした後でも、そのとき選択しているシャーシモードと車両レベルがメモリーに保存されます。

▶  ▶ 走行 ▶ シャーシレベル

標準の高さ

標準レベルが、「ノーマル」と「スポーツ」シャーシモードの標準として採用されています。「スポーツ プラス」モードでは、PCMの走行メニューから手動で標準レベルを選択できます。

## テレーンレベル(高レベル)

テレーンレベルは、標準の高さと比べて地上高が約55 mm高く、最大の地上高での走行時に使用します。テレーンレベルは約35 km/h未滿で走行している場合は手動で選択でき、それより速い場合は自動で解除されます。テレーンレベルはオフロードモードの「岩」で自動的に適用されます。

## 高レベル

高レベルは、標準レベルと比べて地上高が約25 mm高く、悪路での走行時に使用します。高レベルは約80 km/h未滿で走行している場合は手動で選択でき、それより速い場合は自動で解除されます。高レベルはオフロードモード「砂」、「泥」、「砂利」で自動的に適用され、速度が120 km/hで自動的に解除されます。

### ① インフォメーション

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーが冷えると、システムは選択したレベルに自動的に調整されます。

## 低レベル

低レベルは、標準の高さと比べて地上高が約18 mm低く、スポーツ走行時に使用します。低レベルは、オンロードモードでいつでも手動で選択できます。低レベルは「スポーツ プラス」シャーシモードで自動的に適用されます。

## ① インフォメーション

ドアが開いている場合、車両は下がりにません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

## ドロップフレーム機能

この機能はラゲッジコンパートメントへの積載を容易にするものです。車両後部が約66 mm下がります。速度が約5 km/hを超えると、車両は自動的に以前の設定レベルまで上がります。

### 知識

シャーシ部品、アッセンブリーおよび車両下周りを損傷する恐れがあります。

車両がフレームを落としたまま縁石から発進すると、地上高が不十分などの理由で、車両の下周りが地面に接触することがあります。

- ▶ 発進する前には必ず標準レベルに切り替えてください。

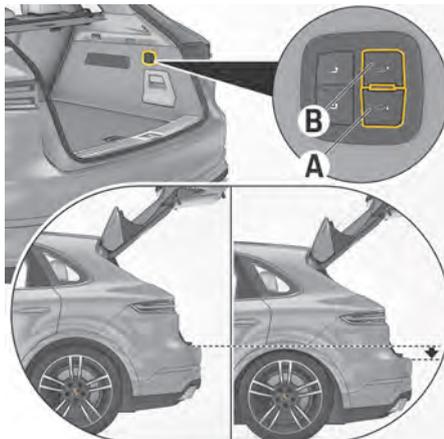


図. 122 ラゲッジコンパートメントのボタンによるドロップフレーム機能の設定

ドロップフレーム機能は、ラゲッジコンパートメントの進行方向右側のサイドトリムパネルの2つのボタンAおよびB(図. 122)を使用して設定できます。

選択されたモードにより、ボタンを押してから車両後部が上昇または降下するのに1-2秒かかることがあります。車両後部は選択するモードにより、さまざまな速度で上昇することがあります。

### 車両後部を下げる

- ✓ リヤリッドが開いています。
- ▶ ボタンAを押して続けてください。2つのボタンAおよびB間のライトインジケータが点灯します。
  - ➡ 車両後部が下がります。

### 車両後部を上げる

- ✓ リヤリッドが開いています。

- ▶ ボタンBを押して続けてください。
  - ➡ 2つのボタンAおよびB間のライトインジケータが点灯します。
 車両後部が初期レベルに上げられ、ライトインジケータは消灯します。

## ① インフォメーション

- ドロップフレーム機能が作動しているときは、その他のレベリングシステムは作動しません。
- 2つのボタンAおよびB間のライトインジケータが点滅し続ける場合、ドロップフレーム機能を作動させることはできません。例：コンプレッサーエアがない、バッテリー電圧が低すぎる、レベリングシステムに故障があるなど。

## トレーラーけん引時のレベリングシステム

トレーラーけん引時、低レベルは利用できません。トレーラーけん引時、テレーンレベルおよび高レベルは35 km/h以下で走行している場合にのみ選択できません。速度が35 km/hを超えると、車両は自動的にノーマルレベルまで下がります。

### 知識

トレーラーけん引時に車高レベルを調整すると、車両の最大垂直連結荷重を超えることがあります。

- ▶ 標準の高さでの垂直荷重を必ず確認してください。

## レベリングシステムをOFFにする

**▲ 警告**

タイヤ交換時のレベリングシステムの作動

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。身体の一部が挟まれたり、怪我をしたりする恐れがあります。

リフティングプラットフォームまたはジャッキによるリフトアップを行う前に：

- ▶ 標準レベルを手動で設定します。
- ▶ レベリングシステムを OFF にします。

車両をリフトで持ち上げたり、ジャッキを使用して持ち上げたりする場合、オートレベリングシステムは必ず OFF にしてください(車両ジャッキモード)。

車両のリフトアップに関する情報：

▶ 307 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

✓ 車両が停止している。

- ▶ **🏠 ▶ 設定 ⚙ ▶ 車両 ▶ シャーシ ▶ 車両ジャッキモード**
- ▶ これですべての車両をジャッキアップできます。

**ⓘ インフォメーション**

車速が約 7 km/h を超えると、レベリングシステムは自動的に ON になります。

**警告メッセージへの対応**

PASM の故障はインストルメントパネルに表示されます。

**ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)**

**一般的な安全に関する指示**

**▲ 警告**

車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSM の有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

**警告メッセージへの対応**

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**機能説明**

Porsche Stability Management (PSM) は、過酷な走行条件下で車両を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。PSM は、オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD)、アンチスリップコントロール (ASR)、およびアンチロックブレーキシステム (ABS) とエンジンドラッグトルクコントロール (EDTC) の機能を利用します。

以下のことで PSM コントロールの作動を知ることができます：

- PSM 警告灯がインストルメントパネルで点滅しません。
- 油圧作動音が聞こえます。

- 車両が減速し、ステアリングホイール力が PSM のブレーキコントロールに伴って変化します
- 駆動力が低下します
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。最大の制動力を得るため、ブレーキペダルにパルス振動を感じたらさらに強く踏み込んでください。

**オートマチックブレーキディファレンシャル**

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

**アンチスリップコントロール**

アンチスリップコントロールシステムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

**エンジンドラッグトルクコントロール**

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい状況では、エンジンドラッグトルクコントロールシステムが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

**ステアリングトルクパルス**

ステアリングトルクパルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。

カウンターステアリング中も操舵力を追加してドライバーをサポートします。

## PSM の操作

### PSM スポーツの作動

- ✓ 適用対象：スポーツクロノパッケージ装備車
- PSM スポーツ モードにすると、システムが非常にスポーティーなモードで作動するようになります。

#### 警告 PSM サポート制限

PSM スポーツ モードの場合、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では PSM によるサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることをお勧めします。
- ▶ ボタン  を短く押してください。
  - ➔ ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯  が点灯します。
 インストルメントパネルの表示は、PSM スポーツが作動中であることを示しています。

### PSM を OFF にする

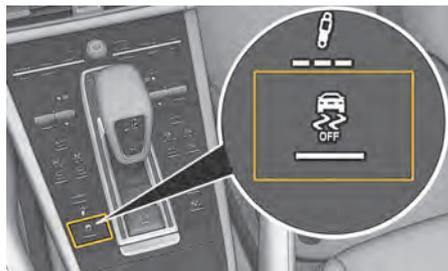


図. 123 センター コンソールの PSM OFF ボタン

#### 警告 PSM アシスタンスなし

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では、PSM によるサポートが行われなくなります。

- ▶ 「ノーマル」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。
- ▶ スペア ホイールを装着して走行している場合は、絶対に PSM を OFF にしないでください。
- ▶ ボタン  を 2 秒以上押してください。
  - ➔ PSM は若干の遅れの後 OFF になります。
 ボタンのインジケータライトとインストルメントパネルの PSM OFF 警告灯  が点灯します。インストルメントパネルの表示は、PSM が停止していることを示しています。

#### 情報 PSM オフメッセージ

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSM を OFF にしていても空転を抑制します。

ただし、次の例外的な状況では、一時的に PSM を OFF にすると効果があります。

- 柔らかい路面や深い雪道を走行する場合。
- 「車両を揺らして脱出する」とき。

#### 情報 PSM オフモード切替

PSM スポーツ モードの作動中は、PSM が事前に作動していた場合にのみ PSM OFF モードに切り替えることができます。

## PSM とブレーキ

### PSM を再度 ON にする

- ▶ ボタン  を押してください。
  - ➔ 直ちに PSM が ON になります。
 インストルメント クラスタの PSM OFF 警告灯  および ボタンの赤色ライトが消灯します。
   
 インストルメント クラスタに PSM が ON であることを示すメッセージが表示されます。

### ABS ブレーキシステム (アンチロック ブレーキシステム)

#### 警告 車両コントロールの喪失

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロック ブレーキシステムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロック ブレーキ システムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

#### ABS の特徴：

- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイールロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で制動距離が短くなります。
- ホイールロックの回避：タイヤのフラット スポットを回避できます。

## ポジション

ABS の決定的なメリットは、危険な状況で走行安定性と車両の操作性を維持できることにあります。

ABS は、フルブレーキをかけた際に、実質的にあらゆる路面において車両が停止する直前までホイールがロックすることを防ぎます。

ホイールが1本でもロックしそうな場合は、ABS が適切に制御し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようにという警告の役目をします。

フルブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ ブレーキをかける際、ブレーキペダルが小刻みに動いても、ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

## 警告メッセージへの対応

ABS 警告灯に関する情報：

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## マルチコリジョンブレーキング

事故の際、マルチコリジョンブレーキングにより自動的にブレーキが作動し、ドライバーは横滑りや二次衝突の危険性を低減させることができます。

### 前提条件

マルチコリジョンブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
- 事故の際に、エアバッグコントロールユニットが該当する作動しきい値を検出する場合。
- 車速約 10 km/h 以上で走行しているときに事故に遭った場合。

## インフォメーション

事故の際に油圧ブレーキシステム、PSM および電気システムに損傷がなく機能している場合、PSM によって自動的に車両にブレーキがかかります。

### 例外

事故時の自動ブレーキは、以下の場合に抑制されます：

- ドライバーがアクセルペダルをはっきりと踏み込んだ場合。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力がシステムによって加えられるブレーキ圧力よりも強い場合。

## フロント ウィンドウワイパー

### 概要

この概要説明は「フロント ウィンドウワイパー」の項の詳しい情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

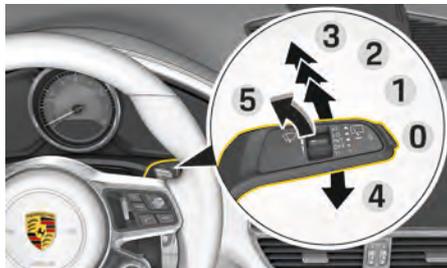


図. 124 フロント ウィンドウワイパー レバー

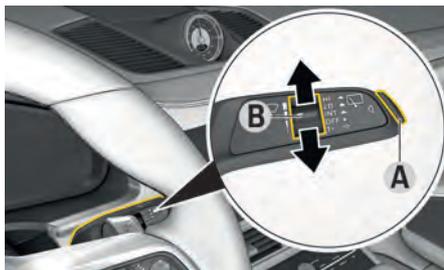


図. 125 リヤワイパー用のボタン(A) およびレインセンサー感度用のスイッチ(B)

希望する操作	操作方法	操作場所
フロント部のワイパーの自動作動(レインセンサー作動)	▶ 操作レバーを <b>1</b> の位置にしてください。	▶ 149 ページ
レインセンサーの感度の設定	▶ スイッチ <b>B</b> を上方向(作動回数が増える)または下方向(作動回数が減る)に押してください。	▶ 149 ページ
フロント部のワイパー作動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 低速: 操作レバーを押して<b>2</b>の位置にしてください。</li> <li>▶ 高速: 操作レバーを押して<b>3</b>の位置にしてください。</li> <li>▶ ワンタッチ: 操作レバーを短く押して<b>4</b>の位置にしてください(<b>4</b>の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。</li> </ul>	▶ 149 ページ
フロント部のワイパー & ウォッシャー作動	▶ 操作レバーをステアリングホイール方向 <b>5</b> に引いて、保持してください。	▶ 149 ページ

希望する操作	操作方法	操作場所
リヤ部のワイパー作動 (間欠作動)	▶ ボタン <b>A</b> を押してください。	▶ 149 ページ
リヤ部のワイパー作動 (1 回のみ作動)	▶ スイッチ <b>A</b> を 2 回続けて押してください。	
フロント ウィンドウワイパー サービス ポジション アイスまたはサンシールドの装着とワイパー ブレードの交換	- イグニッションを OFF にして、ワイパー レバーを <b>4</b> の位置に 1 回押し下げます。フロント ウィンドウワイパーが上方に約 90° 移動します。	▶ 149 ページ

## 一般的な安全に関する指示

### ▲ 警告

ワイパーの不意の作動

フロント ウィンドウ清掃時に怪我をする恐れがあります。レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイパー作動を行います。

- ▶ 不意に作動することのないよう、フロント ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーを OFF にしてください。

### 知識

ラゲッジコンパートメントリッド、フロント ウィンドウおよびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ (レイン センサー作動により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロントワイパーを OFF にしてください。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー ブレードの長さが異なることを念頭においてください。
- ▶ エンジン コンパートメントリッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。衝突の危険があります! ワイパー アームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的に ON にしてから OFF に切り替えてください。

## フロント ウィンドウワイパーの操作

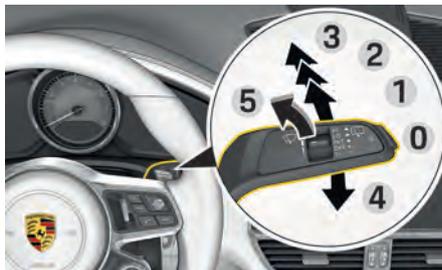


図. 126 フロント ウィンドウワイパー レバー

### 0 フロント ウィンドウワイパー OFF

フロント ウィンドウワイパーおよびイグニッションが OFF の場合、ワイパーの端が正しい位置に調整されるように、ワイパーがレストポジションから少し持ち上がりします。

### 1 レイン センサー / 間欠作動、フロント ウィンドウワイパー

- ▶ ワイパー レバーを最初の位置にまで動かします。

### 2 フロント ウィンドウワイパー低速

- ▶ ワイパー レバーを 2 番目の位置にまで動かします。

### 3 フロント ウィンドウワイパー高速

- ▶ ワイパー レバーを 3 番目の位置にまで動かします。

### 4 フロント ウィンドウワイパーのワンタッチ機能

- ▶ ワイパー レバーを押して下げます。

フロントウィンドウワイパーが1回作動します。

## 5 フロントウィンドウワイパー/ウォッシャーシステム

- ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールに向かって引きます。ワイパーレバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。ワイパーが数回作動した後、ナイトビューアシストカメラが自動的に清掃されます。

### ① インフォメーション

噴出する水の量は走行速度およびワイパーレバーの作動時間に基づいて調節されます。

### ① インフォメーション

- ▶ フロントウィンドウが非常に汚れている場合は、洗浄プロセスを繰り返します。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

フロントワイパーブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

### ① インフォメーション

10回洗うたびに、ナイトビューアシストカメラが一緒に清掃されます。

## レインセンサー作動の調節

レインセンサーが作動すると、フロントウィンドウに付着する水滴の量を感知します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロントウィンドウワイパーがONになっているとき(ワイパーレバーが**2**の位置)に速度が約4 km/h以下になると、レインセンサーは自動的に作動します。速度が約12 km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

### ① インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーがすでに**1**の位置にある場合、速度が4 km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパーレバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロントウィンドウワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

## レインセンサー感度の手動調節

1. スイッチ**B**を上を押してください-センサー感度が高くなります。
  - ▶ フロントワイパーが1回作動し、設定が切り替わったことを知らせます。
2. スイッチ**B**を下を押してください-センサー感度が低くなります。

## リヤワイパーの操作



図. 127 リヤワイパー用のボタンA

## リヤワイパーの間欠作動をONにする

- ▶ ボタン**A**を押してください。

## リヤワイパーの間欠作動をOFFにする

- ▶ ボタン**A**を押してください。

### ① インフォメーション

リヤワイパー間隔は、走行速度によって調整されます。

## リバース機能をONにする

PCMでは、雨天時やフロントウィンドウワイパー作動中にギヤをリバースにいれると一連のワイブ作動が自動的に実行されるようにリヤワイパーを設定できます。

- ▶ ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ ライトと視界

## リヤウィンドウの清掃



図. 128 リヤウィンドウの清掃

- ▶ ワイパーレバーを前方に押ししてください(図. 128)。
- ▶ ワイパーレバーを前方に押ししている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。

## ① インフォメーション

- ✓ Cayenne モデル：  
リヤ ウィンドウの清掃時に、リバース カメラが同時に清掃されます。
- ✓ Cayenne クーペ モデル：  
▶ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

## ワイパー ブレード

### 知識

ワイパー アームが誤ってフロント ウィンドウに勢いをつけて戻ると、フロント ウィンドウが損傷することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

### 知識

ワイパー ブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行前に凍結したワイパー ブレードを溶かしてください。

## ワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードは年に2回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

## ▲ 注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

ワイパー ブレードが適切に交換されていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

## ① インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## フロント ウィンドウ ワイパー ブレードの交換

### ワイパーの展開

- ✓ イグニッションを OFF にします。
- 1. ワイパー レバーを1回押し下げてください(4の位置)。  
➡ フロント ウィンドウ ワイパーが上方に約 90° 移動します。
- 2. メーカーの取扱説明書(別冊)に従い、ワイパー ブレードを交換してください。ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。

### ワイパーの格納

- ✓ 作動待機が ON になっています。
- ▶ ワイパー レバーを約 1 秒間押し下げます(4の位置)。  
➡ フロント ウィンドウ ワイパーが通常位置に戻ります。

## リヤワイパー ブレードの交換

### 知識

車両またはワイパー アームを損傷する恐れがあります。

リヤワイパー アームはウィンドウから完全に上げることはできません。

- ▶ ワイパー アームを最大 15° ウィンドウから持ち上げます。

### ワイパー ブレードの取り外し

1. ワイパー アームを少し上げてください。
2. ワイパー ブレードをつかみ、人差し指でマウント **A** の位置で少し押し上げます。
3. マウント **A** からワイパー ブレードをこじり外します。



図. 129 リヤワイパー ブレードの交換

## ワイパー ブレードの取り付け

- ▶ 新品のワイパー ブレードを、マウント **A** にしっかりとハマるまで押し込んでください。

## リヤスポイラー

### 一般的な安全に関する指示

**▲ 警告** エアロダイナミクスの変化

ルーフスポイラーの故障に関するインストールパネルの警告メッセージは、高速走行時にリヤアクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれることを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**▲ 注意** リヤスポイラーの展開 / 格納

停車中にリヤスポイラーを手動で展開 / 格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤスポイラーが稼働する範囲に人や物がいないことを確認してください。

### 知識

リヤスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。
- ▶ リヤスポイラーに物(ラッシングストラップなど)を取り付けしないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、リヤスポイラーを格納してください。

## 作動原理

- ✓ Cayenne クーペ

リヤスポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

## リヤスポイラーの展開 / 格納

### オートモード

リヤスポイラーの自動展開および格納には、さまざまな条件が関係します。

リヤスポイラーの自動展開は、約 90 km/h で作動します。

リヤスポイラーの自動格納は、約 60 km/h で作動します。

リヤスポイラーが故障した場合、インストールパネルに警告が表示されます。

## サービスポジション

手動で清掃するため、PCM よりリヤスポイラーを手動で展開 / 格納できます。

### リヤスポイラーの展開

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ イグニッション ON。

1. **▲ ▶ 車両の設定** **⚙️ 車両 ▶ スポイラー手動清掃位置**

2. **スポイラー** ボタンを押してください。  
 ➔ スポイラーが展開しています。スポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

- ▶ 清掃後、リヤスポイラーを格納してください。

## リヤスポイラーの格納

1.  ▶ 車両の設定  車両 ▶ スポイラー手動清掃位置
2. リヤスポイラーが停止位置に達するまでスポイラー手動清掃位置を押し続けます。  
 ▶ リヤスポイラーはオートモードに切り替わります。

## ルーフスポイラー

### 一般的な安全に関する指示

- ✓ 適用対象：格納式ルーフスポイラー装備車

#### ▲ 警告

エアロダイナミクスの変化

ルーフスポイラーの故障に関するインストルメントパネルの警告メッセージは、高速走行時にリヤアクスルが浮き気味になるため走行安定性が損なわれることを示します。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### ▲ 注意

ルーフスポイラーの格納および展開

停車中にルーフスポイラーを手動で展開または格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ ルーフスポイラーが稼働する範囲に人や物がないことを確認してください。

#### 知識

ルーフスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ ルーフスポイラーを持って車両を押さないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフスポイラーを格納してください。

## 作動原理

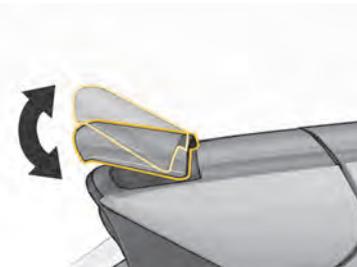


図. 130 ルーフスポイラー

ルーフスポイラーは、高速走行時では走行安定性を向上させ、低速走行時では燃料消費を低減します。

### オートモード

ルーフスポイラーの自動展開および格納には、走行速度またはパノラミックルーフが開いているかどうかなどさまざまな条件が関係します。自動コントロールシステムが故障した場合、インストルメントパネルにルーフスポイラーの故障についての警告メッセージが表示されます。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### マニュアルモード

イグニッションが ON の場合、ルーフスポイラーは、ダッシュボード内のタッチディスプレイを使用して、手動で展開および格納することができます。

## ルーフスポイラーの展開 / 格納

### 手動展開

- ▶  ▶ **車両** ▶ **スポイラー** を選択します。
- ▶ 現在のスポイラー位置は、車両モデルに表示されます。

### インフォメーション

選択されたスポイラー位置は、パーソナルモードに保存できます。

### 手動格納

1.  ▶ **車両** ▶ **スポイラー** を選択します。
  2. 現在のスピードが 15 km/h 未満の場合：ルーフスポイラーが最終位置に達するまで **スポイラー** ボタンを押し続けます。  
 - または -  
 現在のスピードが 15 km/h を超えている場合：  
**スポイラー** ボタンを短く押します。
- ▶ ルーフスポイラーはオートモードに切り替わります。

## レーンキープアシスト 一般的な安全に関する指示

レーンキープアシストは一部の国でのみ利用可能です。

### 警告 集中力の低下

システムは、その制限内で、車両が走行車線に留まるようにドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは、たとえレーンキープアシストが作動中であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けしないでください。

### 警告 ステアリング介入がない、またはほとんどない

急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。同様に、ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が低減されるか、または行われないことがあります。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

### 警告 ステアリング介入による補正が不十分

わだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両が走行車線に保つには不十分な場合があります。

- ▶ そのような状況では、積極的なステアリング操作によりアシストしてください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

## ① インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## システム制限

### ▲ 警告

物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両を車線内に維持できなかったり、機能ステータスが作動中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります!

- ▶ これらの状況ではシステムを使用しないでください。

以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候(霧、雪、または豪雨など)
- 路面状態が悪い状況(路面状態、道路のくぼみ、汚れた路面を含む)
- 道路工事区間
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い郊外の道での走行

### ▲ 警告

カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

## システムの使用には制限があります

以下の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

- 車両がシステム動作速度である約65 km/h未満の速度で走行している。
- 走行車線の車線区分線が検出されない。(雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトまたは前走車が近いなどの場合)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。

- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われている。
- 方向指示灯が作動中。
- システムにより、ドライバーがステアリングホイールを握っていないことが検出された。

## 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## 作動原理



図. 131 フロントウィンドウカメラ

レーンキープアシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。そのために、システムはフロントカメラ(A(図. 131))を使用し、車線区分線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された車線区分線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にできます。

方向指示灯を使用せずに車両が車線区分線を横切る場合、システムがドライバーに警告音を発するよう設定することができます。このためには、セントラルディスプレイで警告音を有効にする必要があります。車線変更前にドライバーが方向指示灯を使用すれば、システムは警告やステアリング補正を行いません。こうした状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h – 250 km/h の速度範囲で作動します。

### レーンチェンジアシスト装備車

車両がレーンチェンジアシストを装備している場合、危険な状況の可能性のある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行ってドライバーに警告します。該当する方向に方向指示灯を出す場合も、ステアリング介入が行われます。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (作動している場合)。

### ステアリングが操作されない場合の挙動

レーンキープアシストが ON で有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合 (ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じず操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

### ディスプレイおよびコントロール コントロール

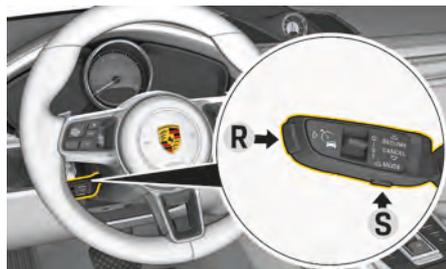


図. 132 コントロールレバー

- R システムの ON/OFF を切り替え、オプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

### ディスプレイ



図. 133 速度 & アシスト機能ディスプレイ

- A レーンキープアシストディスプレイ
- B 車線区分線の表示
- C ステータスディスプレイ

### アダプティブクルーズコントロール(ACC) 装備車

アシストメインメニューの速度 & アシスト機能ディスプレイには、車線区分線 B (図. 133) とステータス表示 C が表示されます。

### アダプティブクルーズコントロール(ACC) 非装備車

車線区分線はステータスディスプレイ C にのみ表示されます。

### システムステータスの読み方

表はレーンキープアシストのシステムステータスおよびインストルメントパネルにおけるその表示を示します。

レーンキープアシストディスプレイ	ステータスディスプレイ	意味
		レーンキープアシストが ON になっていて、停止中です。
		レーンキープアシストは両側とも ON で作動しています。
		車線区分線は片側でも検出されます。
		レーンキープアシストは、ステアリング介入

レーンキープアシストディスプレイ	ステータスディスプレイ	意味
------------------	-------------	----

による補正を実施します (右の例を参照)。

アクティブレーン ガイドランスも作動している場合、レーンキープアシストアイコン  の代わりに両機能のインジケーターが合わせて表示されることがあります .

▶ 96 ページの「アクティブレーンキープ」の章を参照してください。

## レーンキープアシストのON/OFFの切り替え

レーンキープアシストのON/OFFはPCMで切り替えることができます。

1. コントロールレバーの **R** ボタンを押してください。
  - ➡ ドライバーアシスタンスシステムがONになります。
2. コントロールレバーの **S** ボタンを押します。
  - ➡ ドライバーアシスタンスシステムの状況がインストルメントパネルに表示されます。
3. ステアリングホイールの左ロータリーノブを使用してレーンキープアシストを選択し、ノブを押して確定します。

-または-

PCMでのレーンキープアシストの選択:

- ▶  **アシスタンスレーンキープアシスト**
- ➡ レーンキープアシストが作動中の場合、 シンボルがインストルメントパネルに表示されます。

レーンキープアシストが作動しているときにステアリング介入による補正が行われると、インストルメントパネルで対応する車線が赤くマークされます。さらに、車両が車線区分線を超えると警告音が鳴ります。

## 警告音の設定

警告音は個別にONおよびOFFに切り替えることができます。警告音の音量も選択できます。

- ▶  ▶ **アシスタンス...** ▶ **アシスタンスシステム設定** ▶ **車線逸脱警告**

## レーンチェンジアシスト (LCA)

### 一般的な安全に関する指示

- ▲ **警告** 集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

- ▲ **警告** レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候 (雨、雪、氷、強い水しぶき) では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

**▲ 警告**

車両が検出されない

- ▶ 次のような状況では、タイミングよく車両を検知できない場合があります。
  - 車両が後方から高速で接近する場合や車両が後ろに遠ざかる場合、車両の動きを検知できません。
  - レーンチェンジアシストは、急カーブでは車両を検出できません。
  - レーンチェンジアシストは約 15 km/h 以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
  - リヤターンアシストでは、車両と動いている物体、あるいは車両と静止している物体との間の速度差が小さい場合、据え付けられている物体 (例: 金属柱) が警告を作動させたり、速度の遅い車両が検出されなかったりすることがあります。
  - リヤターンアシストは発進時に作動します。したがって、すでに移動するか発進している車両を検出しなかったり、遅れて検出したりする場合があります。すぐ真横の車両も、センサーの検出エリア外にあるために検出されないことがあります。
  - リヤ衝突警告は、交差車両、断面が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。
  - 脇道に入ろうとする場合など、車両が走行レーンの方向を向いておらず、走行レーンに対して斜めまたは直角になっている場合、接近する車両をセンサーで検出することはできません。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

**システム制限**

- システムは車速が約 15 km/h を超えるとアシスタンスを提供します。
- 15 km/h 以下の速度で、リヤターンアシストがドライバーをサポートします。ただし、方向指示灯が作動している車両の側に対して発進時のみ作動します。
- 約 20 km/h までリヤターンアシストは有効になります。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤターンアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物 (高いまたは隆起した中央分離帯など) を検出する場合があります。
- このディスプレイはドライバーがドアミラーを一目見ただけで気づくよう設計されています。

**① インフォメーション**

例えば、レーダーセンサーの位置が事故によって変わった場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**① インフォメーション**

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには:

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケーターを (ステッカーまたは接着式の死角ミラーなどで) 覆わないでください。
- ▶ バンパーに上塗りすると、塗料の厚みが増すことにより、センサーの反応が悪くなる可能性があります。新しい塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図. 134 リヤバンパーのレーダーセンサー

**作動原理**

リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、レーンチェンジアシストは、検出した車両と自車との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方 70 m までの範囲 (アプローチゾーン) および死角を監視しています。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラーに表示されます。車両の右側および左側に個別に表示されます。例えば、左ドアミラーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちま

す。ドライバーが方向指示灯を操作した際、危険とみなす車両を検出すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり(速度差約 15 km/h 未満)と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

発進直後は、レーンチェンジアシストの速度範囲には達しません。速度範囲に達するまで、ドライバーはリヤターンアシストによりサポートされます。

方向指示灯が作動すると、リヤターンアシストは車両の側方および後方の物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。危険の可能性を検知すると、ドアミラーの各警告インジケーターが点灯します。自車の計算された運転経路が、インジケーターが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドアミラーの該当する警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。

### ① インフォメーション

レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。他の車線は検出しません。

### 情報および警告ステージ

方向指示灯が設定されたかに応じて、レーンチェンジアシストには適切に作動する2つのインジケーターレベルがあります。

### 情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、車線変更する場合に検出した車両が危険であると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

### 警告ステージ

方向指示灯がONで、その側でレーンチェンジアシストが危険とみなす車両を検出した場合、その側のドアミラーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

### 表示要素

レーンチェンジアシストは、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラーに一体化されている警告インジケーターAが直ちに点灯します。

脇道に入る状況でレーンチェンジアシスト作動範囲を下回る速度で走行している場合、追加のリヤターンアシストも車両の後方を監視することでドライバーをサポートします。リヤターンアシストとレーンチェンジアシストは常に自動でスタンバイ状態に切り替わりま



図. 135 ドアミラーの警告インジケーターA

### ① インフォメーション

- 車両の接近が高速であるほど、ドアミラーの警告インジケーターは早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラーの警告インジケーターがまだ作動していなくても、高速で接近する車両がある場合、車線変更は危険と考えられます。
- その他のアシスタンスシステム装備車で、インジケーターがONでない場合でもドアミラーの警告インジケーターが数回短く点滅する場合があります。車両が走行している車線から隣の車線へそれているのをレーンキープアシストが検出する場合、レーンチェンジアシストは短く明るく数回点滅することにより危険な状況が発生する可能性があることを知らせます。

## レーンチェンジアシストのON/OFFの切り替え

レーンチェンジアシストのON/OFFはPCMで切り替えることができます。

### ▶ ① アシスタンスレーンチェンジアシスト

- ➡ レーンチェンジアシストが作動中の場合、シンボルがインストルメントパネルに表示されます。

## レーンチェンジアシスト画面の明るさの設定

情報と警告の画面の明るさは、どちらも周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。ドアミラーの警告インジケーターの基本的な明るさも調節可能です。

- ▶ 車 ▶ アシスタンス... ▶ アシスタンス システム 設定 ▶ レーンチェンジアシスト ▶ LEDの明るさ

## 運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストの警告インジケータを、運転状況に応じて以下に説明します。

### 急速に接近する車両

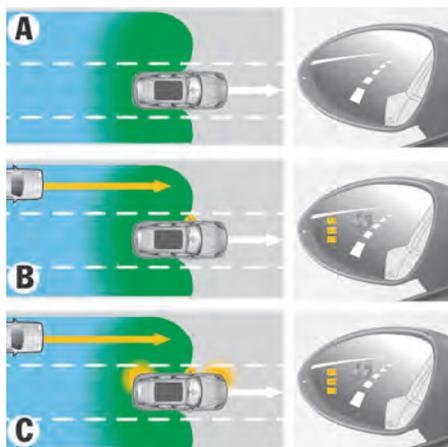


図. 136 急速に接近する車両

- A** - ドアミラーの警告インジケータが点灯しない  
センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。
- B** - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

高速で接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、すでに車速変更を行うには危険であると判断されます。ドアミラーの警告インジケータが点灯します。

**C** - 警告インジケータが警告ステージで点滅する  
運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

### ゆっくりと接近する車両

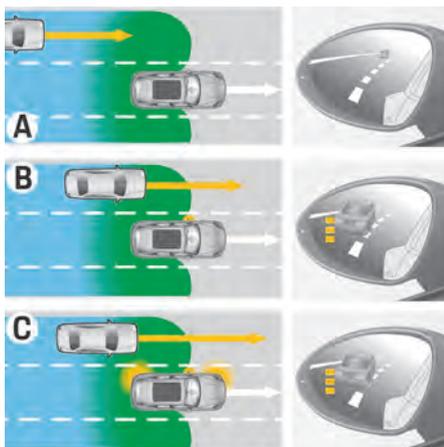


図. 137 ゆっくりと接近する車両

- A** - ドアミラーの警告インジケータが点灯しない  
ゆっくりと接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。速度差が小さくて車間距離が大きいため、ドアミラーの警告インジケータが点灯しません。
- B** - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーの警告インジケータが点灯します。レーンチェンジアシストが速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合、ドアミラーの警告インジケータが点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角に入るまでにドライバーに警告されます。

**C** - 警告インジケータが警告ステージで点滅する  
運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

### ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

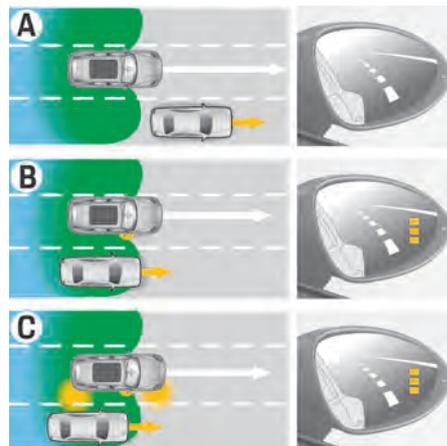


図. 138 ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

- A** - ドアミラーの警告インジケータが点灯しない  
追い越される車両はまだ検出されていません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。
- B** - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

ゆっくりと後方へ遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h- 未満、例では右側車線) を検出しました。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

**C- 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

**急速に後ろに遠ざかる車両**

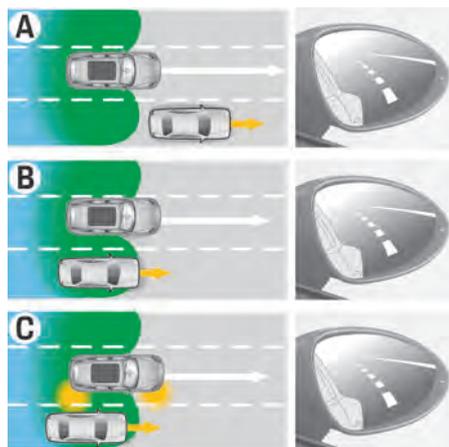


図. 139 急速に後ろに遠ざかる車両

**A- ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない**

追い越される車両はまだ検出されていません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B- ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない**

急速に後方に遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h- 以上、例では右側車線) を検出しましたが、急速に後ろに遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**C- ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない**

運転状況 **B** でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケーターは作動しません。

**車両が脇道に入る**

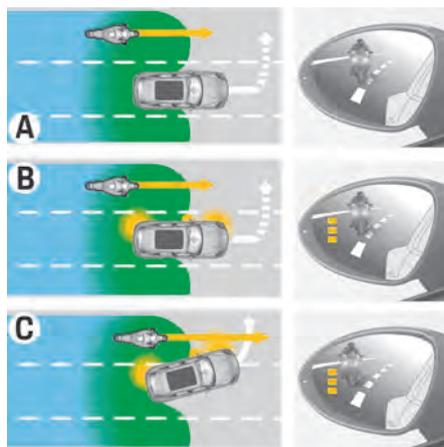


図. 140 車両が脇道に入る

**A- ドアミラーの警告インジケーターが点灯しない**

方向指示灯が ON にならなかったため、脇道に入った後にリヤターンアシストは作動しておらず、死角のバイクは検出されません。同様に、高速で接近する車両が検出されない場合があります。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B- 警告インジケーターが情報ステージで点灯する**

運転状況 **A** で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。リヤターンアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

**C- 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況 **B** の場合、ドライバーは脇道に入るために片側へステアリング操作を行った結果、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになり、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し、点灯します。これにより、見落とした可能性のある車両との衝突の可能性を警告します。

**コーナリング**

コーナリング時に、レーンチェンジアシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブ上では車両を検出できません。

- ▶ レーンの幅が異なるカーブを走行するときは十分に注意してください。

**車線幅**

狭い車線を走行する場合、検出範囲にはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーンチェンジアシストが情報ステージまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出範囲外にあるために検出されないことがあります。

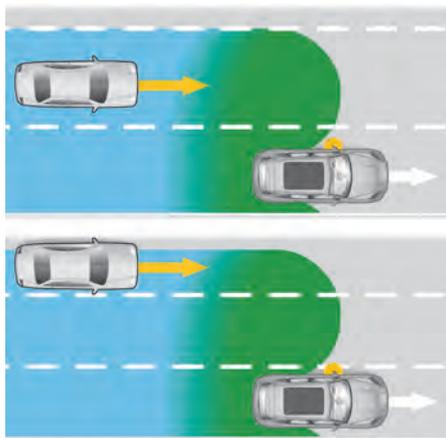


図. 141 車線幅および検出範囲

## クルーズコントロール 一般的な安全に関する指示



**警告**

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）ではクルーズコントロールを使用しないでください。

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

クルーズコントロールを使用すると、約 30 km/h - 240 km/h の範囲でアクセルペダルを踏まずに、希望する速度を維持したまま走行できます。

## ディスプレイおよびコントロール

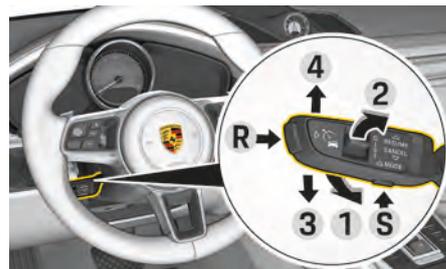


図. 142 コントロールレバー

**R** システムの ON/OFF を切り替え、オプションメニューを開く

**S** オプションメニューを開く（システムが ON の場合）

**1** 速度制限を設定する / 上げる

**2** 速度制限を下げる

**3** キャンセル：クルーズコントロールをキャンセルする

**4** 再開：クルーズコントロールを再開する

**i** インフォメーション

アクティブダウンシフト機能とアクティブブレーキ介入機能は、（特に下り坂などで）設定速度を維持するため自動的に作動します。

## クルーズコントロールの ON/OFF の切り替え

クルーズコントロールスタンバイを **ON** に切り替える

- ✓ クルーズコントロールは ON です (R ボタン)。

1. コントロールレバーの**S**ボタンを押します。
  - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリングホイールの左ロータリーノブを使用して**[クルーズコントロール]**を選択し、ノブを押して確定します。

▶ 169ページの「インストルメントクラスターの操作」の章を参照してください。



#### ステータス表示

インストルメントクラスターのグレーのアイコンは、クルーズコントロールがスタンバイ状態にあることを示します。速度は保存されていません。

### クルーズコントロールをOFFにする

- ▶ コントロールレバーの**R**ボタンを押してください。
  - ➡ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

#### **i** インフォメーション

スタンバイをOFFにすると、保存されている速度は消去されます。

### クルーズコントロールの作動

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. コントロールレバーを前方(1の位置)に短く押しします。

### クルーズコントロールの使用

#### 速度の維持と保存

1. アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
2. ステアリングホイールのコントロールレバーを前方**1**に押ししてください。



#### 目標速度

現在の設定速度は赤色のクルーズコントロールアイコンの下に表示され、自動的に維持されます。

#### 速度の変更

- ▶ 速度を上げる場合は、ステアリングホイールのコントロールレバーを前方に押しします**1**。  
短く押す = 1 km/h、長く押す = 10 km/h
- ▶ 速度を落とす場合は、ステアリングホイール側にコントロールレバーを引きます**2**。  
短く引く = 約 1 km/h、引き続ける = 約 10 km/h。

新しく設定した速度がインストルメントクラスターに表示されます。

#### **i** インフォメーション

通常通りアクセルペダルの操作で加速することができます。これを行っても保存された値は変更されません。アクセルペダルを戻すと、保存された速度に戻ります。

### クルーズコントロールのキャンセル - キャンセル

クルーズコントロールをキャンセルする前の走行速度はメモリーに保存されており、コントロールレバーを押して再開することができます。

- ▶ コントロールレバーを下に押ししてください**3**。
  - または -  
ブレーキペダルを踏みます
  - または -  
セクターレバーを作動モード**N**にしてください。
  - または -  
コントロールレバーの**S**ボタンを押します。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます：

- 車両が設定速度以上または未満の速度で一定時間走行している。
- Porsche Stability Management (PSM) が有効である。

### クルーズコントロールの再開 - 再開

- ▶ レバーを上押ししてください**4**。
  - ➡ クルーズコントロールは設定速度に達するまで加速または減速します。

## 警告およびブレーキ アシスト

### 一般的な安全に関する指示



#### 警告

システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ システムを利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるように備えていなければなりません。

### システム制限

システムの制限内で、システムは差し迫った正面衝突を警告し、適切なブレーキ操作を開始できます (一部の国で使用可能)。すべての道路利用者および危険な状況を正確かつ間に合うように認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発生したり、不必要なブレーキ介入を行う可能性があります。

危険な状態に応じて、すべての警告とブレーキアシストの保護措置を起動できるわけではありません。

システムは歩く速度よりも速ければ利用でき、歩行者または速度が 85 km/h までの自転車に反応できます。速度が 250 km/h までの車両に反応できます。

システムは、動物や交差車両のほか、支柱、フェンス、列車などの障害物には反応しません。

### 次の場合、機能は使用できません。

- 後退時
- ブレーキライトが故障している場合
- PSM が作動不良で OFF になっている場合
- エアバッグコントロールユニットが故障している場合

### 次の場合は、機能は制限されるか、使用できない可能性があります。

- イグニッションを ON にした後、最大 10 秒間
- ポルシェ ヒルコントロール (PHC) がスタンバイ状態または作動中のとき
- ドローバー荷重が大きい場合、警告およびブレーキアシスタントの反応が制限されるか、利用できない場合があります。
- シートベルトを着用していない場合
- 急カーブ
- ガードレールなどの反射物がある場合や、トンネルに入る場合
- 豪雨、雪、霧、氷
- フロントウィンドウが損傷している場合。
- フロントウィンドウが非常に汚れている場合 (フロントカメラの領域)
- パンパーが破損している場合 (パーキング分路などにより)
- レーダーセンサーが損傷しているか汚れている場合
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動不良の場合

### 警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

### 作動原理

警告とブレーキアシスト (WBA) は、特定の危険な状況で乗員および他の道路利用者を保護するための措置を開始できます。

警告とブレーキアシスト (WBA) には、国によって次の機能が含まれます：

- 距離警告 (装備仕様により異なる)
- 衝突警告
- 緊急警告 (ブレーキ振動)
- 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)

フロントウィンドウの後ろのカメラとアダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサー (装備によって異なる) は、車両前方のエリアをスキャンします。他の道路利用者 (車両、歩行者、自転車) と正面衝突しそうな状況を検出できます。

### ① インフォメーション

- ▶ 特に、走行、車間距離、速度などに関して、該当する国固有の規制を遵守してください。ドライバーは常に、各国で適用される関連規制を遵守する責任があります。
- ▶ 警告およびブレーキアシストを OFF にするための指示に従ってください。
- ▶ 機能設定に関する情報を遵守してください。

▶ 166 ページの「警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える」の章を参照してください。

▶ 166 ページの「警告およびブレーキアシスト機能の設定」の章を参照してください。

## 距離警告▶ 164 ページ

前方車両に接近しすぎているために警告とブレーキアシストが危険を検知した場合、インストルメントクラスターの  の表示によりドライバーに警告します。速度が約 65～250 km/h の範囲で検知できます。

## 衝突警告▶ 165 ページ



図. 143 インストルメントクラスターの衝突警告

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、警告をインストルメントクラスターに表示してドライバーに注意を促します。

## 緊急警告(ブレーキ振動)▶ 165 ページ

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、警告音およびインストルメントクラスターでの警告に加えて、ブレーキ振動で警告します。ブレーキ振動により、衝突の危険が高まっていることに注意を喚起します。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。

## 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス▶ 165 ページ

ドライバーが緊急警告に反応しない、またはブレーキを十分にかけない場合、警告とブレーキアシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキをサポートしたり、車両を停止させることができます。さらに、警告音が発せられ、インストルメントクラスターにシンボルが表示されます。車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

### ① インフォメーション

自動ブレーキ介入は、次のようにキャンセルできます。

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- ▶ 積極的にステアリング操作します。

### ① インフォメーション

トレーラーをけん引する場合、自動ブレーキ時の質の変化やブレーキと安定化の動作の変化により、トレーラー連結車両のブレーキ挙動が通常と異なる場合があります。

### ① インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

## 予防的乗員保護機能

### シートベルトシステム最適化

発進すると、フロントシートベルトは徐々に締め付けられます。

走行速度が約 30 km/h に達したとき、またはシートベルトを再装着したときに、この機能が作動します。

### シートベルトおよび車内のプレコンディショニング

危険な状態になると、予防的乗員保護システムの効果を高めるために、衝突に備える保護措置が開始されます。そのため、状況に合わせてフロントのシートベルトにプリテンションがかけられ、ウィンドウを開いて(装置によっては)サンルーフが閉じられ、(装置によっては)フロントシートの両側のボルスターが膨らまされま

す。

次の状況において、システムの制限内で予防的乗員保護措置を作動できます。

- ドライバーによる約 30 km/h の速度からの緊急停止中
- 車両による自動ブレーキ介入の作動中

衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シートベルト張力はもう一度緩められます。

### システム制限

- 繰り返し作動により(安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。

す。この場合、シートベルトを外して再度着用するか、警告およびブレーキアシストを無効にします。

- リバーシブルシートベルト プリテンショナーが故障している場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- 事故後、シートベルト プリテンショナーは損傷している可能性があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- PSM の機能が制限されるか OFF になると、警告およびブレーキアシストの予防的乗員保護機能も無効になります。

## 警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える

### 知識

- ▶ 次の状況では、警告とブレーキアシストを OFF にしてください。
  - 公道以外を走行する場合。
  - 復旧車両、車両輸送専用車、電車、船舶などでの輸送中。
  - 車両をけん引するとき。

### ▶ ▶ アシスタンス ▶ ベーシック アシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト

- ➡ 警告およびブレーキアシストが制限されているか OFF になっている場合、それを示すアイコンがインストルメント クラスタに表示されます。

▶ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

この機能は、イグニッションが ON になると自動的に作動します。

## 警告およびブレーキアシスト機能の設定

### ▶ ▶ アシスタンス ▶ ベーシック アシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト ▶ 距離警告

以下の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

- **距離警告**  
警告時間も設定できます。
- **衝突警告**  
警告時間も設定できます。

## 表示および入力

### ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイ (HUD) はインストルメントクラスターの補助ディスプレイです。これは、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく情報を読むことができます。

#### 知識

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドアップディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

#### インフォメーション

ヘッドアップディスプレイに表示された情報のドライバービューは、複数の要因に影響されます。

- ▶ 以下の点に留意してください。
  - 特定の偏光フィルター付きサングラス。
  - 濡れた路面。
  - 望ましくない照明条件。
  - ガラス カバー上の荷物。
- ▶ ヘッドアップディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

### ヘッドアップディスプレイの有効化 / 無効化 および設定

[設定]で、表示される情報のパーソナライズやヘッドアップディスプレイの明るさの設定など、さまざまな調整を行うことができます。

- ▶  ▶  ▶ 車両の設定  ▶ ディスプレイ ▶ ヘッドアップディスプレイ

## インストルメント パネル インストルメント パネル

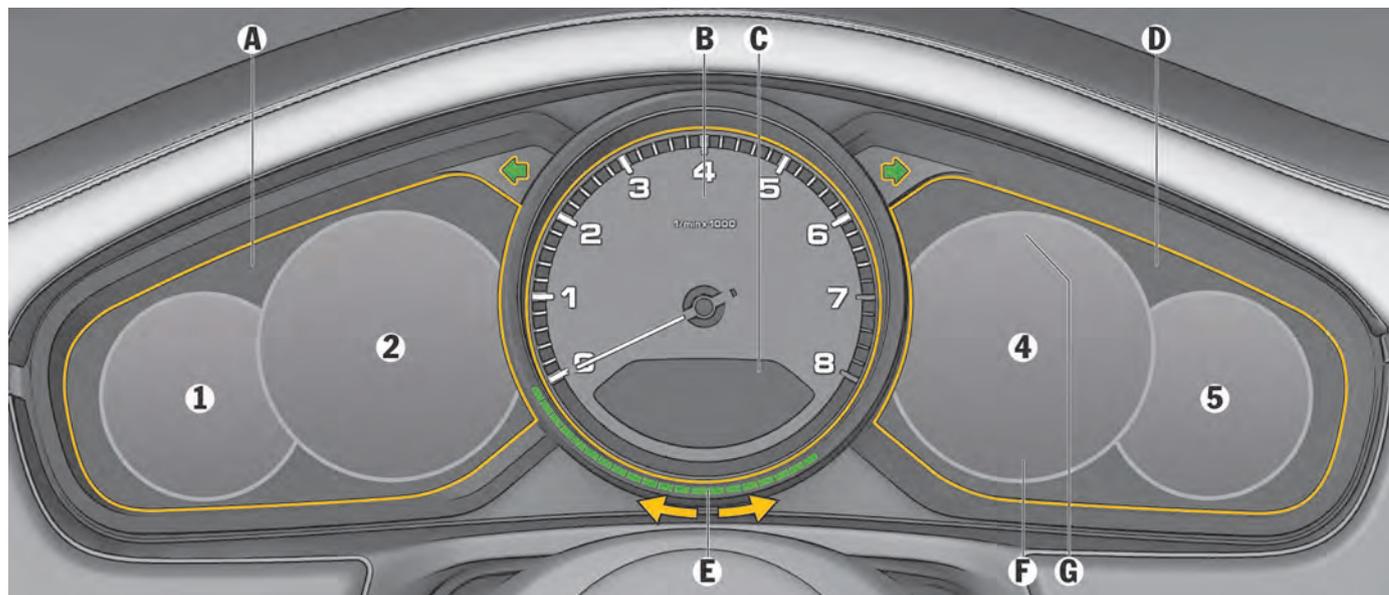


図. 144 インストルメント パネル

### A-速度 & アシストディスプレイ

時刻、外気温度、速度およびアシストシステムに関する情報が、チューブ1と2に表示されます。

速度 & アシスト機能ディスプレイの設定に関する情報：

▷ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### B-タコメーター (回転計)

タコメーター スケールのレッドゾーン開始地点は、エンジン許容最高回転数に対する警告です。

### C-デジタルスピードメーター / 出力 & 駆動ディスプレイ

速度、セレクターレバーの位置、締結ギヤおよび作動中走行モードに関する情報がデジタルスピードメーターに表示されます。

### D-車両 & 情報ディスプレイ

車両ステータス、ドライバーアシスタンス、および日付と時刻に関する情報が、チューブ4と5に表示されます。

車両 & 情報ディスプレイの設定に関する情報：

▷ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## E-パワーメーター

### ✓ E-Hybrid 車両

パワーメーターの6時の位置の左側に現在の電気駆動力が表示され、右側に現在の回生容量が表示されます。

## F-クーラント温度計

### 知識

クーラント温度が高すぎるとエンジンが損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。警告灯  が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。

車両の装備仕様により、クーラント温度が車両ディスプレイに表示される場合があります。

### バーが左部分にあるとき - エンジン冷間時

- ▶ 高いエンジン回転数および重いエンジン負荷を避けます。

### バーが中央部分にあるとき - 通常の作動温度

- ▶ 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、バーがレッドゾーンを示すことがあります。

### バーがレッドゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる

- ▶ クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなど長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセ

ージが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。

- ▶ 270 ページの「クーラント」の章を参照してください。

## F-バッテリーの充電状態

### ✓ E-Hybrid 車両

バッテリー充電状態および電動走行可能距離を表示します。

## 充電ポート ドア位置の表示



矢印は充電ポートドアが車両のどちら側についているかを示します。

## F-ブースト圧表示

車両装備により、ブースト圧が車両ディスプレイに表示される場合があります。

## G-燃料計

### 知識

燃料不足は、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 燃料警告が表示された場合、カーブを曲がる時にスピードを出さないでください。

車体の傾きが変化する場合 [上り坂や下り坂の走行など]、表示位置が少し変化することがあります。

## 残量警告灯

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、燃料警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 304 ページの「補給」の章を参照してください。

## フィルターフラップ位置の表示



矢印はフィルターフラップがある車両の側を示します。

## インストルメントクラスターの操作

### ▲ 警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中にのみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメントクラスターは、イグニッションがONのときのみ作動します。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

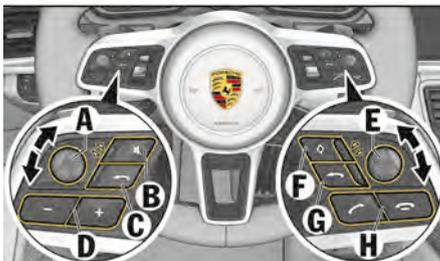


図 145 マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターの操作

### A-[速度 & アシスト 1] ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール：ロータリーノブAを上方向または下方向に回します。
- ▶ 選択/入力：ロータリーノブAを押します。

### B-オーディオソースのミュート

- ▶ ミュートボタンBを押してください。

### C-[速度 & アシスト 1] ディスプレイでの1つ以上前のメニューへの移動

- ▶ バックボタンCを押してください。

### D-音量を上げる/下げる

- ▶ 音量ボタンDを押してください。

### E-[車両 & 情報 2] ディスプレイでのメニューおよび機能のスクロールと選択

- ▶ スクロール：ロータリーノブEを上方向または下方向に回します。
- ▶ 選択/入力：ロータリーノブEを押します。

### F-保存した機能呼び出す

- ▶ ◇ボタンFを押してください。ボタンは個別に割り当てることができます。
- ▶ 214ページの「車両設定」の章を参照してください。

### G-[車両 & 情報 2] ディスプレイで1つ以上前の選択レベルに移動する

- ▶ Gボタンを押してください。

### H-通話に応答する/終了する/拒否する

- ▶ Hボタンを押してください。

### ① インフォメーション

長いリストから項目を探す際、選択した文字で始まる項目までスキップするには、ロータリーノブを上方向または下方向に短時間回してください。

### オプションの選択および機能の有効化

前のシンボルマークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

#### 複数のオプションから1つを選択

- オプションは選択されています。
- オプションは選択されていません。

#### 機能の有効化および無効化

- 機能が作動している
- 機能が無効になっている

## インストルメント クラスターの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

この取扱説明書は機能の一部のみを説明しています。

例は機能を簡潔に説明し、メニュー構成を説明するために記載されています。



図. 146 インストルメント クラスターの表示項目

チューブ	表示	何ができるか / 表示される内容	操作場所
1	▶ 外気温度	外気温度を表示します。	—
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	—
2	▶ 走行距離および区間走行距離	<p>オドメーター (積算距離計) およびトリップメーターを表示します。トリップメーターは、9,999 km を超えた後、「0」に戻ります。</p> <p><b>トリップメーターをリセットする</b></p> <p>▶ マルチファンクションステアリングホイール A(図. 146) の右ロータリーボタンを長押しします。</p> <p>トリップメーターが点滅します。3 回の点滅後、トリップメーターは「0」に戻ります。</p>	—
2	▶ アシスタンススクリーン	<p>アダプティブクルーズコントロール (ACC) を調節および表示します。</p> <p>レーンチェンジアシストを表示します。</p> <p>レーンキープアシストを表示します。</p> <p>クルーズコントロールを表示します。</p> <p>スピードリミッターを表示します。</p> <p>ポルシェヒルコントロールを表示します。</p>	<p>▶ 83 ページ</p> <p>▶ 157 ページ</p> <p>▶ 154 ページ</p> <p>▶ 162 ページ</p> <p>▶ 116 ページ</p> <p>▶ 104 ページ</p>
2	▶ Eドライブアシスト	電気駆動力の現在の分配 (緑色部分) を表示します。内燃エンジンは、出力しきい値 E max に達すると始動します。	▶ 124 ページ

チューブ	表示	何ができるか / 表示される内容	操作場所
2	▶ 速度制限	速度警告を伴う速度制限のパーソナル設定を行い、表示します。	
2	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報 (分岐メッセージなど) を表示します。	▶ 223 ページ
4	▶ 電話	接続した電話を使用します。	▶ 236 ページ
4	▶ PDCC	PDCC を表示します。	-
4	▶ 駆動力分配	フロント アクスルとリア アクスルの間の現在のトルク分配を棒グラフ形式で表示します。	-
4	▶ スポーツクロノ	ストップウォッチで時間を計測します。	▶ 233 ページ
4	▶ ブーストアシスト	加速に使用される電気駆動力の現在の分配を表示します。	▶ 124 ページ
4	▶ エナジー フロー	エネルギー フローを表示します。	▶ 124 ページ
4/5	▶ 電費	車両走行やコンフォート機能 (エアコンなど) による電力消費量およびその構成比を表示します。	▶ 124 ページ
4/5	▶ 車両	車両情報を表示します (メッセージ、サービス インターバル、燃料レベル)。	▶ 171 ページ
4/5	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	▶ 171 ページ
4/5	▶ G-Force	現在の最大縦加速度および最大横加速度を円グラフで表示します。	-

チューブ	表示	何ができるか / 表示される内容	操作場所
4/5	▶ <b>タイヤ空気圧</b>	タイヤ空気圧モニタリング システムを表示します。	▶ 287 ページ
4/5	▶ <b>マップ</b>	地図画面を表示および調整します。	▶ 223 ページ
4/5	▶ <b>ナイトビューアシスト</b>	熱画像検出機能付きのナイトビューアシストを表示します。	▶ 134 ページ
5	▶ <b>時刻と日付</b>	時刻と日付を表示します。	-

## 速度警告を伴うカスタム速度制限の設定

速度警告を伴う制限速度のパーソナル設定を行い有効にすると、制限を超えた場合に警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

この機能は、装着しているタイヤの種類に許容される最高速度を守るために、ドライバーに注意を喚起する場合などに利用できます。

### 1. 速度制限 ▶ Lim 1 : または Lim 2 :

### 2. 任意の制限を選択します :

- **リセット** : 速度制限をリセットします。
- **現在** : 現在の走行速度を設定します。
- **手動** : 任意の速度値を設定してください。
- **作動** 速度制限を有効、または無効にします。

- 速度制限が作動しています。  
 制限速度は無効です。

## 車両情報の表示

### さまざまな車両情報の表示

#### ▶ 車両 ▶ 表示

カスタマイズされた表示を設定するには :

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

### メッセージの表示

#### ▶ 車両 ▶ メッセージ

現在の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のエリアに表示される警告メッセージは、現在の重要な警告メッセージの数を示します。

### サービスインターバルの表示

#### ▶ 車両 ▶ 検査

任意のサービスインターバルを選択します。

次のサービス時期が表示されます。

## ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

タッチディスプレイおよびインストルメント クラスタには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータが表示できます。

タッチディスプレイとインストルメント クラスタの操作の詳細については :

▶ 169 ページの「インストルメント クラスタの操作」の章を参照してください。

▶ 181 ページの「タッチ ディスプレイの操作」の章を参照してください。

## インストルメント クラスタのトリップデータの表示

### [車両 & 情報] ディスプレイのドライビングデータの表示

1. [トリップ] メニューを選択します。
2. リストから表示項目を選択します。

### トリップデータのリセット

1. トリップ ▶ リセット
2. リストから表示項目を選択します。

## PCMのドライビングデータディスプレイ

## トリップデータの表示

1. ▶ ▶ ▶ トリップを選択。
2. 必要な表示内容までスクロールしてください。

## トリップのパーソナル設定

1. ▶ ▶ ▶ ▶ トリップをカスタマイズする
2. さまざまなトリップデータをドラッグ&ドロップで4つのフィールドに表示することができます。トリップデータの1つの項目を複数のフィールドに割り当てることはできません。

## トリップデータのリセット

- ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ トリップデータをリセットする

## 警告灯およびインジケーターライト

## 知識

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。

次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。

- ▶ エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅する。

ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ハイビームのインジケーターライト

- ダイナミックハイビームアシストのインジケーターライト

- ロービームインジケーターライト

- リヤフォグライトのインジケーターライト

- フォグライトのインジケーターライト

- トレーラー方向指示灯

- ボルシェダイナミックライトシステム (PDLs) 警告灯

- ライト警告灯

- クーラント温度の警告灯

- エンジン制御システム警告灯

- エンジン制御システム警告灯

- ハイブリッド警告灯

- ハイブリッド警告灯

- 距離警告灯

- タイヤ空気圧警告灯  
新しく装着したタイヤまたはタイヤ空気圧センサーの登録プロセス中に、タイヤ空気圧の低下、故障、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの一時的な不具合が起きた場合、警告灯が点滅するか点灯する場合があります。

- E-Sound 警告灯

- 4輪駆動警告灯

- ボルシェアクティブセーフ (PAS) 警告灯

- レーンチェンジアシストのインジケーターライト

- エレクトリックパーキングブレーキ警告灯

- ボルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM) 警告灯

- アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

- パワーステアリング警告灯

- 中央の警告灯

- 方向指示灯、左

- 方向指示灯、右

- エアバッグ警告灯

- シートベルト警告灯

- ブレーキシステム警告灯

- ブレーキパッド警告灯

- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) 警告灯

- ボルシェスタビリティマネージメント (PSM) OFF 警告灯

---

 ナイトビューアシストのインジケータースタイル

---

**HOLD** HOLD 機能のインジケータースタイル

---

 エミッションコントロール警告灯(チェックエンジン)  
汚染物質の排出量が増えたり、損傷の原因となったりする作動不良(エンジンの不点火など)が生じた際に、警告灯が点滅または点灯する場合があります。

**エミッションコントロール(チェックエンジン)警告灯が点滅または点灯する場合**

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▶ 必要に応じて、適切な場所に停車してください。可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温のエキゾーストシステムに接触しないよう注意してください。
- ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロールシステムの不具合を解消してください。

## ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

### 概要説明 – PCM

この概要は、本項に記載された詳細な説明に代わるものではありません。

この概要のみでなく、特に「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 147 ロータリー / プッシュ ボタンおよびボリューム スイッチ



図. 148 タッチ ディスプレイのエリア

希望する操作	操作方法	操作場所
PCMをONにする	▶ イグニッションをONにするか、ボリューム スイッチ A(図. 147)を押してください。	–
PCMをOFFにする	▶ イグニッションをOFFにするか、ボリューム スイッチ A(図. 147)を長押ししてください。	–
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ A(図. 147)を回してください。 –または– マルチファンクション ステアリング ホイールのボリューム スイッチ (ロータリー ノブ) を回します。 ミュート: ボリューム スイッチ A(図. 147) またはマルチファンクション ステアリング ホイールのボリューム スイッチ (ロータリー ノブ) を短く押します。	–

希望する操作	操作方法	操作場所
PCM を操作する	▶ Operate PCM ローターリー / ブッシュ ボタン <b>B</b> (図. 147) での操作。	▶ 181 ページ
グローバル検索を使用する	▶ 検索エリア <b>C</b> (図. 148) に検索テキストを入力するか、音声入力を使用します。	—
時間、接続、ステータス シンボル、オプションを表示する	▶ ステータス エリア <b>D</b> (図. 148) を使用します。 ステータス シンボルを選択して、該当する設定 (イオナイザーなど) を直接開くことができます。	▶ 181 ページ
アプリの並び順を変更する	✓  が選択されています。 ▶ ステータス エリア <b>D</b> (図. 148)…で、▶ <b>アプリの並び順を変更する</b> をタップします。	218 ページ
個人画面を開く	▶ ホーム画面  で左にスワイプします。 個人画面  が表示されます。	218 ページ
個人画面設定	✓ 個人画面  が表示されます。 ▶ ステータス エリア <b>D</b> (図. 148)…で、▶ <b>個人画面設定</b> をタップします。	218 ページ
メインメニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メイン メニュー <b>E</b> (図. 148) およびコンテンツとインタラクション エリア <b>G</b> (図. 148) を使用します。	180 ページ
メッセージを開く	▶ メッセージ エリア <b>F</b> (図. 148) の [メッセージ] をタップします。	▶ 213 ページ
コンテキスト依存の表示エリア	▶ 展開表示エリア <b>H</b> (図. 148) を使用します。	—

希望する操作	操作方法	操作場所
セットアップアシスタントを開く	PCMの初回起動時には <b>セットアップアシスタント</b> が表示され、PCM設定のための重要なステップが案内されます。 セットアップアシスタントを手動で開く： -  ▶ <b>設定</b>  <b>セットアップアシスタント</b>	-
プライベートモードを有効/無効にする(一部の国で利用可能)	-  ▶ <b>設定</b>  ▶ <b>Porsche Connect 設定</b> ▶ <b>プライベートモード</b> をタップします。	230 ページ
サービス間隔の表示	▶  ▶ <b>[サービス]</b> をタップします  。 次回のサービス時期が表示されます。	-
システムおよび車両設定を変更する	▶  ▶ <b>設定</b>  ▶ <b>システム/車両</b> をタップします。	▶ 214 ページ
車両情報の表示	▶  (E(図. 148)を参照) <b>[走行]</b> をタップします。	-
通知を表示する	▶  <b>メインメニュー</b> E(図. 148)をタップします。	▶ 214 ページ

## セントラルディスプレイ PCM 表示コンテンツ ダッシュボードのタッチディスプレイ

### A – ホーム画面 & マイスクリーン

▶ 218 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

### B – メインメニュー (メイン操作エリア)

メインメニューは次の 6 つのエリアに分かれています：

-  ホーム画面 /  マイスクリーン
-  ナビゲーション
-  メディア
-  電話
-  車両
-  通知

▶ 181 ページの「タッチディスプレイの操作」の章を参照してください。

### C – クイックフィルターバー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

選択したメニューに応じて、このエリア (クイックフィルターバー) にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

### D – 時間 / 温度

▶ 181 ページの「タッチディスプレイの操作」の章を参照してください。

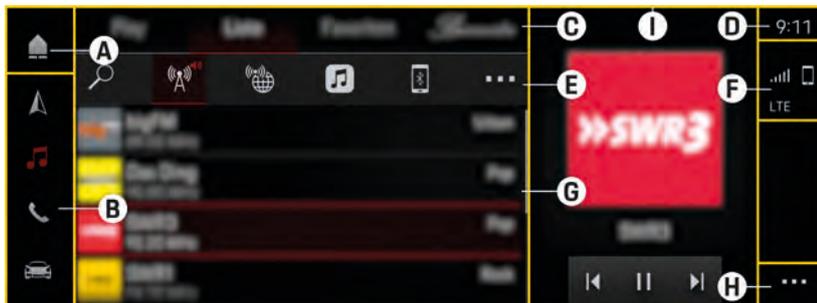


図. 149 ダッシュボードのタッチディスプレイコントロール

### E – フィルターバー

選択したメニューに応じて、フィルターバーが表示されます。

### F – 接続およびステータス シンボル

▶ 216 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

### G – コンテンツおよびインタラクティブエリア

### H – コンテンツとインタラクティブ エリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

[オプション] で、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

### I – 詳細エリア

詳細エリアには、コンテンツ エリアに関する追加情報が表示されます。

### 操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

## タッチディスプレイの操作

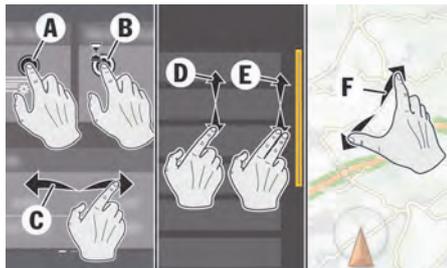


図. 150 タッチディスプレイの操作

## A タップ(選択)

タッチディスプレイを指で素早くタップします。例：機能をタップするか、ボックスのチェックをオンまたはオフにします。

## B 長押し

タッチディスプレイを指で長く押します。例：メディアメインメニューでお気に入りとして放送局を保存します。

## C 左右にスワイプ

タッチディスプレイを指で左右にスワイプしてください。例：お気に入りを左右にスクロールします。

## D 上下にスワイプ(スクロールとスイッチ)

タッチディスプレイを1本の指で上下にスワイプします。例：リストを手動で検索するか、情報ウィジェットを切り替えます。

## E 上下にスワイプ(スイッチ)

タッチスクリーンを2本の指を使って上下にスワイプするとナビゲーションメインメニューの地図が傾きます。

## F ズーム

2本の指をディスプレイに触れたままさらに広げるまたは狭めます。タッチディスプレイを2回タップすると、セクションが拡大します。

## ロータリー プッシュ ボタンとボタンで PCM を操作する



図. 151 ロータリー プッシュ ボタンの操作

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー プッシュ ボタンを回してください。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押して、ハイライト表示された機能を有効にします。
3. ボタン  で1レベル戻ります。
4. 各メニュー項目の最も重要なオプションを開くには、OPT ボタンを使用します。

## メニューを開く

## メインメニューを開く

- ▶ メイン操作エリアのメニュー(例：)をタップします。

## サブメニューの呼び出し

- ▶ クイックフィルターバーのメニュー項目(例：**連絡先**)をタップします。

## 各メニュー項目の設定を開く

- ✓ 希望のメニューが選択されました。
- ▶ [オプション]... をタップします。
  - ▶ それぞれのコンテンツまたはインタラクティブエリアの設定およびその他の機能が表示されます。

## 時刻または温度ディスプレイの設定

- ▶ ステータスエリアで、[時間] 9:11 または [温度] をタップして、ディスプレイを調整できます。

PCM を設定するには：

- ▶  ▶ **設定**  **表示** ▶ **セントラルディスプレイ**

## テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合は、入力フィールドが表示されます。検索結果をタップすると、検索結果リストが拡大表示されます。



図. 152 タッチディスプレイキーボード

- A 戻る
- B 現在のカーソル位置
- C 自動訂正と提案された検索結果
- D オンライン検索 (国別仕様による)
- E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
- F 統合検索 (PCM メモリーおよびオンラインコンテンツの検索)
- G スペースを挿入する
- H 検索結果リストの拡大
- I 検索エリア (一部の国で利用可能)
- J 入力データを削除する
- K 手書き入力 [タッチディスプレイを使用してアルファベットや文字を入力する] (一部の国で利用可能)
- L 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります：

### キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択します。
  - ➔ タッチディスプレイキーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
  - ➔ その文字のアクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

### ロータリー プッシュ ボタンによる入力

1. 希望の文字または記号がハイライト表示されるまで、ロータリー プッシュ ボタン(図. 151)を回します。
2. ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。
3.  ボタンを使用して、文字入力から結果リストに切り替えます。
4.  ボタンを使用して、結果リストから入力フィールドに切り替えます。

### 手書き入力

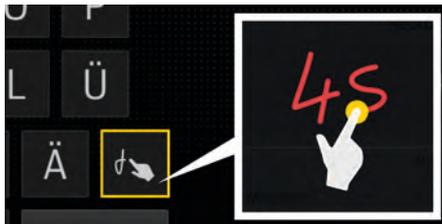


図. 153 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書き込みます。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. 削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

### 音声入力による入力

ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例：電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

▶ 183 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

## ボイスコントロール

### 概要説明 – ボイス コントロール

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく安全指示および警告を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

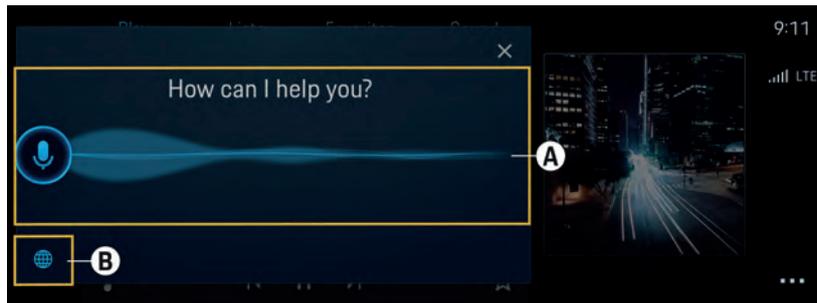


図. 154 ボイス コントロールの使用

希望する操作	操作方法	操作場所
ボイス コントロールを起動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。</li> <li>▶ 「ヘイ、ポルシェ」と発話します (機能を有効にする必要があります)。</li> <li>▶  ▶  PCM をタップします。</li> </ul> <p>信号音が鳴り、対応するウィンドウ (A(図. 154) を参照) が PCM に表示されます。</p>	▶ 184 ページ
ボイス コントロール設定を開く	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  (B(図. 154) を参照) PCM をタップします。</li> </ul>	▶ 184 ページ

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

#### 警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- ▶ セントラル ディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイス コントロール システムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイス コントロール システムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブにご利用いただけます。ボイス コントロールは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したブレーキリング / ヒーティング機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。

ボイスコントロールは [ヘルプ] 機能も提供します。

## ボイスコントロールの使用

### オンラインモード

- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっています。
- ✓ クラウドへのデータ転送が許可されています。
- ✓ データ接続が十分である。
- ✓ ボイスコントロールが作動しています。

オンラインモードでは、ボイスコントロール機能の全範囲にアクセスできます。

オンラインモードは、PCM の  シンボルによって示されます。

データ接続が不十分な場合、PCM は自動的にオフラインモードに切り替えます。オフラインモードでは、一部のボイスコントロール機能を限られた範囲でのみ使用できます。

ボイスコントロールがオフラインモードになっている場合、PCM の  シンボルによって示されます。

- ✓ イグニッションが ON になっています。
- ✓ リバース ギヤが選択されていない。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パーキング エイドが作動していない。

## ステアリング ホイールでボイスコントロールを開始する

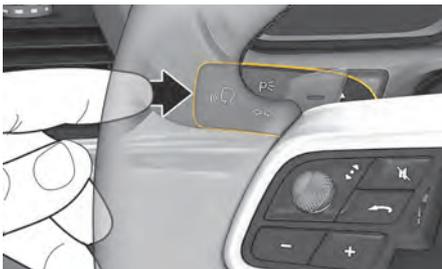


図. 155 レバーのボイスコントロール ボタン

1. ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
  - ➔ 信号音が鳴り、PCM でウィンドウが開きます。
2. ボイス コマンドを発話してください。

## PCM を介したボイスコントロールの起動

1.  ▶  PCM をタップします。
  - ➔ 入カブプロンプト音が鳴り、PCM でウィンドウが開きます。
2. ボイス コマンドを発話してください。

検索結果は、現在選択されているクイック フィルターバーのみに限定されます。たとえば、[メディア] クイック フィルターバーが選択されている場合、このクイック フィルターバーの検索結果のみが表示されます。

## 「ハイ、ポルシェ」と発話してボイスコントロールを開始する

1.  ▶  車両の設定  ▶ ボイスコントロール ▶ 「ハイ、ポルシェ」と発話して作動する
2. 「ハイ、ポルシェ」と言って、目的の音声コマンドを発話します。

## ボイスコントロールの一時停止

- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイス コマンドを待機しています。

- ▶  PCM をタップします。
  - ➔ 会話が一時停止し、もう一度タップすると再開できます。

## ボイスコントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイス コマンドを待機しています。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
  - または-
  - 中断と発話します。
  - または-
  - ウィンドウの外側をタップします。
  - または-
  - ✗PCM をタップします。
  - ➔ 終了音が鳴ります。

## ボタンによるボイスコントロールの中断

ボイスコントロールの音声出力は、会話中に中断される場合があります。

- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを短く押します。

## 音声入力による音声コマンドの中断

ボイスコントロールの音声コマンドは会話中でも中断できます。これにより、他の音声コマンドを発話したり、すぐに実行したりできます。PCM で機能を有効にします：

- ▶  ▶ 車両の設定  ▶ [ボイスコントロール] ▶ [ボイスコントロールの割込みを有効にする] をタップします。

## 外部ボイスコントロールの起動 (Siri や Google アシスタントなど)

- ▶ 210 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
  - ▶ 209 ページの「Android Auto」の章を参照してください。
1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
  2. 希望の音声コマンドを発話します。

## 外部ボイスコントロールの終了 (Siri や Google アシスタントなど)

- ▶ 210 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
  - ▶ 209 ページの「Android Auto」の章を参照してください。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押します。
    - ➡ 終了音が鳴ります。

## ① インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが起動している状態で、ボイスコントロール、ロータリー / ブッシュ ボタン、またはタッチディスプレイからリスト項目を選択することができます。
- 発話された音声コマンドを理解できない場合や意味を解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしますと応答しますので、再度ボイスコマンドを言ってください。

## ボイスコントロールを用いたコミュニケーション時の注意

ボイスコントロールを使用する際は、以下の点を遵守してください：

- 普通の声量で、はっきりと発話してください。
- 発話中に長い間を置かず、むらなく音声コマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディングルーフを閉じるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ボイスコントロールはドライバーのために最適化されています。

## 自然な音声コマンドを使用する

ボイスコントロールは、自然な音声コマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

- 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパラメントストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
- 「寒い」、「ガソリンスタンドに行きたい」、「おながかすいた」など、必要とすることを伝えることができます。
- 「高速道路を避ける」、「ルート沿いでパン屋を検索する」など、状況に関連する音声コマンドを使用できます。
- 「走行可能距離は?」、「ロンドンの天気はどう?」など、情報を求めることができます。
- 「メディアエリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。
- 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
- 地図からの目的地入力：希望する目的地を長押しして、「へい、ポルシェ、ここに連れて行って」と言います。

## 一般ボイス コマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です：

- 訂正
- 一時停止
- 中断
- ヘルプ

## ボイスコントロールによるリストの使用

### リストをブラウズする

- ✓ ボイスコントロールが作動しています。
- ▶ 次のページ/前のページと発話します。

### リストから項目を選択する

PCMに青色で表示されている行番号とリスト項目を発話により選択できます。

- ✓ ボイスコントロールが作動しています。
- ▶ **1行目**と発話します。
  - または -
  - リスト項目を発話します。

## マルチモーダルマップ

マルチモーダルマップにより、ナビゲーション中のボイスコントロールとマップ間のインタラクションが可能になります。これにより、ボイスコントロールによる目的地検索がより早く、より多様になります。▶ 186ページの「コマンドの例」の章を参照してください。

### ボイスコントロールを使用してマルチモーダルカードを有効にする

ボイスコントロールを介して有効にする際、PCMでどのメニューを開くかは関係ありません。

- ✓ ボイスコントロールが作動しています。
- ▶ マップ上に書き込みたいと発話してください。
  - または -
  - マルチモーダルマップを表示してと発話してください。
- ➡ マップが表示され、青いフレームがあります。

## マルチモーダルマップの手動有効化

1.  ▶ ナビゲーション
  2. ボイスコントロールを起動します。
- ➡ マップには青いフレームがあります。

## コマンドの例

以下のリストでは、ボイスコントロールシステムが対応可能な自然な音声コマンドと指示の一部のみを示しています。適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

### エアコンシステム/コンフォート機能

- シートヒーターをレベル2に設定して。
- フロントガラスが曇っています。
- マッサージをして欲しい。
- アンビエントライトを赤に変更して。
- 後部の温度を24°Cに設定して。
- 助手席側のシートベンチレーターをレベル2に設定して。

### ナビゲーション/運転中/ファインダー

- ポルシェミュージアムに連れて行って。
- 給油が必要になるのはいつ頃?
- ルート沿い/目的地のレストランを探そう。
- どれくらい時間がかかる?
- 駐車スペースを見つけて。
- 職場まで連れて行って。
- 私は最近どこまで運転した?
- ロンドンのパーラメントストリートまで連れて行って。

### メディア

- Porsche Soundsで「Get a Life (例)」を再生して。
- Michael Jacksonのアルバム「Bad」を再生して。
- 今聴いているのは何の曲?

- 音楽を検索したい。
- Apple MusicでNelly Furtadoを再生。
- クラシックFMを再生。
- 次のトラック。
- 別のソースを選択したい。

### 電話

- ✓ 通話中ではない。
- John Doeに電話して。
- 020 911 (例)をダイヤル
- Andrew Forbesに電話をかけ直して。
- 通話履歴を見せて。
- 新しい電話を接続したい。

### 過去の会話に対応する

- ✓ ボイスコントロールが作動しています。
- その他の音声コマンドを使用して、メイン機能(電話など)の過去の会話に対応することができます。
- John Doeにもう一度電話して。

### マルチモーダルマップ

- ✓ 目的地が選択されました(地図上にピンが設定されています)。
- そこに連れて行って。
- このエリアでレストランを探して。
- このエリアでパン屋を探して。
- そこで郵便局を探して。

## ボイスコントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。

- (一般的な)ヘルプが必要
- ボイスコントロールの仕組み

- ナビゲーションエリアで行える操作
- 何ができるか

## ボイスコントロール設定の変更

▶  ▶  ▶  ボイスコントロール希望の設定を選択します。

## 警告および情報メッセージ

**警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。**

警告灯が表示されると、さらに音響信号が鳴ります。

警告メッセージは、すべての測定条件が揃っていないと表示されません – そのため、定期的にすべてのフルードレベルを確認してください。

次の表は、主な警告メッセージと情報メッセージの抜粋です。

## セキュリティ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	エアバッグシステム システムエラー 要整備	エアバッグシステムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ
	エアバッグシステムエラー 走行可能 要整備	エアバッグシステムが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ
	チャイルドロックエラー	リヤドアのチャイルドロックが故障しています。 ▶ チャイルドロックをOFFにしてから再度ONにしてください。 エラーが継続する場合： ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ
	ステアリングホイールを動かしてください	ステアリングロックに大きな負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリングホイールを左右に回して、ステアリングロックを解除してください。
	ステアリングがロックされています 要整備	ステアリングロックが作動しています。 ▶ ステアリングホイールのロックを解除するには、車両のロックを解除してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ
	パワーステアリング故障 操舵力の増大 走行可能	パワーステアリングは故障した / 機能が制限された / 不具合がある状態です。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 <p style="text-align: center;">ブレーキ液面低下 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>ブレーキ液面が低過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;">パワー ブレーキ故障</p>	<p>パワー ブレーキが故障したか、不具合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p style="text-align: center;">制動力配分故障 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>制動力配分が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p style="text-align: center;">ABS/PSM 故障 慎重に走行してください</p>	<p>ABS またはポルシェ スタビリティ マネージメント(PSM) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p style="text-align: center;">ブレーキパッド摩耗 ブレーキパッド要交換 走行可能</p>	<p>ブレーキパッドが摩耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;">パーキングブレーキがサービスモード</p>	<p>パーキングブレーキがサービスモードになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;">P 位置使用不可 車両が動き出す恐れあり。電動 P ブレーキ をかけてください</p>	<p>トランスミッションパーキング ロック P 位置は使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 作動モード P を選択してください。</li> <li>▶ 118 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p> レイン/ライト センサー故障 要整備</p>	<p>レイン/ライト センサーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロント ワイパーおよびライトを手動で ON にしてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点滅	<p> 例： 左スタティック コーナリングライト故障 スタティック コーナリングライト点検</p>	<p>表示されたコーナリングライトが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 該当するライトを点検してください。</li> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点灯	<p> ドライビングライト制御エラー 一時的な状態 走行可能</p>	<p>ドライビングライト制御が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	<p> 例： 左リヤ方向指示器故障 方向指示器を点検</p>	<p>表示されたライトが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 該当するライトを点検してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	<p> ハイビームアシスト使用不可 走行可能 ハイビームを手動で操作</p>	<p>ハイビームアシストは一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ハイビームを手動で点灯してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	<p> ハイビームアシスト使用不可 カメラ視野無 必要であればフロントウィンドウを清掃</p>	<p>カメラの故障により、ハイビームアシストは一時的に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	<p> ヘッドライトビーム調整故障 走行可能 要整備</p>	<p>ヘッドライト レベリングが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた速度で運転してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <b>ワイパー故障 要整備</b>	<p>フロント ウィンドウ ワイパーが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点灯	 <b>タイヤ要点検</b>	<p>1つ以上のタイヤで空気圧が著しく不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。</li> <li>▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。</li> <li>▶ できるだけ早く正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 296 ページの「パンク」の章を参照してください。</li> </ul>
 点灯	 <b>タイヤに空気を充填</b>	<p>1つ以上のタイヤの空気圧が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ できるだけ早く正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 296 ページの「パンク」の章を参照してください。</li> </ul>
 点滅または点灯	 <b>TPM 故障 要整備</b>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (RDK) システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点滅または点灯	 <b>システムが一時使用不可 一時的な状態 走行可能</b>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (TPM) が一時的に無効です (センサーのオーバーヒートや信号の干渉など)。 タイヤ空気圧は監視されません。 エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
 点滅または点灯	 <b>タイヤ空気圧は監視されません システムは xx km/h 以上でないとして学習しません</b>	<p>タイヤ空気圧モニタリング (RDK) がタイヤの登録を完了するまでは、表示された速度で走行する必要があります。 このプロセスを実行している間は、現在のタイヤ空気圧は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点滅または点灯	 <b>タイヤ交換を検出 設定を更新する</b>	<p>タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ タイヤ設定を更新してください。</li> <li>▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。</li> </ul>
 点灯	 <b>タイヤ空気圧が低すぎます または コンフォート プレッシャー 減速してください</b>	<p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 減速してください。</li> <li>▶ できるだけ早くタイヤ空気圧を点検してください。</li> </ul>
	 <b>歩行者警告使用不可 要整備</b>	<p>歩行者警告は一時的に使用できません。 エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	 <b>歩行者保護有効 ボンネットを閉じてください 要整備</b>	<p>歩行者保護システムを起動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボンネットを閉じてください。</li> <li>▶ 38 ページの「ボンネット」の章を参照してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>
	 <b>歩行者保護システムエラー 走行可能 要整備</b>	<p>歩行者保護システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 188 ページ</li> </ul>

## エンジン

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;"><b>オイルレベル限界</b> 最大xxLまで補充してください</p>	<p>オイルレベルが最低値を下回りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないかを点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。</li> <li>▶ インストルメントクラスターのオイル測定を呼び出してください。</li> <li>▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 272 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>オイルレベル超過</b> 走行可能 要整備</p>	<p>オイルレベルが上限を超えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>オイルレベル測定エラー</b> 走行可能 要整備</p>	<p>オイルレベル測定に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>オイルレベル低下</b> 最大xxLまで補充してください</p>	<p>最低オイルレベルに達しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ オイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 272 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p style="text-align: center;"><b>油圧低下</b> 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>油圧が低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないかを点検してください。</li> <li>▶ インストルメント クラスタのオイル測定を呼び出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 272 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示される場合は、運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>油圧測定エラー</b> 走行可能 要整備</p>	<p>油圧測定が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>油温超過</b> 負荷を軽減してください</p>	<p>オイル温度が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ インストルメント クラスタのオイル測定を呼び出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてオイルを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 272 ページの「エンジン オイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>油温表示エラー</b> 走行可能 要整備</p>	<p>油温計が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
クーラントの温度表示が最高マーク	 <p style="text-align: center;"><b>冷却水レベル低下</b> 安全な場所に停車して車両を冷却してください</p>	<p>エンジンクーラント レベルが低過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。</li> <li>▶ エンジンクーラント レベルを点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 270 ページの「クーラント」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>水温計エラー</b> 走行可能 要整備</p>	<p>水温計が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
エンジンクーラントまたはエンジンオイルの温度表示が最高マーク	 <p style="text-align: center;"><b>エンジン温度超過</b> エンジン冷却のため停車してください</p>	<p>エンジンクーラントまたは油温が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。</li> <li>▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないかを点検してください。</li> <li>▶ クーラントおよびオイルレベルを点検してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 272 ページの「エンジンオイル」の章を参照してください。</li> </ul> </li> <li>▶ 必要に応じてエンジンクーラントを補充してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 270 ページの「クーラント」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>
	 <p style="text-align: center;"><b>クーラント ポンプ故障</b></p>	<p>クーラント ポンプが故障しています。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 193 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 エンジン出力減少 走行可能 要整備	エンジン出力が減少します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 193 ページ
 点灯	 エンジン制御故障 安全な場所に停車して下さい	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 193 ページ
	 エンジン制御故障 走行可能 要整備	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 193 ページ

## 車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 車両電気システム故障 安全な場所に停車して下さい	車両電気システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ
	 電気利用のため要エンジン作動 車両電気システム故障 安全な場所に停車して下さい	車両電気システムが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>車両電気リカルシステム故障 または バッテリー低下 要整備</p>	<p>車両電気リカルシステムが故障しているか、バッテリーが低下しています。継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ</li> </ul>
	 <p>スタート/ストップ故障</p>	<p>現在スタート/ストップ機能が利用できません。 エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ</li> </ul>
	 <p>トランスミッション故障 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>トランスミッションが故障しています。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 265 ページの「けん引」の章を参照してください。</li> </ul>
	 <p>トランスミッション加熱 トランスミッション冷却のため安全な場所に停車してください</p>	<p>トランスミッション温度が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車して、トランスミッションを冷やしてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ</li> </ul>
	 <p>トランスミッション温度超過 負荷を軽減してください</p>	<p>トランスミッション温度が高過ぎます。 継続走行可能です。車両発進時に「異常を知らせる不自然な動き」が感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。</li> <li>▶ アクセルペダルの操作で車両位置を保持せず、ブレーキを使用してください。</li> <li>▶ 警告が消えるまで作動モード <b>P</b> または <b>N</b> でエンジンをアイドリングさせてください。</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p><b>トランスミッション故障</b> リバースギヤが使用できない可能性があります</p>	<p>トランスミッションが故障しています。 リバースギヤが機能しない可能性があります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ</p>
	 <p><b>整備通知トランスミッション</b></p>	<p>トランスミッションの追加のメンテナンスが必要です。 継続走行可能です。</p> <p>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 196 ページ</p>
	 <p><b>点検時期：xx 日後</b></p>	<p>サービスインジケーター</p> <p>▶ 表示されている距離 / 期日を過ぎる前にメンテナンスを受けてください。なお、整備手帳に掲載されているサービスインターバルを優先してください。</p>
	 <p><b>エンジン出力減少</b> 走行可能距離情報を確認し、至急ガソリンを補充してください</p>	<p>燃料タンクが空です。</p> <p>▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▶ 304 ページの「補給」の章を参照してください。</p>
 <p>点灯</p>	 <p><b>タンク キャップ開</b> タンク キャップを閉めてください</p>	<p>タンク キャップは完全に閉まっていません。</p> <p>▶ タンク キャップを正しい位置に取り付け、カチッと音がするまで回して閉めてください。 ▶ 304 ページの「補給」の章を参照してください。</p>
	 <p><b>ドア開</b> または トランク リッド開</p>	<p>▶ 表示されたドアまたはトランク リッドを閉じてください。</p>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>キーが検出不可、またはキー エラー マークされたエリアに対してキーを保持 または キーの位置を変更してください</p>	<p>キーの電池が消耗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両を始動するには、左フロントのセンター コンソールの小物入れにキーを置きます。</li> <li>▶ 電池を交換してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 32 ページの「キー」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul> <p>または</p> <p>キーが故障 / 見つからない / 認識できません。 キーの位置が正しくありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 可能性がある干渉ソースのスイッチを OFF にしてください。</li> <li>▶ この操作を行うときは、キーを携行している必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 車内でキーの位置を変更してください。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p>スポイラー故障 減速してください</p>	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 196 ページ</li> </ul>
	 <p>または スポイラー制御故障 慎重に走行してください</p>	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul> <p>エンジンを再始動させた後も、エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 196 ページ</li> </ul>

## ドライビングシステム

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>シャーシシステム故障 慎重に走行してください。取扱説明書をお読みください。</p>	<p>シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>シャーシシステム故障 要整備 慎重に走行してください</p>	<p>シャーシが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出る可能性があります。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>シャーシシステム故障 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>シャーシが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>シャーシレベルが低すぎます 発進せず、運転可能になるまで待機</p>	<p>車高レベルが低過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>シャーシレベルが高すぎます 慎重に走行してください</p>	<p>車高レベルが高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p>PSM 故障 要整備 慎重に走行してください</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p>ABS/PSM 故障 慎重に走行してください</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
 点灯	 <p>PSM 自動作動</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が自動的に ON になりました。</p>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p><b>PSM スポーツ 車両安定システム制限中</b></p>	<p>ボルシェ スタビリティ マネージメント(PSM) スポーツが有効である場合、車両安定性システムは制限された範囲でのみ利用可能です。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul>
	 <p><b>駆動力分配システム故障 慎重に走行してください</b></p>	<p>ボルシェ トラクション マネージメント(PTM) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を軽減してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p><b>駆動力分配システム故障 または 駆動力分配システム過負荷 後輪のみ駆動 慎重に走行してください</b></p>	<p>ボルシェ トラクション マネージメント(PTM) に一時的なエラーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を軽減してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p><b>駆動力分配システム温度限界 負荷を軽減してください</b></p>	<p>ボルシェ トラクション マネージメント(PTM) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を軽減してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p><b>デロック過負荷 慎重に走行してください</b></p>	<p>ボルシェ トルク ベクトリング プラス(PTV Plus) の負荷が過大です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 負荷を軽減してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>デフロック故障</p> <p>または</p> <p>デフロック故障</p> <p>慎重に走行してください</p>	<p>ボルシェトルクベクトリングプラス(PTV Plus)が故障したか、不完全な状態です。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	<p>リヤアクスルステアリング故障</p> <p>または</p> <p>リヤアクスルステアリング故障</p> <p>慎重に走行してください</p>	<p>リヤアクスルステアリングが故障したか、不完全な状態です。</p> <p>継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	<p>ローンチコントロール作動</p>	<p>ローンチコントロールが有効です。</p> <p>最大加速で発進します。</p> <p>▶ 118 ページの「トランスミッション」の章を参照してください。</p>
	<p>カメラシステム故障</p> <p>要整備</p>	<p>車両カメラが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	<p>カメラシステム使用不可</p> <p>一時的な状態</p> <p>慎重に走行してください</p>	<p>アシスタンスシステムまたは車両カメラが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	<p>カメラシステム制限</p> <p>カメラ視野無</p> <p>必要であればフロントウィンドウを清掃</p>	<p>天候状態やウィンドウの汚れによりアシスタンスシステムまたはカメラが一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>システム エラー 走行可能 要整備</p>	<p>1つ以上の電気システムが故障している可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>パークアシスト警告音故障 または インストルメントクラスター音声故障 走行可能 要整備</p>	<p>パークアシストなどの警告音および距離信号が使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>フロントパークアシスト故障 または リヤパークアシスト故障 走行可能 要整備</p>	<p>パークアシストを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>警告およびブレーキアシスト故障 要整備</p>	<p>警告およびブレーキアシストが故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>WBA 制限中 取扱説明書をお読みください</p>	<p>警告とブレーキアシストに制限があるか、故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p><b>WBA 制限中</b> センサーが汚れています。清掃してください</p>	<p>警告およびブレーキアシストは、天候状態や車両のセンサーの汚れの影響を受けている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ フロント ウィンドウの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p><b>ACC 使用不可</b> ドライバーの運転操作が必要です</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール(ACC) が使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両のコントロールを行ってください。</li> </ul>
	 <p><b>ACC 使用不可</b> ABS/PSM 介入</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール(ACC) は、ABS または PSM 作動中にご利用いただけません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul>
	 <p><b>ACC 使用不可</b></p>	<p>アダプティブクルーズコントロール(ACC) システム エラー。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p><b>ACC 使用不可</b> ギヤを D または M に入れてください</p>	<p>アダプティブクルーズコントロール(ACC) は、<b>D</b> または <b>M</b> 作動モードが選択されている場合のみ利用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 作動モード(トランスミッションレンジ) <b>D</b> または <b>M</b> を選択してください。</li> </ul>
	 <p><b>ACC 使用不可</b> センサーが汚れています。清掃してください</p>	<p>悪天候またはセンサーの汚れにより、アダプティブクルーズコントロール(ACC) が一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ センサーを清掃してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>LCA 使用不可 一時的な状態 走行可能</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態により一時的に利用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 157 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p>LCA 使用不可 センサーが汚れています。清掃してください</p>	<p>レーンチェンジアシスト (LCA) センサーがバイクラック、ステッカー、汚れまたは氷結などにより覆われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ センサーの故障を修理してください。</li> <li>▶ ボタンを押してレーンチェンジアシスト (LCA) を作動させてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 157 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p>ドライバーの操作</p>	<p>ドライバーによるステアリングホイールの操作が著しく少ない、またはまったくないことを検知すると、レーンキープアシストはドライバーの操作を何段階かで促します。</p> <p>レーンキープアシストを起動する際は、次の点にご注意ください：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ご自分で直接ステアリング操作をしてください。</li> </ul>
	 <p>レーンキープアシスト使用不可 走行可能 要整備</p>	<p>レーンキープアシストを使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>
	 <p>レーンキープアシスト制限中 カメラ視野無 必要であればフロントウィンドウを清掃</p>	<p>レーンキープアシストが天候状態やフロントウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントウィンドウの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	レーンキープアシスト制限中 一時的な状態 走行可能	レーンキープアシストは一時的に使用できません。 エラーが継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ
	ナイトビューアシスト使用不可	ナイトビューアシストを使用できません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 199 ページ
	ナイトビューアシスト 人物検出使用不可	人物検出が使用できません。 人物や大型の野生動物は検出されません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。

## E-Hybrid 車両

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	ハイブリッド機能使用不可 エレクトリカル システム過熱 継続走行不可	ハイブリッド機能を使用できません。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ
	ハイブリッド システム故障 安全な場所に停車して車両を冷却してください	ハイブリッド システムを使用できません。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ
	ハイブリッド システム故障 走行可能 要整備	ハイブリッド システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	 <p>ハイブリッド冷却水液面低下 安全な場所に停車して車両を冷却してください</p>	<p>クーラント レベルが下限未満です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ</li> </ul>
	 <p>車両電気システム故障 再始動不可能 要整備</p>	<p>車両電気システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ</li> </ul>
	<p>長期エンジン稼働 取扱説明書をお読みください</p>	<p>燃料がエンジン オイル内に溜まっています。内燃エンジンを長時間作動させる必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ E-CHARGE モードを有効にします。 ▶ 124 ページの「ハイブリッド車両」の章を参照してください。</li> <li>▶ メッセージが消えるまで中程度のエンジン回転数で運転してください。エンジンの高回転とフルスロットルは避けてください。該当する制限速度を遵守してください。</li> </ul> <p>エラーが継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ</li> </ul>
	 <p>E サウンド エラー 走行可能 要整備</p>	<p>E-Sound が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▶ 206 ページ</li> </ul>
	<p>e ローンチ不可</p>	<p>e-Launch 使用不可。 車両の温度が高過ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エンジンを OFF にして冷却してください。 - または - 高電圧バッテリーが十分に充電されていません。 高電圧バッテリーを充電してください。</li> </ul>

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>バッテリー放電保護が有効</p> <p>充電状態： xx%</p>	<p>高電圧バッテリー放電保護が有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高電圧バッテリーを充電してください。</li> </ul> <p>長時間のアイドリング：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 281 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。</li> </ul>
	<p>燃料システム エラー</p> <p>走行可能 要整備</p> 	<p>タンク システムの電動ロック解除が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィラー フラップの緊急解除を実施してください。</li> <li>▷ 304 ページの「補給」の章を参照してください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 206 ページ</li> </ul>

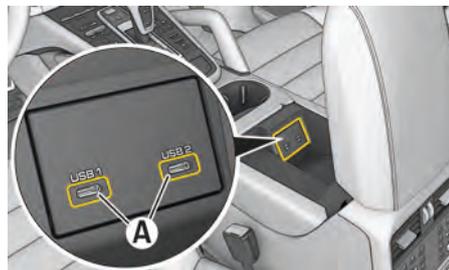
## PCM

表示	メッセージ	意味および必要な措置
	<p>重大な故障</p> <p>ポルシェ正規販売店にお問い合わせください</p> 	<p>ソフトウェアアップデートに失敗しました。</p> <p>ディスプレイおよびパークアシストなどのコンフォート機能が作動しない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両を使用する前に、ディスプレイおよびコンフォート機能 (パークアシストなど) が動作していることを確認してください。</li> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。▷ 208 ページ</li> </ul>
	<p>アップデートを実行中</p> <p>車両を使用しないでください</p> 	<p>ソフトウェアアップデートをインストール中です。</p> <p>ディスプレイおよびパークアシストなどのコンフォート機能が作動しない可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ソフトウェア アップデート中は車両を使用しないでください。</li> </ul>

## 操作および使用

### Android Auto

#### Android Auto を開く



- ✓ Android 6 以降。
- ✓ 電話に Android Auto がインストールされている。Android 10 以降、Android Auto は既に内蔵されています。
- ✓ 電話のモバイル データ接続が有効になっています。
- ✓ 設定で Google アシスタントと Android Auto が有効になっています。
- ✓ トラブルなく使用するために、損傷のない電話メーカーの純正ケーブルを USB アダプターなしで使用します。
- ✓ Android Auto ホームページの最新の要件に注意します。

1. 電話をアームレスト内の USB インターフェース (タイプ C) **A** (図.) に接続します。
2. Android Auto が使用されているというメッセージを確認します。  
➔ Android Auto が開かれており、利用できるアプリが表示されています。
3. 電話の指示に従ってください。

- ▶ 他のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには、**▲▶▶ Android Auto** を選択します。

#### **i** インフォメーション

- 最新バージョンの Android をインストールすることをお勧めします。
- Android Auto が対応している電話のアプリのみ表示することができます。Android Auto で利用できるアプリは Google Play ストアで確認できます。
- この機能は、Google が対応している国でのみ提供されます。対応している国に関する情報は、以下をご覧ください：Android Auto のホームページをご覧ください。
- Android Auto 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している電話からのみ提供されます。
- Android Auto の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー用、メディア再生用、ニュース用など) はすべて自動的に解除されます。
- Android Auto を使用するには、有効なデータ接続が必要です。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めします。

ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関する情報：

▶ 177 ページ

### Android Auto の操作

#### PCM での Android Auto の操作

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチ ディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで操作できます。

- ▶ **Android Auto** でメイン メニューを開くには、PCM のタッチ ディスプレイのホーム ボタン **■≡** を選択します。

- ▶ PCM のメイン機能に切り替えるには、**▶▶ Android Auto Porsche**  を選択します。  
- または -  
いずれかの機能 (例：🎵) を選択します。

### Google アシスタント音声認識を介した Android Auto の操作

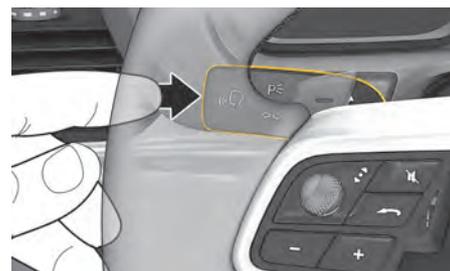


図. 156 コントロール レバーのボイス コントロール ボタン

#### Google アシスタントの起動

- ✓ 電話の設定で Google アシスタントが有効になっている。
  - ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
  - ✓ 通話中ではない。
  - ✓ パークアシストが作動していない。
  - ✓ PCM ボイス コントロールが作動していない。
1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
  2. 希望のボイス コマンドを発話します。

## Google アシスタントの終了

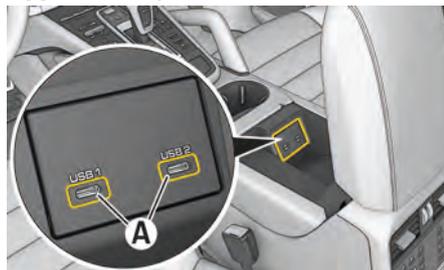
- ✓ Google アシスタントが作動していて、ボイス コマンドを待機している。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。  
➔ 終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：

- ▶ 183 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

## Apple CarPlay

### Apple CarPlay を開く



- ✓ iPhone 7 以降、iOS 14 以上。
- ✓ 使用している iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するため、損傷のない Apple 純正ケーブルを USB アダプターなしで使用してください。

1. iPhone をアームレスト内の USB インターフェイス (タイプ C) A(図.) に接続します。

2. Apple CarPlay を使用していることを確認します。  
➔ Apple CarPlay が開かれており、利用できるアプリが表示されています。

- ▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、 ▶ **Apple CarPlay**  を選択します。

## インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone アプリのみが表示されます。対応アプリに関する情報：  
[www.apple.com/ios/carplay](http://www.apple.com/ios/carplay) を参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。対応している国に関する情報は、以下をご覧ください：  
[www.apple.com/ios/feature-availability/#apple-carplay](http://www.apple.com/ios/feature-availability/#apple-carplay)
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関する情報：

- ▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## Apple CarPlay の操作

### PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチ ディスプレイ、ロータリー プッシュ ボタンおよびバック ボタンで操作できます。

- ▶ **Apple CarPlay** でメインメニューを開くには、PCMのタッチディスプレイのホームボタン  を選択します。
- ▶ PCMのメイン機能に切り替えるには、**Apple CarPlay**  **Porsche**  の順に選択します。  
- または -  
いずれかの機能 (例: ) を選択します。

## Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

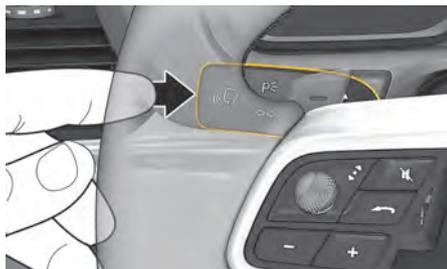


図. 157 コントロールレバーの音声コントロールボタン

### Siri の起動

- ✓ 使用している iPhone の設定で Siri が有効になっている。
  - ✓ イグニッションおよび PCM が ON になっている。
  - ✓ 通話中ではない。
  - ✓ パークアシストが作動していない。
  - ✓ PCM ボイスコントロールが作動していない。
1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
  2. 希望のボイスコマンドを発話します。

### Siri の終了

- ✓ Siri が有効で、ボイスコマンドを待機しています。
- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押します。  
➔ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールに関する情報：

- ▶ 183 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

## Apple CarPlay と iPhone の iPod としての使用の切り替え

iPhone が iPod として接続されている場合、Apple CarPlay は利用できません。デバイスマネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、Apple CarPlay を使用するかを切り替えます。

1. デバイスマネージャーを開くには、接続ステータスに応じて、ステータスエリアの  または  のいずれかを選択します。  
- または -  
 ▶ **デバイスをタップします** .
2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay**  シンボルを選択します。  
- または -  
iPhone の **iPod**  シンボルを選択します。  
▶ 216 ページの「デバイスマネージャー」の章を参照してください。  
➔ アイコンまたは現在アクティブな iPhone アプリケーションが色で強調表示され、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod** のいずれか) が表示されます。

## ワイヤレス Apple CarPlay を開く (装備および国別仕様による)

ワイヤレス CarPlay により、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス CarPlay は、一度に 1 つの有効な携帯電話にのみ対応します。

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® と WiFi 機能が作動している、他のデバイスから探索可能な状態になっている。
- ✓ ワイヤレス CarPlay が携帯電話で作動している。
- ✓ 車両の Bluetooth® および WiFi 機能が作動している。

1. ステータスエリア  または  (接続ステータスによる) およびコネクションマネージャーのメニューで、**Apple CarPlay**、**検索**を選択します。

- または -

**デバイスをタップします**  ▶ **Apple CarPlay** 

- または -

検索が始まるまで、ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。

2. リストからデバイスを選択します。
3. Apple CarPlay を使用していることを確認します。  
➔ Apple CarPlay が開きます。利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、車両に乗るたびに Apple CarPlay が自動的に作動します。したがって、携帯電話をバッグやズボンのポケットなどに入れたままにすることができます。(Bluetooth® および WiFi 機能が有効になっていることが必要です)。

または、以下の手順でワイヤレス CarPlay を接続することができます：

1.  ▶ デバイスをタップします .
2. iPhone の  シンボルを選択します。

他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには：

- ▶  ▶ Apple CarPlay .
- または -
- Apple CarPlay .

保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1.  ▶ デバイスをタップします .
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
  - ➡ デバイスがデバイス リストから削除されます。

ワイヤレス CarPlay の終了

1.  ▶ デバイスをタップします .
2. iPhone の  シンボルを選択します。
  - ➡ ワイヤレス CarPlay が終了します。

## 通知

### 概要 - 通知

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。この概要のみでなく、特に「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。



図. 158 通知のメイン メニューの領域

希望する操作	操作方法
通知を表示する	▶ メインメニューの ■ をタップします。
通知をフィルタリングする	▶ メインメニューで ■ をタップします。例：クイック フィルター バーの車両 (A) ▶ (図. 158) を参照。
通知を開く	▶ メインメニューで ■ を選択します。例：すべて (A▶ (図. 158) を参照) 通知 (C) ▶ (図. 158) を参照。 通知は詳細エリアに表示されます (B▶ (図. 158) を参照)。
メイン メニューで表示項目	▶ ■ を設定します…

### 通知を開く

- ▶ メインメニューの ■ をタップします。

### 通知のフィルタリング

通知はクイック フィルター バーでフィルタリングできます (A を参照)。コンテンツは次の領域に分かれています：

- ● ALL 既存のすべての通知の表示。
- 🚗 車両の通知の表示。
- 📞 接続されている携帯電話の通知が表示されます。
- ⓘ 情報の通知の表示。

### 通知設定の変更

- ▶ 🏠 ▶ 設定 ⚙️ 通知センター ▶ 希望の設定を選択します。

## 車両設定

### 車両設定の概要

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、さまざまな車両設定を行えます。ここで説明する車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

車両設定は車両を OFF にしても引き続き保存されません。

▷ 69 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

希望する操作	選択するもの	操作場所
ロックおよびロック解除オプションの設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ロック	-
ライト、フロントウィンドウワイパーおよびドアミラーを調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ライトと視界	-
シートヒーター、シートベンチレーターおよびシート位置を調節する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ シート設定	-
タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング	▶ 287 ページ
マルチファンクションステアリングホイールに (◇ ボタンを) 割り当てる	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ ステアリングホイールボタン◇	-
車両ジャッキモードを設定	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ シャーシ	-
サービス履歴を表示する (サービスの電子記録)	▶  ▶ 設定  ▶ 車両 ▶ サービス履歴 実施されたサービスおよびサービス範囲が表示されます。	-
PCM 表示を調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 表示 ▶ PCM 表示	-
インストルメントクラスターディスプレイを調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 表示 ▶ インストルメントクラスターの表示	-
インストルメントクラスターのカスタマイズ表示を調整する	▶  ▶ 設定  ▶ 表示 ▶ インストルメントクラスターの表示 ▶ コンテンツ ▶ カスタマイズ表示 さまざまな走行データを、ドラッグ & ドロップで4つのフィールドに割り当てることができます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当ててはできません。	-
日付と時刻の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 日付と時刻	-
単位の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 単位	-
ボイスコントロールシステムの設定	▶  ▶ 設定  ▶ ボイスコントロール	-
言語の設定	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ 言語 / キーボード	-

希望する操作	選択するもの	操作場所
警告音およびパークアシストの音量を設定する	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ パークアシスト	—
工場出荷時の設定に戻す	▶  ▶ 設定  ▶ システム ▶ システムを出荷時の状態にリセットする 工場設定にリセットすると、行った設定はすべて削除されます。	—

## デバイス マネージャー

### デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

#### ▶ ▶ デバイスをタップします

—または—

ヘッダーの または を選択してください (接続状態により異なります)。

### 接続ステータスの表示

#### シンボルの色と意味

- 赤色のシンボル：接続が有効
- 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない
- シンボルがない：接続できません

### 選択できる機能：

- 電話：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。  
▶ 236 ページの「電話」の章を参照してください。
- 音楽：外部メディアソースが Bluetooth® で接続されている。

▶ 219 ページの「メディア」の章を参照してください。

- データ (国により異なります)：WiFi アクセスポイント経由でデータ接続が確立されています。  
▶ 228 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
- メッセージ：Bluetooth® を介したメッセージ受信の ON と OFF を切り替えます。
- Apple CarPlay：iPhone が USB 接続または無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。  
▶ 210 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
- Android Auto：Android 電話が USB 接続で接続され、Android Auto にアクセスしている。  
▶ 209 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディアソースに接続するためのアシスタンスを提供します：  
 ▶ デバイスをタップします ▶ 新しいデバイスを接続

## 新しいデバイスを Bluetooth® 経由で接続する

1. ▶ デバイスをタップします ▶ 新しいデバイスを接続 ▶ [新しい電話を接続] / [新しいオーディオ プレーヤーを接続] をタップします。
2. リストからデバイスを選択します。  
▶ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM とデバイスに表示されます。
3. PCM とデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。  
▶ 携帯電話は接続に成功するとデバイス リストに表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関する情報：

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## デバイスリストからデバイスを削除する

- ▶ **▲▶ デバイスをタップします**  をタップします。
- 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
- ▶ デバイスがデバイス リストから削除されます。

## デバイス マネージャーの設定

- ▶ **▲▶ デバイスをタップします**  ... をタップします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

- **電話設定** : 236 ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth 設定** :
  - **Bluetooth** の ON/OFF を切り替えます。
  - PCM の **Bluetooth 名** を適応します。
- **WiFi 設定** :
  - **WiFi** の ON/OFF を切り替えます。
  - **インターネットアクセスを有効にする** : PCM の WiFi ホットスポットを有効にし、WiFi デバイスのデータ接続を有効にします。
  - **インターネットアクセスを有効にする** : PCM の WiFi アクセス データを表示し、設定します。このデータはデバイス (携帯電話など) を WiFi 経由で PCM に接続したり、WiFi ホットスポットを使用したりするために必要です。該当データ パッケージは [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で購入する必要があります。
- **データ接続設定** :
  - **オンラインデータの使用を表示**
  - **オンラインデータの使用をリセット**

## インターフェイス

2つの USB インターフェイス (タイプ C) がフロント アームレスト内にあります。

PCM が ON になると、USB インターフェイスは有効になります。

### USB を介した外部機器の接続

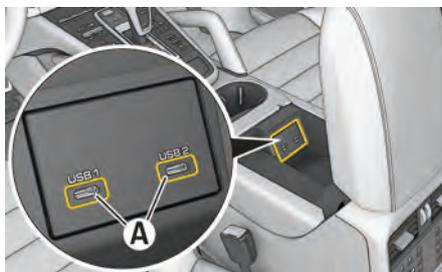


図. 159 アームレスト内のインターフェイス

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器 (iPod、USB メモリーなど) を USB インターフェイス (タイプ C) **A**(図. 159) に接続します。
3. **メディア**  **再生** で希望のメディア ソースを選択します。
  - ▶ 219 ページの「メディア」の章を参照してください。
4. 必要に応じて、外部機器および PCM の音量を調節します。

リヤコントロールパネルには、追加の USB インターフェイス (タイプ C) があります。

## インターフェイスおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USB ハブには対応していません。
- ボルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカル データ :

- ▶ 310 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

## ホーム画面および個人画面 ホーム画面および個人画面の設定

### ホーム画面の設定

1. **🏠 ▶ … ▶ 並び順を変更する**
2. 希望するタイルを選択して、ドラッグ&ドロップで任意の場所に移動します。
3. **[確認]** をタップします。

主なアプリ (ナビゲーション、メディア、電話、設定および **Apple CarPlay**) は移動できません。

### 個人画面の設定

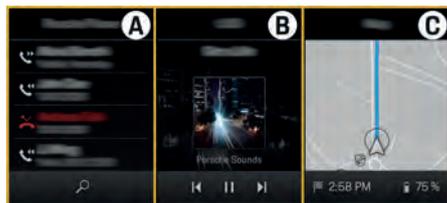


図. 160 個人画面の領域

ホーム画面の2ページ目 (個人画面) のさまざまな領域をカスタマイズできます。

1. ホーム画面 **🏠** で左にスワイプします。  
➡ 個人画面 **👤** が表示されます。
2. **… ▶ 個人画面の設定**
3. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ&ドロップで任意の領域 (A、B、C) (図. 160) を参照) に移動します。
4. タイルは別のタイルと交換することで削除できます。

ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 177 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

## メディア

### 概要説明 – メディア

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。この概要のみでなく、特に「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

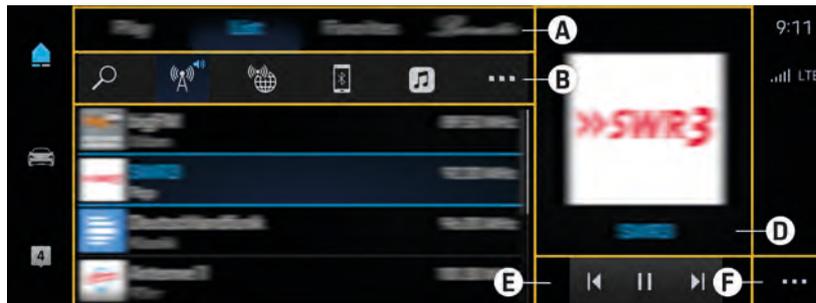


図. 161 メディアを再生する

希望する操作	操作方法	操作場所
メディアソースを接続する	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 外部デバイスを Bluetooth® 経由で接続してください。</li> <li>- USB を介して外部機器を接続します。</li> </ul>	▷ 216 ページ
メディアを再生する	▶ クイック フィルター バーで希望のメニュー オプションを開きます (A(図. 161) を参照) <b>希望の放送局 / トラックを選択します。</b>	-
メディアソースを選択する	▶ フィルター バー (B(図. 161) を参照) で、 <b>希望のメディアソースを選択します。</b>	-
放送局 / トラック / アルバムの検索 (利用可能なすべてのメディアソースへの検索)	▶  ▶ <b>メディア</b>  (フィルター バー内)  (B(図. 161) を参照) <b>希望の放送局 / トラックを入力します。</b>	-
メディアソース / 受信範囲を選択する	▶  ▶ <b>メディア</b>  <b>再生</b> (A(図. 161) を参照) (フィルター バー内) (B(図. 161) を参照) <b>メディアソースを選択します (例:  ラジオ)。</b>	-
メディアソース / 受信コンテンツを表示する	▶  ▶ <b>メディア</b>  <b>リスト</b> (A(図. 161) を参照) (フィルター バー内) (B(図. 161) を参照)、 <b>メディアソースを選択します (例:  ラジオ)。</b>	-
音楽を再生 / 一時停止する	▶  ▶ <b>メディア</b>  <b>再生</b> (A(図. 161) を参照) ▶ <b>または</b>  (E(図. 161) を参照) をタップします。	-
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▶  ▶ <b>メディア</b>  <b>再生</b> (A(図. 161) を参照)  <b>または</b>  (E(図. 161) を参照) をタップします。	-
お気に入りの放送局を保存する	▶ 希望の放送局を長押しします <b>☆</b> をタップします。 - または - ▶  ▶ <b>メディア</b>  <b>再生</b> (A(図. 161) を参照) <b>☆</b> をタップします。	▷ 221 ページ

希望する操作	操作方法	操作場所
放送局 / トラックのリストを表示する	▶  ▶  ▶  リスト (A(図. 161) を参照) 選択したメディアソースに応じて、 <b>プレイリスト</b> や <b>アーティスト</b> などのサブフォルダーを利用できます。	-
オンラインステーショントラッキングを起動	▶  ▶  ▶  … (F(図. 161) を参照) <b>オンラインステーショントラッキング</b> <sup>1</sup>  受信状態が悪い場合、放送局は自動的にオンラインで受信され、放送局名の隣に <b>オンライン</b> と表示されます。	-

## メディアを再生する

### 利用できるラジオおよびメディアソース

ラジオは、FM、AM (国別仕様により異なる)、および DAB (デジタルラジオ) 受信エリアをサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディアソースが利用可能です: USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス、オンラインラジオ。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ:

▶ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

### メディア再生中の他の機能

✓ ▶ ▶ **再生** が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

- 現在の再生リストを表示する:
- ランダム再生を有効にする:
- トラックをリピートする:

## お気に入りの保存および編集

### お気に入りの保存

- ▶ ▶ ▶ リスト ▶ **タップ 希望の放送局を長押しします** ☆。  
- または -  
 ▶ ▶ ▶ **再生** ▶ ☆ をタップします。

### お気に入りの SiriusXM コンテンツ® をお気に入りリストに追加する

- ▶ ▶ ▶ ▶ **再生** ▶ ☆ ▶ ソースを呼び出す ▶ **SiriusXM** ▶ **追加**
- ➔ お気に入りのコンテンツが再生されているときにシンボルが表示されます。

### お気に入りの整理

1. ▶ ▶ ▶ **お気に入り** ▶ … ▶ **お気に入りの並び順を変更する**
2. 希望する放送局を長押しして、希望する場所移动到させます (ドラッグ & ドロップ)。

### お気に入りの削除

1. ▶ ▶ ▶ **お気に入り**
2. 希望の放送局を長押しします。  
➔ **削除マーク**が表示されます。
3. **削除マーク**をタップします。

## メディア設定の変更

- ▶  ▶ メディア  ▶ ... ▶ 希望の設定を選択してください。

## メッセージ

### メッセージ

#### メッセージの表示および編集

テキストメッセージやEメールを読んだり、メッセージを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。携帯電話がすべての機能をサポートしているわけではありません。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

メッセージアプリケーションは、携帯電話が接続されるとホーム画面に表示されます。

#### インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話メッセージリストには表示されない場合があります。受信したテキストメッセージはSIMカードに保存されます。
- PCMはマルチメディアメッセージングサービス(MMS)に対応していません。

#### テキストメッセージ/Eメールの作成

1.  ▶ メッセージ ▶ テキストメッセージ/Eメール
2.  をタップします。
3. [電話番号を入力または連絡先を選択することにより] 受信者を追加します。
4. 入力フィールドにテキストを入力し、[OK]で確定してください。
5. **送信**をタップします。

#### テキストメッセージ/Eメールの返信または転送

1.  ▶ メッセージ ▶ テキストメッセージ/Eメール
2. 返信/転送したいテキストメッセージまたはEメールを選択します。
3.  ▶ 返信/転送をタップします。

#### メッセージの編集

- ▶  ▶ メッセージ ▶ テキストメッセージ/Eメールフォルダー ▶ ... ▶ 希望の設定を選択します。

1. 必要条件：データ接続が確立されている。Porsche Connect サービスが有効になっている。

## ナビゲーション

### 概要説明 - ナビゲーション



図. 162 目的地の入力 / 検索

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。この概要のみでなく、特に「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

希望する操作	操作方法	操作場所
目的地の検索 / 目的地の住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ ナビゲーション </li> </ul> コンテンツとインタラクションエリアに候補が表示されます (D▶ (図. 162) を参照)。 入力オプション (A▶ (図. 162) を参照)	-
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィルター バー (B▶ (図. 162) を参照) で、 を選択します。</li> </ul>	-
連絡先から目的地を選択する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フィルター バー (B▶ (図. 162) を参照) で、 を選択します。</li> </ul>	-

希望する操作	操作方法	操作場所
検索結果を絞り込む	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 検索結果はフィルターバーで絞り込むことができます (▶ (図. 162) を参照)。</li> <li>- 前回の目的地</li> <li>- お気に入り</li> <li>- 連絡先</li> <li>- 駐車場</li> </ul> <p>追加のフィルター (施設情報など) は、オプションの下のフィルターバーに表示できます... (▶ (図. 162) を参照)。</p>	-
ルート オプションを表示する (代替ルートなど)	▶  ▶ ナビゲーション   ▶ オプション... ▶ ルートオプション	-
ルート案内を開始	▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地を入力してください [ルート案内を開始] をタップします。	-
ルート案内を停止	▶  ▶ ナビゲーション  ▶ 停止をタップします。	-
目的地をお気に入りに追加する	▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地の入力または候補のリストからの選択 (▶ (図. 162) を参照)... コンテンツとインタラクション エリア (▶ (図. 162) を参照) ☆。 お気に入りはマップビューに ★ でマークされています。	-
交通情報を表示する	<p>✓ ルート案内を開始している。</p> <p>▶  ▶ ナビゲーション </p>	225 ページ
オンラインナビゲーションを有効にする	▶  ▶ 設定  Porsche Connect 設定 ▶ Porsche Connect サービスを選択。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。	-

希望する操作	操作方法	操作場所
ナビゲーション案内を設定する	▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ [ナビゲーション案内音量] を選択します。	-
Porsche Connect サービスを利用する (オンラインマップアップデートなど)	✓ データ接続が確立されている。Porsche Connect サービスが有効になっている。Porsche Connect に関する詳細は、以下を参照してください。 ▶ www.porsche.com/connect	▶ 228 ページ
ETC を表示する	-  ▶ CAR  ▶ ETC	▶ 227 ページ

## ナビゲーションの使用

### ▲ 警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。

### ▲ 警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

## 地図からの目的地入力

1. ▶ ナビゲーション を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。
3. 表示された住所をタッチして、ルートナビゲーションを開始します。

## 代替ルート

マップビューには最大 3 つのルートが表示されます。

1. マップビュー... で代替ルートを選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。
3. 代替ルートをタップして選択します。  
▶ 選択したルートが強調表示されます。
4. 開始をタップして、ルート案内を開始します。

## ツアーを計画する (経由地の入力)

ツアーは、1 つの目的地と最大 8 箇所の経由地からなります。

## ツアーの入力および開始

1. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 目的地を入力 ▶ 開始。
2. ▶ ナビゲーション ▶ ▶ 経由地を入力するか選択します ▶ ... ▶ 経由地として追加します。
3. ツアーを開始します。

## ツアーの編集

経由地の順番は後で変更できます。

- ✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション... ▶ ルートの編集から、該当する経由地のシンボル を押したまま希望の位置に移動してください (ドラッグ & ドロップ)。

## 地図コンテンツの設定

1. ▶ ナビゲーション ▶ (サイドバーの左)
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

- **ノースアップ**：常に地図の上方が北になります。
- **3D マップ**：3D マップビュー(と2D ビュー)の表示または非表示を切り替えます。
- **サテライトマップ**：地図上のサテライトビューの表示と非表示を切り替えます。

## 地図設定の変更

1. **ナビゲーション** ▶ **ナビゲーション設定** ▶ **マップ設定**
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による)：
  - **自動ズーム**：地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
  - **施設情報を表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
  - **3D 建築物**：3D マップビュー(と2D ビュー)の表示または非表示を切り替えます。
  - **デイビュー/ナイトビュー**：マップ上のビューを選択します。

## 交通情報を表示する

### 地図上での交通情報の表示 226 ページ

地図上に、現在地または選択したルートに関する次の交通情報を表示することができます：

- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞。

以下の渋滞情報が表示されます。

- 緑線：円滑に流れる交通状態
- 黄線：少し進んでは止まる交通状況
- オレンジの線：動きの遅い交通状態
- 赤線：交通渋滞
- 濃い赤線：交通渋滞と封鎖されている道路

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も地図上に表示されます。

## 交通渋滞の回避

ルート案内内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

- ▶ **ナビゲーション** ▶ **ナビゲーション設定** ▶ **ナビゲーション設定** ▶ **マップ設定** ▶ **動的ルート変更 / 道路交通案内の表示** を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツプロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負い兼ねます。

## トリップ概要



図. 163 トリップ概要の情報

ナビゲーションの作動時に、エリア A(図. 163) をタップするとトリップ概要を開くことができます。以下の現在のルート案内に関する情報が表示されます：

- 到着時刻および目的地への距離 (A(図. 163) を参照)
- 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (B(図. 163) を参照)
- 経由地

以下の渋滞情報が表示されます。

- 青色：円滑に流れる交通状態
- 黄色：動きの遅い交通状態
- 赤色：交通渋滞

## 追加情報の表示

- ▶ 地図またはトリップ概要の情報(例：渋滞による遅延 A(図. 163)) を選択します。
  - ▶ このメッセージに関する追加情報が、PCMの詳細エリアに表示されます。

## マップビューおよびナビゲーション情報をインストールメントクラスターに表示する

インストールメントクラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▶ 169 ページの「インストールメントクラスターの操作」の章を参照してください。

## 地図画面の表示および設定

1. インストールメントクラスターの地図画面を選択します。
  - ▶ 168 ページの「インストールメントパネル」の章を参照してください。
2. マルチファンクションステアリングホイールから希望のビューオプションを選択してください：
  - **手動ズーム**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
  - **自動ズーム**：地図の縮尺は自動調節されます。
  - **3D マップ**：立体地図を表示します。
  - **ノースアップ**：常に地図の上方が北になります。

- **マップ情報**：インストルメントクラスター上の [車両 & 情報] ディスプレイでマップビューが選択されていない場合、地図はナビゲーション使用時に自動的に表示されます。
- **矢印情報**：インストルメントクラスターの [速度 & アシスト機能] ディスプレイの [ナビゲーション] メニューが選択されていない場合は、ナビゲーション使用時にメニューが自動的に表示されます。

### インストルメントクラスター上でのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストルメントクラスターの [速度 & アシスト機能] ディスプレイにある [ナビゲーション] メニューを選択します。
  - ▶ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

## ナビゲーション設定の変更

- ▶ **🏠 ▶ ナビゲーション ▲ ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ 希望する設定を選択してください。**

### オンラインソフトウェアアップデートの実行

オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、以下をご覧ください：

- ▶ 227 ページの「オンラインソフトウェアアップデート」の章を参照してください。

## 道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

### ETC カードの挿入および取り出し



図. 164 グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカチッと音がするまでカードリーダーに差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、△ を押してください
  - ▶ 見出しの  は、マップがないか、マップエラーがあることを示します。

### ETC 設定

- ✓ ETC カードの詰まり

#### ▶ **🏠 ▶ CAR ▶ ETC ▶ 支払い方法**

- 通行料の表示
- 通行料の警告
- カード抜き忘れ警告

## オンラインソフトウェアアップデート

### オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード

オンラインソフトウェアアップデート機能 [一部の国で利用可能] により、PCM および車両をアップデートできます。

オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ Porsche Connect Paket またはポルシェ コネクトストアで購入した Porsche Connect Care。
- ✓ My Porsche でポルシェ コネクトが有効になっています。
- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが My Porsche で有効化された。
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベートモードが無効です。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続品質によって異なります。ダウンロードの完了後、インストールを開始できます。

### オンラインソフトウェアアップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンラインソフトウェアアップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。通知で、いつでもメッセージを表示できます。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート**  を選択してください。

## 知識

オンラインソフトウェアアップデート中の使用制限。

**車両の走行準備が整っていないため、始動しないでください。** ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ すべての乗員が降車するなど、PCM の要求に従ってください。
- ▶ オンラインソフトウェアアップデート中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はインストール後のみ使用してください。

1つのインストールプロセスのみ開始できます。このインストールプロセスは中断できません。インストール時間は、オンラインソフトウェアアップデートの内容によって異なります。インストールすると、オンラインソフトウェアアップデートを元に戻すことはできません。

- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが正常にダウンロードされた。
- ✓ 車両が OFF になっています。
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動しています。
- ✓ バッテリーは十分に充電されています。
- ✓ さらなる条件が必要になる場合があります (ドアが閉まっている、車両がロックされている)。これらの条件は PCM に表示されます。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートのインストールを **[インストール]** で確定します。

作動待機が復元された後、通知が PCM に 1 度表示されます。車両を再びフル活用することができます。

## インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または **[後で通知する]** を使用した場合、インストール時間は自動的に延期されます。

## オンラインソフトウェアアップデートの失敗

オンラインソフトウェアアップデートの実行中に故障が発生する場合があります。

発生した故障の重大度とその結果は、PCM に表示されます。

**エラーが発生する場合、PCM の該当する情報を厳守してください。**

## 知識

オンラインソフトウェアアップデートの失敗による損傷と使用制限。

表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ社ではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ポルシェ コネクト

### 可用性

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確立することができます。現在有効なデータ接続は PCM のステータスラインおよびデバイス マネージャーに表示されます。

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

▶ 216 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

### 登録および有効化

#### Porsche ID アカウント (ポルシェ コネクト ユーザー) およびポルシェ コネクト サービスの有効化

- ✓ Porsche ID アカウントの有効化に関する E メールを受け取っている。

1. Eメールの [Porsche ID アカウントを有効にする] ボタンをクリックして、確認コードを入力します (保存されている携帯電話番号に送信されます)。
2. Porsche ID アカウントのパスワードとセキュリティコードを設定します。
3. プロファイル情報を入力し、ポルシェ コネクトの無料利用期間を有効にします (国別仕様による)。 (国によっては、自動的にバックグラウンドで作動します)

## ① インフォメーション

Porsche ID を有効化するための E メールが届かない場合、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## セキュリティコード

Porsche ID で車両に正常にログインし、アプリまたは My Porsche 経由で特定のリモート サービスを使用するにはセキュリティコードが必要です。

1. My Porsche を開きます。(ポルシェ ウェブサイトの左上からアクセスしますが、国によって異なります。)
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. セキュリティコードは、ユーザー設定において設定、変更、またはリセットできます。

以下のサービスを使用する場合など、国に応じて**セキュリティコード**を発行する必要があります：

- 乗車後の Porsche ID のロック解除 (「セキュリティコードでログイン」が設定されている場合)
- 車両のログイン設定の変更 (例：「セキュリティコードなしでログイン」)
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- 追加ユーザーのためのリモート機能の作動

## My Porsche 経由での追加サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントは有効です。

1. My Porsche を開きます。(ポルシェ ウェブサイトの左上からアクセスしますが、国によって異なります。)
2. お客様の個人アクセスデータ (ポルシェ ID およびパスワード) を使ってログインします。

3. [サービス] タブを選択します。  
➔ 利用可能なサービスが表示されます。

4. ご希望のサービスを選択します。

5. 有効化と設定を実施します。

▷ 227 ページの「オンライン ソフトウェア アップデート」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広いポルシェ コネクト サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料利用期間についての詳細な情報、それ以降の費用と利用可能な各サービスについての情報は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) または担当のポルシェ正規販売店から入手できます。
- 国によっては、ポルシェ コネクト サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポットで利用できます (ロシアでのみ利用可能)。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。  
サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

## Porsche ID (ポルシェ コネクト ユーザー) で車両にログインする

一部のポルシェ コネクト サービスを使用するには、Porsche ID で車両にログインする必要があります。ログインすると、車両で個人の My Porsche の設定にアクセスできます。

- ✓ ポルシェ コネクト ユーザー (Porsche ID) が My Porsche に登録されています。
- ✓ My Porsche で作成された、既知の Porsche ID セキュリティコード (▷ 229 ページを参照)。

1. **🏠 ▶ 車両の設定** **⚙️ ▶ アカウント ▶ アカウントを設定**
2. Porsche ID、E メールアドレス、My Porsche パスワードを入力し、**[ログイン]** で確定します。

## ナビゲーションおよびボイス コントロールシステムのサービスの使用

- ナビゲーション目的地の入力およびポータル POI のロードのためのオンライン検索機能、ならびに My Porsche のその他の POI カテゴリー
- 追加の地図画面。
- リアルタイム交通情報では、インターネット経由で事故、道路工事、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索。

## データ接続の確立

### 内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する

国によっては、内蔵 SIM カード経由によるデータ接続の確立が可能です。

✓ プライベート モードが無効になっている。

▷ 230 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

## ① インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を確認してください：

- プライベートモードが無効になっている。
- 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所にある（電波の届かない場所ではない）。

▶ 必要に応じてPCMを再起動してください。

## 外部WiFiホットスポットを介したデータ接続の確立

外部WiFiホットスポットを介したデータ接続の確立は、現在ロシアでのみ利用可能です。

## ① インフォメーション

外部WiFiホットスポットを介したデータ接続には、(データローミングなどによる)追加のコストが発生する場合があります。

- ✓ 携帯電話WiFiホットスポットまたは公衆ホットスポットが利用可能。

1. ステータスエリア  または  において (接続ステータスによって異なる)、... ▶ **WiFi設定 ▶ 外部ホットスポットを検索** を選択します。
  - ➔ WiFiネットワークが検索され、表示されません。
2. WiFiホットスポット (公衆ホットスポットまたは携帯電話の個人ホットスポットなど) を選択し、PCMにWiFiアクセスデータを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
  - ➔ 外部WiFiホットスポットへの接続が確立します。

## PCM WiFi ホットスポットの作動

車両ホットスポットに接続できるWiFiデバイスは最大8台です。

1. PCMのWiFiアクセスデータを呼び出します：
  - ▶  ▶ **車両の設定**  ▶ **コネクションマネージャー**
  - ▶ **車両ホットスポットに接続**
  - ➔ PCMデバイス名とWiFiパスワードがセントラルディスプレイに表示されます。
2. デバイスのWiFi設定にPCMのWiFiアクセスデータを入力するか、デバイスを使用してPCMに表示されたQRコードをスキャンします。
  - ➔ PCMのワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

## データ量の表示

データボリュームは、データパッケージが予約されている場合にのみ表示できます。

- ▶  ▶ **車両の設定**  ▶ **プライバシーおよびPorsche Connect設定 ▶ 残りのデータ量**
- ➔ 契約済みのデータパッケージに関する国別の情報が表示されます。

データパッケージを使い切ると、メッセージがセントラルディスプレイに自動的に表示されます。

## 管理と設定

### Porsche ID (ポルシェコネクトユーザー)の管理

- ✓ Porsche ID (ポルシェコネクトユーザー) がログインしています。

- ▶  ▶ **車両の設定**  ▶ **アカウント希望のアカウントを選択...** ▶ **アクション** を実行する：

- **セキュリティコードでログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID およびセキュリティコードを確認する必要があります。
- **セキュリティコードなしでログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確認のみが必要になります。
- **自動ログイン**：作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。
- **アカウントを削除する**：Porsche ID は車両から削除されます。
- **アカウントをログオフ**：Porsche ID は車両からログアウトされます。ゲストアカウントが有効になります。

## サービス概要を表示

- ▶  ▶ **車両の設定**  ▶ **プライバシーおよびPorsche Connect設定 ▶ すべてのPorsche Connect サービスリスト** を選択します。
  - ➔ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

## リモートアクセス権限の付与

車両で My Porsche またはポルシェコネクトアプリ (国別仕様による) のサービス制御プログラムを使用するには、リモートアクセス認証が必要です。リモートアクセス認証は、メインユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動付与されます。

- ✓ メインユーザーが少なくとも1回車両にログインしている。

- ▶ 以下で登録済みユーザーを確認します： ▶ **車両の設定**  ▶ **アカウント**

## プライベートモードの有効化/無効化

国によってはプライベートモードの有効化/無効化が可能です。

プライベートモードが有効な間は、車両とポルシェコネクトアプリおよびMy Porsche間の通信が無効になります。車両固有の情報は送信されません。つまり、アプリまたはMy Porscheを使用して車両設定を変更することはできません。

✓ リモートアクセス認証が付与されている。

- ▶ **🏠 ▶ 車両の設定 ⚙ ▶ プライバシーおよび Porsche Connect 設定 ▶ プライベートモード**
- ➔ プライベートモードは、個々のサービスまたはサービスグループに対してグローバルに有効化または無効化できます。

▶ 231ページの「アプリ」の章を参照してください。

プライベートモードを作動していても、故障時または緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどに車両の位置情報が送信可能になります。

▶ すべての車両使用者に、通信できなくなる可能性があることを伝えてください。

## アプリ

国によって利用可能なアプリが異なります (Apple App Store または GOOGLE Play ストアからダウンロードできます)。

### ⚠ 警告

運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。

## ポルシェコネクトアプリ<sup>1</sup>

ポルシェコネクトアプリにより車両と携帯電話のネットワークを実現できます。たとえば、次の機能を使用できます：個人的に設定したPOI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力を携帯電話からPCMに転送することができます。国によっては、必要なアプリをインストールしてアカウントを作成すれば、音楽ストリーミング機能を使用して曲にアクセスできます。

## WiFiを使用してポルシェコネクトアプリをPCMに接続し、PCMで開く

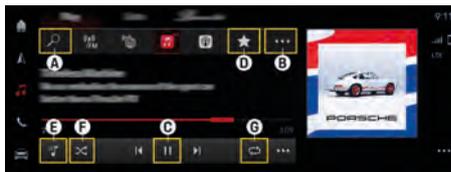


図. 165

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または GOOGLE Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 携帯電話でWiFiが有効になっている。
- ✓ PCMのWiFi機能が作動している。

1. **🏠 ▶ デバイスをタップします 📱 ▶ ... ▶ WiFi 設定 ▶ インターネットアクセスを有効にする**をタップします。
2. PCMのWiFiアクセスデータを呼び出します：  
**🏠 ▶ デバイスをタップします 📱 ▶ コネクション マネージャー ▶ 車両ホットスポットに接続。**  
➔ PCMのデバイス名およびWiFiパスワードが表示されます。
3. デバイスWiFi設定に表示されたPCM WiFiアクセスデータを入力するか、表示されたQRコードを携帯電話でスキャンします。  
➔ PCMのワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

車両とポルシェコネクトアプリ間の通信を制限することができます。

▶ 230ページの「管理と設定」の章を参照してください。

### 📄 インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

1. 名前と機能は変更される可能性があります。

## スマートメンテ



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限りコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

## 機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要とします。スマートメンテ(国別仕様による)を使用すると、メンテナンスおよび修理データを呼び出して更新できます。構成部品のメンテナンスまたは修理が必要な場合、PCMにメッセージが表示されます。

## スマートメンテの作動

コネクストアのコネクタカーパッケージの一部として作動します。その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▶ 228 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

ポルシェコネクタに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェコネクタ取扱説明書およびヘルプ)は、以下のウェブサイトから入手できます。

▶ [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)

## スマートメンテの使用

作動後、現在のスマートメンテデータをPCMで確認できます。

## スマートメンテを開く

▶ ▶ ▶ をタップします。

スマートメンテのデータを含む概要が表示されます。

- 一般的な点検
- サービス間隔
- ブレーキフルード
- 車室内フィルター
- 応急処置セット
- タイヤシーラントキット(Tire Mobility System-TMS)
- エンジンオイルとオイルフィルター
- スパークプラグ
- エアフィルター

## コンポーネントの機能の呼び出し

✓ スマートメンテが開いている。

1. 目的のコンポーネントの隣にある...をタップします。
2. 希望の機能を選択してください。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- 手順を開く。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示する。
- コンポーネントをリセットする。
- 新しい有効期限を入力する。

## コンポーネントの停止または作動

✓ スマートメンテが開いている。

## 1. 目的のコンポーネントを選択します ▶ 設定 ⚙

2. コンポーネントを停止 / 作動します。
  - ▶ 停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

## 必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

▶ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の機能を利用できます。

- メッセージを読み上げる。
- 最寄りの修理工場をPCMに表示する。
- メッセージを閉じる。メッセージはPCMを再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、My Porsche で開くことができます。

▶ 228 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

## スマートメンテの停止

▶ プライベートモードを有効にして、スマートメンテ(国により利用可能)を無効にします。

▶ 230 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

個々のサービスは、My Porsche のコネクタ設定から無効にすることができます。

## スポーツクロノストップウォッチ機能

スポーツクロノストップウォッチを使用して、インストルメントクラスター上で時間を停止、評価、表示できます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置や速度など）

記録中、以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラーレート
- 燃料の残量および現在タンクに残っている燃料での走行可能距離および完了できるラップ回数。
- 残りの記録時間
- 現在のラップおよび基準ラップに関するトラック進捗。

99時間、59分59.99秒まで記録および表示できます。

## スポーツクロノストップウォッチの操作 ダッシュボードのストップウォッチ

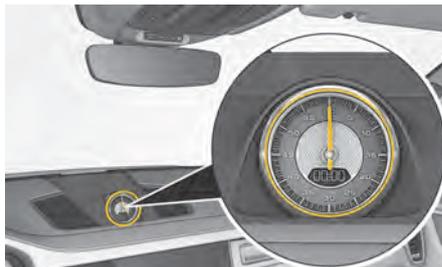


図. 166 スポーツクロノストップウォッチ

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログポインターは秒を表示します。デジタル表示は最初の1分までは1/100秒で表示します。その後、表示は2番目のステップに進みます。

### ダッシュボードのストップウォッチの時間表示およびライトの設定

▶ 214ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

## PCMのストップウォッチ



図. 167 PCMのストップウォッチ

A 燃料の残量および現在の燃費残量で走行可能なラップ回数などの記録情報。

B トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い（緑色）、同一（黄色）、または遅い（赤色）のいずれかであることを示すカラーレート。

### 計時の開始

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ スタート**
  - データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

✓ 計時が始まっている。

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ ストップ**

### 計時の継続

✓ 計時が停止している。

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ 継続**

### ラップの停止 / 新しいラップの開始

1回の記録で最大99ラップを保存することができます。

✓ 計時が始まっている。

- ▶ **▶ スポーツクロノ ▶ 新しいラップ**
  - ラップカウンターの値が1ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。

### 中間タイムの保存

✓ 計時が始まっている。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ 中間タイム**
  - ➡ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

### ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止している。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ リセット**
  - ➡ すべてのストップタイム表示は0にリセットされ、現在の記録は停止されます。

### 基準ラップの読み込み

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ラップ読み込**

### 基準ラップの保存

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ表示 ▶ 評価希望の記録を選択基準ラップを保存**

### 基準ラップのリセット

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ 基準のリセット**

### 記録の表示と編集および統計の記録

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で10時間の記録が可能です。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ表示 ▶ 評価**

### 記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート

- ✓ ...で**スポーツクロノ評価**を選択している。
- ✓ インポート/エクスポート用に接続されたUSBデータバンク。データは、記憶媒体の「SportChrono」フォルダーに保存されています。データバンクはFAT32またはexFat (WindowsまたはLinux)形式にフォーマットされています。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ...**

### スポーツクロノの設定

#### 追加データの記録オプションの起動およびトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムとは別に、他の走行データ(速度など)を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ設定 ▶ 拡張データ記録**

#### 許容距離差の設定

基準ラップの長さや任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ設定 ▶ 許容ルート誤差**

#### 評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同一(黄色マーク)と評価されるラップの最大の時間差を示します。

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ設定 ▶ 評価向けの最大偏差**

### 最速ラップ(ゴーストカー)の車両位置の表示

- ▶ **🏠 ▶ スポーツクロノ ▶ ... ▶ スポーツクロノ設定 ▶ 最速ラップの表示位置**

### インストルメント クラスターのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。

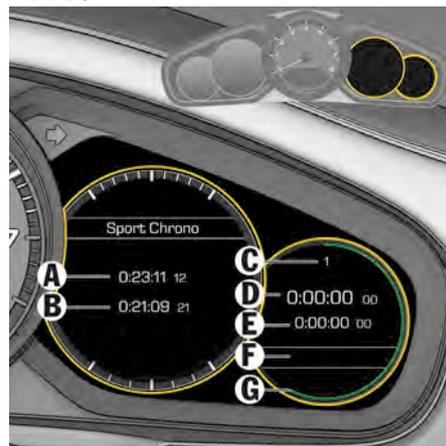


図. 168 インストルメント クラスターのストップウォッチ

- A 最終ラップタイム
- B 最速ラップタイム
- C ラップカウンター
- D 現在のラップタイム / 一時中間ラップ
- E 基準ラップタイムまたは最速ラップタイム

- F オプションおよびコントロールコマンド (スタート、ストップなど)
- G サークルディスプレイ：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。現在のラップタイムが基準ラップより速い (緑色)、同一 (黄色)、または遅い (赤色) のいずれであるかを示すカラーレート。

### 計時の開始

- ▶ **スポーツクロノ ▶ スタート**
  - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

- ✓ 計時が始まっている。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ ストップ**

### 計時の継続

- ✓ 計時が停止している。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ 継続**

### ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

1回のセッションで最大 99 ラップを保存することができます。

- ✓ 計時が始まっている。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ ラップ**
  - ➔ ラップカウンター **C**(図. 168) が 1 ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム **B** として保存されます。

### 中間タイムの保存

- ✓ 計時が始まっている。

- ▶ **スポーツクロノ ▶ 中間タイム**
  - ➔ 中間タイム **D**(図. 168) は短時間表示され、保存されません。  
時間測定はバックグラウンドで継続しています。
  - サークルダイアグラム **G** の文字は設定された中間タイムを示します。

### ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止している。
- ▶ **スポーツクロノ ▶ リセット**
  - ➔ すべてのストップウォッチタイム表示をゼロにリセットします。

### ダッシュボードのアナログ時計

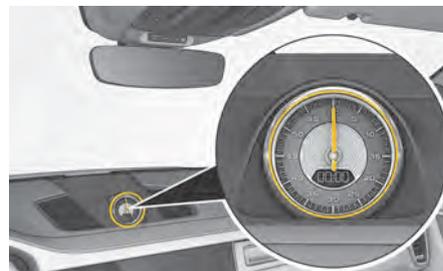


図. 169 スポーツクロノストップウォッチ

アナログ時計の時刻とライトの明るさは、ダッシュボードのタッチディスプレイで設定できます。

▶ 214 ページの「車両設定の概要」の章を参照してください。

## 電話

### 概要説明 – 電話

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) の操作に関する情報：

▷ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

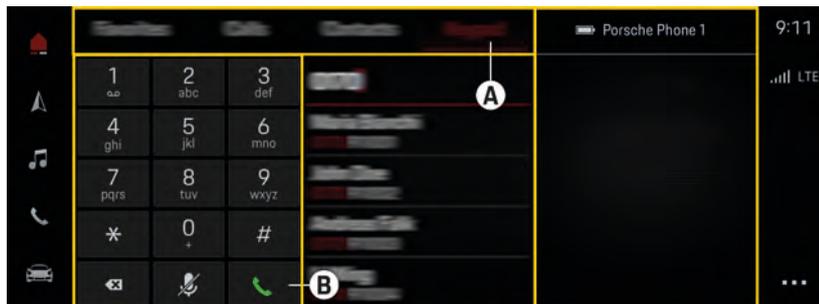


図. 170 電話番号の入力 (キーパッド)

希望する操作	操作方法	操作場所
Bluetooth® を介した携帯電話の接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ 電話 、既知デバイスを選択または新規検索 ▶ 検索開始をタップします。</li> </ul>	▷ 237 ページ
接続された 2 台の携帯電話を切り替える	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステータス エリアで現在接続されている携帯電話を選択します。既に接続している 2 台のデバイスが表示されます。希望する携帯電話を選択してください。 – または – ステータス エリアで  をタップします。</li> </ul>	–
携帯電話をお気に入り設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ 電話 、お気に入り ▶ お気に入りに追加をタップします。</li> </ul>	–
デバイス リストから携帯電話を削除する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ デバイスをタップします  をタップします。 削除する携帯電話の行を右から左にスワイプします。 デバイス リストから携帯電話が削除されます。</li> </ul>	–
ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド A(図. 170)  をタップします B(図. 170)</li> </ul>	–

希望する操作	操作方法	操作場所
連絡先をお気に入りに登録する	▶  ▶ 電話  ▶ お気に入り (A[図. 170] を参照) お気に入りに追加 ▶ 対象の連絡先をリストから選択 ▶ ☆ をタップします。	▶ 238 ページ
通話履歴を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 通話履歴 (A[図. 170] を参照)	–
連絡先を表示する	▶  ▶ 電話  ▶ 連絡先 (A[図. 170] を参照)	–
メッセージを表示する	▶  ▶ メッセージをタップ	▶ 222 ページ
ボイスメールを聞く	▶  ▶ 電話  ▶ キーパッド (A[図. 170] を参照) ボタン 1 を押し続けます (B[図. 170] を参照)。	–
着信に応答する / 拒否する	▶ タップ 応答  または  します。	–
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの  をタップします。 – または – マルチファンクションステアリングホイールの  ボタンを押します。	–

モデル、国、機器によって使用方法が異なる可能性があります。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

**▲ 警告** 携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下します。運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

**▲ 警告** ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

## Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

## 新しい携帯電話を接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動していて、他のデバイスから探索可能な状態になっている。
  - ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
- ▷ 216 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

1.  電話、 既知デバイスを選択または新規検索 ▶ 検索開始をタップします。
2. デバイス リストから携帯電話を選択します。  
➔ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。
3. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードを比較します。
4. コードが一致していれば、携帯電話の Bluetooth® コードを確認します。  
➔ 電話の接続に成功すると、数字入力(キーパッドメニュー)がPCMに表示されます。

### インフォメーション

- 携帯電話の Bluetooth® の機能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。
- 携帯電話が転送機能をサポートしていれば、駐車後、現在の通話を中断することなく携帯電話に転送できます。
- 対応している携帯電話の一覧は、ご利用の国のポルシェ ウェブサイトからご覧いただけます。 **モデル ▶ お客様の所有モデル(911 Carrera など)カタログおよび取扱説明書 ▶ Bluetooth® 経由。**

## 携帯電話を接続する

携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が作動している。

1. 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。
2. 利用可能な機器リストから PCM を選択してください。  
PCM の Bluetooth® デバイス名は、 ▶ デバイスをタップします  …▶ Bluetooth 設定 ▶ Bluetooth 名を選択することで表示できます。

## 登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効になっている。
  - ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
- ▷ 216 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

1. (接続ステータスに応じて) ステータスエリアの  または  をタップします。  
➔ 登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
2. リストから携帯電話を選択してください。  
➔ 携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

## 2 台目の携帯電話の接続と使用

- ✓ 1 台目の携帯電話が既に PCM に接続されている。
1. (接続ステータスに応じて) ステータスエリアの  または  をタップします。
  2. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。  
➔ 接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。

3. 接続された 2 台の携帯電話を切り替えるには、ステータス エリア内の右側の  を選択します。  
- または -  
 …▶ 電話設定目的のデバイスを選択します。  
➔ 既に接続している 2 台のデバイスが表示されます。

## 携帯電話の機能

### 接続ステータスの表示

モデル、国別仕様および装備仕様によっては、以下のようにステータス エリアに表示されることがあります：

-  電話接続なし。
  -  電話が接続されている。
  -  電話を変更します。
  -  車両データ接続は使用できません (考えられる原因：接続が確立されていない、ネットワーク通信接続不良、または音声接続中のデータ接続中断)。
- LTE LTE 携帯電話ネットワークを介した車両データ接続。
-  UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) を介した車両データ接続。
-  EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) を介した車両データ接続。
-  接続済みで通話中の電話の携帯電話ネットワークの受信電界強度。
-  外部 WiFi ホットスポットによる車両データ接続。

## お気に入りの保存および編集

### お気に入りの保存

1. ▶ **電話** お気に入り
2. お気に入りの追加します。
3. 連絡先を選択します。

### お気に入りの整理

1. ▶ **電話** ▶ お気に入り
2. 目的の連絡先を長押しして選択します **並べ替え** ▶ **移動**。

### お気に入りの削除

1. ▶ **電話** ▶ お気に入り
2. 目的の連絡先を選択します **削除**をタップします。  
- または -  
利用可能な場合は、★アイコンをタップします。

## 通話中の各種機能

- ✓ ▶ **電話** ▶ キーパッドが選択されています。

### マイクのミュート

- ✓ 通話中。
  - ▶ マイクをミュートするには、 をタップします。

### 通話の保留

- ✓ 通話中。
  1. をタップします。
  2. 通話を再開するには、 をタップします。

## 電話会議を開始する

- ✓ 通話中。
  1. ▶ **新しい通話の追加** (電話番号の入力または連絡先の選択)
  2. を選択して会議を開始します。
  3. 電話会議を終了するには、 を選択します。

## 2つの会議間の切り替え (スワッピング)

- ✓ 1つ目の通話で通話している。
- ✓ 2つ目の通話が保留になっている。
  - ▶ をタップすると、保留中の通話が有効になり、代わりにそれまで有効だった通話が保留になります。

## インストルメント クラスター内の電話情報の表示

- ▶ インストルメント クラスターの「車両 & 情報」ディスプレイで希望の機能を選択してください。
  - ▷ 171 ページの「インストルメント クラスターの表示項目」の章を参照してください。
- **着信**：ステアリング ホイールの電話ボタンを使用して、着信の**応答**または**拒否**を操作します。
- **通話履歴**：ステアリング ホイールの電話ボタンやロータリー ノブを使用して、最近ダイヤルした電話番号のリストを表示します。
- **会議**：ステアリング ホイールのロータリー ノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたり、会議通話の参加者を追加したりできます。

インストルメント クラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▷ 169 ページの「インストルメント クラスターの操作」の章を参照してください。

## 携帯電話の収納と充電

### 携帯電話の収納 (国別仕様による)

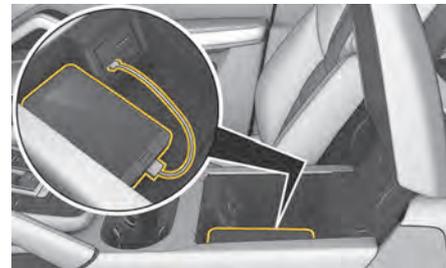


図. 171 アームレストのスマートフォントレイ

装備によっては、アームレストの小物入れに携帯電話トレイが内蔵されています。携帯電話の充電および PCM 接続用の USB コネクター (タイプ C) が装備されています。装備によっては、携帯電話トレイに、Qi 規格に準拠した携帯電話充電機能もあります。この機能は、PCM で有効 / 無効にすることができます。

- ✓ 携帯電話のキーパッド / コード ロックが有効になっている。
- ▶ 印が付いた部分に携帯電話を置いてください。
- ▶ トレイ表面と携帯電話の間に物がなく、携帯電話の画面が上向きになっていることを確認します。

## 電話設定の変更

### 一般設定

- ▶ ▶ **電話** ... ▶ **電話設定** ▶ 希望の設定を選択してください。

## 荷物および運搬

### 収納スペース

#### 荷物の収納

##### ▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

##### 知識

収納ネットを損傷する危険があります。

- ▶ 収納ネットの中に重量物やかさばる物を置かないでください。

車両装備によっては、次のような収納オプションを利用できる場合があります。

- グローブボックス
- フロントシートバックレスト背面のマップポケット
- リヤグラブハンドルの衣類フック
- ラゲッジコンパートメントフロア下の小物入れ
- アームレストの小物入れ
- フロントおよびリヤドアパネルの小物入れとボウルホルダー

- センターコンソールの小物入れ
- フロントシート下の小物入れ

#### 小物入れの開閉

##### グローブボックスの開閉

###### グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。  
➔ グローブボックスは自動的に開きます。

###### グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

▶ 32 ページの「キー」の章を参照してください。

#### アームレストの小物入れを動かすまたは開く



図. 172 アームレストの小物入れ

##### アームレストを動かす

センターコンソールのアームレストは、フロントにもリヤにも動かせます。

- ▶ 押ししたり引いたりしてアームレストを動かします。

#### 小物入れを開く

- ✓ アームレストがリヤの位置にある
- ▶ ハンドルを引いて、アームレストを引き上げます。

## 電動格納式トレーラーヒッチの使用

### 電動格納式トレーラーヒッチの使用

##### ▲ 警告

トレーラーヒッチの展開/格納

トレーラーヒッチの展開/格納の際に、動くトレーラーヒッチと車両の固定パーツの間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ トレーラーヒッチの作動を緊急停止するときは、ボタン **A** または **B** を再度押してください。作動の途中位置でトレーラーヒッチを使用しないでください。
- ▶ トレーラーヒッチの可動範囲に人や動物がいないか、物がいないか確認してください。

##### ▲ 注意

リヤリッドの意図しない動作

後方のセンサーが人、動き、または物を検出し、かつ有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドが自動的に開閉するため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの意図しない作動を防ぐには、以下を行います：

- ▶ PCM で機能を解除する。  
- または -  
ポルシェコンフォートアクセスを解除する。

##### 知識

トレーラーヒッチの展開および格納時に損傷を招く恐れがあります。

- ▶ トレーラーヒッチを格納する前に必ずアダプターを取り外してください。
- ▶ トレーラー車両をけん引しているときや、バイクラックなどがトレーラーヒッチに取り付けられている場合、またはトレーラーヒッチにより支えられている場合、トレーラーヒッチを回転させないでください。
- ▶ トレーラーヒッチは完全に展開した状態で使用してください。
- ▶ 補助具や工具などでトレーラーヒッチの作動を妨げないでください。ロック機構を損傷する恐れがあります。その結果、トレーラーヒッチの安全な使用が保証できなくなります。
- ▶ 毎回運転する前にトレーラーヒッチが正しくロックされていることを確認してください。

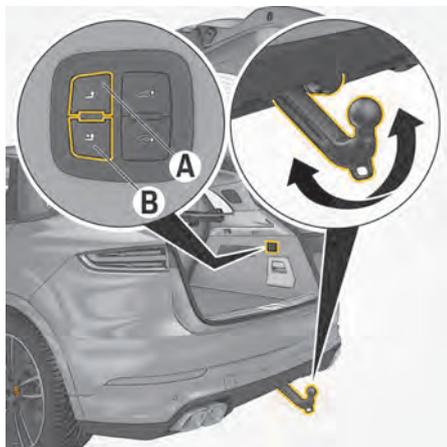


図. 173 トレーラーヒッチの展開 / 格納

電動格納式トレーラーヒッチのボタンAまたはBの該当するインジケーターライトが点灯していれば、該当する機能が作動します。

### トレーラーヒッチの展開

- ✓ 車両が停止している。
  - ✓ リヤリッドが開いている。
  - ▶ ボタンAを押してください。
    - ➔ トレーラーヒッチが自動的に展開して、作動位置になります。
- トレーラーヒッチの回転中は、ボタンのインジケーターライトが点滅します。
- 作動位置になると、ボタンのインジケーターライトが点灯します。

### トレーラーヒッチの格納

- ✓ 車両が停止している。
  - ✓ プラグ(および、すべてのアダプター)がソケットから切り離されている。
  - ✓ トレーラーヒッチからアタッチメント(保護キャップ、バイクキャリアなど)が取り外されている。
  - ✓ トレーラーを切り離している。
  - ✓ リヤリッドが開いている。
  - ▶ ボタンBを押してください。
    - ➔ トレーラーヒッチが自動的に格納します。
- トレーラーヒッチの回転中は、ボタンのインジケーターライトが点滅します。
- トレーラーヒッチが完全に格納されると、ボタンのインジケーターライトが点灯します。

### ① インフォメーション

トレーラーヒッチが格納されると、トレーラーヒッチのロックは自動的に解除されます。格納中に音が発生する場合がありますが、これは正常で故障ではありません。

トレーラーヒッチを使用しないときは格納してください。

トレーラーヒッチに故障がある場合、インストルメントクラスターに警告シンボルが表示されます。

### トレーラーソケット

ソケットは拡張したボールヒッチの右側にあります。

### オーバーロードプロテクションの遵守

動きを妨げる抵抗を検知すると、トレーラーヒッチの回転が中断されます。

### オーバーロードプロテクションの一時的な停止

- ▶ トレーラーヒッチが作動位置または格納位置になるまで、ボタンAまたはBを押し続けてください。

### トレーラーヒッチの停止位置の保存

故障後(バッテリーを切り離して再接続した場合など)は、電子回路に保存されているトレーラーヒッチの停止位置が消えてしまっている場合があります。この場合は、ボタンAとBのインジケーターライトが同時に点滅します。

停止位置の保存方法：

- ▶ トレーラーヒッチが1度作動位置になるまでボタンAを押し、次に完全に格納されるまでボタンBを押し続けてください。
  - ➔ 停止位置が保存されます。

## 故障の修正

取り扱い上の問題、異常または故障があった場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## トレーラーの連結と切り離し



図. 174 ブ레이크アウェイ ケーブルのファスニングラグへの締結

1. トレーラーを連結する前に、警報システムを OFF にします。警報システムが不意に作動する恐れがあります。  
▶ 31 ページの「警報システム」の章を参照してください。
2. トレーラーを連結します。
3. トレーラー ブ레이크アウェイ ケーブルをファスニングラグに締結します。
4. 電源プラグを接続します。
5. トレーラーの連結後、警報システムを再度 ON にします。

## トレーラーの切り離し

1. トレーラーを切り離す前に、警報システムを OFF にします。警報システムが不意に作動する恐れがあります。
2. トレーラーにオーバーラン ブレーキがある場合、そのブレーキがまだ作動しているときにトレーラーを切り離さないでください。
3. 電源プラグを切り離します。
4. トレーラー ブ레이크アウェイ ケーブルをファスニングラグから取り外します。
5. トレーラーを切り離します。
6. トレーラーの切り離し後、警報システムを再度 ON にします。

## トレーラー ヒッチの準備

- ▶ ご自身では絶対にトレーラー ヒッチの改造や修理をしないでください。  
▶ トレーラー車両の取扱説明書をよくお読みください。

### 重要な定義

- **トレーラー荷重** (トレーラーの総重量) は、トレーラーの空車重量と積載重量の合計です。
- **垂直連結荷重**は、トレーラー ドローバーによって車両のトレーラー ヒッチにかかる重量です。
- **リヤ軸荷重**は、リヤアクスルにかかる車両重量に、輸送荷重およびトレーラーの垂直連結荷重を加えたものの合計です。
- **車両とトレーラーを組み合わせた総重量**は、けん引車両の重量とトレーラーの重量の合計です。

▶ 310 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

トレーラー ヒッチを使用しないときは、トレーラー ヒッチが取り付けられている状態または展開した状態の車両を操作しないでください。

- ▶ トレーラー ヒッチを使用しないときは、取り外すか格納するかしてください。

## トレーラー ヒッチの後付け

トレーラー ヒッチをオプションとして装着する場合は、ポルシェ正規販売店で行ってください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 電気接続の使用

車両には、トレーラーに電気接続を行うための 13 ピンプラグが装備されています。

- ▶ 7 ピンプラグのトレーラーをけん引する場合は、適切なアダプターを使用します。

## 車両によるトレーラーの検出

車両がけん引しているトレーラーを検出した場合、車両システムおよび走行システムに影響があります (オートスタート / ストップシステムの停止など)。インストルメント クラスターのインジケーター ライトに、車両がトレーラーを検出したかどうかが表示されます。方向指示器の接続が完了すると、インジケーター ライトが点滅します。

▶ 168 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

## トレーラーモードの準備

- ▶ トレーラー荷重、垂直連結荷重、リヤ軸荷重の許容仕様を必ず遵守してください。
- ▶ けん引される時、トレーラーはけん引車両の後ろで常に水平を保つようにしてください。必要に応じて、調整可能なけん引バー付きのトレーラーを使用してください。

## 荷重の分散

- ▶ 重い物は可能な限り軸付近になるように、トレーラーにかかる荷重を配分してください。
- ▶ 積載物は、いずれもしっかり固定して滑らないよう保護してください。
- ▶ トレーラーに荷物を載せる際には、トレーラーヒッチの定格垂直連結荷重を超えないようにしてください。

## 正しいタイヤ空気圧の遵守

- ▶ 全負荷のけん引車両に適切な車両タイヤ空気圧を設定します。
  - ▷ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
- ▶ トレーラーメーカーの取扱説明書に従って、トレーラー車両のタイヤ空気圧を設定してください。

## ドアミラーの視野確認

- ▶ トレーラーの横部がミラーに映り込み、トレーラー後方の交通確認の妨げとなる場合には、追加のドアミラーを装着してください。

## ヘッドライトやその他ライトの確認

- ▶ トレーラーのプラグがけん引車両に接続されていることを確認してください。
- ▶ すべてのライトの機能を点検してください。

## トレーラーアシスト

### 一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムは周囲の障害物との衝突を防ぐことはできません。怪我や損傷の危険があります。

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーには常に操縦に対する責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が取り回しの範囲内でないことを確認してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ ステアリングホイールの内側に手を伸ばさないでください。システムがドライバーに代わってステアリング操作を行います。
- ▶ 取り回しのプロセスに合わせて速度を調整してください。ドライバーには常に車両の加速と制動に対する責任があります。
- ▶ 安全を確保できない場合は、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

## 知識

トレーラーは、取り回しのプロセス中に車両と接触する可能性があります。損傷の危険があります。

- ▶ 取り回しの際は特に注意してください。
- ▶ 安全が確保できない場合は、取り回しのプロセスを中断してください。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください：
  - ▷ 138 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。
  - ▷ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

## システム制限

- トレーラーアシストは、取り回しに必要な動作の手順を組み立てることはできません。システムは、後退時に設定された偏向角による操舵を実行するだけです。
- トレーラーのブレーキライトが故障している場合、システムは利用できません。
- LED ライトを装備するトレーラーは、システムにより検出されない場合があり、このため機能を利用できません。
- このシステムは、12%の勾配を超える上り坂では利用できない場合があります。
- ▶ 詳細については以下をご覧ください：
  - ▷ 138 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。
  - ▷ 140 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

## 機能

トレーラーアシストは、トレーラー連結時の後退および後退の取り回しを支援します。後退時、システムは車両とトレーラー間の設定された偏向角を達成および維持するために、ドライバーに代わってステアリング操作を行います。アクセルペダルとブレーキペダルの制御はドライバーに委ねられます。最高走行速度はシステムによって制限されます。

前進の際は、ドライバーが再びステアリングの操作を引き継ぐ必要があります。

## トレーラーアシストの作動

- ✓ 車両にリヤキャリアが装備されていない。
  - ✓ ヒッチヘッドとトレーラーアックスルの間の距離(多軸トレーラーの場合、端と端の車軸間の中間位置までの距離)が、1mから最大5mまでの範囲内。
  - ✓ Surround View が作動中。
  - 1. タッチディスプレイビューでリヤを選択します。
  - 2. タッチディスプレイでトレーラー  をタップします。
    - ➔ トレーラーがけん引されていない場合、けん引補助装置がリヤカメラ画像に表示されません。
- システムの作動準備が整うと、タッチディスプレイの車両画像に記号が表示されます。

## トレーラーアシストの停止

- ✓ 車両が停止している。
- 1. タッチディスプレイの車両画像の記号をタップします。
- 2. 作動モード P を選択してください。

3. オーバーヘッドコンソールのボタン  を押してください。

前進すると、約 10 km/h の速度を超えたときトレーラーアシストが自動的に停止します。

## トレーラーアシストの登録

トレーラーを初めてヒッチに取り付ける場合、トレーラーアシストにトレーラーの取り扱い方法を登録する必要があります。

- ✓ リヤリッドが閉じている。
- ✓ トレーラーが可能な限りまっすぐに繋がれている。
- ✓ トレーラーのハンドブレーキが解除されている。
- ✓ トレーラーアシストが作動している。
- ▶ 連結した状態の車両とトレーラーを前後に数回動かします。
  - ➔ システムがトレーラーの動きを検出し、偏向角の表示を調整します。

LEDライト非装備のトレーラーは、再度使用する際もシステムによって認識されます。

LEDライト装備のトレーラーは認識されません。

## 偏向角の設定

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ トレーラーアシストが有効で作動可能。

1. 作動モード R を選択してください。
    - ➔ タッチディスプレイの車両画像の記号は赤く表示されます。車両とトレーラー間の現在の偏向角における最大旋回範囲が、車両画像の後ろに表示されます。
  2. タッチディスプレイで旋回範囲をスワイプします。
    - ➔ 0° の位置をタップすると、角度が 0° に設定されます。
- おおよその角度が設定されます。

–または–

タッチディスプレイの旋回範囲の横のくまたは> ボタンをタップします。

- ➔ 角度の微調整が実行されます。

–または–

PCMのロータリー プッシュ ボタンを回します。

▶ 177 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

- ➔ 角度の微調整が実行されます。

ロータリー プッシュ ボタンを 2 回押すと、角度が 0° に設定されます。

設定した角度は、タッチディスプレイのカメラ画像にオレンジ色で表示されます。

## 連結した状態の車両とトレーラーのトレーラーアシストによる取り回し

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ トレーラーのハンドブレーキが解除されている。
- ✓ トレーラーアシストが有効で登録済み。

1. 作動モード **R** を選択してください。
  - ➡ タッチディスプレイに車両画像の記号が表示されます。車両とトレーラー間の現在の偏向角における最大旋回範囲が、車両画像の後ろに表示されます。
2. タッチディスプレイの車両画像の記号をタップします。シンボルの色が赤色に変わります。偏向角と旋回範囲の表示は、最初は非常に不正確な場合があります。次にトレーラーアシストを登録します。

▶ 244 ページの「トレーラーアシストの登録」の章を参照してください。

3. アプローチ角を設定します。
  - ▶ 244 ページの「偏向角の設定」の章を参照してください。
4. ステアリングホイールから手を放してください。
5. ブレーキを解除します。
6. アクセルペダルを踏み、タッチディスプレイの指示に従います。
  - ➡ トレーラーアシストがドライバーに代わって車両のステアリング操作を行い、操舵状況に応じて車速を最大 10 km/h に制限します。
7. 連結した状態の車両とトレーラーを目標位置に到達させるには、必要に応じて車両を停止し、偏向角を修正しながら取り回しのプロセスを続行します。前進するときはドライバーがステアリング操作を行ってください。トレーラーアシストは、約 10 km/h の速度までは作動を続けます。

## 制限されたサービス

トレーラーの偏向が大きくなりすぎると、トレーラーアシストは制限された操作に切り替わります。タッチディスプレイのカメラ画像では、180° の領域がオレンジ色で表示されます。

- ▶ 連結した状態の車両とトレーラーを前後に数回動かして、偏向角を減少させます。タッチディスプレイの指示に従ってください。
  - ➡ その後、システムは通常動作に戻ります。

## 自動ブレーキ

このシステムは、自動ブレーキにより連結した状態の車両とトレーラーを停止させることができます。自動ブレーキは次の方法で開始できます。

- ドライバーによるステアリング介入。
  - 取り回し中の偏向角が最大角を超えている。
  - システムで作動不良が検出された。
- ▶ タッチディスプレイの指示に従ってください。

## アタッチメントおよびアクセサリーの使用

### アタッチメントおよびアクセサリーの使用

#### ▲ 警告

不適切な追加部品およびアクセサリーを使用するとトレーラーヒッチが破損する恐れがあります。

- ▶ 使用するアタッチメントおよびアクセサリーが、ボルシェ車両用として適切な認定品であることを確認してください。

アタッチメントおよびアクセサリー（バイクラックシステムなど）の使用時には、以下を確認してください。

- バイクラックは最大 3 台まで積載できるもののみが許可されています。
- 荷物を含むキャリアシステムの許容最大総重量は 75 kg です。ただし、荷物の重心とトレーラーヒッチ 1 (図. 175) との距離が長くなると、許容最大総重量は減少します。
- アクセサリー / アタッチメントはトレーラーヒッチ 1 (図. 175) から 700 mm を超えてはみ出してはなりません。

▶ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

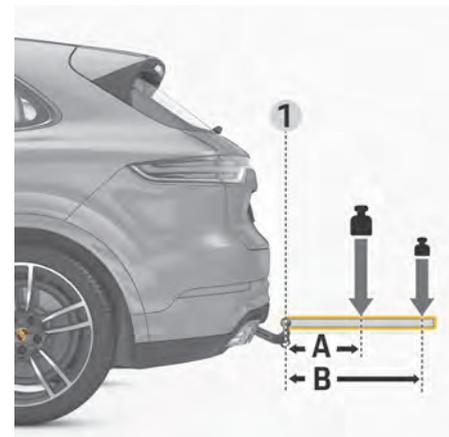


図. 175 アタッチメントおよびアクセサリーの荷重配分模式図

重心までの距離	最大総重量
A : 300 mm	75 kg
B : 600 mm	35 kg

## ルーフトランスポートシステム

### ルーフに物を載せて運ぶ場合

#### ▲ 警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムまたは積載器具。

固定されていない、または不適切に固定されたルーフトランスポートシステムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー/スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポート底部に対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフトランスポートシステムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニングスクリューを再度締め付けます。

#### ▲ 警告

車両のハンドリング特性の変化

ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 適切な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムは装着しているものの荷物は載せていない場合、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェテイクアップメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

#### ▲ 警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合、走行中に荷物がルーフトランスポートシステムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せる際には、荷物がシステムの側面からはみ出さないようにしてください。荷物が車両の幅を決して超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に分散されるようにしてください。

#### 知識

ルーフトランスポートシステムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフトランスポートシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフトランスポートシステムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

#### ⓘ インフォメーション

- ▶ ルーフトランスポートシステムを使用しない場合は、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外すことで、燃料を節約し、ノイズを低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶには、ルーフトランスポートシステムに加え、アタッチメント(スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど)を使用してください。

- ▶ ポルシェが試験および認定したルーフトランスポートシステムのみ使用してください。市販のルーフラックシステムは装着できません。

ルーフトランスポートシステムについて詳しくは、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ルーフトランスポートシステムの取り付け

適用対象：Cayenne Coupé 以外のすべてのCayenneモデル



図. 176 ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロント キャリアバー (ロング)
- B リヤ キャリアバー (ショート)
- C カバートリム
- D キー

✓ キャリアバーのサポートおよびキャリアバーのサポート表面部分のルーフレールが清掃されている。



図. 177 カバーのロック解除

1. キーを使用して反時計回りにカバーのロックを解除します。

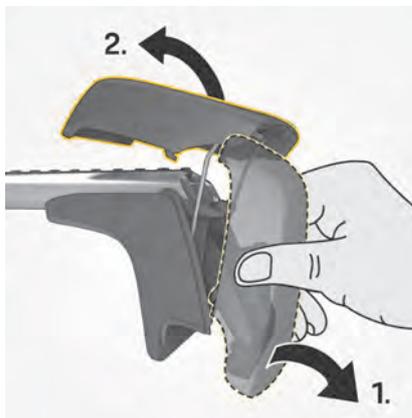


図. 178 カバーを持ち上げる

2. カバーが完全にかみ合うまで2段階引き上げます。

カバーに負担がかかっていないことを確認してください。



図. 179 ファスニングスクリューを取り外して、反時計方向に回します

3. ファスニングスクリューを引き出し、反時計方向に止まるまで回します。
4. ステッカーに基づきフロント キャリアバーとリヤ キャリアバーを識別し、ルーフレールの上に慎重に置きます。

ステッカーが走行方向の左側にあることを確認してください。



図. 180 キャリアをルーフに取り付ける

5. キャリアバー用ロックピンA(図. 180)は、穴B(図. 180)のマークが付いた箇所にしか取り付けられません。
6. キャリアバーがルーフレールに正しく固定されていることを確認してください。
7. ファスニングスクリューを時計回りに対角交互順に軽く締め付けてください。このときにはまだ完全には締め付けしないでください。  
ロックピンおよびキャリアバーが固定され動かないことを確認してください。
8. ファスニングスクリューを時計回りに対角交互順にカチッと音がするまで締め付けてから、押し込みます。
9. カバーを閉じ、キーを使用して時計回りにロックします。

### ① インフォメーション

- ▶ 短距離走行後にファスニングを締め直し、定期的に再点検してください。
- ▶ 状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを頻繁に点検してください。アタッチメントのゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

### ルーフトランスポートシステムの取り付け

適用対象：Cayenne Coupé

#### 初回取り付け

- ▶ ルーフトランスポートシステムの初回取り付けは、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

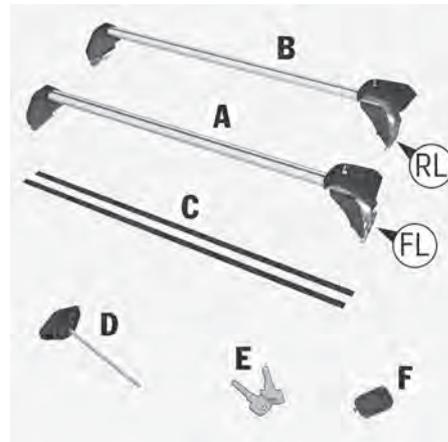


図. 181 ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロントキャリアバー (ロング)  
側面ごとにロックピン2個 (FL/FR)
- B リアキャリアバー (ショート)  
側面ごとにロックピン2個 (RL/RR)
- C カバートリム
- D トルクレンチ
- E キー
- F ルーフキャッチ用の取り外しツール



図. 182 ルーフキャッチの取り外し

- ✓ キャリアパーサポート部分のルーフとドアおよびキャリアパーサポート表面を清掃します。

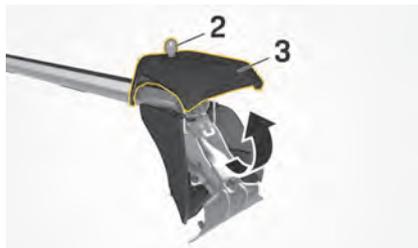


図. 183 カバーフラップのロックおよび折りたたみ

1. 取り外し用ツールを使用してすべてのルーフキャッチを引き出します。
2. カバーフラップをキーでロック解除します。



図. 184 キャリアサポートでファスニングブラケットを固定します。

3. 締結音がするまで、カバーフラップを起こします。



図. 185 ファスニングブラケットを上方向に回転させ、キャリアサポートにはめ込みます。

4. トルクレンチを使用してファスニングスクリューを反時計方向にゆるめますが、完全には取り外しません。
5. ファスニングブラケットを上方向に回転させ、キャリアサポートにはめ込みます。

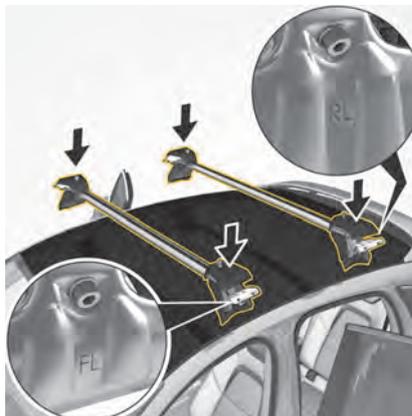


図. 186 キャリアをルーフに取り付ける

6. 車両のドアを開きます。

7. 位置マークが車両の正しい側に来るように、キャリアをルーフに慎重に置きます。FL(図. 186) 左フロント / FR(図. 186) 右フロント / RL(図. 186) 左リヤ / RR(図. 186) 右リヤ。

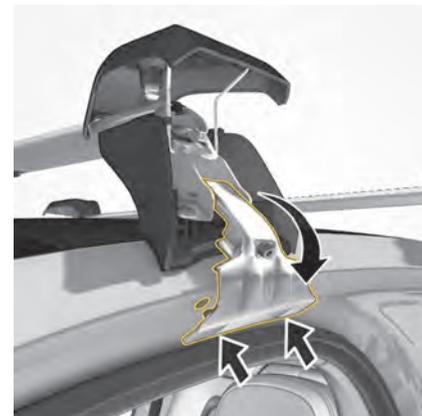


図. 187 ファスニングブラケットを取り外し、ロックピンを挿入します

8. アングルブラケットを外して、ロックピンをルーフフレームの内側の該当する穴に挿入してください。
9. ファスニングブラケットを上方向に押ししてください。力をかけずにファスニングブラケットを上方向に押しすることができない場合、キャリアを再調整してください。
10. 両方のキャリアのサポート底部のファスニングスクリューを軽く締め付けます。ここではまだ完全には締め付けしないでください。ロックピンが確実に固定され、キャリアパーがスリップしないことを確認してください。
11. トルクレンチを使用して、ファスニングスクリューを反時計回りに約 3.5~4.5 Nm のトルクで締め付けます。

12. カバーを閉じ、キーを時計回りに回します。最後に、必要に応じてカバー トリムを挿入します。

**① インフォメーション**

- ▶ 短距離走行後にファスニングを締め直し、定期的に再点検してください。
- ▶ 状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを頻繁に点検してください。アタッチメントのゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

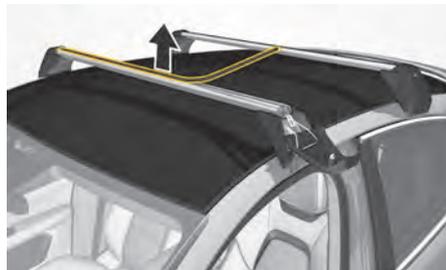


図. 189 アタッチメントの取り付け (Cayenne Coupé)

- ✓ カバーが開いている。

1. T溝からカバー トリムを取り外します。
2. 所定のT溝にマウント部品を挿入します。
3. カバーを閉じ、キーを使用して時計回りにロックします。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

**初回取り付け**

- ▶ ルーフトランスポート システムの初回取り付けは、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**マウント部品の取り付け**

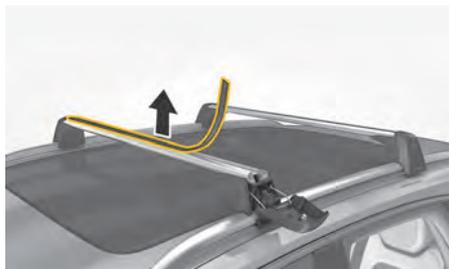


図. 188 カバー トリムをサイズに合わせて切り、押し込む

**ドリンクホルダー  
カップホルダーを使用する**

**⚠ 注意**

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ 運転中はカップホルダーを収納しておいてください。

**知識**

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

カップホルダーはフロント センター コンソール、リヤ アームレスト、およびドアに取り付けられています。

**フロントドリンクホルダー**

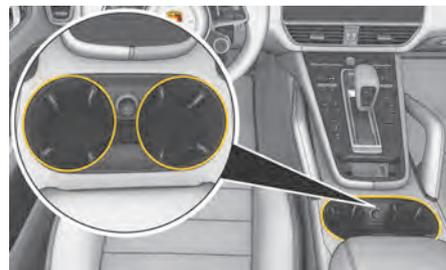


図. 190 フロント アームレストのカップホルダー

## リヤカップホルダー



図. 191 リヤのカップホルダー

## ラゲッジコンパートメント

### 荷物の積載

#### ⚠ 危険

有毒な排気ガスの吸入

リヤリッドが開いているか正しく閉じられていない状態でエンジンが作動している場合、有毒な排気ガスが車内に入ることがあります。

- ▶ エンジン作動時には、必ずリヤリッドを完全に閉じたままにしてください。
- ▶ リヤリッドを開いた状態で走行しないでください。

#### ⚠ 警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

#### ⚠ 警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せたりした荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送し、車室内(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシートバックレストで支えてください。バックレストは必ず固定してください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤシートバックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。
- ▶ バックレストの上端より上には荷物を載せないでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントカバー上に荷物を置いて走行しないでください。
- ▶ リヤシートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシートバックレストを補助的に支えることができます。そのためには、外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中は小物入れカバーを必ず閉じてください。

**▲ 警告**

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

**知識**

リヤウィンドウおよびサイドウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物によるリヤウィンドウおよびサイドウィンドウの損傷に注意してください。

ラゲッジコンパートメントフロアの最大許容荷重は200 kgです。荷重は、ラゲッジコンパートメント全体に均等に配分する必要があります。

**タイダウンベルトによる荷物の固定**

- ▶ 荷物を固定するためにゴムベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップが尖った端部を通らないようにしてください。
- ▶ 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ▶ ベルトは必ず手で締め付けてください。補助的なテンション工具(ラatchet)を使用しないでください。
- ▶ タイダウンベルトに関する指示や情報に従ってください。

**E ハイブリッド車両：**

- ▶ 荷室フロアの下には何も収納しないでください。この点は、工場で取り付けられた物(充電装置など)には適用されません。

**タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納**

**停止表示板と応急処置セットの取り外し(国別仕様による)**

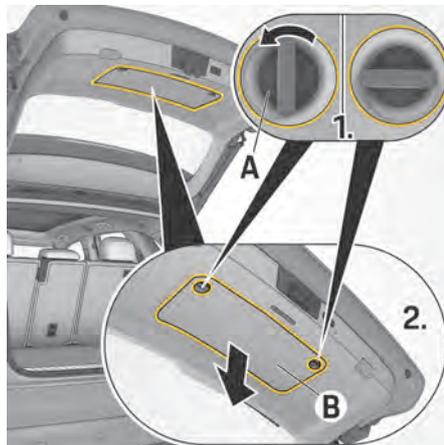


図. 192 リヤリッドのツイストロックを開ける

- ✓ リヤリッドが開いている。
- 1. ツイストロック A(図. 192) を反時計回りに回します。
- 2. カバー B(図. 192) を慎重に開きます。



図. 193 応急処置セットと停止表示板の取り外し(国別仕様による)

- 3. 停止表示板と応急処置セットを取り外します(国別仕様による)。

**車載工具の取り外し**

車載工具は、ラゲッジコンパートメントフロアの下に収納されています。

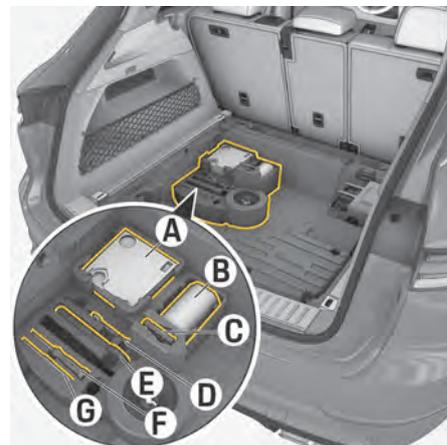


図. 194 車載工具(コラプシブルスベアホイールを除く)の取り外し

- A コンプレッサー
- B タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS)
- C 緊急リリース レンチ
- D レンチ
- E けん引フックを外す
- F ドライバー
- G ドライバー ブレード



図. 195 車載工具 (コラプシブルスペア ホイールを含む) の取り外し

- A ラチェット
- B エクステンション
- C ドライバー
- D ドライバー ブレード
- E レンチ
- F アッセンブリー ピン
- G コンプレッサー
- H 輪止め
- I 緊急リリース レンチ
- J ジャッキ
- K レンチ

- L けん引フックを外す

- ▶ 再取り付けする場合、車載工具ケースの黄色い矢印が進行方向を向いていることを確認してください。

### ① インフォメーション

ホイール交換に必要な工具は車両に標準装備されておりません。

### コンプレッサーおよびタイヤシーラントの取り外し (Tire Mobility System – TMS)

コンプレッサーとタイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) はラゲッジ コンパートメントの床下にあります。

タイヤ空気充填に関する情報：

- ▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

タイヤの補修に関する情報：

- ▶ 296 ページの「パンク」の章を参照してください。

### ラゲッジコンパートメントフロアの開閉



図. 196 ラゲッジコンパートメントフロアを開く

#### ラゲッジコンパートメントフロアを開く

1. ハンドルの後ろを下に押した後、前部を持ち上げてください。
2. サポートを外し、くぼみに差し込んでください。

#### ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

1. くぼみからサポートを取り外し、ラゲッジコンパートメントフロアに取り付けてください。
2. ラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げ、閉じます。

## ラゲッジコンパートメント カバーの使用



警告

ラゲッジコンパートメント  
カバー上の荷物

ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、荷物が車内に滑り出て乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメント カバーの上に荷物を置かないでください。

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル  
ラゲッジコンパートメント カバーは、左右のサイドウォールのホルダーに固定された取り外し可能な装備です。必要に応じて (清掃する場合など) 取り外して、車両の後ろから車外に取り出すことができます。

✓ Cayenne Coupé

ラゲッジコンパートメント カバーは、左右のサイドウォールのホルダーに固定された取り外し可能な装備です。必要な場合、開いているリヤリッドから外し、取り外すことができます (清掃時など)。

## ラゲッジコンパートメント カバーの引き出し / 格納

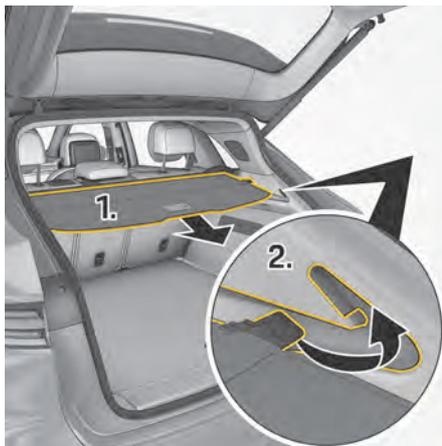


図. 197 ラゲッジコンパートメント カバーの引き出し / 取り付け

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル

### ラゲッジコンパートメント カバーの引き出し

- ▶ ラゲッジコンパートメント カバー 1(図. 197) を引き出し、左右のサイドウォールにあるガイド 2(図. 197) に差し込んでください。

### ラゲッジコンパートメント カバーの格納

- ▶ ラゲッジコンパートメント カバーをサイドウォールのガイドから外し、カバーをリトラクターローラーに慎重に巻き取らせてください。

## ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し ラゲッジコンパートメント カバーのロック解除 / 取り外し

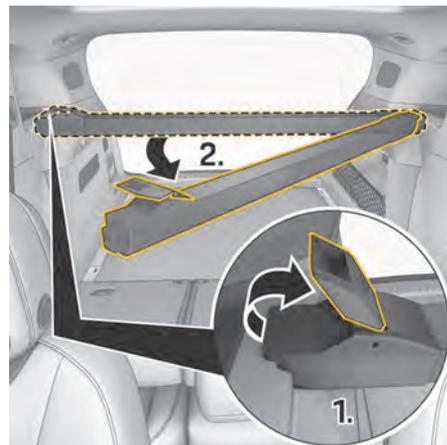


図. 198 ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル

✓ ラゲッジコンパートメント カバーが格納されている。

✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

1. 車両の後ろからリリースハンドルを引き上げます。
2. ラゲッジコンパートメント カバーを車両右側のホルダーから上方に取り外してください。
3. リヤロールアップブラインドホルダーを車両左側のホルダーから上方方向に取り外し、ラゲッジコンパートメント内に降ろします。

ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

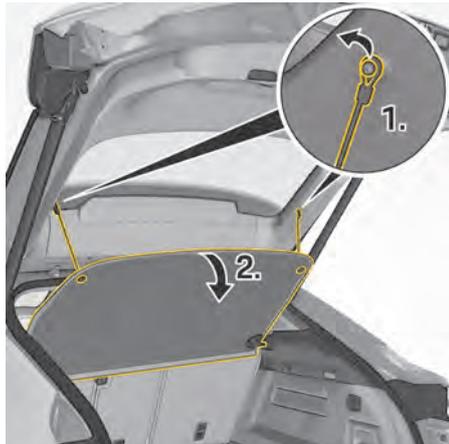


図. 199 ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

✓ Cayenne Coupé

1. 両側のリテーニングストラップを外します。
2. ラゲッジコンパートメント カバーをサイドレッジに置きます。



図. 200 ラゲッジコンパートメント カバーの取り外し

3. ラゲッジコンパートメント カバーをキャッチから矢印の方向に引き出します。
4. ラゲッジコンパートメント カバーをマウントから取り外します。

ラゲッジコンパートメント カバーの取り付け

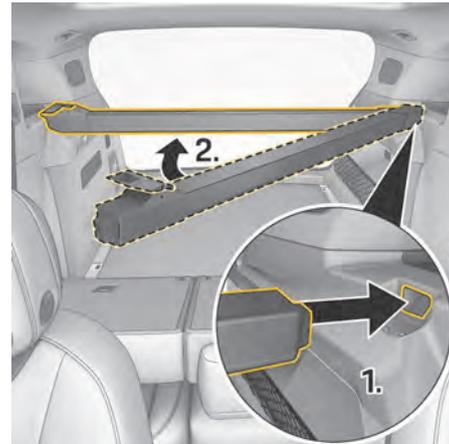


図. 201 ラゲッジコンパートメント カバーの取り付け

✓ Cayenne Coupé 以外のすべての Cayenne モデル  
 ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

1. 後ろからラゲッジコンパートメント カバーを車両左側のホルダーに差し込んでください。
2. ラゲッジコンパートメント カバーをリリースハンドルの位置で握って、車両右側のホルダーに上から押し込んでください。
3. リリースハンドルがしっかりとまるまで押し込んでください。
4. リヤシートバックレストを垂直位置に戻します。

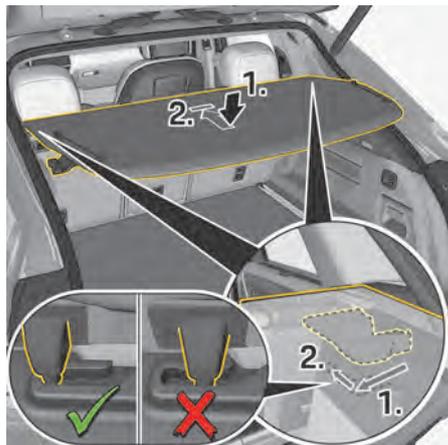


図. 202 ラゲッジ コンパートメント カバーの挿入

✓ Cayenne Coupé

1. ラゲッジ コンパートメント カバーをマウントの上から挿入します。
2. 左右のピンがフロント ポジションにはまるまで、ラゲッジ コンパートメント カバーを矢印の方向に押し込みます。



図. 203 ラゲッジ コンパートメント カバーの取り付け

3. ラゲッジ コンパートメント カバーを持ち上げます。
4. 両側のリテーニング ストラップを取り付けます。

## スキー バッグとタイダウン リングの使用

### スキー バッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

#### 知識

荷物の鋭い端(スノーボードなど)によってスキーバッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

## スキー バッグにスノーボードやスキーを収納する

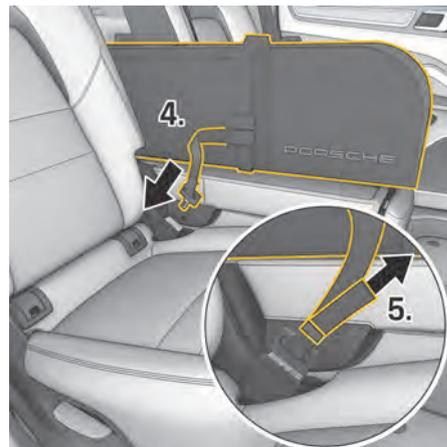


図. 204 スキー バッグの使用

スキー バッグはラゲッジ コンパートメント内の関連するギヤバッグに収納されます。

1. エッジ プロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。
2. スノーボードやスキー板をスキーバッグに入れて、バッグを閉じてください。スキー板の後端からスキーバッグに入れてください。スキーバッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキーを締め付けストラップで締め付けます。スキーピンディングはこのストラップより後ろにする必要があります。
4. リヤシート間のバススルーカバーを折り曲げます。
5. テンションストラップのラッチをシートベルトバックルに差し込みます。

6. テンションストラップを締め付けます。

### タイダウンリングの使用



図. 205 タイダウンリングの使用

タイダウンストラップを4個のリングに留めて、荷物が移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

### **i** インフォメーション

タイダウンリングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。

### カーゴマネージメントの使用

カーゴマネージメントシステムはラゲッジコンパートメントに荷物を固定するために使用するシステムです。

### テレスコピックバーの差し込みと調整



図. 206 テレスコピックバーの挿入

1. エンドエレメントのボタン**B**を押し、マウントレールの開口部**A**(図. 206)に差し込んでください。
2. タイダウンリングのボタンを押し、荷物側に押し付け、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押しで確認します。

### ストラップリールの差し込みと調整



図. 207 ストラップリールの使用

1. エンドエレメントのボタン**B**を押し、マウントレールの開口部**A**(図. 207)に差し込んでください。同時に、ストラップリールを希望の長さまで引いてください。
2. タイダウンリングのボタンを押し、荷物側に押し付け、動かないようにしてください。
3. ボタンを放してください。
4. エレメントが適切にはめ込められているか、押しで確認します。

### リバーシブルマット

濡れた荷物または重い荷物を輸送するときにリバーシブルマットの上面にほこりや傷が付くのを防ぐため、ラゲッジコンパートメントのリバーシブルマットの底面は滑り止め加工が施されています。

## ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの使用

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットは車内に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

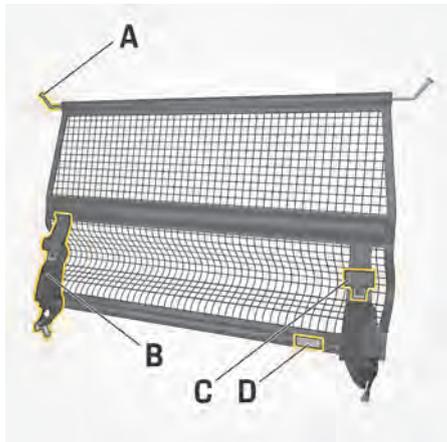


図. 208 ラゲッジコンパートメントパーテーションネット

- A ルーフアンカー
- B フロントタイダウンベルト締め具
- C タイダウンベルトルースナー

### **i** インフォメーション

車室内のラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外しと取り付け

- タイダウンベルトルースナー **c**(図. 208) が進行方向と反対に向いていることを確認してください。

## リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

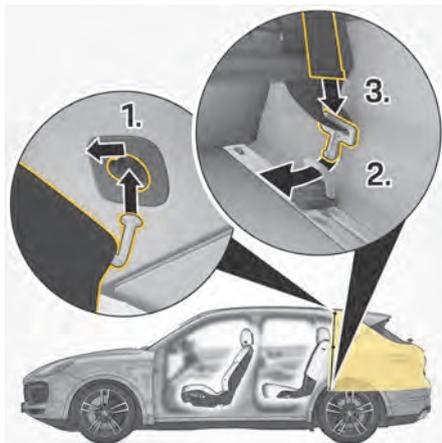


図. 209 リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

1. ルーフ左右のリヤ固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。

ルーフアンカーが小さなリングにはまっていることを確認してください。

2. 下部フック **B**(図. 208) を使用して、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを積載スペースフロア左右のタイダウンリングにはめ込みます。

3. ベルトストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。

4. リヤシートバックレストを垂直位置に戻します。

Cayenne Coupé：ラゲッジコンパートメントパーテーションネットのクロスバーで衝突を回避します。

## フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

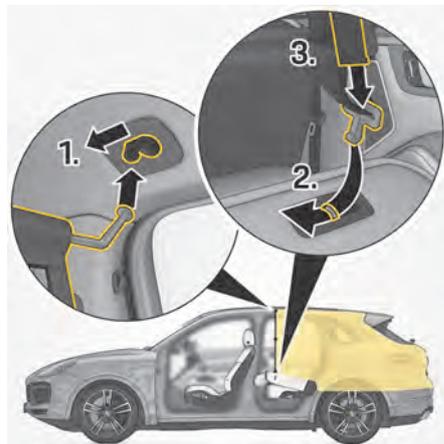


図. 210 フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

- ✓ リヤシートバックレストが前に倒れている。

1. ルーフ左右のフロント固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。ルーフアンカーが小さなリングにはまっていることを確認してください。

2. 下部フック **B**(図. 208) を使用して、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットをバックレスト左右のタイダウンリングにはめ込んでください。

3. ベルトストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。  
ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。

### ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外し

1. タイダウンベルトルースナー c(図. 208) を使用してベルトストラップをゆるめます。
2. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを上固定リングと下部フックから外します。

## スモーカーズパッケージ

### 灰皿の使用

#### ▲ 警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に紙類が入っていると引火する可能性があります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れないでください。

### フロントの灰皿の使用



図. 211 フロントの灰皿の使用

#### 灰皿を開く

- ▶ 灰皿のリッドを素早く押してください。  
➡ リッドは自動で開きます。

#### 灰皿を空にする

1. 灰皿のリッドを素早く押してください。
2. 灰皿インサートのリッド部分を持って、取り外してください。
3. 灰皿を掃除した後は、インサートを元に戻してカチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

### リヤの灰皿の使用

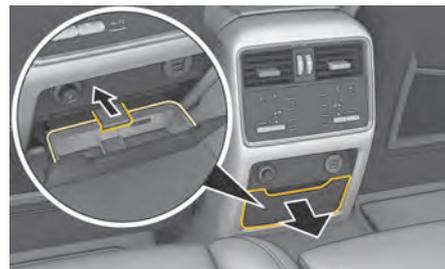


図. 212 リヤの灰皿の使用

#### 灰皿を開く

- ▶ ハンドルのくぼみ部分を引いて、灰皿のリッドを開いてください。

#### 灰皿を空にする

1. ハンドルのくぼみ部分を引いて、灰皿のリッドを開いてください。
2. 進行方向にラッチを押してください。
3. 灰皿インサートを握って取り外します。
4. 灰皿を空にしたら、灰皿インサートを挿入します。

### シガーライターを使用する

#### ▲ 警告

高温のシガーライター

シガーライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター エレメントまたはシガーライターの側面は絶対に触れないでください。
- ▶ 熱くなったシガーライターは、作動ボタン以外の場所を持たないでください。

車両装備によっては、シガーライターはリヤセンターコンソールにあります。

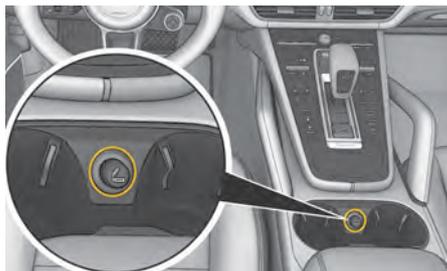


図. 213 シガーライターを使用する

シガレットライターはイグニッションロック位置に関わらず使用できます。

1. 作動ボタンを押し込みます。
  - ➔ ライトのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。

2. シガレットライターを取り外します。

シガレットライターソケットで充電アダプターを使用する際の情報：

▷ 260 ページの「電気ソケット」の章を参照してください。

## 電気ソケット

### プラグソケットの使用

#### プラグソケットの使用



危険

感電、ショート、または火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。ソケットの不適切な使用は、回路をショートさせる場合があります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 液体がソケットに入らないようにしてください。ソケットに液体が入った場合は、使用する前にソケット内が完全に乾燥し、液体が残っていないことを確認してください。
- ▶ アダプターまたは延長ケーブルを使用しないでください。アダプターまたは延長ケーブルを使用すると、100 V ソケットのチャイルドプロテクション機能が無効になり、通電されます。

#### 知識

接続機器を損傷する恐れがあります

- ▶ 100 V ソケット用に設計された機器のみを接続してください。
- ▶ 接続機器の消費電力が 150 W を超えてはなりません。
- ▶ 蛍光灯の入ったランプは接続しないでください。



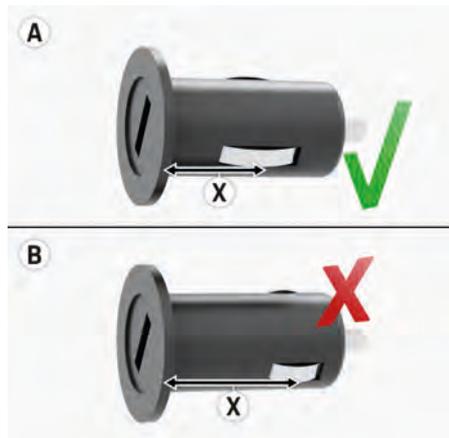
#### インフォメーション

接続機器の温度が上がる場合があります。その結果、過電流シャットダウン機構が動き、スイッチが ON にならない場合があります。

- ▶ 機器をソケットから外し、10 秒後に再接続します。

プラグソケットは次のいずれかの位置にあります (車両装備による)：

- グローブボックスの下側
- フロントセンターコンソール
- 進行方向左側のラゲッジコンパートメントのサイドトリムパネル



**B**：不適切な充電アダプター（グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 **16 mm** より大きい）。

図. 214 12V プラグ ソケットおよびシガー ライター用の充電アダプター

## 充電アダプターの接続

### 充電アダプターの接続

#### 知識

電気システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプターのみを使用してください。不適切な充電アダプターにより、プラグソケットが損傷を受ける可能性があります。

#### ① インフォメーション

- ソケットはイグニッションがOFFの状態でも使えます。電装品がONになっていると、バッテリーが放電します。車両のバッテリーを保護するため、約30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを再度ONにしてください。
- プラグソケットの最大負荷容量は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、プラグソケット当たりの負荷が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、受信時の電波干渉や車両電装品の誤動作の原因となることがあります。

**A**：適切な充電アダプター（グラウンド接続と充電アダプターの上端の間の距離 **X** が約 **16 mm** 未満）。

## モビリティおよび軽修理

## 12Vバッテリー

## バッテリーを充電する

この車両には12Vリチウムバッテリー (LiFePO4) が装備されており、従来の鉛バッテリーとは特性が異なります。



警告

感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。

- ▶ エレクトリカルシステムの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウムバッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

## 知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

12Vリチウムバッテリーは助手席シートの前の車両床面の個別のカバー下にあります。

12Vリチウムバッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。エレクトリカルシステムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合(10分以上)、またはジャンパーケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気系統は自動的に再起動します。12Vリチウムバッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されます。

- ▶ ジャンパーケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。

▶ 264 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

▶ 263 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。

## バッテリー上の安全シンボル



説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



爆発の危険があります



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されています

電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



腐食火傷の危険があります

電解液は高腐食性です：保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。



応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。電解液が皮膚や衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一電解液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



お子様絶対に近づけないでください



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



### メンテナンス作業は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定のリチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクトリカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。

バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## リチウムバッテリーのお手入れ

希望する操作	操作方法
バッテリー上がりを避ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 短距離走行時には、不要な電装品のスイッチを OFF にします。</li> <li>▶ 車両から離れるときは、イグニッションを OFF にしてください。</li> </ul>
冬季走行の準備をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。</li> </ul>
バッテリーを充電する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 損傷したバッテリーは決して充電しないでください。</li> <li>▶ 263 ページの「バッテリーを充電する」の章を参照してください。</li> </ul>

希望する操作	操作方法
車両を保管する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両をガレージやワークショップで長期間保管する場合は、ドアとリッドを閉めておきます。</li> <li>▶ イグニッションを OFF にしてください。</li> </ul>

### **i** インフォメーション

車両を使用していない間も、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電またはリチウムバッテリーに適した CC/CV または pure CV 充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェでは、ボルシェ テクニッパメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨します。

## バッテリーを充電する



**警告**

損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使用すると、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。化学火傷およびブースター、充電器、または車両への深刻な損傷が発生する可能性があります。

- ▶ リチウムイオンテクノロジーのブースターは使用しないでください。
- ▶ 内蔵型電子保護回路付きの LiFePO<sub>4</sub> バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- ▶ 以下の最大値を絶対に超えないでください。
  - 最大充電電圧：14.8V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
  - 最大充電電流：90 A
- ▶ 疑わしい場合：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

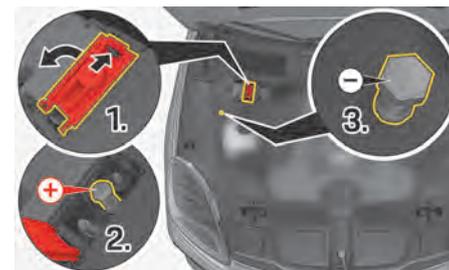


図. 215 バッテリーを充電する

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
  - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. ボンネットを開きます。
  2. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを開きます。
  3. 充電器の赤色の**プラスケーブル**を、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + に接続してください。
  4. 充電器の黒色の**マイナスケーブル**をアース箇所へに接続します。
  5. 充電器のスイッチを ON にしてください。
  6. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にし、切り離します。
  7. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを閉じます。

適切な充電器に関する情報は、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 外部電源の供給

12V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電レベルが低い場合、車両電気システムから自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合(10分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気システムは自動的に再起動します。12V リチウム バッテリーは車両電気システムに自動的に再接続されます。

他の車両のバッテリーを、ジャンパー ケーブルを介してエンジンを始動したり、外部電源にしたりするために使用できます。両方のバッテリーの公称電圧は 12V でなければなりません。支援車側のバッテリーの容量

(Ah) が、上がったバッテリーの容量に比べて小さすぎないようにする必要があります。上がったバッテリーは、必ず車両電気システムに正しく接続してください。

▶ 262 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を繰り返す行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。



**警告**

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパー ケーブルのみを使用してください。ジャンパー ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品(指輪、チェーン、時計ストラップなど)が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパー ケーブルをバッテリーまたは他の電子部品に決して直接に接続しないでください。ジャンパー ケーブルを接続するのはジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子のみにしてください。



**警告**

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウム バッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

## 知識

完全放電したりリチウム バッテリーにジャンパー ケーブルによるエンジンの始動が実施されると、損傷を起こす恐れがあります。

- ▶ リチウム バッテリーの完全放電が疑いがある場合、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を行わないでください。

## ジャンプスタート

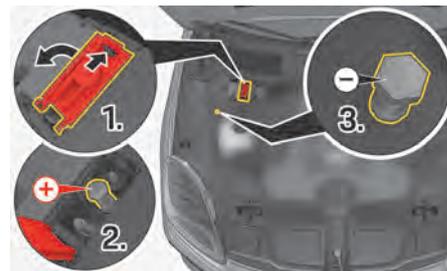


図. 216 ジャンプスタート

1. ボンネットを開きます。
2. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを開きます。
3. 赤色のプラス ケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続します。
4. 赤色のプラス ケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
5. 黒色のマイナス ケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
6. 黒色のマイナス ケーブルをアース箇所-に接続します。
7. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー ケーブルを使用した始動は、15 秒以上続けられないでください。始動に失敗したときは、1 分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、まず黒色のマイナス ケーブルをアース箇所-から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。
10. エンジンが作動状態のまま、赤色のプラス ケーブルを先に支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用のプラス端子+から外します。
11. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。

## バッテリーの交換



警告

不適合なりチウム バッテリーによる火災の恐れ

車両電気リカルシステムの著しい不具合に加え、不適合なりチウム バッテリーの使用または誤った取り付けは例外的な状況下で火災の原因になる恐れがあります (充電中など)。

- ▶ ご自身では絶対にバッテリーを交換しないでください。この車両のリチウム バッテリーの交換には、ボルシェ指定のリチウム バッテリーのみを使用してください。他のリチウム バッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、電気リカルシステムの全面的な故障を含め著しい不具合の原因になります。
- ▶ バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ リチウム バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

## 電源遮断

一時的な電源遮断の後、機器によっては再初期化が必要です。

1. パワー ウィンドウの停止位置を保存します。
  - ▶ 34 ページの「ウィンドウの開閉」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
  - ▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## けん引

### 車両のけん引

#### ① インフォメーション

- ▶ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかり理解しておくことが大切です。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムを OFF にします。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、電気リカルパーキング ブレーキやステアリング コラム ロックを解除するために外部電源の接続が必要があります。

### けん引または押しがけによるエンジンの始動

#### 知識

けん引または押しがけによる車両の始動は、車両とトランスミッションに重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ けん引または押しがけによるエンジンの始動は行わないでください。
- ▶ けん引時は4 輪すべてが接地するようにするか、復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーで前輪と後輪の両方を使用して車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▶ 262 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

▶ 264 ページの「外部電源の供給」の章を参照してください。

## 車両のけん引

### ▲ 警告

パワー アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引されている車両のエンジンが停止している場合、パワー ステアリングを利用することはできません。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

▶ けん引される車両は、けん引する車両より軽くなければなりません。

▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

▶ けん引される車両は、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングコラムがロックしないようにするため、イグニッションスイッチを ON にしてください。

## 車両のけん引

▶ 作動モード **N** を選択してください。

▶ 作動モード **N** を選択できない場合、またはトランスミッションパーキングロック **P** が作動している場合：

▶ 266 ページの「トランスミッションパーキングロックの緊急解除の実施」の章を参照してください。

▶ PAS を停止します。

▶ 164 ページの「警告およびブレーキ アシスト」の章を参照してください。

▶ けん引するときの速度は 50 km/h 以下にしてください。けん引距離は 50 km 以内にしてください。

車両を 50 km を越えてけん引する必要がある場合、または 50 km/h を超える速度でけん引する必要がある場合、あるいは車両が急な上り坂、急な下り坂にある場合には、

▶ 車両をけん引しないでください。

▶ ロードサイド アシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。

▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。

▶ 265 ページの「車両のけん引」の章を参照してください。

## トランスミッションパーキングロックの緊急解除の実施

作動中の場合、トランスミッションパーキングロックの緊急解除をけん引の前に実施してください。緊急解除は運転席側のフロアマット下にあります。

### ▲ 警告

車両が動き出さないように固定されていない

トランスミッションパーキングロックの緊急解除を実施するときに、車両が動き出さないように固定されていないため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください(車止めを使用するなど)。

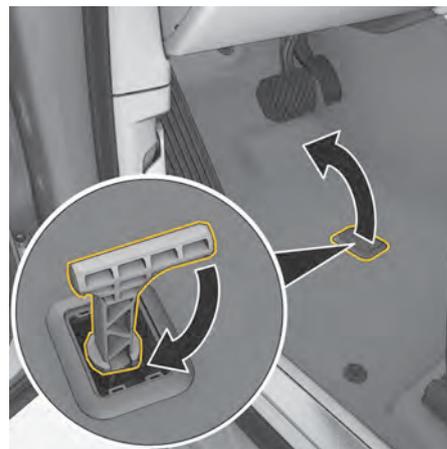


図 217 運転席側フットウェル：トランスミッションパーキングロックの緊急解除

## トランスミッションパーキングロックの緊急解除

1. エレクトリックパーキングブレーキを作動させるか、ブレーキペダルを押して、車両が不意に動き出さないように固定してください。  
▷ 106 ページの「エレクトリックパーキングブレーキ」の章を参照してください。
  2. 適切な道具（ドライバーなど）を使用して、フットウェルのカバーを慎重にこじって取り外してください。
  3. 車載工具のソケットレンチをリリースロックに挿入してください。  
▷ 251 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
  4. ソケットレンチを押して、確実にはまるまで時計回りに 90° 回してください。
  5. ソケットレンチを挿入したままにしてください。
- トランスミッションパーキングロックの緊急解除後、インストルメントクラスターに作動モード **N** が表示されます。

## トランスミッションパーキングロックを再度入れる

### 知識

トランスミッションパーキングロックに再度入れるときに、損傷する恐れがあります。

- ▶ ソケットレンチを回し戻さないでください。

1. ソケットレンチを垂直に引き出してください。
2. カバーを再度挿入してください。

## けん引ロープまたはけん引バーの使用による別の車両のけん引

- ▶ 可能であればけん引バーを使用してください。けん引バーが使用できない場合のみ、けん引ロープを使用してください。メーカーによりけん引ロープとして使用することが指定された、伸縮性合成繊維または類似の伸縮性素材のロープを使用してください。
- ▶ これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ けん引される車両は、けん引する車両より軽くなければなりません。
- ▶ けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。  
▷ 267 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。
- ▶ トレーラーヒッチにけん引ロープまたはけん引フックを取り付けしないでください。

### けん引ロープの使用

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

### けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

## 雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。
- ▶ トレーラー車両を連結した状態でけん引しないでください。

## けん引フックの使用

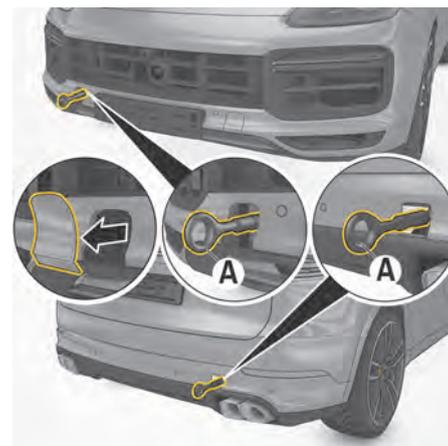


図. 218 けん引フックを外す

## けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 251 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチック カバーの上端をバンパー内に押し込んで、カバーを外してください。
2. プラスチック カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック A(図. 218) を反時計方向いっぱいねじ込み (逆ねじ)、手で締め付けます。

### けん引フックの取り外し

1. けん引フック A(図. 218) を外します (時計回りに回転、逆ねじ)。
2. 開口部の上端にプラスチック カバーを差し込んでください。
3. プラスチック カバーをバンパーに押し込み、はまるまで下端を押ししてください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

### 鉄道、船舶および積載車での車両輸送

1. ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
2. 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
  - ▶ 31 ページの「警報システム」の章を参照してください。

### フラットベッドの使用

#### 車両をフラットベッドに載せる

フラットベッドは、トランスミッションパーキングロックまたはエレクトリックパーキングブレーキを解除できる場合にのみ使用してください。故障 (バッテリーの放電など) が発生した場合は、車両をフラットベッドに積み込まないでください。



図. 219 車両をフラットベッドに載せる

1. セレクターレバーを **N** の位置にします。
2. イグニッションを OFF にしてください。  
約 30 分間、車両のタイヤを回転させることができます。その後、トランスミッションパーキングロックが自動的に作動します。
3. 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。
4. ウインチケーブルを引き込み、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

#### 車両をフラットベッドに固定する



図. 220 車両をフラットベッドに固定する

1. 後輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアが損傷していないことを確認します。
2. フラットベッドの後部にストラップを固定します。
3. ラッシングストラップに張力がかかる程度だけ、ウインチケーブルを引き込みます。
4. 前輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアが損傷していないことを確認します。
5. フラットベッドの前部にストラップを固定します。

6. ウインチ ケーブルをゆるめますが、外さないでください。

## ブレーキフルード ブレーキフルードレベルの点検

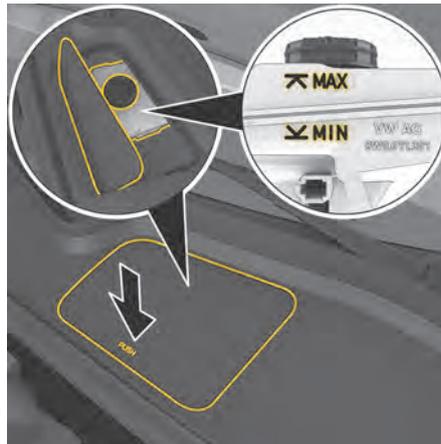


図. 221 ブレーキ液タンク

ブレーキ液タンクはエンジンコンパートメント内の個別のカバー下にあります。

- ▶ カバーの前方を押して開いてください (**PUSH** マーク)。
- ▷ 23 ページの「エンジンコンパートメント フィラーキャップ」の章を参照してください。
- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキフルードレベルを読み取ります。フルード液量は常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に保つ必要があります。
- ▶ ブレーキ液量が **MIN** マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください：

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ブレーキフルードの交換

**⚠ 危険**

ブレーキフルードの飲み込み

ブレーキフルードは健康に有害であり、飲み込むと死に至る可能性があります。

- ▶ カーケア用品はお子様手の届かない場所に保管してください。
- ▶ ベットをブレーキフルードに近づけないでください。ベットは、こぼれたブレーキフルードや開口容器に保管されている古いブレーキフルードに引き付けられる可能性があります。
- ▶ ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、すぐに患部をきれいな水で数分間すすいでください。直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ ブレーキフルードの補充容器に関するすべての情報に注意を払ってください。

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メンテナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ 17 ページの「お出かけの前に：ボルシェ車両に関する重要な情報」の章を参照してください。

## 警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストルメントクラスターに警告灯 (C) と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

## クーラント

### 一般的な安全に関する指示



警告

エンジンコンパートメントブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローアやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローアはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローアが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブローア、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。



警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントリザーバーには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分注意してください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントタンクのキャップを **開かない** てください。水温計の表示が 60 °C を下回るまで待ってください。

## 知識

警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷却してください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 187 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37℃までの凍結防止の働きがあります。

クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

▶ ポルシェが認定した不凍液のみを使用してください：

Glysantin® G40® (または：G12++/VW TL 774 G に準拠した凍結防止) または Glysantin® G65® (または：G12evo/VW TL 774 L) に準拠した不凍液。これらの不凍液は、混合可能です。

## クーラントレベルの点検と補充

### E ハイブリッド車の特徴について

E ハイブリッド車には、アクセスできないクーラントリザーバータンクが付属する 2 番目の冷却回路が存在します。そのクーラントレベルを点検する必要はありません。故障はインストルメントクラスターに表示されます。

この 2 番目の冷却回路で故障が発生した場合：

- ▶ 絶対にクーラントを追加しようとししないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### クーラントレベルの点検と補充

▶ 23 ページの「エンジンコンパートメント フィラーキャップ」の章を参照してください。

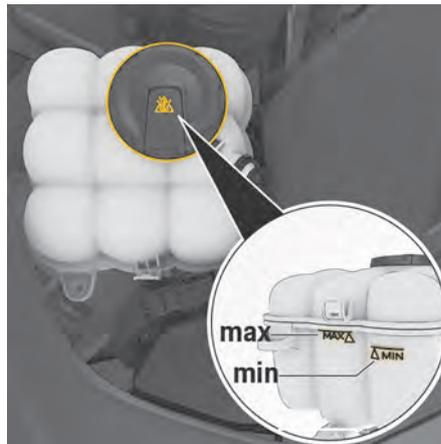


図. 222 クーラント リザーバー タンクの表示

▶ 168 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている場合。
  - ✓ エンジンが冷えていて、水温計が 60℃ 以下。
1. クーラントレベルを読み取ります。クーラントレベルは常に **MIN** マークと **MAX** マークの間に保つ必要があります。
  2. クーラントレベルが **MIN** マークより下にある場合は、クーラントを補充してください。
  3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
  4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
  5. クーラントを補充します。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。 **MAX** マークを超えないように補充してください。

6. リザーバータンクのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
7. クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあるか、過剰に充填されていると考えられます。クーリングシステムを点検し、直ちにクーラント減少の原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### ① インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。クーラントの減少が著しい場合、クーリングシステムに漏れがあると考えられません。

- ▶ 早急に原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジンオイル

### エンジンオイルレベルの点検

走行スタイルと作動条件によっては、オイル消費量は最大0.8L/1,000kmになる場合があります。オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給する度など)。

### オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低すぎる場合、インストルメントクラスターにシンボルが表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

### エンジンオイルレベルの測定と表示

#### 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

### **i** インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが測定されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時。
- フルスロットル走行後のエンジン回転数が高い状態で車両を停車させた場合。
- エンジン油温が高すぎる場合。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている場合。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分以上停止している場合。

#### ▶ 車両 ▶ オイルレベル

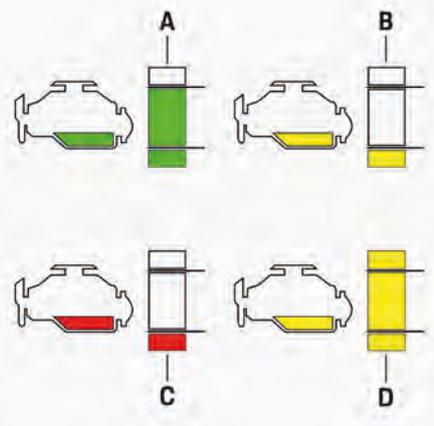


図. 223 オイルレベルゲージ

- A オイルレベルは十分 - 上限に達している
- B オイルレベル下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 A(図. 223) の場合、オイルレベルは上限のマークに達していて、十分であることを示します。

最下部のセグメントが黄色 B(図. 223) で表示されている場合、オイルレベルが下限のマークまで低下していることを示しています。

- ▶ 次の機会に、インストルメントクラスターに表示されている量のエンジンオイルを補充します。

表示された補充量を超えるエンジンオイルを補充しないでください。

最下部のセグメントが赤色で表示されている場合 C(図. 223)、オイルレベルが下限を下回っています。

1. 適切な場所に停車してください。
2. インストルメントクラスターに表示されている量のエンジンオイルを直ちに補充します。  
表示された補充量を超えるエンジンオイルを補充しないでください。

最上部 D(図. 223) まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジンオイルの選択と追加

### エンジンオイルの選択

ポルシェでは、 を推奨します。

認定されたエンジンオイルの名称を示すラベルがエンジンコンパートメントにある場合、このマニュアルに記載された情報よりもラベルの情報を優先してください。

不確かな場合、および現在の承認オイルを確認するには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

認定	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
	VW 511 00	VW 504 00/507 00	VW 508 00/509 00
SAE 粘度等級	0W-40	0W-30	0W-20

エンジン	ポルシェ C40	ポルシェ C30	ポルシェ C20
2.0 L R4 ターボ エンジン	-	-	X
2.9 L V6 ツインターボ エンジン	-	X	-
3.0 L V6 ターボ エンジン	-	-	X
4.0 L V8 ツインターボ エンジン	X	-	-

ポルシェ正規販売店から適切なエンジンオイルに関する情報を入手してください。エンジンオイルを補充する必要がある場合は、指定されているエンジンオイルを使用してください。

## エンジンオイルの補充

### 警告

エンジンコンパートメントブローおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローやドライブベルトなどの可動部品に引き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローはエンジンカバーの下に取り付けられています。エンジンを停止した後も、引き続きエンジンコンパートメント内の温度が監視されます。この間は、エンジンコンパートメントブローが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

- ▶ この付近で作業する場合は、エンジンを停止して、身体の一部、衣服の一部、または装飾品類がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブロー、ドライブベルト、またはその他の可動部品に引き込まれないよう十分に注意してください。

### 警告

エンジンオイルの発火

エンジンオイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。エンジンオイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する前にエンジンを冷ましてください。

### 警告

高温のエンジン部品

エンジン稼働中は、エンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンコンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▶ エンジンコンパートメント内で作業するときは十分に注意してください。
- ▶ エンジンオイルの補充は、エンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

### 知識

エンジンオイルは少なすぎても多すぎても、エンジンを損傷する恐れがあります。エンジンオイルが多すぎるとブルースモークが発生し、長期的にはエミッションコントロールシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ エンジンオイルを補充する際は、上限マークのところまでにしてください。オイルを補充しすぎた場合は、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

下記の点を必ず守ってください：

- ボルシェが承認したエンジンオイルのみを使用してください。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- ボルシェが承認したオイルであれば、互いに混ぜ合わせることはできます。
- オイル添加物を使用しないでください。
- エンジンオイルの漏れを検出したら、直ちにエンジンを点検してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 23 ページの「エンジンコンパートメントフィルターキャップ」の章を参照してください。

1. インストルメントクラスターでエンジンオイルレベルを確認します。
2. オイルフィルターキャップをゆるめて取り外します。
3. インストルメントクラスターに表示されている量のエンジンオイルを補充します。表示された補充量を超えるエンジンオイルを補充しないでください。
4. オイルフィルターキャップを慎重に取り付けます。

## 充電

### 高電圧バッテリーの充電

最大電動走行回数の場合：

- ▶ 車両を夜間駐車するときなどは、高電圧バッテリーを充電してください。

#### ⚠ 危険

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に当てはまる安全上の注意事項の非遵守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 車両を始動する前に、充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポートリッドを閉じ、充電ケーブルを安全に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電中は、電気ソケットから充電ケーブルを外さないでください。充電プロセスが終了した後に電気ソケットから充電ケーブルを外してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を遵守してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。

#### ⚠ 危険

不適合または損傷した電気ソケットおよび充電ケーブル

不適合または損傷した電気ソケットと充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ プラグインハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーがテストし承認した充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 充電ケーブルは、必ず適切に取り付けられた電気ソケットに接続してください。
- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに、充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブルリール、電源タップ、またはトラベルアダプターを使用しないでください。
- ▶ いずれの電子部品に対しても、改造や修理を行わないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグコネクターを水、湿気、その他の液体から保護してください。
- ▶ 充電ソケットの汚れ、氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。

#### ⚠ 警告

固定されていない充電ケーブル

固定されていない、または固定位置が正しくない充電ケーブルは、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に滑り出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ いかなる場合も車内で固定されていない状態で充電ケーブルを輸送することはせず、常にラゲッジコンパートメント内の充電ケーブルバッグ内に収納してください。
- ▶ 充電ケーブルは常にラゲッジコンパートメントに入れて輸送してください。車室(座席の上または前など)には絶対に置かないでください。

#### ⚠ 警告

エンジンコンパートメントブローアおよびエンジン付近の他の可動部品

エンジンコンパートメント内で作業する場合、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪がエンジンコンパートメントブローアやドライブベルトなどの可動部品に巻き込まれる恐れがあります。エンジンコンパートメントブローアはエンジンコンパートメントリッドの下に取り付けられています。充電プロセスの間、高電圧バッテリーとオンボード充電器を冷却するために、エンジンコンパートメントブローアが作動する場合があります。

- ▶ この付近での作業は、エンジンがOFFになっていて、充電が機能していないときに限ってください。作業中、身体の一部、衣服の一部、または装飾品がラジエーターファン、エンジンコンパートメントブローア、ドライブベルト、その他の可動部品に巻き込まれないよう十分に注意してください。

#### 知識

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

## 高電圧バッテリーの充電と整備に関する指示

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフサイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大走行可能距離が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- プラグインハイブリッド車の高電圧バッテリーの充電には、テストされ承認済みの充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して規格化された車両プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に準拠した充電プロセス)。かつ、国家規格および法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ポルシェでは、ポルシェ ユニバーサル チャージャー (AC) を充電ドックまたはベーシックウォールマウントと共に使用することを推奨しています。ポルシェ充電装置および使用する充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- 保護なし充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化された) には対応していません。
- 充電プロセス中の車両の温度は、約  $-20^{\circ}\text{C}$  から  $+40^{\circ}\text{C}$  の間でなければなりません。

- ポルシェは、電気駆動力と従来型駆動力を可能な限りバランスの取れた比率で使用することを推奨します。電気駆動力を常時かつ単独で使用すると、高電圧バッテリーの消耗の増加につながる場合があります。
- 可能であれば、フル電気モードでの急激な加速の繰り返しやブースティングにより、高電圧バッテリーを急速に放電することは避けてください。
- ポルシェでは、車両の日常使用において高電圧バッテリーの充電を約 80% にすることを推奨しています。長い走行距離を要する旅行の前であれば、ポルシェでは高電圧バッテリーの充電状態を 100% にすることを推奨しています。

### ▲ 注意

植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器

植込み型ペースメーカーまたは植込み型除細動器 (ICD) をご使用になっている方の場合、充電中に充電器自体から放出される電磁波が一時的にペースメーカーまたは ICD の機能を損なう恐れがあります。したがって、以下の注意事項に従ってください。

- 充電器に近づかないでください。
- 充電器を使用する場合は、他の人に操作を依頼してください。
- 他の種類の電気医療機器を使用している場合は、機器製造元に障害のリスクがあるかどうか確認してください。

## 充電プロセスの開始と終了

### 車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

- ✓ トランスミッションパーキングロック P が作動している。
  - ✓ イグニッションが OFF になっている / コントロールユニットがイグニッションロック位置 2 がない。
  - ✓ 車両がロック解除されている。
  - ✓ 主電源に充電ケーブルが接続済み。
1. ポルシェ充電装置および使用する充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。



図. 224 充電ポートリッドを開く

2. 充電ポートリッド (図. 224) の後部を押して充電ポートリッドを開きます。

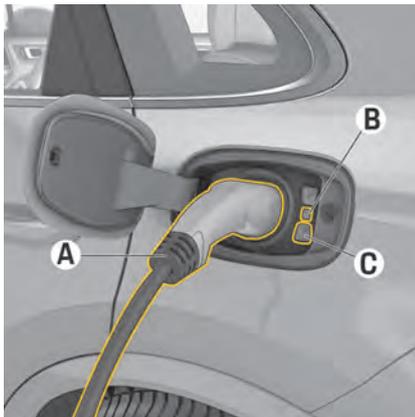


図. 225 挿入された車両プラグ

3. 車両プラグ A(図. 225) を充電ポートの奥まで差し込みます。
    - ➔ 車両プラグがロックされ、充電プロセスが開始されます。
 インジケータライト B(図. 225) とボタン C(図. 225) のインジケータライトは、高電圧バッテリーの充電状態と車両プラグのロック状態を示します。
- ▶ 277 ページの「車両充電ポートの充電表示およびロックステータス表示」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

- 車両ロック時に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグはロックされたままになります。
- イグニッションは、充電プロセスの開始後に ON にできません。
- 充電プロセス中にコントロールユニットをイグニッションロック位置 2 に回すと、充電プロセスが中断されます。車両プラグを取り外さなければ、約 20 秒後に充電プロセスが再開されます。
- 充電タイマー機能を作動させると、充電タイマーが充電プロセスの開始を制御する状態となり、車両プラグを差し込んでロックしてもすぐに充電プロセスが開始されないようにすることができます。

### 充電プロセスの終了および車両充電ポートからの車両プラグの取り外し

1. ドアをロック解除します。
2. 車両充電ポートのボタン C(図. 225) を押してください。
  - ➔ 車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、終了します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
4. 充電ケーブルを主電源から切り離し、安全に収納します。
5. 充電ポート リッドを閉じます。

### ① インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電プロセスが終了した後に電気ソケットから充電ケーブルを外してください。
- 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

### 車両充電ポートの充電表示およびロックステータス表示

インジケータライト B(図. 225) は高電圧バッテリーの充電状態を示し、ボタン C(図. 225) のインジケータライトは車両プラグのロックステータスを示します。

B	C	意味
消灯	消灯	車両プラグが差し込まれていないか、主電源と接続されていません。 <b>または</b> 車両プラグ挿入中：車両はアイドル状態です。現在の接続と充電ステータスを検出するには：キーの  または  ボタンを押してください。
消灯	点滅	車両プラグ挿入中でロックされていません(車両プラグの電圧が正しくない場合など)。

B	C	意味
■ 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。主電源への接続が確立されています (充電の初期化など)。
■ 点滅	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。高電圧バッテリーが充電されます。点灯時間は高電圧バッテリーの現在の充電状態に応じます。
■ 点灯	点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされています。充電プロセスが完了しました。
■ 点灯	点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生しました。

充電プロセスが開始されていない場合：

- ▶ 車両プラグが正しく差し込まれているか確認します。
- ▶ ポルシェ充電装置および使用する充電ケーブルの取扱説明書を参照してください。
- ▶ 車両プラグを抜き、再度差し込みます。

## 充電タイマー機能の使用

出発タイマー機能が作動しているとき、プログラミングされた出発時刻には高電圧バッテリーは完全に充電されます。事前にエアコンを作動させて、車内を適切な温度に調節しておくことができます。

高電圧バッテリーの現在の充電状態が車両のマルチファンクションディスプレイとインストルメントクラスターのバッテリー充電状態表示に表示されます。

充電タイマーが作動中でも、このモードの場合、高電圧バッテリーは常に約 10% の状態に充電されます。

## 出発タイマーの作動 / 解除

出発タイマーのプログラミングと作動は PCM で行います。

各出発タイマーは 1 回限り開始 (シングルタイマー) するように設定することも、定期的開始 (反復タイマー) するように設定することもできます。さらに、**追加プレエアコン** オプションを選択すると、車室を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます (プレクーリング / ヒーティング)。

一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

- ✓ 出発時刻が今後。
- ✓ 車両プラグが挿入済み。
- ✓ プレエアコンタイマー：燃料タンクの残量が予備分より多い。

1. **充電**  **タイマー**
2. **新しいタイマーを追加**を選択します。  
-または-  
**タイマー**  を編集します。
3. **日付 / 出発時間をプログラミング**します。選択したタイマーを定期的に使用する場合は、**リピート**を有効化し、**週日**を選択します。
4. **充電目標**をプログラミングします。
5. **充電**を有効にします。
6. 必要であれば**プレエアコン**を有効にします。
7. **タイマー**を有効にします。

66 ページの「リモートエアコンのタイマーおよびプレクーリング / ヒーティングの使用」の章を参照してください。

## ① インフォメーション

車内プレエアコンは、イグニッションを OFF のままにして使用すると、最も効率的に動作します。充電タイマーの場合、プレエアコンは車両プラグが挿入されている場合のみ作動します。

## 出発タイマーの停止

1. **充電**  **タイマー**
2. **タイマー**を無効にします。



図. 226 充電タイマー機能

## 充電タイマーで充電の開始

- ✓ 出発タイマーのプログラミングと作動がPCMで行われている。
- ✓ 車両がロック解除されている。
- ✓ 車両プラグが挿入済み。
- ✓ プレエアコンタイマー：燃料タンクの残量が予備分より多い。

ボタンA(図. 226)のインジケータライトが点灯します。

充電タイマー機能により、充電プロセスを開始する時間が決定されます。高電圧バッテリーはプログラムされた出発時刻までに完全に充電されます。

プレエアコンタイマーがプログラミングされていると、高電圧バッテリーが完全に充電されない場合があります。

出発タイマーがプログラミングされていない場合、ボタンを押すとボタンA(図. 226)のインジケータライトが3回点滅して、消灯します。

## 充電タイマーで充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入済み。
  - ✓ 充電タイマー機能が作動している。
  - ▶ ボタンA(図. 226)を押してください。
    - ➡ ボタンA(図. 226)のインジケータライトが消えます。
- 高電圧バッテリーの充電が直ちに開始されます。高電圧バッテリーが充電されるまでの残り時間がインストルメントクラスターに表示されます。
- 充電タイマーで充電を再開するためには、もう一度A(図. 226)ボタンを押します。

## 充電時間

充電時間は、以下の要因に応じて変化します。

- 使用する電気ソケット(家庭用電気コンセントまたは工業用電気コンセント)。
- 国別の電源電圧および電流。
- コントロールパネルでの充電電流制限の設定。
- 主電源電圧の変動。
- 車両や充電装置周辺の外気温。
- 高電圧バッテリーおよびコントロールユニットの温度。
- 車内プレエアコンの作動
- 車両プラグの通電容量。

物理的な充電ロスにより、主電源からのエネルギー量は高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギー量を上回ります。

## 48 Ah 高電圧バッテリー

7.2 kW は、3 相 400 V または単相 230 V のいずれかを 32 A で使用することで得られます。充電時間はほぼ同じです。

接続規格	3.6 kW の充電時間	7.2 kW の充電時間
11 kW (3 相、400 V、16 A)	約 4.8 時間	約 2.6 時間

## 充電ポートリッドおよび車両プラグの緊急解除

### 充電ポートリッドの緊急解除の実行

電動ロック解除機構が故障したときは、充電ポートドアを手で開くことができます。

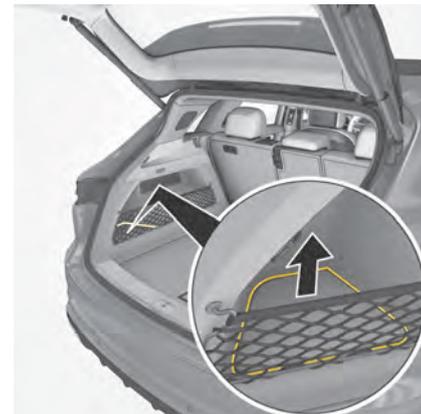


図. 227 ラゲッジコンパートメントのヒューズボックス

1. 適切な道具(ドライバーなど)を使用して、ラゲッジコンパートメント内のヒューズボックスカバーを慎重にこじって取り外します。



図. 228 充電ポートリッドの緊急解除の実行

2. 赤色の緊急解除ボタンを矢印の方向に引きます。

充電ポート リッドのロック解除機構を確認するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 車両プラグ緊急解除の実行

(故障などにより) 車両プラグが解除できない場合、緊急解除の実行が必要です。

1. コントロールユニットをイグニッション ロック位置 **2** に回してください。
  - ➔ 車両プラグが自動的に解除され、充電が約 20 秒間中断されます。
2. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜いてください。
  - ➔ この時間が経過した後は、車両プラグが再度ロックされ、充電プロセスが再開されます。

## 緊急電話システム

### 故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話によって援助を求めることができます (国別仕様および装備による)。

#### インフォメーション

ポルシェ コネクトの詳細な情報 (ヘルプ ビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で入手できます。

- ✓ 携帯電話ネットワークが利用可能。
- ✓ 故障時電話システムの作動準備が整っている (車両 ON から約 20 秒後)。
- ✓ プライベート モードが無効になっている。
  - ▶ 228 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

#### インフォメーション

故障時電話システムには独立した携帯電話モジュールがあるため、車内に登録された携帯電話があることは必要ありません。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限 (ローミングまたは有効なデータ接続がないなど) により、ポルシェ アシスタンスへの故障時電話を確立することができない場合があります。

## データ通信

故障時電話の作動時に、必要な措置を決定するためのデータを (利用可能な場合) ポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

- 車両の現在位置
- 車両識別番号

- 車両タイプ
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

## 故障時電話の作動

1.  ▶ 電話  ▶ キーパッドをタップします。
2.  ボタンを押します。  
故障時電話を終了するには、 を選択します。
3. 状況が許す場合は、ポルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話は、ポルシェ コネクト アプリで作動させることもできます (国別仕様による)。

## 車両のお手入れ

### 一般的なお手入れの諸注意



警告

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ポルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はお子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

### 知識

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、塗装用のデコラティブフィルムおよび保護フィルム
- 塗装面
- オルタネーター
- エンジン コンパートメント内の電装部品およびプラグ接続
- パークアシストセンサー
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) や他のアシスタンス システムで使用される (レーダー) センサー
- リバース カメラ
- ワイパー ブレード

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェット ノズルと組み合わせることはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせると、車両に傷が付きやすいため、丸型ジェット ノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェット ノズルを直接向けしないでください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは絶対に開口部 (スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど) に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

## 高電圧バッテリーのお手入れ

### お手入れの諸注意

高電圧バッテリーの物理的性質のため、ライフサイクルの間にバッテリー容量の減少が進行し、その結果、最大電動可走距離も短くなります。

次の対策により、ライフサイクル中に失われたバッテリー容量にプラスの影響を与えることが可能です。

- ▶ 充電タイマー機能を使用して高電圧バッテリーを充電します。
- ▶ 直射日光の当たるところに駐車するなど車両を高温にさらすことは、できるだけ避けてください。

### 車両を長期間アイドル状態にする場合の注意点

1 か月より長い放置時間の場合：

- ▶ 車両を高電圧バッテリーが放電した状態で放置せず、充電/トリクル充電用の主電源に常時接続しておいてください。

車両を主電源に常時接続することができない場合：

- ▶ 車両を駐車する前に、高電圧バッテリーを完全充電してください (充電状態 100%)。
- ▶ 3 か月ごとに充電状態を確認し、必要に応じて再充電してください。
- ▶ タイマー制御のプレエアコンを停止します。
- ▶ プレエアコンタイマーを停止します。
- ▶ ポルシェ コネクト アプリは使用しないでください。アプリと車両の接続が確立されると高電圧システムが作動するため、高電圧バッテリーおよび 12 V バッテリーが放電します。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。融雪剤(塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してから時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂散布シーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セーム革で拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを拭き上げたときと同じセーム革を使用しないでください。

## 自動洗車機

### 知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

危険	遵守すべき事項
洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントウィンドウワイパーのスイッチをOFFにしてください。</li> <li>▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーシステムを操作しないでください。</li> </ul>
外装部品への損傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアミラーを格納してください。</li> <li>▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。</li> </ul>
ホイールへの損傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。タイヤのリム幅が広く、タイヤの高さが低くなるに従い、損傷のリスクは大きくなります。</li> </ul>
ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。</li> </ul>

## 塗装面のお手入れ

### 知識

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

### 知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

## 塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

## 塗装面のつや出し(研磨)

ペイントポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。

## 汚れ、染みの除去

タールの跳ねかかり、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

## 小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポリッシュ正規販売店にご相談ください。ポリッシュではポリッシュ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なト

レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所プライマー(防錆剤)を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

## アンダー コーティングの補修



警告

エキゾースト システム付近の可燃物

エキゾースト システム エリア内に防錆剤またはアンダー コーティングを追加で塗布すると、運転時に過熱して発火する可能性があります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾースト パイプ、触媒コンバーター、またはヒート シールドの近くに、追加のアンダーコーティングや防錆を施さないでください。

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェは、ポルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## デコラティブ フィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブ フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブクルーズコントロールのレーダー センサー、車両カメラの清掃には、汚れない水と少量の食器用洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチセンシティブ ボタンを有するセンター コンソールの清掃には、マイクロファイバークロスのみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ウィンドウの清掃

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する(疎水性の)撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウを拭き取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクト リムーバーで取り除きます。

## ワイパー ブレードのお手入れ

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィット コーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機のノズルまたはスチーム クリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロントワイパーブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃します。

## ホイールのお手入れ

### ▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗剤(ホイール洗剤など)がブレーキディスクにかかる、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォータージェットでブレーキディスクをしっかり清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗剤や不適切な pH 値の洗剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください(pH 値: 4~10)。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

## ドア、ボンネット、リッド、ウィンドウシールの清掃

### 知識

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃やカーケア製品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ カーケミカル洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください:

- ▶ 定期的に、すべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、すべり止め剤など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウター ドア シールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

## 車内の清掃とお手入れ

### 革のお手入れ

#### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃と整備のために、次の点を遵守してください:

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ(水性のしみではない)は、革用洗剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
- ▶ ポルシェでは、ポルシェ テクニクイップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみ取り扱うようにしてください。

### シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

#### 水じみおよび湿気によるしみを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターが OFF になっている。
- ✓ 直射日光が当たっていない。

1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートクッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
2. シートカバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションをONにしないでください。
3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

## カーペットおよびフロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 電気掃除機または柔らか過ぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ しみ抜きを使用して、ひどい汚れやしみを取り除きます。  
ポルシェでは、ポルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、ポルシェは車両に適したサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

## エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗浄剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品（ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフレームパネルなど）にいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周部には洗剤や他の液体を使用しないでください。

## ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗浄剤やドライフォームと柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

## Alcantara®のお手入れ

Alcantara®製マイクロファイバーカバーの清掃には皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面に永久的な変化を与えてしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、ぬるめのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

マイクロファイバーカバー付きステアリングホイールは、皮膚との恒久的な接触が原因でひどく汚れる可能性があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、これでアウターステアリングホイールリムをふき取ります。
- ▶ ひどい汚れの場合、フォームメーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張りフォームクリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽くこする/たたくことで清掃できます。

## シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗浄剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## スクリーンとタッチディスプレイの清掃

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。
- ▶ 画面の清掃は、画面をOFFにしてから行ってください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ スクリーンとタッチディスプレイは擦ると傷がつく恐れがあります。時々、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)で慎重にスクリーンとタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用してふき取ります。

## 車両の保管

車両を長期保管する場合：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

- ▶ 265ページの「けん引」の章を参照してください。

バッテリーを切り離している場合の車両のロックに関する情報は以下をご覧ください：

- ▶ 42ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

## テストスタンドでの測定

### テストスタンドでのテストの実施

#### ▲ 警告

有毒な排気ガスの吸入

有害な排気ガスを吸い込むと、重症または致命傷に至る恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は低濃度でも人体に有害です。

- ▶ エンジンを作動した状態での作業は、屋外、または車両排気ガスの適切な排気システムが備わっている環境でのみ行ってください。

#### ▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

## パフォーマンステスト

ボルシェではローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

## ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください：

- 測定速度 7.5km/h
- 測定時間 20 秒

## エレクトリックパーキングブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドでエレクトリックパーキングブレーキのテストを行うときは、必ずイグニッションを ON にし、ニュートラル(トランスミッションをパーキングロックに入れぬ)にします。

車両が自動的にブレーキテストスタンドモードに切り替わり、エレクトリックパーキングブレーキのテストが可能になります。インストールメントクラスターにメッセージが表示されます。

## タイヤおよびホイール

### 積載荷重および速度の要件を満たす

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイールアラメントに加えて、お客様の運転スタイルにも左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。
- ▶ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

#### 知識

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

## タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム

### タイヤ空気圧の点検

#### 知識

– 不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 229 タイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ 最低 2 週間ごとに、タイヤが冷えているときにタイヤ空気圧を点検します。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実際の空気圧) の表示。
- 2 段階のタイヤ空気圧警告 (黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (H) およびインストルメントクラスターの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2段階 (空気圧低下の程度に応じた黄色および赤色のタイヤ空気圧警告) で警告を表示します。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止してイグニッションを OFF にした場合、またはイグニッションを再度 ON にした場合に、約 10 秒間表示されます。イグニッションを ON にすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ 正しいタイヤ圧力にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ① インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下の両方について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません (予期しない外部からの影響によるパンクなど)。



警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメントクラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペア ホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



警告

コンフォート プレッシュャーでの高速走行

コンフォート プレッシュャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ インストルメントクラスターに表示された最大速度まで減速してください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

## タイヤ空気圧の確認

個々のタイヤ空気圧は、速度が約 25 km/h を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。車両が約 10 分以上停止した後にイグニッションを ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにタッシュ記号 (-.-) が表示されます。

### ▶ タイヤ空気圧 ▶ 現在の空気圧

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

## 空気圧偏差の表示



図. 230 空気圧偏差の例

- ✓ 車両が停止している。

### ▶ タイヤ空気圧 ▶ 空気圧偏差

該当するホイールの規定空気圧からの偏差が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧偏差を必ず使用してください。

## タイヤ設定

タイヤのタイプとタイヤのサイズ、負荷およびコンフォートプレッシャー/標準プレッシャーの設定は、タッチボードのタッチディスプレイで行えます：

▶ 289 ページの「タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する」の章を参照してください。

## タイヤ空気圧モニタリング (TPM) を設定する



警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が極端に低い場合または高い場合、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載条件に対応していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載量の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールセットのタイヤ空気圧が以前の設定と一致している場合でも、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

## 空気圧偏差の表示

- ✓ 車両が停止している。

### ▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

該当するホイールの規定空気圧、規定空気圧との差、および積載量、タイヤの種類、タイヤのサイズに関する設定が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧偏差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、実際の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

## タイヤの種類とサイズの設定

### ① インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング]メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

### ▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

## 全積載または部分積載の選択

### ▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全積載

- 全積載**  
全積載が選択されます。
- 全積載**  
部分積載が選択されます。

- ▶ 選択した荷重タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

### ① インフォメーション

全積載のオプションが表示されない場合は、積載タイプに応じてタイヤ空気圧の調整が必要ないことを意味します。

## コンフォートプレッシャーまたは標準プレッシャーの選択

タイヤ空気圧は、乗り心地を向上させるために減圧することができます。

コンフォートプレッシャーを選択した場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧をモニタリングして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

### ▶ 車両の設定 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ コンフォートプレッシャー

- コンフォートプレッシャー**  
コンフォートプレッシャーが作動します。
- コンフォートプレッシャー**  
標準プレッシャーが作動します。
- ▶ コンフォートプレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。

## タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイールトランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

登録プロセス中、PCM には冷間時 (20 °C) のタイヤ空気圧の規定値が表示され、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

すべてのホイールの登録が完了するまで、インストルメントクラスターのタイヤ空気圧警告灯 (🚗) は点灯したままになります。

## タイヤ空気充填



**注意**

ホットプレッシャーホース

充填中にコンプレッサープレッシャーホースが高温になり、やけどの原因となる場合があります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

圧力計付きコンプレッサーは、荷室フロア下のラゲッジコンパートメントに収納されています。

▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. コンプレッサープレッシャーホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサープラグを車両の 12V ソケットに接続してください。

– または –

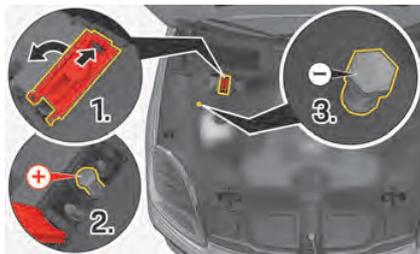


図. 231 ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用端子

コンプレッサーのクリップをジャンパーケーブルによるエンジンの始動用端子に接続してください。必ず下記の手順に従ってください：

- ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを開きます。
- ジャンパーケーブル接続用プラス (+) 端子にコンプレッサーのプラスケーブル (赤) を接続してください。
- ジャンパーケーブル接続用マイナス - 端子にコンプレッサーのマイナスケーブル (黒) を接続してください。

3. コンプレッサーを ON にしてください。  
▶ タイヤに空気が充填されます。
4. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であればタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
5. コンプレッサーを OFF にしてください。
6. コンプレッサープレッシャーホースを外してください。

## タイヤ表記の読み取り



図. 232 タイヤ表記 (例)

- A 公称タイヤ幅 (mm)
- B 扁平率 (%)
- C タイヤ構造記号

- D リム径(インチ)  
E ロードインデックス  
F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで
Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合)。積載量がタイヤのロードインデックス(最大積載容量)の 85% までの場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です(300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

## タイヤを点検する タイヤの損傷の検出

### ▲ 警告

目に見えないタイヤ損傷と  
リムフランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなければ確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体(石など)に強くぶついたら鋭角に乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側 – は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のために必ずタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき。

## バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

## タイヤトレッドの点検

多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- ▶ 安全のため、スリップサインが現れる前にタイヤを交換してください。ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが 4 mm 未満になると使用に適さない状態になります。
- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

### トレッド溝の深さ測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

### ① インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイール交換



**警告**

車両の下に入っでの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。

▶ 307 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

### ① インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など）は車両の標準装備ではありません。

- ▶ 必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### ① インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ / ホイール サイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。
- ▶ 車両登録書類または 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。を参照してください

## ホイール取り付け面のお手入れ

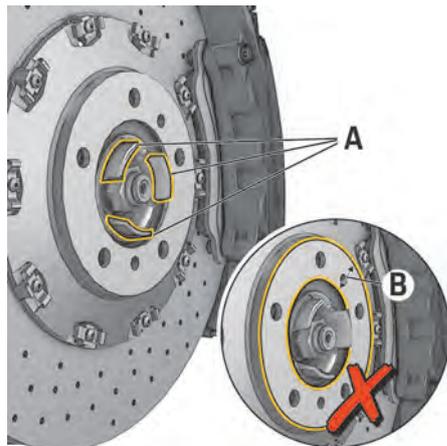


図. 233 ホイール取り付け面

### 知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面 **B**(図. 233) およびホイールハブ自体には、決してグリースを塗布しないでください。
- ▶ **A**(図. 233) 部分のみにグリースを塗布できます。この部分に Optimoly® TA を非常に薄く塗ります：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

## ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。

- ▶ 損傷したホイールボルトは交換してください。  
この車両タイプ専用のボルシェ純正ホイールボルト、またはボルシェが要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイールボルトは**160Nmの締め付けトルクで締め付けてください**。  
インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

## 盗難防止ホイールボルトの使用



図. 234 盗難防止ホイールボルト アダプター

盗難防止ホイールボルトのアダプターは、ツールキットに付属しています。

- ▶ 盗難防止機能付きホイールボルトを脱着するときは、このアダプターをホイールボルトとホイールボルトレンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

## ホイール交換

### 警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマルレベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムをOFFにします。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## 車両の準備

1. セレクターレバーのPボタンを使用して、トランスミッションパーキングロックを作動させます。
2. エレクトリックパーキングブレーキを作動させます。
3. イグニッションをOFFにしてください。
4. 交換するホイールの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 交換するホイールのホイールボルトまたはホイールナットをわずかにゆるめます。
6. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。  
▶ 307 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

## ホイール交換

### 知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。



図. 235 PCCB 非装備車には、組み付け補助工具を1つねじ込みます

1. PCCB 非装備車の場合：ホイールボルトを1本取り外し、組み付け補助工具を1つねじ込みます。

—または—



図. 236 PCCB 装備車には、組み付け補助工具を2つねじ込みます

PCCB 装備車の場合：2本のホイールボルトを取り外し、2つの組み付け補助工具をねじ込みます。

2. 残りのホイールボルトを取り外してください。
  - ▷ 292 ページの「ホイールボルトのお手入れ」の章を参照してください。
3. ホイールを取り外します。
  - ▷ 292 ページの「ホイール取り付け面のお手入れ」の章を参照してください。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイールボルトを挿入し、対角交互順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイールボルトをねじ込んでください。
  - すべてのホイールボルトを対角交互順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイールボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。
  - インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. **ホイール交換後は、直ちにトルクレンチを使用してホイールボルトの規定締め付けトルク (160 Nm) を確認してください。**
11. **タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定は更新されました。**
  - ▷ 287 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

## タイヤおよびリムの交換

- ▶ ホイール交換の際には、イグニッションを OFF にしてください。



**警告**

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▶ 装着するタイヤはすべて同一メーカーの同一仕様 (NO、N1 など) に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30% を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。

- ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。  
車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両登録書類または 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。を参照してください



## インフォメーション

フロントまたはリアタイヤのみを交換した場合は、前後のタイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とははっきりした違いが感じられます。新しいタイヤをリアアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

## ホイールのバランス調整

万々に備えて、春 (サマータイヤ) および冬 (「M+S」タイヤ) の前にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ウィンタータイヤとスノーチェーンの使用

### ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ ウィンタータイヤの側面に M+S 指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

### ① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェでは気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。

さらに外気温度が-15°Cを下回り極端に低くなると、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm 以下になると使用に適さない状態になります。

### スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▶ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

- ▶ ホイールハウジングとチェーンのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった氷や雪を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

### タイヤの保管

#### タイヤの保管

製造から6年以上が経過したタイヤは使用しないでください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろ

くなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面の DOT コードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の第30週に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、サマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

## パンク

### 装備品

モデルと車両装備によっては、車両にはタイヤ シーラントキット (Tire Mobility System - TMS) またはコラプシブルスペア ホイールが付属しています。

### タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリング システムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメント クラスタにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。
- ▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

### 安全に駐車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード ライトを ON にします。
3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
4. セレクター レバーの P ボタンを使用して、トランスミッションパーキング ロックを作動させます。
5. フロント ホイールをまっすぐにします。
6. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
7. 適切な距離に停止表示板を設置します。

8. 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。
- ▶ 307 ページの「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」の章を参照してください。

### 損傷したタイヤの補修



#### 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤ シーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると片方を失ったり、バーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤ シーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤ シーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤ シーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。

- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤ シーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤ シーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

シーラント ボトルとコンプレッサーはラゲッジ コンパートメント内にあります。

- ▶ 251 ページの「ラゲッジ コンパートメント」の章を参照してください。

## タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

### ▲ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

### ▲ 注意

タイヤシーラントの付着

タイヤシーラントが付着すると、炎症やアレルギー反応を引き起こすことがあります。

- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ タイヤシーラントでアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

### ▲ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

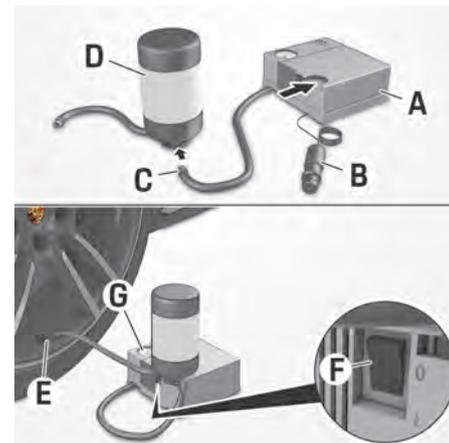


図 237 タイヤシーラントの充填

### 充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因になった異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. シーラント ボトル、付属「最大 80 km/h」ステッカーおよびコンプレッサーをラゲッジコンパートメントから取り出してください。  
▶ 251 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

### タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填とタイヤ空気の充填

- ▶ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。
- ▶ コンプレッサーに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. プラグ **B**(図. 237) とプレッシャー ホース **C**(図. 237) をコンプレッサー **A**(図. 237) から引き抜いてください。
2. プレッシャー ホース **C**(図. 237) をシーラント ボトルフランジ **D**(図. 237) にねじ込みます。
3. シーラント ボトル **D**(図. 237) を、下に向けたフランジと共にコンプレッサーの開口部に配置してください。
4. 損傷したタイヤのタイヤバルブ **E**(図. 237) からバルブ キャップを取り外してください。
5. シーラント ボトル **D**(図. 237) の充填ホースをタイヤバルブ **E**(図. 237) にねじ込んでください。
6. 車両の 12V ソケットにコンプレッサーのプラグ **B**(図. 237) を接続し、イグニッションを ON にし、スイッチ **F**(図. 237) でコンプレッサーを動作させてください。
7. タイヤに 2.0 bar~2.5 bar の空気を入れ、空気圧計 **G**(図. 237) でタイヤ空気圧を確認してください。コンプレッサーを OFF にしてください。  
タイヤ空気圧が 6 分以内にこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
8. フィラー ホースをタイヤバルブ **E**(図. 237) から外し、バルブ キャップを戻して締め付けます。

装備仕様によっては、付属コンプレッサーの端子クランプをジャンパー ケーブル始動端子に接続する必要があり、車両の 12V ソケットに接続することはできません。

必ず下記の手順に従ってください：

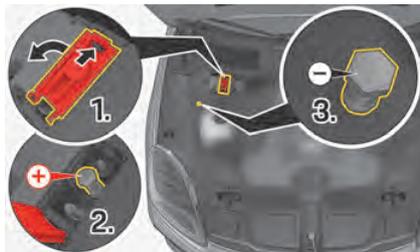


図. 238 ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用端子

1. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子 + のキャップを開きます。
2. ジャンパー ケーブル接続用プラス (+) 端子にコンプレッサーのプラス ケーブル (赤) を接続してください。
3. ジャンパー ケーブル接続用マイナス - 端子にコンプレッサーのマイナス ケーブル (黒) を接続してください。

### タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 以下の場合は、走行を中止してください。

▶ 310 ページの「テクニカル データ」の章を参照してください。

### タイヤ交換

▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

## ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

▶ 287 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

## コラプシブルスペア ホイールの使用



警告

車両のハンドリング特性の変化

スペア ホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ スペア ホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。安全のため、トレッドの溝にスリップサイン (深さ 1.6 mm) が現れる前にタイヤを交換してください。
- ▶ ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。スペア ホイールを装着すると走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- ▶ 車種の異なるスペア ホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のスペア ホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のスペア ホイールを使用しないでください。

装備によって、コラプシブルスペア ホイールはラゲッジコンパートメント内の、荷室フロアの下またはスペシャルバッグ内にあります。



図. 239 ラグジュ コンパートメント内のコラプシブルスペアホイール

1. 荷室フロアの下にコラプシブルスペアホイールを装備している車両：スクリューを矢印の方向にゆるめて外し、コラプシブルスペアホイールを取り出してください。
2. 車両に空気の入っていないコラプシブルスペアホイールを取り付けてください。車両をジャッキアップしたままにしてください。
  - ▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。
3. タイヤに空気を入れてください。
  - ▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

### コラプシブルスペアホイールを使用した後は：

- ▶ コラプシブルスペアホイールの空気を抜きます。そのため、コラプシブルスペアホイールのバルブキャップをゆるめます。

コラプシブルスペアホイールが元の形状に戻るまでは、空気を抜いてから数時間かかります。元の形状に戻ってからでないと、荷室フロア下のコラプシブルスペアホイール用のくぼみまたはバッグ内に収納できません。

### コラプシブルスペアホイールに不都合がある場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒューズ

### 一般的な安全に関する指示

**⚠ 危険**

感電

エンジン作動中またはイグニッション ON の状態でヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気リカルシステムの作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションを OFF にしてください。

**⚠ 警告**

短絡

車両電気リカルシステムの作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 262 ページの「12 V バッテリー」の章を参照してください。

**▲ 警告**

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気リカルシステムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリのみを使用してください。認定アクセサリに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

**ヒューズの点検および交換**

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスは、左フロントフットウェル、ダッシュボード端部およびラゲッジコンパートメント内にあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな場所にあります。これらのヒューズボックスの作業は、ポルシェ正規販売店でのみ実施してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ヒューズ定格**

色		定格電流
■	薄茶色	5 A
■	茶色	7.5 A
■	赤色	10 A
■	青色	15 A
■	黄色	20 A
■	白色 / 透明	25 A
■	緑色	30 A
■	青緑色	35 A
■	オレンジ色	40 A

**ヒューズの点検および交換****① インフォメーション**

割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要に記載されていません。

1. 可能であれば、交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。以下の個別のヒューズボックスの説明を参照してください。必要な工具はすべて、ラゲッジコンパートメントの工具セット内に保管されています。
  - ▷ 251 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

3. 必要に応じ、マイナスドライバーを使用してヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを取り外します。
4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバーを使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できません。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ヒューズボックスを開く****ダッシュボードのヒューズボックスを開ける**

図. 240 ダッシュボードのヒューズボックス

必要なツール：

- (工具セットの) マイナスドライバー
- (ヒューズボックスカバーの) プラスチック製ヒューズリムーバー
- ▶ マイナスドライバーを使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

No.	負荷
2	ETC料金システムカードリーダー
3	センターコンソールスイッチモジュール、インストルメントクラスター、レベリングシステムコントロールユニット、ドライバーアシスタンスシステム用ボタン
4	ヘッドアップディスプレイ
5	USB接続(タイプC)
6	リヤセンターコンソールのオペレーターコントロールユニット
7	電動ステアリングコラムロック
8	セントラルディスプレイ
9	インストルメントクラスター
10	マルチメディアシステム用オペレーターコントロールユニット
11	ライトスイッチ
12	ステアリングコラムスイッチ
14	PCM
15	電動ステアリングコラムロック

No.	負荷
16	ステアリングホイールヒータースイッチ

### フットウェルのヒューズボックスを開く

左ハンドル車

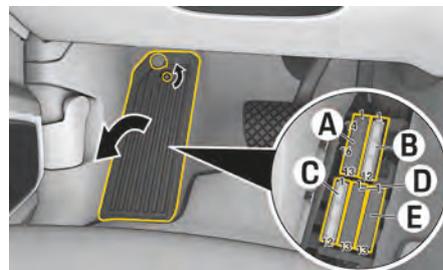


図. 241 左フロント フットウェルのヒューズボックス (左ハンドル車)

必要なツール：

- (工具セットの) マイナスドライバー
  - (工具セットの) トルクスドライバー
  - (ヒューズボックスの) プラスチック製ヒューズリムーバー
1. マイナスドライバーを使用して、ファスニングスクリューのカバーを取り外します。
  2. トルクスドライバーを使用してフットレスト上部のネジをゆるめ、シート方向に折りたたんで取り外します。
  3. カーベットの開口部をシート方向に折りたたみます。

右ハンドル車

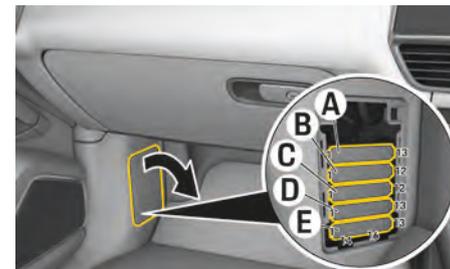


図. 242 左フロント フットウェルのヒューズボックス (右ハンドル車)

必要なツール：

- (ヒューズボックスの) プラスチック製ヒューズリムーバー
- ▶ 指を穴に入れて、カバーを引き外します。

### A列(図. 241), (図. 242)

No.	負荷
2	MAFセンサー、クランクケースヒーター、クーラントランオンポンプ
3	冷却ルーバー
4	エキゾーストフラップ、ヒーターバックアップポンプ、漏れ診断燃料タンク
5	ブレーキライトセンサー
6	モーター駆動バルブ
7	酸素センサー
8	エンジンマウント、温度制御バルブ

No.	負荷
9	モーター リレー
10	温度オイル レベル センダー
11	冷却ルーバー
12	モーター駆動バルブ
13	ラジエーター ファン
14	インジェクター
15	酸素センサー
16	フューエル ポンプ

## B列 (図. 241), (図. 242)

No.	負荷
1	イグニッション コイル
5	エンジン マウント
6	左フロント リバーシブルシート ベルト プリテンショナー
7	ダッシュボード
8	右フロント リバーシブルシート ベルト プリテンショナー
9	フロント ヒーター ファン
10	ドライバー アシスタンス コントロール

No.	負荷
11	温度制御コントロールユニット - Eハイブリッド、スターター
12	4WD

## C列 (図. 241), (図. 242)

No.	負荷
1	フロント シート ヒーター
2	左フロントドアコントロールユニット
3	電気ソケット供給
4	ルーフ システム
5	補助ライト、左
6	左リヤドアコントロールユニット
7	フロント ウィンドウ ワイパー
8	右リヤドアコントロールユニット
9	補助ライト、右
10	ヘッドライト / フロント ウィンドウ ウォッシャー システム
11	エアコンコントロールユニット
12	クラッチ アクチュエーター - Eハイブリッド

## D列 (図. 241), (図. 242)

No.	負荷
1	DIA_15 (自動減光機能付きミラー、リヤエアコンコントロール、シート ベンチレーター、エアコン プッシュャー センサー、故障診断用ソケット)
2	パーキング センサー / コントロールユニット
3	サウンド システム (Eハイブリッド)、エキゾースト システム、構造伝播ノイズコントロール、エンジンサウンドオルタネーター
4	トランスミッションバルブ
5	スターターリレー、端子 15 のパワー エレクトロニクス用供給
7	Eハイブリッドのペダル モジュール
8	ナイト ビュー アシスト、イオナイザー、eAWS、ガレージドア オープナー
9	アダプティブクルーズコントロール (ACC)、レーダー センサー
10	4WD、リヤ ディファレンシャル ロック
11	アシスタンス システム カメラ
12	シート ベンチレーター
15	右ヘッドライト
16	左ヘッドライト

## E列 (図. 241), (図. 242)

No.	負荷
1	警報システム
4	トランスミッションシフトメカニズム
5	ホーン
6	パーキングブレーキスイッチ
7	ゲートウェイコントロールユニット
8	オーバーヘッドコンソール
9	緊急電話モジュール、トレーラーヒッチ
10	エアバッグコントロールユニット
11	ESC、ABSコントロールユニット
12	故障診断用ソケット、ライト/レインセンサー
13	エアコンシステム
14	右フロントドアコントロールユニット
15	エアコンコンプレッサー
16	スマートアクチュエーター (Eハイブリッド)

## ラゲッジコンパートメントのヒューズボックスを開く

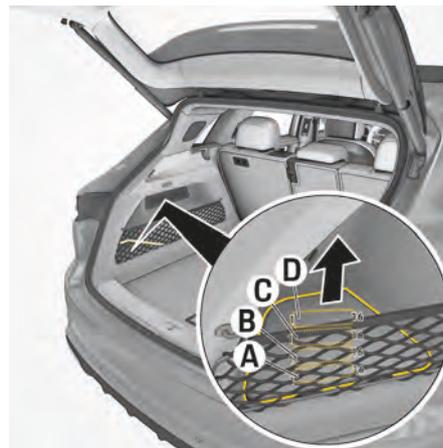


図. 243 ラゲッジコンパートメントのヒューズボックス

必要なツール:

- (工具セットの) マイナスドライバー
- (ダッシュボードまたはフットウェル内のヒューズボックスの) プラスチック製ヒューズリムーバー
- ▶ マイナスドライバーを使用して、カバーを慎重にこじって取り外してください。

## A列 (図. 243)

No.	負荷
1	HV PTC、温度制御バルブ/センサー、ラジエーターシャッター (Eハイブリッド)
5	エアサスペンション

No.	負荷
6	トランスミッションコントロールユニット
7	リヤロールアップブラインド、クロージングエイド、KESSY、フィラーフラップ
8	リヤシートヒーター (Eハイブリッドを除く)
10	トレーラーヒッチ
11	テールゲートコントロールユニット
12	リヤブローレギュレーター

## B列 (図. 243)

No.	負荷
1	左テールライト
3	SCRヒーター、リヤスポイラー
4	リヤエアコンコントロールパネル
5	トレーラーヒッチ (コントロールユニット)
6	トレーラーヒッチ (ピボットモーター)
7	トレーラーヒッチ (充電、電動ロック解除)
9	トレーラーヒッチ (ソケット)
10	リヤディファレンシャルロック
12	SCRヒーター (Eハイブリッドを除く)

## C列 (図. 243)

No.	負荷
1	アシスタンス システム コントロール ユニット
2	携帯電話のカップリング アンテナ / アンブ
3	Bluetooth® 用カップリング アンテナ
4	レーンチェンジアシスト
5	エンターテインメント システム
6	タイヤ空気圧モニタリング システム
8	プレヒーター無線受信機
10	TV チューナー、RTM、VTS
11	ルーフ アンテナ (パークアシスト)
12	ガレージドア オープナー コントロール ユニット
13	サラウンド ビュー
14	右テール ライト
16	サブウーファー

## D列 (図. 243)

No.	負荷
1	eAWS

No.	負荷
2	高電圧バッテリー
3	高電圧バッテリー ウォーター ポンプ
4	パワー エレクトロニクス - E ハイブリッド
5	ブレーキ ブースター - E ハイブリッド
6	シート ファン
8	エアコン コンプレッサー - E ハイブリッド
9	48 V システム
10	高電圧バッテリー
11	充電器 - E ハイブリッド
14	温度制御ウォーター ポンプ

## 補給

## 一般的な安全に関する指示

**⚠ 警告**

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

携帯電話からの高周波エネルギーは、電子レンジ内に置かれたアルミホイルのように、露出した金属面に火花を生じさせる可能性があります。この火花は、給油中に発生する燃料蒸発ガスに点火する恐れがあります。

車外に出て給油ノズルに触れると、身体から発生した静電気放電が周囲に存在するガソリン蒸発ガスに引火する恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱う際、火災、裸火、および喫煙は禁止されています。
- ▶ 給油時は携帯電話を使用しないでください。
- ▶ 給油中は車両に戻らないでください。

**⚠ 警告**

燃料蒸発ガスの吸入、および皮膚への燃料の付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。



## インフォメーション

場合により燃料に硫黄成分が多く含まれることがあります。特定の運転条件下では、エンジン内での燃焼により不快な臭い(いわゆる「腐った卵の匂い」)を伴う排気が発生する場合があります。ポルシェにはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションを ON にすると、インストルメントクラスターに燃料の残量が表示されます。

燃料の残量が機種ごとに設定された一定量の燃料残量を下回る場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 310 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

## 適切な燃料の選択

### 知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、エキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 以下の仕様に適合する燃料のみ使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料は使用しないでください。

### ① インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

エンジン	推奨燃料	代替燃料
3.0L V6 ターボエンジン	95 RON / 85 MON 以上	
その他のすべてのエンジン	98 RON / 88 MON 以上	95 RON / 85 MON 以上

エンジンはエタノール含有量 10% 以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。



通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

### ① インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置として**オクタン定格が 91 RON / 82.5 MON の金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価 91 RON / 82.5 MON 以上の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価 91 RON / 82.5 MON の**無鉛ガソリン**を使用した場合は、**フルロットルで走行しないでください。**

## オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

### 知識

ボルシェが承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェが承認した添加剤のみを使用してください。
- ▶ 添加剤は給油の前に充填してください。

国によっては、燃料の析出挙動がボルシェの基準を満たしていないことがあります。基準を満たす燃料を入手できない場合は、ボルシェが販売し推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ部品番号 000 043 209 02。

- ▶ 容器に記載された指示や混合比を読み、それに従ってください。
- ▶ 常に定期点検時期およびオイル交換時期に従ってください。

## 燃料の給油

### 知識

### E ハイブリッド車両：

燃料不足によってエンジンが停止した場合、車両が燃料残量を新たに検出するには、タンクに最低限の量の燃料を補充する必要があります。そうしないとエンジンを再始動できません。

- ▶ 燃料を 15 リットルまで再充填します。

### 知識

デコラティブフィルムに燃料が付着すると、退色の原因になります。

- ▶ フィルムに付着した燃料はすぐに拭き取ってください。



図. 244 ボタン A：燃料タンクベンチレーションの開始およびフィルターフラップの解除 (E ハイブリッド車)



図. 245 フィラーフラップを開く



図. 246 タンクキャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ✓ 車両がロック解除されている。
- ▶ **E ハイブリッド車両**：燃料タンクベンチレーションを開始するために、運転席ドアのボタン A (図. 244) を押してください。  
燃料タンクベンチレーションステータスがインストルメントクラスターに表示されます。燃料タンクベンチレーションが完了すると終了音が鳴り、フィルターフラップが解除されます。燃料タンクベンチレーションが正常に完了されない場合、燃料タンクベンチレーションを再び開始するために、ボタン A を再度押してください。

1. **E ハイブリッド車両**：ロック解除されたフィルターフラップを完全に開きます。  
**E ハイブリッドドライブ非装備車**：フィルターフラップの後部 (図. 245) を押すと、フラップが開きます。  
この車両に使用可能な燃料の種類は、フィルターフラップの裏のステッカーに明示されています。
2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. タンクキャップをホルダー (図. 246) に入れます。
4. 給油ノズルはハンドルを下向きにして確実に給油口の奥まで差し込んでください。
5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けないでください。温度が高くなったときに、タンクの燃料が吹き返したり、あふれ出したりすることがあります。
6. 給油後はすぐにタンクキャップを元の位置に戻し、カチッと閉まる音が聞こえ、手ごたえがあるまで締めつけます。

7. フィラーフラップを閉じてフィルターフラップの後部を押して、しっかりと閉じてください。

**i** インフォメーション

タンクキャップを紛失した場合は、必ず純正部品と交換してください。

**フィルターフラップの緊急操作**



図. 247 緊急時のフィルターフラップのロック解除

フィルターフラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手でフィルターフラップを開くことができます。

1. 右側ラゲッジコンパートメントトリムパネルを慎重に取り外してください。
2. 赤色の緊急解除ボタンを引いてください。  
▶ フィラーフラップのロックが解除されます。

**E ハイブリッド車両**：緊急解除後にタンクキャップをゆるめる際、燃料気化ガスが漏れ出す恐れがあります。

## ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

### 車両のリフトアップ

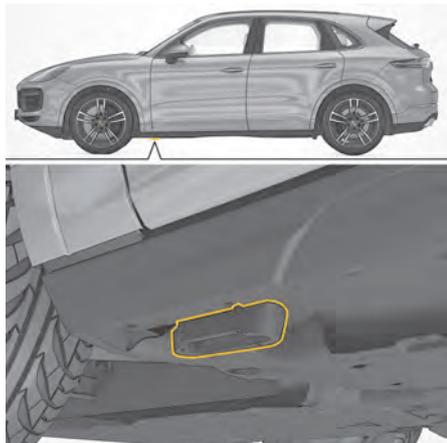


図. 248 リフティングプラットフォームおよびジャッキのフロント側ジャッキアップポイント

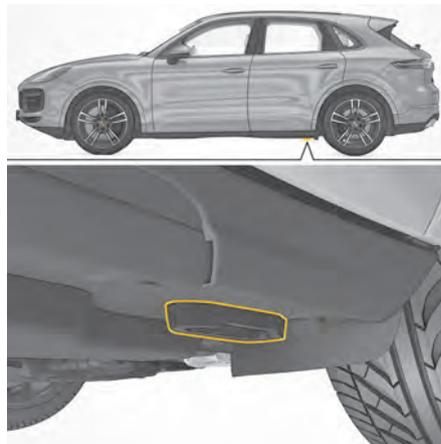


図. 249 リフティングプラットフォームおよびジャッキのリヤ側ジャッキアップポイント

#### ▲ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、エレクトリックパーキングブレーキをかけ、かつトランスミッションパーキングロック **P** を有効にします。

▶ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

#### ▲ 警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマルレベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムを OFF にします。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

## ジャッキによる車両のリフトアップ

### ① インフォメーション

ジャッキはスペアホイール装備車にのみ付属します。

ジャッキは工具セットと共に、ラゲッジコンパートメントの荷室フロアの下に収納されています。

▶ 251 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

✓ **レベリングシステム装備車**：車両ジャッキモードがONになっている。

▶ 214 ページの「車両設定」の章を参照してください。

✓ 車両が動き出さないように固定されている。

✓ 車両のジャッキアップポイントが清掃されている。

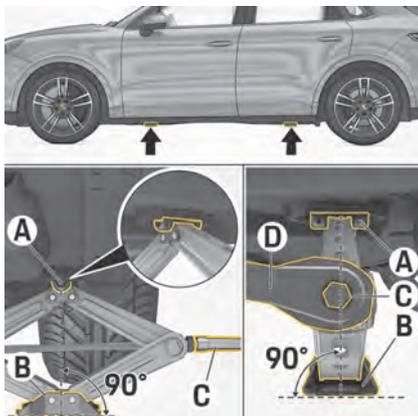


図. 250 ジャッキの位置決め

1. ジャッキは、指定されたジャッキングポイントに位置決めしてください。ジャッキは堅い場所に置いてください。

必要な場合、大きく滑りにくい支持具を併用してください。

2. ジャッキを固定し、工具セットの六角ソケットレンチ **C**(図. 250) で回して、ジャッキのヘッドピース **A**(図. 250) が車両下側にある規定のジャッキアップポイントにはまるまで持ち上げます。
3. ヘッドピース **A**(図. 250) が車両のジャッキアップポイントにはまり、ジャッキの基部 **B**(図. 250) が地面に対して水平になるようにジャッキの位置を調整してください。ジャッキの基部 **B** は車両のジャッキポイントと垂直にする必要があります。
4. 車両を持ち上げるために、(工具セットの) ラチェット **D**(図. 250) の適切な側を六角ソケットレンチ **C**(図. 250) に取り付けてください。交換するホイールが地面から完全に離れるまでラチェット **D** を前後に動かして、時計方向に進めてください。

下げる：

- ▶ ジャッキを下げるために、ラチェット **D**(図. 250) の反対側を六角ソケットレンチ **C**(図. 250) に取り付けてください。車両を下げた後、ジャッキを取り外してください。

## 車両が動き出さないように固定する

✓ コラapsibleスペアホイール装備車

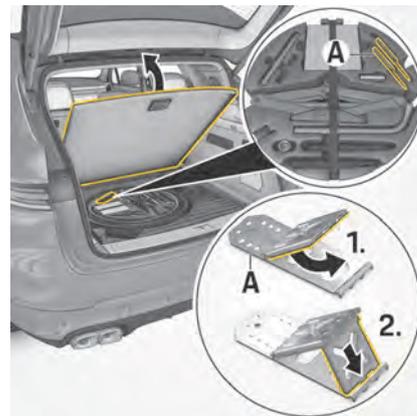


図. 251 輪止めの取り外し

1. 2つの輪止め **A**(図. 251) を取り外してください。
2. 折り畳まれていた両方の輪止め **A** を起こして固定してください。

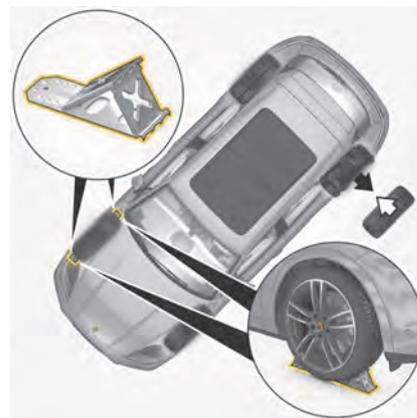


図. 252 輪止めの位置決め

3. 取り外すホイールと対角の位置にあるホイールの前後に輪止めを設置してください。

## ウォッシャー液

### ウォッシャー液の選択

- ▷ 23 ページの「エンジン コンパートメント フィラー キャップ」の章を参照してください。
- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤 [ウィンドウ クリーナー濃縮液、不凍液] を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載されたすべての指示を読んでください。
    - 夏季：水とウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください
    - 冬季：水、不凍液、およびウィンドウ クリーナー濃縮液を入れてください

次の要件を満たしたウィンドウ クリーナー濃縮液のみを使用します：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ポルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストールメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

### ウォッシャー液の追加

#### 知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。

▷ 312 ページの「充填容量」の章を参照してください。

3. キャップを慎重に閉めます。

## テクニカルデータ

### テクニカルデータ

#### 車両識別データ

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、公式の車両関連文書や車両登録書類、および車両のインフォメーションプレート(例：ビークルプレート)を参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。

#### 車両識別番号



図. 253 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ枠の左下と助手席フットウェルのカーペットのカバー下にあります。

- ▶ スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

#### タイヤ空気圧プレート



図. 254 タイヤ空気圧プレート固定ポイント

#### 車両データバンク

車両の大切な情報が記載されている車両データバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

## 寸法

### Cayenne モデル :

全長 (装備仕様により異なる)	4,918 mm~4,929 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,983 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,194 mm
DIN 規定の空車重量での車高	1,676 mm~1,728 mm
リヤ リッド開状態時の全高	2,123 mm~2,188 mm
DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	(480 mm) <sup>1</sup> 500 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、 ノーマル レベル)	(465 mm) <sup>1</sup> 475 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、 スペシャル テレーン レベル)	(520 mm) <sup>1</sup> 530 mm

### Cayenne E-Hybrid モデル :

DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	250 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、 ノーマル レベル)	225 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、 スペシャル テレーン レベル)	280 mm

### Cayenne Coupé モデル :

全長 (装備仕様により異なる)	4,931 mm~4,942 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,983 mm~1,995 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,194 mm

1. Cayenne GTS のみ :

DIN 規定の空車重量での車高	1,626 mm~1,676 mm
リヤ リッド開状態時の全高	2,229 mm~2,243 mm
DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション) <sup>1</sup>	(480 mm) <sup>2</sup> 500 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル) <sup>1</sup>	(465 mm) <sup>2</sup> 475 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル テレーン レベル) <sup>1</sup>	(520 mm) <sup>2</sup> 530 mm

## Cayenne E-Hybrid Coupé モデル :

DIN 規定の空車重量での最大渡河能力 (スチール サスペンション)	250 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、ノーマル レベル)	225 mm
最大渡河能力 (エア サスペンション、スペシャル テレーン レベル)	280 mm

## 充填容量

燃料タンク	約 75 L (オプション : 約 90 L) (予備の約 13 L を含む)
フロント ウィンドウ / ヘッドライト ウォッシャー液	約 3.5 L (ナイト ビュー アシスト 装備車両 : 約 6.2 L)

1. Cayenne Turbo GT Coupé のデータは、本稿執筆時点では入手可能ではありませんでした
2. Cayenne GTS Coupé のみ

**E-Hybrid モデル：**

燃料タンク	約 75 L (予備の約 11 L を含む)
フロント ウィンドウ / ヘッドライト ウォッシャー液	約 3.5 L (ナイト ビュー アシスト 装備車両：約 6.2 L)

**燃費と CO2 排出**

CO<sub>2</sub> 排出量は燃料消費の影響を直接受けます。安全運転や定期点検によって、CO<sub>2</sub> 排出量を最小限に抑制できます。

**① インフォメーション**

国により、納車時に提供された書類 (例：「適合証明」) に車両の燃料消費と排出値が記載されています。規定の測定方法による値を表示しています (現行バージョンの Euro 6：Regulation (EC) 715/2007、現行バージョンの Euro 5：ECE-R.83 と ECE-R 101 の組み合わせ)。

**重量**

規格 (EC) 1230/2012 に基づく、75 kg の運転者 1 名と荷物分を含む空車重量。

- 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

**負荷、最大総重量および最大軸荷重****最大積載重量**

モデルおよび装備によって異なる 375 kg~845 kg

- 車両固有の重量は、ビークルプレートまたは車両の納車時に提供された公式登録書類 (国によって、「適合証明」など) に記載されています。

- ビークルプレートは助手席側のドアシル (ドア開口部) に取り付けられています。  
- 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。

**ルーフ積載荷重**

ルーフ積載荷重は、ルーフトランスポートシステムの重量、マウント部品、および荷物の合計です。

▷ 246 ページの「ルーフトランスポートシステム」の章を参照してください。

**最大ルーフ積載荷重**

Cayenne Coupé モデル	75 kg
その他のすべてのモデル	100 kg

トレーラーモード

最大けん引重量、ブレーキなし	
Cayenne Turbo GT Coupé	—
その他のすべてのモデル	750 kg

最大トレーラー荷重(ブレーキ装備車) <sup>1</sup>	
Cayenne Turbo GT Coupé	—
8 シリンダー エンジン搭載 E ハイブリッド車	3,000 kg
その他のすべてのモデル	3,500 kg

最大ドローバー荷重	
Cayenne Turbo GT Coupé	—
8 シリンダー エンジン搭載 E ハイブリッド車	120 kg
その他のすべてのモデル	140 kg

最大軸荷重、リヤ (EU のみ、100 km/h 以下)	
Cayenne Turbo GT Coupé	—
Cayenne Turbo S E-Hybrid Coupé	175 kg 積載

最大軸荷重、リヤ (EU のみ、100 km/h 以下)	
Cayenne Coupé、Cayenne Turbo Coupé、Cayenne E-Hybrid Coupé	190 kg 積載
Cayenne S Coupé	200 kg 積載
その他のすべてのモデル	215 kg 積載

最大総重量 (EU のみ、100 km/h 以下)	
Cayenne Turbo GT Coupé	—
その他のすべてのモデル	100 kg 積載

1. 坂道の勾配率が 12 % 以下のとき

## タイヤおよびホイール

### ホイールおよびタイヤのサイズ

ポルシェが承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。荷重指数（「105」など）と許容最高速度を示す記号（「Y」など）は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時は：

▷ 287 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤサイズに対してのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ タイヤ / ホイールを取り付ける前に、EU 適合宣言をチェックして、そのホイール / タイヤの組み合わせがこの車両に許可されているかどうかを確認してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
コラブシブルスピア ホイール	195/65-20 108P	6.5B x 20, R0 28	不可
<b>6 シリンダー エンジン搭載 Cayenne モデル</b>			
サマータイヤ	FA : 255/55 ZR 19 XL (111Y) RA : 275/50 ZR 19 XL (112Y)	FA : 8.5J x 19, R0 47 RA : 9.5J x 19, R0 54	不可
	FA : 275/45 ZR 20 XL (110Y) RA : 305/40 ZR 20 XL (112Y)	FA : 9.0J x 20, R0 50 RA : 10.5J x 20, R0 64	不可
	FA : 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA : 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA : 9.5J x 21, R0 46 RA : 11.0J x 21, R0 58	不可
	FA : 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA : 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA : 10.0J x 22, R0 48 RA : 11.5J x 22, R0 61	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 255/55 R 19 XL 111V M+S RA : 275/50 R19 XL 112V M+S	FA : 8.5J x 19, R0 47 RA : 9.5J x 19, R0 54	不可
	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20, R0 50 RA : 10.5J x 20, R0 64	不可

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 58	不可
ウィンタータイヤ	FA : 255/55 R 19 XL 111V M+S RA : 275/50 R 19 XL 112V M+S	FA : 8.5J x 19、RO 47 RA : 9.5J x 19、RO 54	リヤアクスルのみ
	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R20 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 64	リヤアクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V XL M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 58	リヤアクスルのみ
<b>8 シリンダー エンジン搭載 Cayenne モデル</b>			
サマータイヤ	FA : 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA : 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 58	不可
	FA : 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA : 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA : 10.0J x 22、RO 48 RA : 11.5J x 22、RO 61	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 58	不可
ウィンタータイヤ	FA : 275/45 R20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 64	リヤアクスルのみ
	FA : 275/40 R21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 58	リヤアクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>6シリンダー エンジン搭載 Cayenne Coupé モデル</b>			
サマータイヤ	FA : 275/45 ZR 20 XL (110Y) RA : 305/40 ZR 20 XL (112Y)	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	不可
	FA : 285/40 ZR 21 XL (109Y) RA : 315/35 ZR 21 XL (111Y)	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可
	FA : 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA : 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA : 10.0J x 22、RO 48 RA : 11.5J x 22、RO 52	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	不可
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	不可
ウィンタータイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	リヤ アクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	リヤ アクスルのみ
<b>8シリンダー エンジン搭載 Cayenne Coupé モデル</b>			
サマータイヤ	FA : 285/40 ZR 21 XL (109Y) <sup>1</sup> RA : 315/35 ZR 21 XL (111Y) <sup>1</sup>	FA : 9.5J x 21、RO 46 <sup>1</sup> RA : 11.0J x 21、RO 49 <sup>1</sup>	不可

1. Cayenne Turbo S E-Hybrid Coupé、Cayenne Turbo Coupé、Cayenne GTS Coupé のみ

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
	FA : 285/35 ZR 22 XL (106Y) RA : 315/30 ZR 22 XL (107Y)	FA : 10.0J x 22、RO 48 <sup>1</sup> FA : 10.5J x 22、RO 49 <sup>2</sup> RA : 11.5J x 22、RO 52	不可
オールシーズンタイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S <sup>3</sup> RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S <sup>3</sup>	FA : 9.0J x 20、RO 50 <sup>3</sup> RA : 10.5J x 20、RO 55 <sup>3</sup>	不可
	FA : 285/40 R 21 XL 109V M+S <sup>1</sup> RA : 315/35 R 21 XL 111V M+S <sup>1</sup>	FA : 9.5J x 21、RO 46 <sup>1</sup> RA : 11.0J x 21、RO 49 <sup>1</sup>	不可
ウィンタータイヤ	FA : 275/45 R 20 XL 110V M+S RA : 305/40 R 20 XL 112V M+S	FA : 9.0J x 20、RO 50 RA : 10.5J x 20、RO 55	リヤアクスルのみ
	FA : 275/40 R 21 XL 107V M+S RA : 305/35 R 21 XL 109V M+S	FA : 9.5J x 21、RO 46 RA : 11.0J x 21、RO 49	リヤアクスルのみ

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、RO = リム オフセット

1. Cayenne Turbo S E-Hybrid Coupé、Cayenne Turbo Coupé、Cayenne GTS Coupé のみ
2. Cayenne Turbo GT Coupé のみ
3. Cayenne Turbo S E-Hybrid Coupé のみ

## タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ボルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示で確認できます。

- タイヤ空気圧モニタリング (TPM) でタイヤの種類、タイヤ サイズおよび車両の積載状況を設定し、[標準タイヤ空気圧] または [コンフォート タイヤ空気圧] のいずれか (国または装備に応じて) を選択します。

▷ 287 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

- タイヤ空気圧プレートと、PCM のタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示を参照してください。

📍 ▶ 車両の設定 ⚙ ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

- タイヤ空気圧を仕様に合わせます。



警告

タイヤ空気圧の不足

[コンフォート] オプションは国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- ▶ コンフォート プレッシャーは「コンフォート プレッシャー」機能を備えた車両のタイヤにのみ設定してください。

## スぺア ホイール

	FA	RA
20インチ コラプシブルスぺア ホイール	3.5 bar	3.5 bar

## ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

### テクニカルデータ：オーディオおよびビデオ ファイル

対応するメディア	<p><b>SD カード</b> (最大 128 GB)</p> <p><b>DVD ドライブ</b> オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、ビデオ DVD 互換 DVD オーディオ</p> <p><b>ポータブル プレーヤー</b> MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアのない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュ メモリー、およびハード ドライブ など)</p> <p><b>DVD オートチェンジャー</b> オーディオ CD (最大 80 分)、標準ビデオ DVD、ビデオ DVD 互換 DVD オーディオ</p>
ファイル システム	<p><b>SD/SDHC/SDXC/MMC</b> メモリー カード</p> <p><b>USB 大容量記憶装置</b> exFAT、FAT または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)</p> <p><b>DVD ドライブ</b> ISO9660、Joliet、UDF</p>
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3 (DVD チェンジャー以外)、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	<p><b>DVD ドライブ</b> (DVD 1 枚につき最大 1,000 ファイル)</p> <p><b>USB マスストレージおよびメモリー カード</b> 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリー / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル</p>

## テクニカルデータ：オーディオおよびビデオファイル

**メタデータ** アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由

**ビデオ DVD リージョンコード**

コード 1：USA、カナダおよび米国自治領  
 コード 2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本  
 コード 3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾  
 コード 4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ  
 コード 5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ  
 コード 6：中華人民共和国  
 コード 8：国際領土 (船舶、航空機)

## テクニカルデータ：接続

**モバイルネットワーク** GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz  
 UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (バンド VIII)/1800 MHz (バンド III)/2100 MHz (バンド I)  
 LTE：クワッドバンド、800 MHz (バンド 20)/900 MHz (バンド 8)/1800 MHz (バンド 3)/2600 MHz (バンド 7)

**WiFi** IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)

**Bluetooth®** Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m

**SIM カード** ミニ SIM、寸法：25 x 15 mm

## テクニカルデータ：ラジオ

**周波数範囲 / 規格** UKW (FM)：87.5~108 MHz (100 kHz 単位の手動調整)  
 MW (AM)：537~1602 kHz (国の仕様に応じた 9 kHz 単位の手動設定)

**放送局の自動検索による選局グリッド** UKW (FM)：100 kHz  
 MW (AM)：9 kHz

テクニカルデータ：DVDドライブ

**一般情報** 製造時に、このレーザー製品はドイツ / 国際規格 DIN EN 60825-1 に準拠して製造されています：2008-05 および DHHS ルール 21 CFR Subchapter J、クラス 1 レーザー製品として分類されています。クラス 1 レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。

**レーザー光線出力** DVD：0.68 mW  
CD：0.85 mW

**レーザー光線波長** DVD：665 nm  
CD：795 nm

ライセンスについて

**Bluetooth®** Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。その他のマークおよびブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。

**Dolby Digital** Dolby Laboratories のライセンスの下で製造。Dolby およびダブル D シンボルは Dolby Laboratories の登録商標です。

**DTS Digital Surround**  DTS 特許については、<http://patents.dts.com> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround のシンボルは DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

**Gracenote®**  Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

## エンドユーザー ライセンス合意

## Gracenote® エンドユーザー ライセンス合意

このアプリケーションまたは機器には、米国カリフォルニア州エメリービルの Gracenote, Inc. によるソフトウェア [「Gracenote」] が搭載されています。このアプリケーションは Gracenote によるソフトウェア [「Gracenote Software」] を利用し、ディスクまたはファイルをオンラインで識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 [「Gracenote Data」] をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。Gracenote データは、アプリケーションまたは機器のエンドユーザー機能の意図に沿う形でのみ利用できます。Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人的かつ非営利の目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについてのすべての所有権を含む、すべての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者の個人情報を取得せずにクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブページを参照してください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。©Gracenote, Inc. 2009

Gracenote®

## Bluetooth® 認証 (抜粋)

アルバニア - アンドラ - アンゴラ - アルバー - オーストラリア - オーストリア - バハマ - バーレーン - パルバドス - ベラルーシ - ベルギー - ベリーズ - ボリビア - ボネール - ボスニア ヘルツェゴビナ - ブラジル - ブルネイ - ブルガリア - ブルキナファソ - カナダ - チリ - 中国 - コロンビア - コスタリカ - クロアチア - キュラソー - キプロス - チェコ共和国 - デンマーク - ドミニカ共和国 - エクアドル - エジプト - エルサルバドル - エストニア - エチオピア - フィンランド - フランス - フランス領ギアナ - フランス領ポリネシア - ガボン - ドイツ - ガーナ - ジブラルタル - グアドループ島 - グアテマラ - ギリシャ - グリーンランド - 香港 - ハンガリー - アイスランド - インド - インドネシア - アイランド - イラク - イスラエル - イタリア - コートジボワール - ジャマイカ - 日本 - ヨルダン - ケニア - コソボ - クウェート - ラトビア - レバノン - レソト - リベリア - リビア - リヒテンシュタイン - リトアニア - ルクセンブルグ - マカオ - マケドニア - マダガスカル - マレーシア - マルタ - マルティニーク - モーリシャス - メキシコ - モナコ - モンゴル - モロッコ - モザンビーク - オランダ - ニューカレドニア - ニュージーランド - ナイジェリア - ノルウェー - オマーン - パキスタン - パナマ - ペルー - ポーランド - ポルトガル - プエルトリコ - カタール - レユニオン - ルーマニア - ロシア - サンマリノ - サウジアラビア - セネガル - セルビア - シンガポール - スロバキア - 南アフリカ - スペイン - セントルシア - スウェーデン - スイス - タヒチ - 台湾 - タイ - アラブ首長国連邦 - イギリス - ウルグアイ - アメリカ - ベネズエラ - ベトナム - イエメン - ジンバブエ

## リサイクル

### 耐用年数経過後の車両の返却

EU加盟国のみ:

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AGの車両はリサイクル性を考慮して開発されています。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## エアバッグおよびシートベルトテンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、シートベルトテンショナーユニットは、「通常」のスクラップや廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて廃棄したりしないでください。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ⚡ 電気 / 電子部品および使用済みバッテリー

キー、リモートコントロールおよび古いバッテリーは、「通常」のスクラップや廃棄物として処分したり、他の形態の廃棄物の中に混ぜて廃棄したりしないでください。

- ▶ 現地固有の処分方法に従い、使い終わった家庭用バッテリーは所定の収集場所に廃棄します。
- ▶ 高電圧バッテリーおよび12Vリチウムバッテリーは危険物です。このためこれらのバッテリーについては、改造したり、ご自分で処分したりしないでください。

キー、リモートコントロールおよび古いバッテリーの正しい処分の詳細については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## 欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

ポルシェはEU化学物質規制 REACH (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、車両に含まれている可能性のある高懸念物質 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

- ▶ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

## 2014/53/EU に準拠した無線装置適合宣言

この車両には、様々な無線システムが搭載されています。これらの無線システムのメーカーは、これらの無線システムが指令 2014/53/EU に従った使用方法に適合していることを宣言しています。関連する EU 適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます。

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>

## CE

## 表のマッピング

表のマッピングは、適合宣言書におけるデバイス名称と、車両装備および取扱説明書の用語を結びつけるのに役立ちます。

## セキュリティ

キー

- PK3

ポルシェ車両追跡システム - テレマチックコントロールユニット

- Telematic Control Unit 2148

ポルシェ車両追跡システム - ドライバーカード

- PD2
- Driver Card Remote for Tracking System 2781

ガラージドアオープナー (ホームリンク®)

- Universal Garage Door Opener HomeLink® ADHL5D

## コントロールユニット

### セントラルコントロールユニット

- BCMevoC

### ゲートウェイコントロールユニット-ネットワーク

- TKCGWE20 Network access device

## エアコン

### プレヒーター-リモコン

- Sender STH A-50001137

### プレヒーター-コントロールユニット

- 50000864 D208L VW

## タイヤ

### タイヤ空気圧モニタリング-第3世代コントロールユニット

- TPMS ECU G5 compact 433.92 MHz TSSS G4G5

### タイヤ空気圧モニタリング-第3世代ホイールエレクトロニクス

- TPMS Sensor G3.8 433.92 MHz TSSRE4Dg/TSSRE4Uf

## インフォテインメント

### ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

- Radio and Car Control Unit MIB2P ZSB001
- MMXF
- MMXF online

## スマートフォントレイ

- LTE-MBC-EU2 Multi Band Compensor

### ワイヤレス充電

- WCH-193a

## ポルシェ リヤ シート エンターテインメント (PRSE)

### ポルシェ リヤ シート エンターテインメント

- PRSE VI: 9Y0 088 020

### Bluetooth® ヘッドフォン

- AKG / P102 P102 / P103

## ドライバー アシスタンス

### アダプティブクルーズコントロール (ACC)

- LRR4 automotive radar sensor

### パークアシスト

- TRANSCVRP01

### レーンチェンジアシスト (LCA)

- R3TR Short Range Radar

## アンテナ

- コミュニケーション ボックス C ボックス ロー : ConBox-Low
- 9Y0035225A
- 9Y0035225C
- 9Y0035225J
- 9Y0035225N
- AG124G
- AG15B
- AG124GL

## その他

- 充電ケーブル IC-CPD
- Porsche Home Energy Manager

## 無線システム、周波数帯、最大送信電力

特に明記されていない限り、仕様は関連する無線装置を搭載するすべてのモデルまたは車両に適用されます<sup>1</sup>。許容差は脚注に記されます。

## セキュリティ

キー	
21.85 kHz	< 40 dBµA/m @ 10 m
433.47~434.37 MHz	10.00 mW
ポルシェ車両追跡システム プラス (PVTS プラス)-テレマチック コントロールユニット	
GSM 850 <sup>2</sup> (824~849 MHz)	1995.26 mW
GSM 900 (880~915 MHz)	1995.26 mW
GSM 1800 (1710~1785 MHz)	1000.00 mW
GSM 1900 <sup>2</sup> (1850~1910 MHz)	1000.00 mW

1. 一部の国では、無線技術の試運転または使用承認の制限、不許可、または追加要件の要求が課される場合があります。  
2. 欧州連合外の国

## ポルシェ車両追跡システム - ドライバー カード PD2

21.85 kHz < 40 dB $\mu$ A/m @ 10 m

433.47~434.37 MHz 10.00 mW

## ポルシェ車両追跡システム プラス (PVTS プラス) - ドライバー カード

### Driver Card Remote for Tracking System 2781

433.85~433.99 MHz 0.001 mW

## ガレージドアオープナー (ホームリンク<sup>®</sup>)

433.05~434.79 MHz 0.04 mW

868.00~868.60 MHz 1.05 mW

868.70~869.20 MHz 1.05 mW

## コントロールユニット

### セントラルコントロールユニット

21.85 kHz < 40 dB $\mu$ A/m @ 10 m

433.47~434.37 MHz 受信機のみ

## ゲートウェイコントロールユニット - ネットワーク

GSM 850<sup>1</sup>  
(824~849 MHz) 1995.26 mW

GSM 900  
(880~915 MHz) 1995.26 mW

GSM 1800  
(1710~1785 MHz) 1000.00 mW

GSM 1900<sup>1</sup>  
(1850~1910 MHz) 1000.00 mW

EGPRS 850<sup>1</sup>  
(824~849 MHz) 501.19 mW

EGPRS 900  
(880~915 MHz) 501.19 mW

EGPRS 1800  
(1710~1785 MHz) 398.11 mW

EGPRS 1900<sup>1</sup>  
(1850~1910 MHz) 398.11 mW

UMTS 1  
(1920~1980 MHz) 251.19 mW

## ゲートウェイコントロールユニット - ネットワーク

UMTS 2<sup>1</sup> 251.19 mW  
(1850~1910 MHz)

UMTS 3 (9) 251.19 mW  
(1710~1785 MHz)

UMTS 4<sup>1</sup> 251.19 mW  
(1710~1755 MHz)

UMTS 5 (6)<sup>1</sup> 251.19 mW  
(824~849 MHz)

UMTS 8 251.19 mW  
(880~915 MHz)

## エアコン

### プレヒーター - リモコン

868.70~869.20 MHz 24.00 mW

### プレヒーター - コントロールユニット

868.70~869.20 MHz 23.50 mW

1. 欧州連合外の国

## タイヤ

### タイヤ空気圧モニタリング - 第3世代コントロールユニット

433.85~433.99 MHz	27dBμV/m~40dBμV/m 受信機のみ
-------------------	----------------------------

### タイヤ空気圧モニタリング - 第3世代ホイールエレクトロニクス

433.85~433.99 MHz	10.00 mW
-------------------	----------

## インフォテインメント

### ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

WiFi (2400~2484 MHz)	46.03 mW
-------------------------	----------

WiFi (5150~5250 MHz) <sup>1</sup>	35.89 mW
--------------------------------------	----------

WiFi (5725~5875 MHz)	23.23 mW
-------------------------	----------

Bluetooth® (2400~2484 MHz)	7.83 mW
-------------------------------	---------

GSM 900 (880~915 MHz)	1995.26 mW
--------------------------	------------

### ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)

GSM 1800 (1710~1785 MHz)	1000.00 mW
-----------------------------	------------

WCDMA I (1920~1980 MHz)	251.19 mW
----------------------------	-----------

WCDMA III (1710~1785 MHz)	251.19 mW
------------------------------	-----------

WCDMA VIII (880~950 MHz)	251.19 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD1 (1920~1980 MHz)	199.53 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD3 (1710~1785 MHz)	199.53 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD7 (2500~2570 MHz)	199.53 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD8 (880~915 MHz)	199.53 mW
---------------------------	-----------

LTE FDD20 (832~862 MHz)	199.53 mW
----------------------------	-----------

LTE FDD28 (703~748 MHz)	199.53 mW
----------------------------	-----------

### スマートフォントレイ

GSM 900 (880~915 MHz)	1995.26 mW
--------------------------	------------

GSM 1800 (1710~1785 MHz)	1000.00 mW
-----------------------------	------------

WCDMA I (1920~1980 MHz)	125.00 mW
----------------------------	-----------

WCDMA III (1710~1785 MHz)	125.00 mW
------------------------------	-----------

WCDMA VIII (880~915 MHz)	125.00 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD1 (1920~1980 MHz)	200.00 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD3 (1710~1785 MHz)	200.00 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD7 (2500~2570 MHz)	200.00 mW
-----------------------------	-----------

LTE FDD8 (880~915 MHz)	200.00 mW
---------------------------	-----------

LTE FDD20 (832~862 MHz)	200.00 mW
----------------------------	-----------

1. 屋外での使用は国別の法規に従うものとします。

ワイヤレス充電

111.00 kHz      42 dB $\mu$ A/m

ドライバー アシスタンス

アダプティブクルーズコントロール (ACC)

76~77 GHz      981.75 mW

パークアシスト

Bluetooth®      2.51 mW  
(2402~2480 MHz)

レーンチェンジアシスト (LCA)

76~77 GHz      1000.00 mW

アンテナ

コミュニケーションボックスCボックスロー

GSM 900      1000.00 mW  
(880~915 MHz)

GSM 1800      1000.00 mW  
(1710~1785 MHz)

WCDMA I      1000.00 mW  
(1920~1980 MHz)

WCDMA VIII      251.19 mW  
(880~950 MHz)

コミュニケーションボックスCボックスロー

LTE FDD1      199.53 mW  
(1920~1980 MHz)

LTE FDD3      199.53 mW  
(1710~1785 MHz)

LTE FDD7      199.53 mW  
(2500~2570 MHz)

LTE FDD8      199.53 mW  
(880~915 MHz)

LTE FDD20      199.53 mW  
(832~862 MHz)

LTE FDD28      199.53 mW  
(758~803 MHz)

LTE FDD38      199.53 mW  
(2570~2620 MHz)

その他

充電ケーブル

WiFi 2.4 GHz      100 mW  
(2400~2483.5 MHz)

WiFi 5 GHz      100 mW  
(5150~5250 MHz)

Porsche Home Energy Manager

WiFi      60 mW  
(2412~2462 MHz)

## 無線機器 (EU 地域外)

## 検査マークおよび適合宣言

アルバニア、バーレーン、ボスニアヘルツェゴビナ、フランス領ギアナ、ジョージア、ジブラルタル、グアドループ、アイスランド、イスラエル、コートジボワール、クウェート、マケドニア、マルティニーク、モナコ、モンテネグロ、ニューカレドニア、ノルウェイ、レユニオン、スリランカ、セントルシア、スイス、トリニダードトバゴ、トルコ

CE

## アルジェリア

AGREE PAR L'ARPT N°:T/CA/SP/PC/N°91/ARPT/2011

## Argentina

**CNC** COMISIÓN NACIONAL DE COMUNICACIONES

CNC ID : C-18053 (R3TR)  
 CNC ID : C-20323 (MIB2+ オンライン)  
 CNC ID : C-20324 (MIB2+ オフライン)  
 CNC ID : C-21672 (LRR4)  
 CNC ID : C-24662 (BT - トランシーバー)  
 CNC ID : C-24063 (MIB3)  
 CNC ID : H-17001 (ホームリンク)  
 CNC ID : H-17181 (BCMevoC)  
 CNC ID : H-21037 (キー PK3)  
 CNC ID : H-24102 (TMPS)  
 CNC ID : C-21130

## Australia



## ベラルーシ



## Brazil



0716-15-03745 (LRR4)  
 00971-18-02930 (キー PK3)  
 00972-18-04567 (MIB2+ オフライン)  
 01622-20-12817 (BT - トランシーバー)  
 02018-18-04557 (MIB2+ オンライン)  
 02393-19-05364 (BCMevo5)  
 05031-16-06324 (ホームリンク)  
 05224-19-12227 (MIB3)  
 05674-16-06830 (R3TR)  
 07137-19-08137 (TPMS)

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)

## Brunei

DTA-005830 (LRR4)  
 DTA-003655 (MIB3)

## Canada

このデバイスは FCC 規則パート 15 に準拠していません。操作には以下の 2 つの条件が適用されます：

- このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと。
- このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があること。

Cet appareil est conforme à la Partie 15 des réglementations de la FCC et avec la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

- Cet appareil ne doit pas causer d'interférences nuisibles et
- Cet appareil doit accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

## コスタリカ

SUTEL 00770-2018  
 SUTEL 02922-2019 (MIB3)  
 SUTEL 7096-2014 (LRR4)

**関税同盟 (アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、ロシアなど)**

RU д-DE.PA01.B.60415/20



Модель: LTE-MBC-EU

オリジナルの PIWIS デー: 「翻訳なし」

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделанов в Германии

Электропитание: 12V=, 400 mA

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделанов в Германии

Электропитание: 12V=, 400 mA

**ガーナ**

CA 認証済: 1R3-1M-7E0-14B

NCA 認証済: 2R9-1H-7E0-ODA

NCA 認証済: ZRO-M8-7E3-12B

NCA 認証済: 6X6-4H-7E0-OF3 (R3TR)

NCA 認証済: SRO-1M-7E4-X26 (BT トランシーバー)

NCA 認証済: ZRO-M8-7E3-X79 (MIB3)

**Great Britain**

以下は、無線機器規則 2017 の意図の範囲内で、英国市場向けの無線機器デバイスのインポーターとして活動します:

ポルシェ カー イギリス (PCGB) Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE

英国

**香港**

HKCA 1035 : 自動車用レーダー: ライセンス免除のラジオ装置。



**インド**

ETA-1736/18-RLO(NE)

ETA-3001/16-RLO(WR) (LRR4)

ETA-SD-20190601822 (MIB3)

**インドネシア**



Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya



55538/SDPPI/2018

2208



63118/SDPPI/2019  
2692



64730/SDPPI/2019  
8837



66341/SDPPI/2020  
10325



63852/SDPPI/2019  
4334



73613/SDPPI/2021



47977/SDPPI/2016  
2684

36930/SDPPI/2014

47817/SDPPI/2016

55747/SDPPI/2018

### イスラエル

モデル名：TSSRE4Dg

メーカー：Huf Electronics Bretten

モデル名：LRR4

メーカー：Bosch

### 日本



® 204-560001



® 202-JN0638



® 203-JN0638



® 202-LSC054



® 202-SMF114



® 201-190758/00

日本の電波法に準拠しています。本装置は日本の電波法に基づいて許可されています。本装置を改造しないでください(改造した場合には承認指定番号が無効になります)。

### ジャマイカ

この製品はジャマイカ当局によって型式認可されていません：SMA - PK3.

この製品はジャマイカ当局によって型式認可されていません：SMA - BCMevoc.

### ヨルダン

TRC/LPD/2016/583 (BCMevoc)

TRC/LPD/2014/212 (LRR4)

TRC/LPD/2016/584 (R3TR)

TRC/LPD/2017/615 (キー PK3)

TRC/SS/2019/155 (MIB3)

TRC/LPD/2018/66

### マレーシア



CIDF15000490 (LRR4)

CIDF17000143 (R3TR)

CIDF19000029 (キー PK3, BCMevoc5)

CIDF18000015

### メキシコ

IFETEL：RLVPOPK17-1947 (キー PK3)

IFETEL：RLVBOLR14-1873 (LRR4)

IFETEL：RCPAPR318-2005 (R3TR)

IFETEL：RCPAUMI19-2202 (MIB3)

IFETEL：RCPKATR18-0034 (BT トランシーバー)

IFETEL：RLVCOCB16-1825

IFETEL : IFT-008-2015

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones

- Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

## モルドバ

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio: GT Sport Auto Ltd., Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG のモルドバにおける一般インポーター Calea lesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

## モンゴル



**APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A18000286**



**APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A17000167**



**APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A19000455**



**APPROVED  
IN MONGOLIA  
ID: A16000088**

## モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 9668 ANRT 2014  
Date d'agrément: 30/09/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019  
Date d'agrément: 13/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 12623 ANRT 2016  
Date d'agrément: 11/10/2016

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15845 ANRT 2018  
Date d'agrément: 19/02/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 21854 ANRT 2020  
Date d'agrément: 02/01/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 15019 ANRT 2017  
Date d'agrément: 26/10/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 19571 ANRT 2019  
Date d'agrément: 26/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 24106 ANRT 2020  
Date d'agrément: 20/05/2020

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 12651 ANRT 2016  
Date d'agrément: 18/10/2016

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 13255 ANRT 2017  
Date d'agrément: 09/02/2017

## ナイジェリア

この通信機器の接続と使用はナイジェリア通信委員会によって許可されています。

オマーン

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/4813/17

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/3621/16

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7350/19

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/2609/15

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/2160/14

OMAN - TRA
D080134
TRA/TA-R/3848/17

OMAN - TRA
D172338
TRA/TA-R/8752/19

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/0358/13

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/0447/15

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/3673/16

Pakistan



パラグアイ



NR : 2019-09-I-0517 (LRR4)

NR : 2019-09-I-000226 (MIB3)

NR : 2017-12-I-0000410 (キー PK3)

NR : 2016-11-I-000293 (ホームリンク)

NR : 2016-11-I-000310 (R3TR)

NR : 2016-11-I-000311 (BCMevoC)

NR : 2014-10-I-000305

フィリピン



カタール

承認基準 : CRA/SA/2014/R-4315 (MIB3)

承認基準 : CRA/SA/2014/R-4315 (LRR4)

セルビア



シンガポール

Complies with  
IMDA Standards  
DB106879

Complies with  
IMDA Standards  
DB101762

Complies with  
IMDA Standards  
DB102033

Complies with  
IMDA Standards  
DB107205

Complies with  
IMDA Standards  
DB103787

南アフリカ





TA-2017/2491  
 認證済

韓国



BO-LRR4  
 MSIP-REM-HEB-TSSSG4G5  
 MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG  
 R-C-MQU-PK3  
 R-CRM-DDG-R3TR  
 R-R-Ca3-TRANSCVRP02  
 R-R-DDg-MIB3TOP

송신기 주파수 21.85 kHz

송신기 주파수 433.92 MHz

송신기 주파수 21.85 kHz

B급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급)전자파적합기기로서  
 주

로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며,  
 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

해당 무선 설비는 전파혼신 가능성이 있으  
 므로 인명

안전과 관련된 서비스는 할 수 없음

인증 받은 자의 상호 Molex CVS

Dabendorf GmbH /

제조사/제조국가 독일 /

기자재의 명칭 / 모델명 LTE-MBC-CN

기자재의 명칭 / 모델명 MSIP-RMM-N7V-LTE-MBCCN

台灣



CCAE15LP0190T0



CCAF16LP2450T2



CCAK15LP0801T1



CCAL19LP2970T8

低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。 更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應立即停用, 並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電通信。 低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。 本器材須經專業工程人員安裝及設定, 始得設置使用, 且

不得直接販售給一般消費者 電磁波警語標示: 「減少電磁波影響, 請妥適使用 輸入電源需使用所附的 5A 保險絲於產品前端做

タイ



เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือ ข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช. เค

รื่องวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตาม มาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคม ที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด.

この通信装置は NTC の技術要件に準拠しています。

トルコ

**TELSİZ EKİPMANLARI YÖNETMELİĞİ (2014/53/AB)**

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalattığınız\*:

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş. Şekerpinar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayyova/Kocaeli

\*Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

### ウクライナ

車両にはさまざまな無線装置が装備されています。この無線機器のメーカーは、ウクライナの無線機器に関する技術規格 (Decree 355/2017) に準拠した仕様であることを宣言しています。この情報には、2019年4月以降の無線機器のメーカーとトランスミッションの特性に関する詳細が含まれています。関連する適合宣言書の全文は、以下のウェブサイトから確認いただけます。

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porschesevice/>



### アラブ首長国連邦

TRA  
REGISTERED No:  
ER38964/15

DEALER No.  
HUF Electronics GmbH

TRA  
REGISTERED No:  
ER497919/16

DEALER No.  
62437/11

TRA  
REGISTERED No:  
ER61595/18

DEALER No.  
65993/17

TRA  
REGISTERED No:  
ER72174/19

DEALER No.  
DA62437/11

TRA  
REGISTERED No:  
ER58762/17

DEALER No.  
DA18994/09

TRA  
REGISTERED No:  
ER36213/14

DEALER No.  
36785/14

TRA  
REGISTERED No:  
ER71148/19

DEALER No.  
43253/10

TRA  
REGISTERED No:  
ER77661/19

DEALER No.  
DA65993/17

TRA  
REGISTERED No:  
ER47992/16

DEALER No.  
DA43253/10

TRA  
REGISTERED No:  
ER50430/16

DEALER No.  
DA18994/09

### アメリカ合衆国

注：

このデバイスはFCC 規則パート 15 に準拠しています。操作には以下の2つの条件が適用されます：

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと。
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があること。

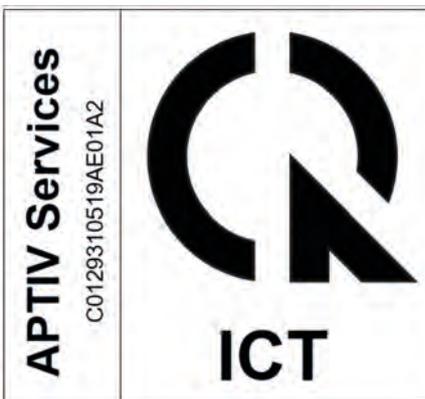
製造業者によって明示的に承認されていない変更または修正が機器に加えられた場合、機器の使用に関するFCC 認可が無効になる場合があります。

電磁波暴露情報：

デバイスの放射出力は FCC 電磁波暴露制限をはるかに下回っています。

とはいえ、デバイスの通常操作中は人が接触する可能性を最小限にとどめて使用する必要があります。

### ベトナム



## 索引

## 番号と記号

◇ボタンの設定	215	格納式スポイラー		一般的な安全に関する指示	164
4WD		作動原理	153	機能設定	166
4輪駆動ディスプレイ	171	格納式ルーフスポイラー	153	距離警告	165
トルク配分の表示	171	展開 / 格納	154	距離警告の ON/OFF の切り替え	166
迂回	226	革		距離警告の警告時間の設定	166
運転席		お手入れの諸注意	284	緊急警告 (ブレーキ振動)	165
オドメーター	171	距離警告	165	警告メッセージ	164
クーラント温度計	169	緊急アシスト	136	作動原理	164
タコメーター (回転計)	168	緊急ブレーキ機能		衝突警告	165
トリップメーター	171	作動	107	衝突警告の ON/OFF の切り替え	166
ライト調節	50	緊急ロック解除		衝突警告の警告時間の設定	166
警告灯およびインジケータライト	175	リヤリッド	38	予防的乗員保護機能	165
車両 & 情報ディスプレイ	168	緊急警告 (ブレーキ振動)	165	警告および情報メッセージ	187
出力 & 駆動ディスプレイ	168	緊急作動		E-Hybrid 車両	206
速度 & アシスト ディスプレイ	168	車両ブラグ	280	PCM	208
燃料計	169	充電ポートリッド	279	エンジン	193
運搬 (カートレイン、フェリーなど)		緊急停止機能	136	セキュリティ	188
車両の固定	268	ON にする / OFF にする	137	ドライビングシステム	199
応急処置セット	252	オーバーライド	137	車両	196
横方向の加速度		システム制限	136	警告灯	175
表示	171	一般的な安全に関する指示	136	警報システム	
温度の設定		警告メッセージ	136	ON/OFF の切り替え	31
エアコン システム	63	作動原理	137	機能説明	31
音楽		空気圧		機能表示	31
USB を介した外部機器の接続	217	速度警告	287	室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを 停止する	31
アームレスト内のインターフェイス	217	携帯電話		軽合金製ホイール	
お気に入りの保存 / 編集	221	Bluetooth® 経由で接続する (2 台目の携帯電話)	238	お手入れの諸注意	284
再生	219	Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話)	238	軽修理	
対応するデータ形式	320	Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話)	238	バンクしたとき	296
灰皿		携帯電話を接続する	237	車両が動き出さないように固定してください	296
開く	259	収納	239	車両のけん引	265
掃除する	259	携帯電話の収納	239	言語	
開閉操作とロック	42	經由地を入力する (ナビゲーション)	225	調節	215
ウィンドウ	34	計器照明		個人画面	218
ロールアップ式サンブラインド	41	明るさの調節	50	故障	
車両	42	警告およびブレーキアシスト	164	キーのバッテリー	33
外部 WiFi ホットスポット	230	ON/OFF の切り替え	166	パワーウィンドウ	35
		システム制限	164	ブレーキテストスタンドでの測定	287
		ブレーキアシスタンス	165		

解除する.....	106	デコラティブフィルム.....	283	収納オプション	
作動させる.....	106	ファブリック ライニング.....	285	フロント アームレストの小物入れ.....	240
故障時電話.....	280	プラスチック部品.....	283	充填容量.....	312
データ通信.....	280	ヘッドライト.....	283	ウォッシャー液.....	312
作動.....	280	ホイール ボルト.....	292	エンジンオイル.....	312
故障診断用ソケット.....	8	革.....	284	充電	
工具セット.....	252	警告.....	281	充電ポート ドア位置の表示.....	169
工場設定		軽合金製ホイール.....	284	充電 (高電圧バッテリー)	
車両設定のリセット.....	215	高圧洗浄機の使用.....	281	安全に関する指示.....	275
降車警告.....	101	洗車.....	282	車両プラグの緊急操作.....	280
高圧洗浄機		塗装.....	282	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始.....	276
取扱説明書.....	281	車両プラグ (緊急操作).....	280	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およ	
高電圧バッテリー.....	275	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始.....	276	びロック ステータス表示.....	277
高電圧バッテリーのお手入れ.....	281	車両ホットスポット.....	230	充電タイマー機能.....	278
作動不良		車両識別番号.....	310	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	
サイド ウィンドウの停止位置の保存.....	35	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電およびロック		.....	277
自動減光機能		ステータス.....	277	充電アダプター.....	261
ミラー.....	82	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電表示およびロック		充電タイマー機能.....	278
自動内気循環モードの設定		ク ステータス表示.....	277	充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し.....	277
エアコン システム.....	65	車両情報の表示.....	171	充電ポート リッド	
識別番号.....	310	車両設定		位置の表示.....	169
車台番号.....	310	PCM 表示の調整.....	215	緊急作動.....	279
車幅灯.....	129	インストールメント クラスタ ディスプレイの調整		渋滞アップデート (ナビゲーション).....	226
車両		.....	215	縦方向の加速度	
キーでロックする.....	44	シート ヒーター、シート ベンチレーターおよびシ		表示.....	171
キーによるロック解除.....	44	ート位置を調節する.....	215	重量.....	313
緊急ロック.....	46	タイヤの種類とサイズの設定.....	289	助手席ミラー	
緊急ロック解除.....	46	タイヤ空気圧モニタリング (TPM).....	289	格納 / 復帰する.....	81
車両ジャッキモード.....	215	ボイス コントロール システムの設定.....	215	調節.....	81
車両データバンク.....	310	マルチファンクション ステアリング ホイールのボ		小物入れ	
車両ドア		タンの割り当て設定.....	215	フロント アームレストを開く.....	240
車内からのロック解除.....	44	ロック オプションの設定.....	215	衝突警告.....	165
車両のアイドル期間.....	281	空気圧偏差の表示.....	289	ON にする / OFF にする.....	166
車両のお手入れ		警告音およびパークアシストの音量を設定する.....	215	警告時間の設定.....	166
Dinamica.....	285	言語の設定.....	215	寸法.....	311
アンダー コーティング.....	283	工場出荷時の設定に戻す.....	215	積載量	
ウィンドウ.....	283	車両ジャッキ モードの設定.....	215	ルーフに載せて運ぶ場合.....	246
エアバッグ.....	285	設定.....	214	接続	
シートベルト.....	285	単位の設定.....	215	データ接続の確立.....	229
シール.....	284	日付と時刻の設定.....	215	接続ステータス.....	238

接続ステータス.....	238	Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話).....	238	標準空気圧	
設定		インストール クラスタ内の電話情報 ..	239	選択する.....	289, 290
車両.....	214	お気に入りの保存 / 編集.....	239	表示	
洗車.....	282	デバイス マネージャー.....	216	車両 & 情報.....	168
トランスミッションのニュートラル位置.....	118, 120	収納.....	239	出力 & 駆動.....	168
全積載		接続ステータス.....	238	速度 & アシスト.....	168
調整.....	289	設定の構成.....	239	不凍液	
操作アシスト.....	95	通話中の各種機能.....	239	ウォッシャー液の割合.....	309
走行時間の表示.....	174	電話番号をダイヤルする.....	236	クーラントの割合.....	270
送風口		連絡先の編集.....	239	部分積載	
調節.....	64	塗装		調整.....	289
惰性走行モード.....	121	お手入れ.....	282	風量を設定する.....	63
地図 (ナビゲーション)		お手入れの諸注意.....	282	平均速度および平均燃費の表示.....	174
開く.....	223	つや出し [ポリッシュ].....	282	歩行者保護.....	39
設定.....	225	汚れ、染みの除去.....	282	補給.....	304
遅延消灯の設定.....	130	傷の補修.....	282	フィルター フラップ位置の表示.....	169
着信に応答する / 拒否する.....	236	保護する.....	282	燃料.....	304
駐車		登録および有効化		放送局の選局 / 保存.....	219
アクティブ パーキング サポート.....	89	My Porsche への登録.....	228	方向指示灯.....	132
サラウンド ビュー.....	140	盗難防止機能.....	31	コンフォート 方向指示.....	132
リパース カメラ.....	140	道路交通案内.....	226	作動.....	132
駐車場		読書灯.....	50	目的地の入力 / 検索.....	223
パークアシスト.....	138	内気循環ボタン.....	65	予防的乗員保護機能.....	165
リモート パーキング.....	92	内気循環モード		連絡先 (電話).....	236
操作アシスト.....	95	ON/OFF の切り替え.....	65	<b>A</b>	
通知.....	213	内蔵 SIM カード		A/C MAX ボタン	
フィルタリング.....	213	データ接続の確立.....	229	エアコン システム.....	62
開く.....	213	日付と時刻		ABS (アンチロック ブレーキシステム)	
通知センター.....	213	調節.....	215	機能説明.....	146
停止		燃費.....	313	ACC	
エンジンの自動停止 (オート スタート / ストップ機能).....	102	燃料		作動原理.....	85
停止表示板.....	252	オクタン価.....	304	Android Auto.....	209
締め付けトルク		残量警告灯.....	169	Siri.....	209
ホイール ボルト.....	292	燃料タンク容量.....	312	Apple CarPlay	
電話		燃料計.....	169	Siri.....	211
Bluetooth® 経由で接続する.....	237	品質.....	304	Apple CarPlay.....	210
Bluetooth® 経由で接続する (2 台目の携帯電話)		補給.....	304	iPod と Apple CarPlay の切り替え.....	211
.....	238	燃料のオクタン価.....	304		
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話).....	238	燃料計.....	169		

<b>B</b>					
Bluetooth®					
デバイス マネージャー.....	216				
携帯電話を接続する.....	237				
<b>C</b>					
CO2 排出.....	313				
Connect.....	228				
<b>D</b>					
DAB					
周波数帯の設定.....	219				
<b>E</b>					
E チャージモード.....	126				
E パワー走行プログラム.....	126				
Eメールの表示および編集.....	222				
e ローンチ.....	122				
E-HOLD 走行プログラム.....	126				
<b>F</b>					
FM					
周波数帯の設定.....	219				
<b>G</b>					
G-Force ディスプレイ.....	171				
Google アシスタント.....	209				
<b>H</b>					
HOLD 機能					
一般的な安全に関する指示.....	123				
警告メッセージ.....	123				
作動原理.....	123				
停止制御.....	123				
HUD					
ヘッドアップディスプレイ.....	167				
<b>I</b>					
i-Size システム.....	53				
I サイズ システム付きチャイルド シートの取り付け.....	58				
トップテザー.....	59				
INDIVIDUAL モード.....	113				
ISOFIX システム.....	53				
ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け.....	58				
トップテザー.....	59				
<b>L</b>					
LCA					
レーンチェンジアシスト.....	159				
LED ヘッドライト搭載のポルシェ ダイナミック ライトシステム プラス (PDLS Plus).....	131				
<b>M</b>					
My Porsche					
Porsche ID による登録.....	228				
サービスの設定.....	229				
<b>P</b>					
PASM (ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント).....	142				
PCM					
Android Auto.....	209				
Apple CarPlay.....	210				
PCM WiFi ホットスポットの使用.....	230				
お手入れの諸注意.....	286				
キーボード.....	181				
スタート ページの設定.....	218				
スタート メニュー.....	218				
スマート メンテ.....	232				
ダッシュボードのタッチ ディスプレイ.....	180				
テキストおよび文字を入力する.....	181				
ドライビング データの表示 (トリップ情報).....	174				
ホーム画面の設定.....	218				
メニューを開く.....	181				
外部 WiFi ホットスポットの使用.....	230				
個人画面.....	218				
個人画面の設定.....	218				
時刻または温度ディスプレイの設定.....	181				
通知.....	213				
表示の調整.....	215				
PCM の操作					
(タッチ ディスプレイ).....	181				
ロータリー プッシュ ボタンでの操作.....	181				
PCM ホットスポット.....	230				
Porsche Doppelkupplung (PDK)					
e ローンチ.....	122				
ステアリング ホイールでのギヤシフト.....	120				
惰性走行モード.....	121				
PSM (ポルシェ スタビリティ マネージメント).....	145				
機能説明.....	145				
PSM スポーツ.....	146				
<b>R</b>					
Race-TeX					
お手入れの諸注意.....	285				
<b>S</b>					
SIM カード					
電話の使用.....	236				
Siri.....	211				
<b>T</b>					
TPM (タイヤ空気圧モニタリング).....	287				
<b>U</b>					
USB を介した外部機器の接続.....	217				
USB 接続.....	217				
<b>W</b>					
WiFi					
PCM WiFi ホットスポットの使用.....	230				
デバイス マネージャー.....	216				
外部 WiFi ホットスポットの使用.....	230				

## ア

アームレストの接続	217
アームレスト内のインターフェイス USB	217
アイスシールド/サンシールドの装着	151
アクティブパーキングサポート	89
アクティブレーンキープ	
ONにする/ OFFにする	99
システム制限	97
一般的な安全に関する指示	96
作動原理	97
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	
ON/OFFの切り替え	85
クルーズコントロールおよび車間距離制御の中断 と再開	87
警告メッセージ	88
作動原理	84, 85
設定車間距離の設定	86
操作ステータス	85
速度の設定 / 設定速度の変更	86
表示	84
例外的な状況	88
アップパーベンチレーションパネル	64
アップデート	
ダウンロード	227
失敗	228
取り付け	227
アプリ	231
ボルシェコネクトアプリ	231
アルミニウムリム	
お手入れの諸注意	284
アンダーコーティング	
お手入れの諸注意	283
アンチロックブレーキシステム (ABS)	
機能説明	146
アンビエントライト	50

## イ

イオナイザー	
ON/OFFの切り替え	64
イグニッションロック	
機能説明	107
イモビライザー	31
インジケーターライト	175
インストルメントクラスター	
タイヤ空気圧モニタリングシステム	287
インストルメントクラスターの速度警告の設定	174
インストルメントクラスターの速度制限の設定	174
インストルメントパネル	168, 169
オドメーター	171
オプションの選択および機能の有効化	170
クーラント温度計	169
サービスインターバルの表示	174
スポーツクロノストップウォッチ	233
タコメーター (回転計)	168
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	174
トリップメーター	171
メニュー概要	171
ライト調節	50
概要	168
警告灯およびインジケーターライト	175
車両 & 情報ディスプレイ	168
車両情報の表示	171, 174
出力 & 駆動ディスプレイ	168
制限速度の設定	174
操作	169
速度 & アシストディスプレイ	168
速度警告の設定	174
燃料計	169
表示の調整	215
インターセクションアシスト	127
ONにする / OFFにする	128
システム制限	127
ディスプレイ	127
一般的な安全に関する指示	127
警告メッセージ	127
作動原理	127

インターネット	
データ接続の確立	229
インテリアライト	
ON/OFFの切り替え	50
アンビエントライト	50
減光	50

## ウ

ウィンタータイヤ	
一般情報	295
ウィンドウ	
お手入れの諸注意	283
フロントウィンドウデフロスター	65
リヤウィンドウヒーターのON/OFFの切り替え	66
ウォッシュャー液	
充填容量	312
追加	309
不凍液	309

## エ

エアサスペンション (PASM)	142
エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボ ルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM)	142
シャーシ高の調節	143
トレーラーモード	144
レベリングシステムをOFFにする (車両ジャッキ モード)	144
エアイベント	
開閉操作	63
調節	63
エアコンシステム	
A/C MAX モードのON/OFFの切り替え	62
ON/OFFの切り替え	62
アップパーベンチレーションパネル	64
イオナイザーのON/OFFの切り替え	64
エアコンのタイプの設定	64
オートエアコンコントロールをONにする	62
フットウェル温度の設定	64

プレクーリング/ヒーティング.....	67	オートスタート/ストップ機能		ディスプレイ.....	286
プレクール/ヒート タイマー.....	67	エンジンの自動始動.....	102	デコラティブフィルム.....	283
フロント ウィンドウ デフロスター.....	65	エンジンの自動停止.....	102	ファブリック ライニング.....	285
温度の設定.....	63	作動原理.....	102	フロア マット.....	285
最大冷房出力の ON/OFF の切り替え.....	62	前提条件.....	102	ホイール ボルト.....	292
自動内気循環モードの設定.....	65	オート モード		革.....	284
送風口を調節する.....	64	ルーフ スポイラー.....	153	軽合金製ホイール.....	284
内気循環モードの ON/OFF の切り替え.....	65	オートマチック カミング ホーム ライト.....	130	高電圧バッテリー.....	281
風量を設定する.....	63	オートマチック トランスミッション.....	118	車両を長期間アイドル状態にする場合の注意点.....	281
風量調節.....	64	オートマチック ヘッドライト		洗車.....	282
エアコンのタイプ		調節.....	129	塗装.....	282
調節.....	64	オドメーターの表示とリセット.....	171		
エアバッグ		オフロード チルティング インジケータ.....	113	<b>カ</b>	
お手入れの諸注意.....	285	オフロード 走行プログラム.....	112	カーゴ マネージメント.....	257
警告灯.....	48, 49	オンボード コンピューター		カーベット.....	285
助手席エアバッグの ON/OFF.....	56	タイヤ空気圧モニタリング システム.....	287	お手入れの諸注意.....	285
エマージェンシー キー.....	34	ドライビング データの表示 (トリップ情報).....	174	カップホルダー.....	250
エミッションコントロール (チェック エンジン).....	175	メニュー概要.....	171		
エミッションコントロール警告灯.....	175	オンライン サービス		<b>キ</b>	
エレクトリック パーキング ブレーキ		データ接続の確立.....	229	キー.....	32
ブレーキテスト スタンドでの測定.....	287	オンライン ソフトウェア アップデート		エマージェンシー キーの取り出し.....	34
解除する.....	106	ダウンロード.....	227	バッテリーの交換.....	33
緊急ブレーキ機能.....	106	失敗.....	228	車両のロック.....	44
警告灯.....	106	取り付け.....	227	車両のロック解除.....	44
作動させる.....	106	オンライン ナビゲーション.....	223	キーボード.....	181
発進時のパーキング ブレーキ自動解除.....	106	オンロードドライビング プログラム.....	113	キャリアの取り付け.....	246
エンジン		お気に入りの保存 / 編集		キャリアの取り付け (Cayenne Coupé).....	248
オイルの補充.....	272	メディア.....	221		
自動停止 (オート スタート / ストップ機能).....	102	電話.....	239	<b>ク</b>	
駐車場.....	108	お手入れの諸注意.....	281	クーラント.....	270
冷却システム.....	169	PCM.....	286	クーラント レベルの点検.....	271
エンジン オイル.....	272	Race-Tex.....	285	クーラントの補充.....	271
交換容量.....	312	アンダー コーティング.....	283	クルーズ コントロール.....	162
追加.....	272	ウィンドウ.....	283	OFF にする.....	163
エンジン コンパートメントリッド.....	38	エアバッグ.....	285	ON にする.....	162
		カーベット.....	285	クルーズ コントロール.....	162
<b>オ</b>		シート ベルト.....	285	一般的な安全に関する指示.....	162
オイル.....	272	シール.....	284	警告メッセージ.....	162
交換容量.....	312	スクリーン.....	286	作動原理.....	162
追加.....	272	タッチ ディスプレイ.....	286		

操作のキャンセル	163	シートベルト		ストップウォッチ	233
速度の保存	163	お手入れの諸注意	285	スノーチェーン	
クルーズコントロール(CC)		シートベルト プリテンショナー	71	一般情報	295
作動	163	ベルトの高さ調節	72	スピードリミッター	116
グローブボックス		解除	71	スペアホイール	298
収納スペース	240	警告	71	スポイラー	152
けん引		警告灯 / 警告シンボル	72	リヤスポイラー	152
けん引バー	267	着用	71	作動原理	153
けん引フックを外す	267	シート ベンチレーターの ON/OFF の切り替え	78	スポーツ エキゾースト システム	116
けん引ロープ	267	シール		スポーツクロノ ストップウォッチ	233
一般的なインフォメーション	265	お手入れの諸注意	284	スポーツクロノ モード スイッチ	114
<b>コ</b>		シガーライター		スポーツ プラス モード	113
コマンドの例	186	使用	259	スポーツ モード	113
コラプシブル スペア ホイール	298	シフト	118	スマート メンテ	232
コンフォート プレッシュャー		シャーシ モードの選択	142	スマートフォン	
選択する	289, 290	シャーシ レベルの設定	143	Bluetooth® 経由で接続する	237
速度警告	287	シャーシ高の調節	143	収納	239
コンプレッサー	253	ジャッキ	307	スモーカーズ パッケージ	259
<b>ク</b>		エア サスペンション 装備車のリフティングに関する情報	144	<b>セ</b>	
<b>カ</b>		車両のリフトアップ	307	セーフロック	44
サービス インターバルをインストルメント クラスタ		ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	264	セキュリティ コード	229
に表示する	174	外部電源	264	セクター レパー	118
サイドウィンドウ		<b>ス</b>		センター アームレスト	
開閉	35	スキー バッグ		フロント小物入れ	240
停止位置の保存	35	スキー / スノー ボードの収納	256	センター コンソール	
サマータイヤ		スクリーン		フロント小物入れ	240
収納スペース	295	お手入れの諸注意	286	セントラル ロック	42
サンバイザー	80	スタート / ストップ機能	102	キーでロックする	44
サンブラインドの停止位置の保存	41	スタートメニュー	218	キーによる車両のロック解除	44
<b>シ</b>		ステアリングコラム ロック	31	<b>ソ</b>	
シート		ステアリングホイール		ソース (メディア) の選択	219
シート位置の調節	74	◇ ボタンの設定	215	<b>タ</b>	
フロントシートの調節	74	ヒーターの ON/OFF の切り替え	68	タイダウンリング	
ベビーキャリア	56	調節	68	使用	257
リヤシートの調節	74	ステアリングホイールヒーターの ON/OFF の切り替え	69		
シートヒーターを ON/OFF にする	78	ステアリングホイールのロック解除およびロック	31		
		ステアリング角度表示	113		

タイヤ	287	<b>チ</b>		重量	313
ウィンタータイヤ(一般情報)	295	チェック エンジン(エミッションコントロール)	175	燃費	313
コンフォート プレッシュャーまたは標準プレッシュャーの選択	289, 290	チャイルドシート		デコラティブフィルム	
スノーチェーン(一般情報)	295	1サイズシステム付きの取り付け	58	お手入れの諸注意	283
タイヤの種類とサイズの設定	289	ISOFIX チャイルド シートの取り付け	58	デジタルスピードメーター	168
タイヤ空気圧の点検	287	トップテザー	59	デジタル取扱説明書	
タイヤ空気圧プレート	310	取り付け	56	アプリ	3
タイヤ交換(一般情報)	294	助手席エアバッグの ON/OFF	56	車載	3
タイヤ表記	290	正しい取り付け位置の徹底	53	デバイス マネージャー	216
トレッドの深さ	291	正しく使用する	51	<b>ト</b>	
バルブ	291	適切な体重およびサイズ グループの使用	52	ドア	
パンク修理	296	チャイルド プロテクション		キーでロックする	44
空気圧偏差の表示	289	リヤでの操作を無効にする	35, 79	緊急ロック	46
収納スペース	295	チャイルド ロック	45	緊急ロック解除	46
充填	290	リヤシート	35, 79	ドア ミラー	
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング(TPM)に登録する	290	チルティング インジケーター	113	格納 / 復帰する	81
全積載または部分積載の設定	289	<b>ツ</b>		調節	81
タイヤ空気圧		ツアーを計画する(ナビゲーション)	225	ドア ミラー ヒーターの ON/OFF の切り替え	66
インストールメント クラスターで開く	287	ツール	252	ドアの緊急ロック	46
システムは登録中	290	<b>テ</b>		ドアの緊急ロック解除	46
速度警告	287	ディスプレイ		トップテザー	
点検	287	お手入れの諸注意	286	トップテザー付きチャイルド シートの取り付け	59
タイヤ空気圧プレート	310	ティプトロニック S		トップテザーを通す	
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	287	シフトアップインジケーター	120	ISOFIX テザー付きチャイルド シートの取り付け	59
開く	289	パフォーマンス スタート	122	ドライバー プロファイル	69
設定	289	マニュアルシフト モード	120	ドライビング データの表示(トリップ情報)	174
登録	290	洗車	118, 120	トラベルモード	
タイヤ空気圧警告灯	175	データ接続		ライト	133
タイヤ空気圧表	315	デバイス マネージャー	216	トランスミッション	
タイヤ充填コンプレッサー	253	外部 WiFi ホットスポット	230	ティプトロニック S	118
タコメーター(回転計)	168	確立(内蔵 SIM カード)	229	パーキング ロックの緊急解除の実施	266
ダッシュボードのタッチディスプレイ	180	車両ホットスポットの使用	230	洗車	118, 120
タッチディスプレイ		テキスト メッセージの表示および編集	222	トリップメーターの表示とリセット	171
お手入れの諸注意	286	テクニカル データ		ドリンクホルダー	250
操作	181	CO2 排出	313	トルク	
表示の調整	215	タイヤ空気圧表	315	ホイールボルトの締め付けトルク	292
		ホイールおよびタイヤのサイズ	315	トレイ(電話)	239
		充填容量	312		

トレラー	
レベリングシステム	144
定義	242
トレラー アシスト	243
トレラー ヒッチ	
トレラー アシスト	243
操作	242
トレッドの深さ	
タイヤ	291
ドロップフレーム機能	144
<b>ナ</b>	
ナイト ビュー アシスト	134, 135
ON/OFF の切り替え	136
カメラの清掃	136
システム制限	134
一般的な安全に関する指示	134
警告メッセージ	134
ナビゲーション	223
インストルメント クラスタのマップビューおよびナビゲーション情報	226
ツアーを計画する	225
トリップ概要	226
経由地を入力する	225
交通渋滞の回避	226
交通情報通知の表示	226
設定	227
地図コンテンツの設定	225
地図画面の表示 / 設定	226
目的地の入力 / 検索	223
<b>ハ</b>	
パーキング アシスタント	
アクティブパーキングサポート	89
サウンドビュー	140
リバースカメラ	140
リモートパーキング	92
リヤクロスストラフィックアラート	100
操作アシスト	95

パーキング ブレーキ	
作動させる	106
自動解除	106
手動解除	106
パーキング ロック	
緊急ロック解除	266
パーテーション ネット	258
ハイビーム ヘッドライト	
ハイビーム レバー	132
ハイブリッド車両	
e ローンチ	122
走行モード	125
ハイブリッド走行プログラム	126
ハザードライト	133
ハザードライトの ON/OFF	133
バッテリー	262
お手入れ	263
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	264
バッテリー上の安全シンボル	262
警告	262
交換	265
充電	263
接続後の作業	265
バッテリーの交換	
キー	33
パノラミック ルーフ	
サンルーフ	40
パノラミック ルーフ	40
ルーフドライブの故障	41
パフォーマンス スタート	122
バルブ	
タイヤ	291
パワー ウィンドウ	
サイドウィンドウの開閉	35
停止位置の保存	35
パワー ウィンドウの停止位置の保存	35
バンク修理剤の取り外し	253

## ヒ

ビデオ	
対応するデータ形式	320
ヒューズ	
ヒューズ ボックス	299
ヒューズの割り当て	299
ヒューズの交換	299

## フ

ファブリック ライニング	
お手入れの諸注意	285
ファンの設定	
エアコン システム	63
フィルター フラップ	
位置の表示	169
フットウェル温度	
調節	64
フットブレーキ	
安全に関する指示	106
プライベート モードの有効化 / 無効化	231
プラグソケット (12 V)	260
フルードおよび燃料	312
ウォッシャー液	312
エンジンオイル	312
燃料	312
プレイリストを開く	219
ブレーキ	
フットブレーキ	106
ブレーキパッドおよびブレーキディスク	106
ブレーキパッドの警告シンボル	107
ボルシエ サーフェスコーテッドブレーキ (PSCB)	106
マルチコリジョンブレーキ	147
一般的な安全に関する指示	105
慣らしおよび清掃	106
緊急ブレーキ機能	107
ブレーキアシスタンス	165

ブレーキフルード		高さ調節	72	ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	142
ブレーキフルードレベルの点検	269	着用	71	シャーシモードの選択	142
ブレーキフルードの交換	269	<b>ホ</b>		ボルシェ コネクト	228
ブレーキリング/ヒーティング	67	ホイール	287	サービス概要を表示	230
フロアマット		ウィンター タイヤ (一般情報)	295	セキュリティコード	229
お手入れの諸注意	285	スノー チェーン (一般情報)	295	データ接続の確立	229
フロントウィンドウ		タイヤ空気圧プレート	310	プライベート モードの有効化/無効化	231
デフロスター	65	タイヤ交換 (一般情報)	294	ユーザー (Porsche ID) でログインする	228
フロントウィンドウ ウォッシュャー システム		タイヤ表記	290	ユーザー (Porsche ID) で車両にログインする	229
ウォッシュャー液の追加	309	バルブ	291	ユーザー (Porsche ID) の管理	230
充填容量	312	パンク修理	296	リモート アクセス権限の付与	230
不凍液	309	ホイール ボルト (お手入れの諸注意)	292	管理と設定	230
フロントウィンドウ ヒーター		交換	292	ボルシェ コネクト アプリ	231
フロント ウィンドウ デフロスター	65	収納スペース	295	WiFi 経由で PCM に接続する	231
フロントウィンドウ ワイパー	148	締め付けトルク	292	ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)	
お手入れの諸注意	283	盗難防止ホイールボルト (レンチ ソケット)	292, 293	ダッシュボードのタッチディスプレイ	180
フロント ウィンドウのワイパー作動とウォッシュャーシステム	149	ホイールボルト	292	ボルシェ サーフես コーテッド ブレーキ (PSCB)	106
レイン センサーを ON にする	149	ホイールおよびタイヤのサイズ	315	ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	145
ワイパー ブレード	151	ホイールのお手入れ	284	ボルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS)	131
ワイパー ブレードの交換	151	ボイス コマンドの発話	185	ボンネット	38
ワンタッチ機能	149	ボイス コントロール	183	<b>マ</b>	
フロントシート		Siri	209, 211	マウント部品の取り付け	250
調節	74	オンライン モード	184	マニュアル シフト モード	120
<b>へ</b>		コマンドの例	186	マニュアル モード	
ヘッドアップディスプレイ		ボイス コマンドの発話	185	ルーフスポイラー	153
HUD	167	ボイス コントロールの使用	184	マルチ コリジョン ブレーキング	
ヘッドライト	133	自然な音声コマンドを発話する	185	機能説明	147
お手入れの諸注意	283	設定	187	マルチ ファンクション ステアリング ホイール	
トラベル モード	133	調節	215	◇ ボタンの設定	215
バルブの交換	133	ボイス コントロールによるリストの使用	186	ボタンを押す	169
調節	133	ボイス コントロールのヘルプ	186	マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン	169
ベビー キャリア	56	ボイス コントロールの使用	184	マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン	169
ベビー シート	56	ボイス コントロール設定	187	マルチファンクション ステアリング ホイールのボタンの割り当て設定	215
助手席エアバッグの ON/OFF	56	ボイスメールを聞く	236	マルチモーダル マップ	186
ベルト		ホーム画面	218		
お手入れの諸注意	285	ホットスポット			
解除	71	PCM WiFi ホットスポットの使用	230		
警告灯 / 警告シンボル	72	外部 WiFi ホットスポットの使用	230		

## ミ

## ミラー

ドアミラーヒーター	66
ドアミラーの格納/復帰	81
ドアミラーの調節	81
パーキングエイドとしてのドアミラーの使用	82
自動減光機能	82

## メ

メッセージ	222
メッセージ(テキストメッセージ/Eメール)の表示および編集	222
メディア	219
USBを介した外部機器の接続	217
アームレスト内のインターフェイス	217
お気に入りの保存/編集	221
ソースの選択	219
閲覧	219
再生	219
設定の変更	222
対応するメディアおよびデータ形式	320
放送局の選局/保存	219
メディアを再生する	221
メンテナンス	
ウォッシュ液の追加	309

## モ

モードスイッチ	114
モバイルデータ(接続)	229

## ラ

## ライト

LEDヘッドライト搭載のPDLs Plus	131
OFFにする	130
PDLs	131
アンビエントライト	50
インテリアライト	50
エクステリアライト	129
エントリー/イグジット機能	130
オートマチックカミングホームライト	130

オートマチックヘッドライト	129
お手入れの諸注意	283
ダイナミックコーナリングライト	131
ダイナミックハイビーム	131
ダイナミックハイビームのON/OFFの切り替え	132
トラベルモード	133
パーキングライトのON/OFFの切り替え	132
ハイビームのON/OFFの切り替え	132
ハザードライト	133
バルブの交換	133
ヘッドライトパッシング	132
リヤフォグライト	129
ロービーム	129
悪天候のライト	131
一般的な安全に関する指示	130
雨機能	130
概要	129
警告メッセージ	130
高速道路ライト	131
車幅灯	129
状況に応じたライト配光	131
遅延消灯の設定	130
方向指示灯	132
霧機能	131
ライトバルブ	133
ラゲッジコンパートメント	251
開く	36
緊急ロック解除	38
ラゲッジコンパートメントカバー	254
ラゲッジコンパートメントパーテーションネット	258
ラジオ	219
オンラインラジオ	219
お気に入りの保存/編集	221
周波数帯の設定	219
放送局の選局/保存	219

## リ

リバースカメラ	140
リフティングプラットフォーム	307
車両のリフトアップ	307

リモートコントロール	32
車両のロック	44
車両のロック解除	44
リモートパーキング	92
リヤウィンドウ	
ヒーターのON/OFFの切り替え	66
リヤクロストラフィックアラート	100
リヤシート	
チャイルドロック	35, 79
リヤシェルフ	254
取り外し	254
リヤスポイラー	152, 153
作動原理	152
リヤターンアシスト	157, 159
リヤフォグライト	129
配光の適応	131
リヤリッド	
開く	36
開く高さの調整	37
緊急ロック解除	38
リヤロールアップブラインド	254
取り外し	254

## ル

ルーフシステム	40
サンブラインドの清掃	42
ルーフドライブの故障	41
停止位置の保存	41
ルーフシステムの停止位置の保存	41
ルーフスポイラー	153
作動原理	153
ルーフトランスポートシステム	
キャリアの取り付け	246
キャリアの取り付け(Cayenne Coupé)	248
マウント部品の取り付け	250
ルーフに荷物を載せて運ぶ場合	246

## レ

レーンキープアシスト	154
ONにする / OFFにする	157
作動原理	155
レーンチェンジアシスト	
画面の明るさの設定	159
レーンチェンジアシスト (LCA)	157
ONにする / OFFにする	159
リヤターンアシスト	157, 159
一般的な安全に関する指示	157
運転状況	160

## ロ

ロービーム	129
ロータリー プッシュ ボタンの操作	181
ロール アップ式サン ブラインド	
開閉	41
清掃	42
停止位置の保存	41
ローンチコントロール	122
ロック	
キーで車両をロックする	44
セーフロック	44
車内から車両をロックする	45
車両の緊急ロック	46
ロック オプション	
調節	215
ロック解除	
キーによる車両のロック解除	44
リヤリッドのロック解除および開操作	36
車内からの車両のロック解除	44
車両の緊急ロック解除	46

## ワ

ワイパー ブレード	
お手入れの諸注意	283
交換	151
ワイヤレス インターネット アクセス	230